

(様式第 10)

順大発本第 29- 号
平成 29 年 10 月 4 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 小川 秀興 (印)

順天堂大学医学部附属順天堂医院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 28 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

| | |
|-----|------------------------------|
| 住 所 | 〒113-8421 東京都文京区本郷 2 - 1 - 1 |
| 氏 名 | 学校法人 順天堂 理事長 小川 秀興 |

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

| |
|-----------------|
| 順天堂大学医学部附属順天堂医院 |
|-----------------|

3 所在の場所

| | |
|---------------------------------|----------------------|
| 〒113-8431 東京都文京区本郷 3 - 1 - 3 | 電話(03) 3813 - 3111 |
|---------------------------------|----------------------|

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

| |
|---|
| <p>① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜</p> <p>② 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜</p> |
|---|

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

| | | | |
|----------------|--|---------|--------|
| 内科 | <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 | | |
| 内科と組み合わせた診療科名等 | | | |
| ① 呼吸器内科 | ② 消化器内科 | ③ 循環器内科 | ④ 腎臓内科 |
| ⑤ 神経内科 | ⑥ 血液内科 | ⑦ 内分泌内科 | ⑧ 代謝内科 |
| ⑨ 感染症内科 | ⑩ アレルギー疾患内科またはアレルギー科 | ⑪ リウマチ科 | |
| 診療実績 | | | |

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

| | |
|--|---------|
| 外科 | (有) ・ 無 |
| 外科と組み合わせた診療科名 <input checked="" type="checkbox"/> 1呼吸器外科 2消化器外科 <input checked="" type="checkbox"/> 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 6心臓血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 7内分泌外科 <input checked="" type="checkbox"/> 8小児外科 | |
| 診療実績 | |

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

| |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1精神科 <input checked="" type="checkbox"/> 2小児科 <input checked="" type="checkbox"/> 3整形外科 <input checked="" type="checkbox"/> 4脳神経外科 <input checked="" type="checkbox"/> 5皮膚科 <input checked="" type="checkbox"/> 6泌尿器科 7産婦人科 <input checked="" type="checkbox"/> 8産科 <input checked="" type="checkbox"/> 9婦人科 <input checked="" type="checkbox"/> 10眼科 <input checked="" type="checkbox"/> 11耳鼻咽喉科 <input checked="" type="checkbox"/> 12放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 <input checked="" type="checkbox"/> 15麻酔科 <input checked="" type="checkbox"/> 16救急科 |
|--|

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

| | |
|---|---------|
| 歯科 | (有) ・ 無 |
| 歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科 2矯正歯科 <input checked="" type="checkbox"/> 3口腔外科 | |
| 歯科の診療体制 | |

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

| | | | | | | |
|--------|--------------|--------|----------|---------|----|----|
| 1 形成外科 | 2 リハビリテーション科 | 3 腫瘍内科 | 4 緩和ケア内科 | 5 病理診断科 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

| | | | | | |
|-----|-----|----|----|--------|--------|
| 精神 | 感染症 | 結核 | 療養 | 一般 | 合計 |
| 15床 | 床 | 床 | 床 | 1,011床 | 1,026床 |

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職 種 | 常 勤 | 非常勤 | 合 計 | 職 種 | 員 数 | 職 種 | 員 数 |
|-----------|--------|------|----------|-----------|------|-------------|------|
| 医 師 | 933人 | 285人 | 1057.6人 | 看 護 補 助 者 | 123人 | 診療エックス線技師 | 人 |
| 歯 科 医 師 | 4人 | 12人 | 9.2人 | 理 学 療 法 士 | 32人 | 臨床検査技師 | 4人 |
| 薬 剤 師 | 100人 | 1人 | 100.4人 | 作 業 療 法 士 | 8人 | 衛生検査技師 | 100人 |
| 保 健 師 | 人 | 人 | 人 | 視 能 訓 練 士 | 15人 | 検 査 そ の 他 | 人 |
| 助 産 師 | 35人 | 1人 | 35.7人 | 義 肢 装 具 士 | 人 | あん摩マッサージ指圧師 | 人 |
| 看 護 師 | 1,102人 | 33人 | 1,116.4人 | 臨 床 工 学 士 | 33人 | 医療社会事業従事者 | 21人 |
| 准 看 護 師 | 人 | 人 | 人 | 栄 養 士 | 人 | その他の技術員 | 22人 |
| 歯 科 衛 生 士 | 6人 | 0人 | 6人 | 歯 科 技 工 士 | 人 | 事 務 職 員 | 239人 |
| 管理栄養士 | 15人 | 0人 | 15人 | 診療放射線技師 | 75人 | その他の職員 | 10人 |

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

| 専門医名 | 人 数 | 専門医名 | 人 数 |
|---------------|-------------|-----------------|---------------|
| 総合内科専門医 | 常勤52・非常勤20人 | 眼 科 専 門 医 | 常勤30・非常勤11人 |
| 外 科 専 門 医 | 常勤72・非常勤20人 | 耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医 | 常勤10・非常勤5人 |
| 精 神 科 専 門 医 | 常勤9・非常勤7人 | 放 射 線 科 専 門 医 | 常勤14・非常勤5人 |
| 小 児 科 専 門 医 | 常勤48・非常勤11人 | 脳 神 経 外 科 専 門 医 | 常勤19・非常勤7人 |
| 皮 膚 科 専 門 医 | 常勤14・非常勤0人 | 整 形 外 科 専 門 医 | 常勤27・非常勤7人 |
| 泌 尿 器 科 専 門 医 | 常勤11・非常勤5人 | 麻 酔 科 専 門 医 | 常勤54・非常勤10人 |
| 産 婦 人 科 専 門 医 | 常勤26・非常勤2人 | 救 急 科 専 門 医 | 常勤3・非常勤0人 |
| | | 合 計 | 常勤389・非常勤110人 |

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (天野 篤) 任命年月日 平成 28 年 4 月 1 日

2013年12月～2016年3月

医療安全管理担当副院長として医療安全管理委員会出席

医療機器安全管理責任者として業務担当

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

| | 歯科等以外 | 歯科等 | 合計 |
|--------------|----------|-------|----------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 969.7人 | 0人 | 969.7人 |
| 1日当たり平均外来患者数 | 4,261.0人 | 49.7人 | 4,310.7人 |
| 1日当たり平均調剤数 | 6,602剤 | | |
| 必要医師数 | 334人 | | |
| 必要歯科医師数 | 2人 | | |
| 必要薬剤師数 | 83人 | | |
| 必要(准)看護師数 | 627人 | | |

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

| 施設名 | 床面積 | 主要構造 | 設備概要 | | | |
|----------|------------------------|-----------|-------------------------|-----|---------|------------|
| 集中治療室 | 902.4m ² | 鉄骨RC造 | 病床数 | 37床 | 心電計 | 有・無 |
| | | | 人工呼吸装置 | 有・無 | 心細動除去装置 | 有・無 |
| | | | その他の救急蘇生装置 | 有・無 | ペースメーカー | 有・無 |
| 無菌病室等 | [固定式の場合] | 床面積 | 59.71m ² | | 病床数 | 4床 |
| | [移動式の場合] | 台数 | 2台 | | | |
| 医薬品情報管理室 | [専用室の場合] | 床積 | 75.1m ² | | | |
| | [共用室の場合] | 共用する室名 | | | | |
| 化学検査室 | 313.15m ² | SRC | (主な設備) 1号館増築棟7階 | | | |
| 細菌検査室 | 88.32m ² | SRC | (主な設備) 1号館増築棟7階 | | | |
| 病理検査室 | 116.95m ² | 鉄骨/RC/SRC | (主な設備) 1号館5階、B棟5階、4号館8階 | | | |
| 病理解剖室 | 68.50m ² | 鉄骨 | (主な設備) 1号館地下3階 | | | |
| 研究室 | 4,044.17m ² | | (主な設備) 9号館、10号館 | | | |
| 講義室 | 2,747.65m ² | | 室数 | 38室 | 収容定員 | 人 |
| 図書室 | 800.14m ² | | 室数 | 2室 | 蔵書数 | 127,600冊程度 |

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

| | | | | |
|------|------------------------|-------|------|---------|
| | 紹介率 | 69.6% | 逆紹介率 | 69.4% |
| 算出根拠 | A: 紹介患者の数 | | | 32,339人 |
| | B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数 | | | 34,529人 |
| | C: 救急用自動車によって搬入された患者の数 | | | 2,308人 |
| | D: 初診の患者の数 | | | 49,770人 |

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

| 氏名 | 所属 | 委員長 (○を付す) | 選定理由 | 利害関係 | 委員の要件 該当状況 |
|-------|--------------------|---------------|-----------------------------|-----------------|----------------------|
| 尾崎 治夫 | 東京都医師会会長 | ○ | 現医師会長として厳正な監査が実施できる | 有・ 無 | 医療に係る安全管理に関する識見を有する者 |
| 浅田 真弓 | (公社)日本精神科病院協会指定弁護士 | | 病院管理学修士修了者であり医療に詳しい弁護士として選定 | 有・ 無 | 法律に関する識見を有する者 |
| 村山 徹 | アクセント代表取締役社長 | | 診療情報WGの委員を経験している | 有・ 無 | 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 |
| | | | | 有・無 | |
| | | | | 有・無 | |
| | | | | 有・無 | |

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

| | |
|---------------|-----------------|
| 委員名簿の公表の有無 | 有・ 無 |
| 委員の選定理由の公表の有無 | 有・ 無 |
| 公表の方法 | |

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

| 先進医療の種類 | 取扱患者数 |
|--------------------|-------|
| 神経変性疾患の遺伝子診断 | 4人 |
| 家族性アルツハイマー病の遺伝子診断 | 23人 |
| 多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術 | 23人 |
| 角膜ジストロフィーの遺伝子解析 | 4人 |
| 前眼部三次元画像解析 | 0人 |
| LDLアフェレシス療法 | 1人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

| 先進医療の種類 | 取扱患者数 |
|---|-------|
| パクリタキセル静脈内投与(1週間に1回投与するものに限る)及びカルボプラチン腹腔内投与(3週間に1回投与するものに限る)の併用療法(上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん) | 人 |
| ペブトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法(肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る)) | 人 |
| コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法 コレステロール塞栓症 | 人 |
| アルテプラゼ静脈内投与による血栓溶解療法 急性脳梗塞(当該疾病の症状の発症時刻が明らかでない場合に限る) | 人 |
| 切除支援のための気管支鏡下肺マーキング法 微小肺病変(肺悪性腫瘍が疑われ、又は診断のついた定型的な肺葉間以外の切離線の設定が必要なものであり、かつ、術中に同定することが困難と予測され、切除マージンの確保に注意を要するものに限る。) | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。
 (注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

| | | | |
|-----------|--|-------|---|
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

| | 疾患名 | 患者数 | | 疾患名 | 患者数 |
|----|----------------------------|------|-----|----------------------|-----|
| 1 | 球脊髄性筋萎縮症 | 7 | 56 | ベーチェット病 | 190 |
| 2 | 筋萎縮性側索硬化症 | 33 | 57 | 特発性拡張型心筋症 | 58 |
| 3 | 脊髄性筋萎縮症 | 5 | 58 | 肥大型心筋症 | 23 |
| 4 | 原発性側索硬化症 | 1 | 59 | 拘束型心筋症 | 1 |
| 5 | 進行性核上性麻痺 | 72 | 60 | 再生不良性貧血 | 46 |
| 6 | パーキンソン病 | 1686 | 61 | 自己免疫性溶血性貧血 | 2 |
| 7 | 大脳皮質基底核変性症 | 26 | 62 | 発作性夜間ヘモグロビン尿症 | 1 |
| 8 | ハンチントン病 | 1 | 63 | 特発性血小板減少性紫斑病 | 126 |
| 9 | 神経有棘赤血球症 | | 64 | 血栓性血小板減少性紫斑病 | |
| 10 | シャルコー・マリー・トゥース病 | 6 | 65 | 原発性免疫不全症候群 | 44 |
| 11 | 重症筋無力症 | 217 | 66 | IgA腎症 | 46 |
| 12 | 先天性筋無力症候群 | | 67 | 多発性嚢胞腎 | 124 |
| 13 | 多発性硬化症/視神経脊髄炎 | 326 | 68 | 黄色靱帯骨化症 | 5 |
| 14 | 慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー | 38 | 69 | 後縦靱帯骨化症 | 46 |
| 15 | 封入体筋炎 | | 70 | 広範脊柱管狭窄症 | 5 |
| 16 | クドウ・深瀬症候群 | 1 | 71 | 特発性大腿骨頭壊死症 | 46 |
| 17 | 多系統萎縮症 | 53 | 72 | 下垂体性ADH分泌異常症 | 16 |
| 18 | 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。) | 93 | 73 | 下垂体性TSH分泌亢進症 | 2 |
| 19 | ライソゾーム病 | 9 | 74 | 下垂体性PRL分泌亢進症 | 16 |
| 20 | 副腎白質ジストロフィー | 2 | 75 | クッシング病 | 5 |
| 21 | ミトコンドリア病 | 12 | 76 | 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症 | 1 |
| 22 | もやもや病 | 41 | 77 | 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症 | 28 |
| 23 | プリオン病 | | 78 | 下垂体前葉機能低下症 | 57 |
| 24 | 亜急性硬化性全脳炎 | 1 | 79 | 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体) | |
| 25 | 進行性多巣性白質脳症 | | 80 | 甲状腺ホルモン不応症 | |
| 26 | HTLV-1関連脊髄症 | | 81 | 先天性副腎皮質酵素欠損症 | |
| 27 | 特発性基底核石灰化症 | 1 | 82 | 先天性副腎低形成症 | |
| 28 | 全身性アミロイドーシス | 6 | 83 | アジソン病 | 1 |
| 29 | ウルリッヒ病 | | 84 | サルコイドーシス | 195 |
| 30 | 遠位型ミオパチー | | 85 | 特発性間質性肺炎 | 30 |
| 31 | ペスレムミオパチー | | 86 | 肺動脈性肺高血圧症 | 24 |
| 32 | 自己貪食空胞性ミオパチー | 1 | 87 | 肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症 | |
| 33 | シュワルツ・ヤンベル症候群 | | 88 | 慢性血栓塞栓性肺高血圧症 | 22 |
| 34 | 神経線維腫症 | 22 | 89 | リンパ脈管筋腫症 | 202 |
| 35 | 天疱瘡 | 50 | 90 | 網膜色素変性症 | 179 |
| 36 | 表皮水疱症 | 17 | 91 | バッド・キアリ症候群 | 2 |
| 37 | 膿疱性乾癬(汎発型) | 11 | 92 | 特発性門脈圧亢進症 | 5 |
| 38 | スティーヴンス・ジョンソン症候群 | | 93 | 原発性胆汁性肝硬変 | 83 |
| 39 | 中毒性表皮壊死症 | | 94 | 原発性硬化性胆管炎 | 7 |
| 40 | 高安動脈炎 | 66 | 95 | 自己免疫性肝炎 | 11 |
| 41 | 巨細胞性動脈炎 | 4 | 96 | クローン病 | 107 |
| 42 | 結節性多発動脈炎 | 35 | 97 | 潰瘍性大腸炎 | 578 |
| 43 | 顕微鏡的多発血管炎 | 28 | 98 | 好酸球性消化管疾患 | |
| 44 | 多発血管炎性肉芽腫症 | 38 | 99 | 慢性特発性偽性腸閉塞症 | 1 |
| 45 | 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 | 13 | 100 | 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症 | |
| 46 | 悪性関節リウマチ | 60 | 101 | 腸管神経節細胞減少症 | |
| 47 | パージャール病 | 21 | 102 | ルビンシュタイン・テイビ症候群 | |
| 48 | 原発性抗リン脂質抗体症候群 | 3 | 103 | CFC症候群 | |
| 49 | 全身性エリテマトーデス | 1094 | 104 | コステロ症候群 | |
| 50 | 皮膚筋炎/多発性筋炎 | 175 | 105 | チャージ症候群 | |
| 51 | 全身性強皮症 | 338 | 106 | クリオピリン関連周期熱症候群 | |
| 52 | 混合性結合組織病 | 225 | 107 | 全身型若年性特発性関節炎 | |
| 53 | シェーグレン症候群 | 127 | 108 | TNF受容体関連周期性症候群 | |
| 54 | 成人ステル病 | 25 | 109 | 非典型性溶血性尿毒症症候群 | 1 |
| 55 | 再発性多発軟骨炎 | 2 | 110 | ブラウ症候群 | |

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

| | 疾患名 | 患者数 | | 疾患名 | 患者数 |
|-----|----------------------------|-----|-----|--------------------|-----|
| 111 | 先天性ミオパチー | 2 | 161 | 家族性良性慢性天疱瘡 | |
| 112 | マリネスコ・シェーグレン症候群 | | 162 | 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。) | 6 |
| 113 | 筋ジストロフィー | 14 | 163 | 特発性後天性全身性無汗症 | |
| 114 | 非ジストロフィー性ミオトニー症候群 | | 164 | 眼皮皮膚白皮症 | |
| 115 | 遺伝性周期性四肢麻痺 | | 165 | 肥厚性皮膚骨膜炎 | |
| 116 | アトピー性脊髄炎 | | 166 | 弾性線維性仮性黄色腫 | |
| 117 | 脊髄空洞症 | 3 | 167 | マルファン症候群 | 4 |
| 118 | 脊髄髄膜瘤 | 1 | 168 | エーラス・ダンロス症候群 | |
| 119 | アイザックス症候群 | 6 | 169 | メンケス病 | |
| 120 | 遺伝性ジストニア | | 170 | オクシピタル・ホーン症候群 | |
| 121 | 神経フェリチン症 | | 171 | ウィルソン病 | 2 |
| 122 | 脳表ヘモジデリン沈着症 | | 172 | 低ホスファターゼ症 | |
| 123 | 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症 | | 173 | VATER症候群 | |
| 124 | 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症 | | 174 | 那須・ハコラ病 | |
| 125 | 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症 | 1 | 175 | ウィーバー症候群 | |
| 126 | ペリー症候群 | | 176 | コフィン・ローリー症候群 | |
| 127 | 前頭側頭葉変性症 | 2 | 177 | 有馬症候群 | |
| 128 | ピッカースタッフ脳幹脳炎 | | 178 | モワット・ウィルソン症候群 | |
| 129 | 痙攣重症型(二相性)急性脳症 | | 179 | ウィリアムズ症候群 | |
| 130 | 先天性無痛無汗症 | | 180 | ATR-X症候群 | |
| 131 | アレキサンダー病 | | 181 | クルーゾン症候群 | |
| 132 | 先天性核上性球麻痺 | | 182 | アペール症候群 | |
| 133 | メビウス症候群 | 1 | 183 | ファイファー症候群 | |
| 134 | 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群 | | 184 | アントレー・ピクスラー症候群 | |
| 135 | アイカルディ症候群 | | 185 | コフィン・シリス症候群 | |
| 136 | 片側巨脳症 | | 186 | ロスムンド・トムソン症候群 | |
| 137 | 限局性皮質異形成 | | 187 | 歌舞伎症候群 | |
| 138 | 神経細胞移動異常症 | | 188 | 多脾症候群 | |
| 139 | 先天性大脳白質形成不全症 | | 189 | 無脾症候群 | |
| 140 | ドラベ症候群 | | 190 | 鰓耳腎症候群 | |
| 141 | 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん | 2 | 191 | ウェルナー症候群 | |
| 142 | ミオクロニー欠伸てんかん | | 192 | コケイン症候群 | |
| 143 | ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん | | 193 | プラダー・ウィリ症候群 | 1 |
| 144 | レノックス・ガストー症候群 | | 194 | ソトス症候群 | |
| 145 | ウエスト症候群 | | 195 | ヌーナン症候群 | |
| 146 | 大田原症候群 | | 196 | ヤング・シンプソン症候群 | |
| 147 | 早期ミオクロニー脳症 | | 197 | 1p36欠失症候群 | |
| 148 | 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん | | 198 | 4p欠失症候群 | |
| 149 | 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群 | | 199 | 5p欠失症候群 | |
| 150 | 環状20番染色体症候群 | | 200 | 第14番染色体父親性ダイソミー症候群 | |
| 151 | ラスムッセン脳炎 | | 201 | アンジェルマン症候群 | |
| 152 | PCDH19関連症候群 | | 202 | スミス・マギニス症候群 | |
| 153 | 難治頻回部分発作重症型急性脳炎 | | 203 | 22q11.2欠失症候群 | |
| 154 | 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症 | | 204 | エマヌエル症候群 | |
| 155 | ランドウ・クレフナー症候群 | | 205 | 脆弱X症候群関連疾患 | |
| 156 | レット症候群 | | 206 | 脆弱X症候群 | |
| 157 | スタージ・ウェーバー症候群 | 7 | 207 | 総動脈幹遺残症 | |
| 158 | 結節性硬化症 | 12 | 208 | 修正大血管転位症 | |
| 159 | 色素性乾皮症 | | 209 | 完全大血管転位症 | |
| 160 | 先天性魚鱗癬 | 1 | 210 | 単心室症 | |

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

| | 疾患名 | 患者数 | | 疾患名 | 患者数 |
|-----|------------------------------|-----|-----|----------------------------|-----|
| 211 | 左心低形成症候群 | | 259 | レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症 | |
| 212 | 三尖弁閉鎖症 | | 260 | シトステロール血症 | |
| 213 | 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症 | | 261 | タンジール病 | |
| 214 | 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症 | | 262 | 原発性高カイロミクロン血症 | |
| 215 | ファロー四徴症 | | 263 | 脳腫黄色腫症 | |
| 216 | 両大血管右室起始症 | | 264 | 無βリポタンパク血症 | |
| 217 | エプスタイン病 | | 265 | 脂肪萎縮症 | |
| 218 | アルポート症候群 | 1 | 266 | 家族性地中海熱 | |
| 219 | ギャロウェイ・モワト症候群 | | 267 | 高IgD症候群 | |
| 220 | 急速進行性糸球体腎炎 | 4 | 268 | 中條・西村症候群 | |
| 221 | 抗糸球体基底膜腎炎 | | 269 | 化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群 | |
| 222 | 一次性ネフローゼ症候群 | 32 | 270 | 慢性再発性多発性骨髄炎 | |
| 223 | 一次性膜性増殖性糸球体腎炎 | 1 | 271 | 強直性脊椎炎 | 108 |
| 224 | 紫斑病性腎炎 | | 272 | 進行性骨化性線維異形成症 | |
| 225 | 先天性腎性尿崩症 | | 273 | 肋骨異常を伴う先天性側弯症 | |
| 226 | 間質性膀胱炎(ハンナ型) | 1 | 274 | 骨形成不全症 | |
| 227 | オスラー病 | 1 | 275 | タナトフォリック骨異形成症 | |
| 228 | 閉塞性細気管支炎 | | 276 | 軟骨無形成症 | |
| 229 | 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性) | 2 | 277 | リンパ管腫症/ゴーハム病 | |
| 230 | 肺胞低換気症候群 | 1 | 278 | 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変) | |
| 231 | α1-アンチトリプシン欠乏症 | 1 | 279 | 巨大静脈奇形(頸部口咽頭びまん性病変) | |
| 232 | カーニー複合 | | 280 | 巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変) | 1 |
| 233 | ウォルフラム症候群 | | 281 | クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群 | 1 |
| 234 | ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。) | | 282 | 先天性赤血球形成異常性貧血 | |
| 235 | 副甲状腺機能低下症 | 1 | 283 | 後天性赤芽球癆 | 4 |
| 236 | 偽性副甲状腺機能低下症 | | 284 | ダイヤモンド・ブラックファン貧血 | |
| 237 | 副腎皮質刺激ホルモン不応症 | | 285 | ファンconi貧血 | |
| 238 | ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症 | | 286 | 遺伝性鉄芽球性貧血 | |
| 239 | ビタミンD依存性くる病/骨軟化症 | | 287 | エプスタイン症候群 | |
| 240 | フェニルケトン尿症 | | 288 | 自己免疫性出血病XIII | |
| 241 | 高チロシン血症1型 | | 289 | クロンカイト・カナダ症候群 | |
| 242 | 高チロシン血症2型 | | 290 | 非特異性多発性小腸潰瘍症 | |
| 243 | 高チロシン血症3型 | | 291 | ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸) | |
| 244 | メープルシロップ尿症 | | 292 | 総排泄腔外反症 | |
| 245 | プロピオン酸血症 | | 293 | 総排泄腔遺残 | |
| 246 | メチルマロン酸血症 | | 294 | 先天性横隔膜ヘルニア | |
| 247 | イソ吉草酸血症 | | 295 | 乳幼児肝巨大血管腫 | |
| 248 | グルコーストランスポーター1欠損症 | | 296 | 胆道閉鎖症 | 4 |
| 249 | グルタル酸血症1型 | | 297 | アラジール症候群 | 1 |
| 250 | グルタル酸血症2型 | | 298 | 遺伝性膀胱炎 | 1 |
| 251 | 尿素サイクル異常症 | | 299 | 嚢胞性線維症 | |
| 252 | リジン尿性蛋白不耐症 | | 300 | IgG4関連疾患 | 8 |
| 253 | 先天性葉酸吸収不全 | | 301 | 黄斑ジストロフィー | 2 |
| 254 | ポルフィリン症 | | 302 | レーベル遺伝性視神経症 | 2 |
| 255 | 複合カルボキシラーゼ欠損症 | | 303 | アッシュヤー症候群 | 1 |
| 256 | 筋型糖原病 | | 304 | 若年発症型両側性感音難聴 | |
| 257 | 肝型糖原病 | 1 | 305 | 遅発性内リンパ水腫 | |
| 258 | ガラクトース-1-リン酸ウルジルトランスフェラーゼ欠損症 | | 306 | 好酸球性副鼻腔炎 | 7 |

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

| | 疾患名 | 患者数 | | 疾患名 | 患者数 |
|-----|----------------------------------|-----|-----|-------------------------------|-----|
| 307 | カナバン病 | | 319 | セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症 | |
| 308 | 進行性白質脳症 | | 320 | 先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症 | |
| 309 | 進行性ミオクローヌステんかん | | 321 | 非ケトーシス型高グリシン血症 | |
| 310 | 先天異常症候群 | | 322 | β ーケトチオラーゼ欠損症 | |
| 311 | 先天性三尖弁狭窄症 | | 323 | 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症 | |
| 312 | 先天性僧帽弁狭窄症 | | 324 | メチルグルタコン酸尿症 | |
| 313 | 先天性肺静脈狭窄症 | | 325 | 遺伝性自己炎症疾患 | |
| 314 | 左肺動脈右肺動脈起始症 | | 326 | 大理石骨病 | |
| 315 | ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症 | | 327 | 特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。) | |
| 316 | カルニチン回路異常症 | | 328 | 前眼部形成異常 | |
| 317 | 三頭酵素欠損症 | | 329 | 無虹彩症 | |
| 318 | シトリン欠損症 | | 330 | 先天性気管狭窄症 | |

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

| 施設基準の種類 | 施設基準の種類 |
|---------|---------|
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

| 施設基準の種類 | 施設基準の種類 |
|---------|---------|
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |
| . | . |

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

| 施設基準等の種類 | 施設基準等の種類 |
|----------|----------|
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

| | |
|-------------------------------------|--|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況 | 1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 週3～4回 月13～15回 |
| 剖検の状況 | 剖検症例数 45 例 / 剖検率 10.3 % |

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|--------|------------------|------------|------------|
| 平滑筋オートファジー不全に基づく血管不全病態の解明 | 綿田 裕孝 | 院・代謝内分泌内科学 | 3,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| パーキンソン病病態解析に基づくオートファジー調節化合物の開発 | 斉木 臣二 | 院・神経学 | 16,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| アスリートパラドックスの全容解明と臨床応用の検討 | 河盛 隆造 | 院・代謝内分泌内科学 | 5,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 遺伝性パーキンソン病における脂質組成の分析及び組成変化が及ぼす病態への関与 | 服部 信孝 | 院・神経学 | 4,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| リソソーム機能によるオートファジー調節機構の解明とそれに基づくPD治療薬開発 | 斉木 臣二 | 院・神経学 | 4,900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| GVHDにおける炎症の慢性化と多臓器線維化の制御及び新規治療法開発の基盤研究 | 大沼 圭 | 寄付・免疫病・がん先端治療学 | 4,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 「希少癌」骨軟部腫瘍の迅速な新規治療法の開発 | 末原 義之 | 整形外科学講座 | 2,700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 核マトリクス蛋白を標的としたオートファジー関連消化器難病疾患の早期診断法の開発 | 渡辺 純夫 | 院・消化器内科学 | 9,700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| CD26分子を介した免疫制御機構の解明と自己免疫疾患への臨床応用の基盤研究 | 森本 幾夫 | 寄付・免疫病・がん先端治療学 | 5,700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 早期変形性関節症の関節軟骨破壊機構解析とそれに基づく診断・治療法開発の基礎研究 | 岡田 保典 | 寄付・運動器・腫瘍性疾患病態学 | 5,700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| リソソーム病の病態とパーキンソン病発症機序の関与の検討 | 王子 悠 | 神経学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| エキソソームをターゲットとしたパーキンソン病の病態解明と新規治療法の開発 | 常深 泰司 | 寄付・神経難病治療開発講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 「希少がん」胞巣状軟部肉腫の新規治療法開発 | 向井原 健太 | 整形外科学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 妊娠高血圧症候群の新規バイオマーカーによる多角的病態評価法の確立 | 濱村 憲佑 | 産婦人科学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 蝸牛有毛細胞におけるカベオリン分子の動態解析 | 安齋 崇 | 耳鼻咽喉科学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ミトコンドリア病としてのパーキンソン病の共通発症機序の解明 | 今居 譲 | 寄付・パーキンソン病病態解明研究 | 3,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 自己免疫疾患の病態を制御するTIM分子の機能解明 | 奥村 康 | 院・免疫学 | 3,600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 糖尿病状態における細胞変容とオートファジー | 綿田 裕孝 | 院・代謝内分泌内科学 | 4,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 腸管免疫による自己免疫制御法の開発 | 三宅 幸子 | 院・免疫学 | 3,700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 幹細胞と増殖因子徐放剤の併用による成熟血管再生と再生組織“血管化”基盤技術の開発 | 水野 博司 | 院・形成・再建外科学 | 2,600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 糖尿病性潰瘍に対する慢性炎症を標的とした実用的細胞治療法の確立 | 田中 里佳 | 形成外科学講座 | 4,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 食事摂取脂肪酸が虚血再灌流前後の心筋脂肪酸代謝に与える影響の解明と介入方法の確立 | 比企 誠 | 循環器内科学講座 | 1,600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 多血小板血漿による組織修復促進機序の解明と至適調整法の確立 | 斎田 良知 | 整形外科学講座 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 平滑筋細胞におけるオートファジーの機能解析 | 三田 智也 | 院・代謝内分泌内科学 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 慢性期虚血性白質障害における損傷メカニズムと細胞間の防御作用の検討 | 宮元 伸和 | 神経学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|---|---------------|----------------|-----------|------------|
| がん微小環境のSecretome 解析にもとづく革新的抗体治療 | 福原 武志 | 寄付・神経難病治療開発講座 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 初期嗅覚回路形成における嗅ブラコード由来移動細胞の役割 | 村上 志津子 | 寄付・神経疾患病態構造学講座 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 肺癌におけるRASA1遺伝子変異の機能解析 | 林 大久生 | 人体病理病態学講座 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 膵管内乳頭粘液性腫瘍発癌過程でのマイクロRNAとシグナル伝達系活性化の関連の解明 | 福村 由紀 | 人体病理病態学講座 | 2,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 改良型CTCチップを新たに用いた大腸癌CTCのがんマーカー開発 | 富木 裕一 | 消外(下部消化管外科) | 1,800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 血糖コントロールに関するヘルスリテラシーを含めた患者側要因の解明 | 横川 博英 | 総合診療科研究室 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 動脈硬化進展における性差・社会心理学的機序の解明に関する前向きコホート研究 | 野田 愛 (池田愛) | 公衆衛生学講座 | 2,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 不明熱症例に対する 全国の多施設共同による前向き症例登録研究 | 内藤 俊夫 | 院・総合診療科学 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 潰瘍性大腸炎の腸内細菌と免疫応答の解明(抗菌剤併用便移植療法の確立を目指して) | 石川 大 | 消化器内科学講座 | 1,600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 新規な脂肪肝増悪因子GOS2蛋白によるインスリン抵抗性発症機序の解明 | 佐藤 博亮 | 代謝内分泌学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 心臓リモデリング抑制のための最適な抗炎症療法の検討 | 天野 篤 | 院・心臓血管外科学 | 500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 心筋由来血清マイクロRNAと心エコー血行動態指標の併用による心不全発症リスク管理 | 加藤 倫子 | 院・心臓血管外科学 | 2,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| スギ花粉症合併喘息患者における舌下免疫療法の新規バイオマーカー樹立 | 伊藤 潤 | 呼吸器内科学講座 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 肺癌におけるヒストンメチル化による癌抑制遺伝子不活化の解明 | 田島 健 | 呼吸器内科学講座 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 免疫チェックポイント蛋白PD-1ホモログを標的とした新規抗体治療開発 | 原田 紀宏 | 呼吸器内科学講座 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 肺血管内皮細胞の内皮間葉系転換におけるエクソソームの役割 | 長岡 鉄太郎 | 呼吸器内科学講座 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| リンパ脈管筋腫症におけるリンパ管内皮間葉転換の病態関与の証明 | 瀬山 邦明 | 呼吸器内科学講座 | 1,800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| iPLA2 β の機能解析によるパーキンソン病の病態解明 | 波田野 琢 | 神経学講座 | 1,600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 次世代シーケンサーを用いた新規パーキンソン病原因遺伝子の単離 | 西岡 健弥 | 神経学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| パーキンソン病原因遺伝子変異によるシナプス小胞動態異常と治療標的遺伝子探索 | 井下 強 | 寄付・多発性硬化症・神経難病 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 脳梗塞におけるMAIT細胞制御と新規治療法に関する研究 | 田中 亮太 | 神経学講座 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 神経変性疾患におけるCHCHD2遺伝子の関連解明 | 李 元哲 | 神経学講座 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 周辺環境による膵 β 細胞新生誘導機構の解明 | 宮塚 健 | 寄付・糖尿病治療標的探索医学 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| EBウイルス関連腫瘍に対するiPS細胞由来T細胞療法の開発 | 安藤 美樹 | 輸血学研究室 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 変異CALR遺伝子によるサイトカイン受容体活性化の分子基盤の解明 | 荒木 真理人 | 院・輸血・幹細胞制御学 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| Fc γ RIIB欠損マウスを用いたRAとSLEの疾患特異性におけるIL-10の役割 | 天野 浩文 | 院・膠原病・リウマチ内科学 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 自己免疫・喘息疾患におけるヒト遊離型TIM-4の検出・機能解析と病態的意義 | 秋葉 久弥 | 院・免疫学 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 小児炎症性腸疾患におけるガレクチン9の免疫調節機能とその治療戦略 | 工藤 孝広 | 小児科学講座 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|--------|---------------|-----------|------------|
| 脂肪組織由来幹細胞を用いた再生医療による難治性皮膚疾患の治療法開発 | 長谷川 敏男 | 皮膚科学講座 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ゲノム解析による円形脱毛症疾患感受性遺伝子同定の試み(第3段) | 池田 志孝 | 院・皮膚科学・アレルギー学 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 多発性硬化症、視神経脊髄炎における次世代拡散MRIの応用 | 吉田 茉莉子 | 放射線診断学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| マルチモーダル磁気共鳴イメージングを用いた脊髄脊椎疾患の評価法の確立 | 堀 正明 | 放射線診断学講座 | 1,900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ラジオ波焼灼術等の低侵襲治療のための効果的なトレーニングシステムの開発 | 椎名 秀一朗 | 院・画像診断・治療学 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 初発孤立性肝細胞癌に対する体幹部定位放射線治療の有効性を検証する多施設共同試験 | 石倉 聡 | 放射線治療学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 低酸素環境下のがん幹細胞をターゲットとした放射線増感研究 | 笹井 啓資 | 院・放射線治療学 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 手術中の栄養投与が術後合併症を予防し、入院期間へ及ぼす影響 | 佐藤 大三 | 院・麻酔科学 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| アミノ酸トランスポーターSLC7A1を標的とした大腸癌CAR-T療法の開発 | 坂本 一博 | 院・下部消化管外科学 | 1,700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 肺腺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測バイオマーカーの探索研究 | 高持 一矢 | 院・呼吸器外科学 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 側弯症における新しい診断システムの開発 | 米澤 郁穂 | 整形外科科学講座 | 600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| TP53 signature診断法による前立腺がん個別化医療の開発 | 加藤 俊介 | 院・臨床腫瘍学 | 1,800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 再発頭頸部扁平上皮癌のIGF-1R, EpCAMを中心とした網羅的ゲノム解析 | 松本 文彦 | 耳鼻咽喉科学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 緑内障濾過手術におけるリンパ管流の解析と制御 | 松田 彰 | 院・眼科学 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| プロテオーム解析による敗血症の重症度診断 | 射場 敏明 | 院・救急・災害医学 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 携帯型音楽プレーヤーによる無意識下の過大音刺激による蝸牛障害危険性の定量的評価 | 伊藤 麻美 | 耳鼻咽喉科学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 社会的ストレスが情動障害に与える影響と漢方薬の効果 | 小林 弘幸 | 院・病院管理学 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| パーキンソン病の分子病態を基盤としたバイオマーカーの開発 | 佐藤 栄人 | 神経学講座 | 900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 新規抗悪性リンパ腫抗体の樹立方法の確立と臨床応用への研究 | 松岡 周二 | 病理・腫瘍学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 腸内細菌をターゲットとした脳血管障害の新たな病態解明と治療 | 山城 一雄 | 神経学講座 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ドラッグ・リポジショニングに立脚した原発性骨髄線維症の腫瘍性クローン選択的排除法 | 後藤 明彦 | 血液学講座 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 潰瘍性大腸炎発癌過程におけるマイクロRNAとシグナル伝達系活性化の関連性の解明 | 三富 弘之 | 人体病理病態学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 妊娠期の水溶性繊維食は生まれてくるこどものアレルギーや自己免疫疾患を減らせるか？ | 中島 章人 | 消化器内科学講座 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 血清遊離グリセロール濃度の変動要因の解明とトリグリセリド測定国際標準化 | 三井田 孝 | 院・臨床病態検査医学 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 高齢者白血球細胞の脂肪酸代謝制御マーカーの探索と代謝・転写メカニズムの解明 | 田部 陽子 | 臨床検査医学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 高精度放射線治療における治療計画品質評価法、及び自動治療計画法の開発 | 杉本 聡 | 放射線治療学講座 | 600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 医師のキャリア形成と医師偏在を解消する医師・病院マッチングシステムの研究開発 | 檀原 高 | 総合診療科研究室 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 胃癌におけるガレクチン-3の機能解明と増殖制御療法への応用 | 芹澤 信子 | 消化器内科学講座 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|--------|----------------|-----------|------------|
| 脂肪性肝炎の代謝病態におけるリポドラフト構造変化と機能的役割の解明 | 内山 明 | 消化器内科学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 代謝性脂肪肝炎の基盤病態としての自然免疫・代謝連関と治療戦略 | 池嶋 健一 | 院・消化器内科学 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 臨床応用にむけた非侵襲的脆弱プラーク評価指標の作成 | 藤本 進一郎 | 循環器内科学講座 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 肺高血圧症に対する新規バイオマーカーの確立 | 小西 博広 | 循環器内科学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 包括的リハビリテーションの冠動脈粥腫親展抑制に関する研究 | 代田 浩之 | 院・循環器内科学 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 次世代型テロメスキャンによる肺癌血中循環癌細胞の解析からウイルス治療薬への展開 | 十合 晋作 | 呼吸器内科学講座 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| Gefitinib耐性における肺癌幹細胞の静止期維持機構の解明と耐性克服 | 高橋 和久 | 院・呼吸器内科学 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| IgA腎症の病態におけるTLR/BAFF/APRILの役割の解明 | 鈴木 仁 | 腎臓内科学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 睡眠時無呼吸時の低酸素状況における腎脂質応答の検証 | 小林 敬 | 腎臓内科学講座 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| オートファジーに注目した脳内鉄蓄積病原因遺伝子の機能解析 | 古屋 徳彦 | 寄付・神経変性疾患病態治療 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| レビー小体の形成機序の解明 | 久保 紳一郎 | 神経学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ニューロモデュレーション治療の最適化を目指すための神経細胞活動の疾患横断的解析 | 下 泰司 | 神経学講座 | 500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 粘膜免疫機構の発達と小児消化器疾患の病態に関する検討 | 大塚 宜一 | 小児科学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 運動処方による複雑先天性心疾患の運動耐容能改善の試み | 高橋 健 | 小児科学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 早産児における尿メタボローム解析の有用性についての検討 | 東海林 宏道 | 院・小児思春・病態学 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 非ガウス分布拡散MRIを用いた正常圧水頭症の病態解析と治療反応性子測 | 神谷 昂平 | 放射線診断学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| CAGE結果を用いた血中microRNAの大腸がん抗がん剤感受性判定マーカー開発 | 高橋 玄 | 消外(下部消化管外科) | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 血中循環腫瘍DNAを用いた個別化大腸癌モニタリングシステムの構築 | 神山 博彦 | 消外(下部消化管外科) | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 次世代拡散MRIおよび機能MRIを用いた言語機能獲得機序の解明 | 菅野 秀宣 | 脳神経外科学講座 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 変形性膝関節症における滑膜を標的とした病態解明とその応用による疾患制御 | 石島 旨章 | 院・整形外科・運動器医学 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ヒトiPS細胞による多発性嚢胞腎組織発生モデルの開発 | 堀江 重郎 | 院・泌尿器外科学 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 絨毛細胞特異的遺伝子欠損マウスを用いた胎盤の機能解析 | 板倉 敦夫 | 産婦人科学講座 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| CAGE法を用いた子宮体癌におけるリンパ節転移予測マーカーの同定 | 寺尾 泰久 | 産婦人科学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 無細胞化神経へのシュワン細胞付加法としての端側神経縫合の実用性 | 林 礼人 | 形成外科学講座 | 600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ANSHINサポートプログラムによる未破裂脳動脈瘤患者の不安払拭とQOL改善検証 | 大石 英則 | 寄付・脳神経血管内治療学講座 | 300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 医療機関におけるUDI(国際医療機器識別コード)の意義に関する研究 | 佐瀬 一洋 | 院・臨床薬理学 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 脳内神経ネットワークからみた吸入麻酔薬の作用機序と発達脳に与える影響に関する研究 | 西村 欣也 | 院・麻酔科学 | 900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| アフレルシ療法でのcirculating microRNA除去と治療応用の研究 | 草生 真規雄 | 膠原病内科学講座 | 900,000 | 補委 日本学術振興会 |

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|--------|-----------------|-----------|------------|
| 心筋内中性脂肪測定法を用いた新規運動プログラム評価法の確立と臨床応用 | 島田 和典 | 循環器内科学講座 | 700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| プロバイオティクスによるインスリン抵抗性改善の検討 | 金澤 昭雄 | 代謝内分泌学講座 | 500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 小児肥満症改善の統合研究－「生活環境病」の提唱と介入プログラムの開発を目指して－ | 田久保 憲行 | 小児科学講座 | 300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 海馬が合成する脳ステロイドは神経シナプスでの記憶学習の強力なモジュレータ | 川戸 佳 | 泌尿器科学講座 | 600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 胃底腺型胃癌発生におけるWnt系・Hedgehog系とGNAS遺伝子変異の関与 | 八尾 隆史 | 院・人体病理病態学 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 細胞特異的FcγRIIB発現欠損マウスを用いたループ腎炎発症機序の解明 | 林 青順 | 病理・腫瘍学講座 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 開胸術後遷延痛における早期治療介入の予防効果と危険因子同定(遺伝子多型解析含む) | 高橋 良佳 | 麻酔・ペインクリニック | 500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 遺伝性血管性浮腫における自己免疫異常の病態解明と早期診断・治療を目指す研究 | 佐藤 信之 | 腎臓内科学講座 | 700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 乳腺髄様癌における腫瘍浸潤リンパ球の役割の解明 | 荒川 敦 | 人体病理病態学講座 | 1,600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 髄液マーカーを用いた変性型認知症の多施設大規模臨床解析 | 本井 ゆみ子 | 寄付・認知症診断・予防・治療学 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 肝疾患とオートファジーによる細胞内小器官分解 | 山科 俊平 | 消化器内科学講座 | 600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 心臓の自己再生能力を賦活化させる試み | 松下 訓 | 心臓血管外科学講座 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 心臓周囲脂肪の炎症が心筋ミトコンドリア機能に与える影響 | 山本 平 | 心臓血管外科学講座 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 喫煙によるマウス肺組織傷害および肺胞再生に関わるmicroRNAの同定と治療応用 | 佐藤 匡 | 呼吸器内科学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 上皮間葉転換(EMT)を標的とした特異性肺線維症治療薬の新規開発 | 高橋 史行 | 院・呼吸器内科学 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| IgA腎症におけるCX3CR1/FKN/AIM axisの役割の解明 | 中田 純一郎 | 院・腎臓内科学 | 700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ポドサイトにおけるRac1が糖尿病性腎症の発症・進展に及ぼす影響についての検討 | 合田 朋仁 | 腎臓内科学講座 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| IgA腎症自然発症モデルマウスを用いた疾患感受性遺伝子の解明 | 堀越 哲 | 腎臓内科学講座 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 移植脂肪幹細胞の傷害腹膜における再生誘導機序の解明 | 濱田 千江子 | 腎臓内科学講座 | 700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 脳内酸化ストレス応答における腎交感神経系と尿管L-FABPの影響 | 金口 泰彦 | 腎臓内科学講座 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| パーキンソン病原因遺伝子産物によるミトコンドリア維持機構の解明 | 柴 佳保里 | 寄付・多発性硬化症・神経難病 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 筋萎縮性側索硬化症におけるイオンチャネル障害とRNA代謝障害に関する生理学的研究 | 金井 数明 | 神経学講座 | 200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 膵β細胞におけるメチル化酵素Set7/9の役割 | 荻原 健 | 代謝内分泌学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 血管新生阻害による関節リウマチの新規治療法の開発 | 野沢 和久 | 膠原病内科学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 遺伝性血管性浮腫におけるブラジキニン分解酵素活性の解析と疾患概念の確立 | 大澤 勲 | 腎臓内科学講座 | 600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| IL33受容体ST2遺伝子の発現制御によるアレルギー反応の抑制 | 前田 啓子 | 寄付・乳酸菌生体機能研究講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 消化管粘膜における免疫応答からみた低出生体重児に対するプロバイオティクスの有用性 | 清水 俊明 | 院・小児思春・病態学 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 胎児発育における母体のインスリン抵抗性とリパーゼ活性の役割の解明 | 平山 哲 | 臨床検査医学講座 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|--------|------------------|-----------|------------|
| 小児周産期領域におけるESBL産生菌の疫学およびプロバイオティクスによる伝播予防 | 久田 研 | 小児科学講座 | 900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 連続寝台移動型PET装置を用いた全身ダイナミック撮影による腫瘍診断に関する研究 | 村上 康二 | 院・放射線診断学 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 乳癌治療中の免疫モニタリングによる治療効果の予測 | 堀本 義哉 | 乳腺・内分泌外科学 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 改良型テロメスキャンを用いた大腸がん血中循環癌細胞の単離・機能解析と臨床応用 | 落合 匠 | 消外(下部消化管外科) | 600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| CAGE法による新規大腸がん肺転移マーカーの同定 | 柳沼 行宏 | 消外(下部消化管外科) | 900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| てんかん発作誘導が獲得するてんかん原性と慢性炎症～てんかん原性を予防する脳内環境 | 中島 円 | 院・脳神経外科学 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 先天性正常圧水頭症の原因遺伝子の探索と水頭症の発現機序の解明 | 宮嶋 雅一 | 脳神経外科学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 脳深部刺激術における局所フィールド電位測定に基づく刺激プログラミング法の開発 | 梅村 淳 | 寄付・運動障害疾患病態研究 | 200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 細菌性中耳炎におけるp38による中耳粘膜肥厚の分子制御とその治療 | 古川 正幸 | 耳鼻咽喉科学講座 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 難聴モデルマウス前庭の形態・機能評価と前庭を標的とした遺伝子導入の検討 | 岡田 弘子 | 耳鼻咽喉科学講座 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| アトピー眼症における組織線維化とナチュラルヘルパー細胞の制御 | 村上 晶 | 院・眼科学 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 二分脊椎症における排便・排尿障害の病態解明と新規予防・治療法を目指した基礎研究 | 山高 篤行 | 院・小児外科・泌尿生殖器 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 心不全における睡眠時無呼吸症と水分シフトの関係性の解明 | 葛西 隆敏 | 寄付・心血管睡眠呼吸医学講座 | 500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| アテロコラーゲン素材の生体吸収性液状血管閉鎖栓の開発 | 稀代 雅彦 | 小児科学講座 | 900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ミトコンドリア機能維持のための創薬スクリーニング | 今居 讓 | 寄付・パーキンソン病病態解明研究 | 1,700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 糖尿病の病態解明に向けた膵α細胞新生・成熟機構の解明 | 綿田 裕孝 | 院・代謝内分泌内科学 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 大腸癌細胞クラスター形成機構の解明と新規抗癌転移治療法への応用 | 五藤 倫敏 | 消外(下部消化管外科) | 900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| Metastatic dormancy活性化ニッチ分子機構解明と癌転移治療の応用 | 小島 豊 | 消外(下部消化管外科) | 900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 「希少癌」骨軟部腫瘍のチロシンキナーゼ遺伝子転写変異体の探索 | 末原 義之 | 整形外科科学講座 | 1,800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 幹細胞ホーミング機構によるiPS細胞の蝸牛への効率的誘導法の開発 | 神谷 和作 | 院・耳鼻咽喉科学 | 1,600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 癌微小環境の正常化による新規癌治療法の開発 | 折茂 彰 | 病理・腫瘍学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 悪性中皮腫の細胞表面巨大分子複合体による病態制御機構の解明 | 大沼 圭 | 寄付・免疫病・がん先端治療学 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 末梢血を用いて腫瘍性血小板増加症を診断する画期的診断法の確立 | 小松 則夫 | 院・血液内科学 | 900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 子宮内膜症の悪性化、浸潤能、治療抵抗性における線維芽細胞の役割 | 北出 真理 | 産婦人科学講座 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 糸球体内皮細胞“孔”を構成する蛋白質の特定 | 恩田 紀更 | 腎臓内科学講座 | 500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 原発不明癌の骨転移症例に対する血清あるいは尿を用いた原発巣の診断法の樹立 | 齋藤 剛 | 人体病理病態学講座 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 日本で画像検査の適応を効果的に改善させる介入プログラムの研究 | 隈丸 加奈子 | 放射線診断学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 細胞のポピュレーションに着目した骨髄増殖性腫瘍の線維化予測因子の探索 | 森下 総司 | 輸血学研究室 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|---------|----------------------|-----------|------------|
| 携帯メールを利用した胆道閉鎖症の便色スクリーニングシステムの構築 | 済陽 寛子 | 小児外科学講座 | 1,600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| インフルエンザの診断スコアリングシステム構築と迅速診断キットの適切な使用法の提言 | 種井 実佳 | 総合診療科研究室 | 700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 内皮eNOS-NO産生機構活性化における基底膜分子パールカン機能ドメインの探索 | 野中 里紗 | 神経学講座(ゲノム・再生医療センター宛) | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 冠動脈プラークの進展や不安定化における睡眠呼吸障害の関与を解明する | 土肥 智貴 | 循環器内科学講座 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| バートホッグ-デュベ症候群における肺嚢胞形成機序の解明 | 星加 義人 | 呼吸器内科学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 遺伝性パーキンソン病由来iPS細胞を用いたドパミン神経特異的疾患モデルの確立 | 石川 景一 | 神経学講座 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| わが国を中心とした先天性胆汁酸代謝異常症の包括的スクリーニング構築 | 成高 中之 | 小児科学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| わが国の小児における遺伝性・家族性膵炎の遺伝子変異の同定およびその臨床像の解明 | 箕輪 圭 | 小児科学講座 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| アクアポリン2を用いた低出生体重児の尿細管機能障害と慢性腎障害の病態解明 | 遠藤 周 | 小児科学講座 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 低出生体重児モデルラットにおいてARBは腎機能障害を抑制する | 村野 弥生 | 小児科学講座 | 2,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 胎仔におけるVPA副作用軽減のための服薬方法の開発 | 金城 智也 | 精神医学講座 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| Synthetic MRI・定量MRIによる最適コントラストの創出と病変解析 | 萩原 彰文 | 放射線診断学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 透明化脳と拡散MRIによる脳の加齢・変性における検討:病理と画像の3次元対比 | 佐藤 香菜子 | 放射線診断学講座 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 革新的拡散MRI技術、神経突起イメージングによるパーキンソン病の病態解明 | 鎌形 康司 | 院・放射線診断学 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 肛門腫瘍に対する強度変調小線源治療用アプリケーションの開発(3Dプリンター使用) | 久能木 裕明 | 放射線治療学講座 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| DNAメチル化不均一性の超高感度検出による大腸癌予後及び治療効果予測 | 杉本 起一 | 消外(下部消化管外科) | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| もやもや病における拡散MRIの臨床的意義確立 | 原 祥子 | 放射線診断学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 変形性関節症に伴う関節破壊および疼痛に対するVEGF受容体阻害薬の効果検証 | 長尾 雅史 | 整形外科学講座 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 変形性膝関節症の初期変化としての内側半月板側方偏位の機序解明 | 羽田 晋之介 | 整形外科学講座 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 骨巨細胞腫の発現データベース構築に基づいた新規治療法開発 | 大久保 武人 | 整形外科学講座 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ヒト末梢血白血球を用いた新たな分娩予測マーカーの開発 | 牧野 真太郎 | 産婦人科学講座 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 子宮内膜間葉系幹細胞の活性化と再生による妊娠能獲得メカニズムの解明 | 村上 圭祐 | 産婦人科学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 新規マイクロ流体チップを用いた子宮がんCTCの診断マーカー開発 | 大久保 はるな | 消外(下部消化管外科) | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 術中蛍光イメージングを用いた頭頸部癌ナビゲーションサージャリーの確立 | 大峽 慎一 | 耳鼻咽喉科学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 制御性T細胞のサブセットを用いた新規免疫抑制療法開発のための研究 | 猪俣 武範 | 眼科学講座 | 1,800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| アレルギー性結膜炎におけるILC2の役割 | 浅田 洋輔 | 眼科学講座 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| NSAIDsによる角膜上皮傷害はロイコトリエンB4第二受容体経路の阻害に起因する | 岩本 怜 | 眼科学講座 | 1,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 神経ガイダンス因子によるヒルシュスプルング病に対する新規再生治療法の開発 | 藤原 なほ | 小児外科学講座 | 1,600,000 | 補委 日本学術振興会 |

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|---------|----------------|-----------|------------|
| 難治性皮膚潰瘍に対する新たな治療法確立を目指す炭酸ガスレーザーの創傷治癒効果解析 | 上森 友樹 | 形成外科学講座 | 900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 運動強度に着目した異所性脂肪蓄積、インスリン抵抗性改善メカニズムの解明 | 竹野 景海 | 代謝内分泌学講座 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 家族性拡張型心筋症モデルにおける運動療法の確立 | 杉原 匡美 | 臨床検査医学講座 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 癌内線維芽細胞による癌悪性化におけるNotchシグナルの役割 | ワリ ナディア | 病理・腫瘍学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 抗癌剤抵抗性骨肉腫に対する新規治療法の開発 | 窪田 大介 | 整形外科学講座 | 1,700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| Distinct G protein-coupled receptors signaling pathway in the serrated neoplasia pathway and the conventional adenoma-carcinoma sequence of the colorectum | 村上 敬 | 消化器内科学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 胃底腺型胃癌の発癌機序の解明 | 上山 浩也 | 消化器内科学講座 | 500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 腹膜透析排液を用いた腹膜劣化の新規バイオマーカーの同定 | 出居 真由美 | 臨床検査医学講座 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 熱蛍光薄膜体を用いた真の投与線量分布評価システムの開発 | 黒河 千恵 | 放射線治療学講座 | 500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 放射線治療用コーンビームCTの散乱線除去グリッドの開発 | 臼井 桂介 | 放射線治療学講座 | 600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 肝線維化に伴う脾腫は単なるうっ血なのか？肝線維化進展と脾臓の免疫調節機能の関連 | 青山 友則 | 消化器内科学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 新規治療法を目指したオートファジー・カテプシンの糸球体硬化進展への関与の解明 | 高木 美幸 | 腎臓内科学講座 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 光遺伝学とiPS細胞技術を応用したパーキンソン病の新規治療法の開発 | 大山 彦光 | 神経学講座 | 500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| PPY細胞の細胞系譜制御機構の解明ー新規β細胞起源の探索 | 原 朱美 | 寄付・先進糖尿病治療学講座 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| オートファジーによる糖尿病発症・進展の抑制 | 小宮 幸次 | 代謝内分泌学講座 | 1,800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 細胞内シグナル伝達分子JAK2の変異特異的に活性化される転写因子の機能解析 | 枝廣 陽子 | 血液学講座 | 900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 副伝導路症候群実験モデルを用いたdyssynchronyの検討 | 福永 英生 | 小児科学講座 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ブタ肺静脈に対する薬剤溶出性ステント留置後の再狭窄における病理学的検討 | 古川 岳史 | 小児科学講座 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 滑膜に発現するパルカンの調整による変形性膝関節症の骨棘制御 | 金子 晴香 | 整形外科学講座 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| GABA動態から見た脳成長過程に与える吸入麻酔薬の影響に関する研究 | 安藤 望 | 麻酔・ペインクリニック | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 糖尿病勃起障害ラットモデルの低強度体外衝撃波治療有効性の分子メカニズムの解明 | 知名 俊幸 | 泌尿器科学講座 | 700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 粘表皮癌の各組織形態に基づいたキメラ融合遺伝子検出と新たな分子治療標的の同定 | 藤巻 充寿 | 耳鼻咽喉科学講座 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 膠原病四肢潰瘍に対する新しい血管・組織再生治療の開発 | 播野 裕子 | 形成外科学講座 | 900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 脂肪組織由来幹細胞の機能解明と培養細胞シートの開発 | 飯田 秀雄 | 皮膚科学講座 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 血液線維素溶解系による実質臓器の炎症性疾患の制御機構の解明とその臨床応用 | 田代 良彦 | 消外(下部消化管外科) | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 気胸検出を可能とする自作生体音響システムの改良と災害現場での応用 | 林 伸洋 | 救急・災害医学研究室 | 100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 筋音図を用いた嚥下機能の定量的評価とバイオフィードバックへの試み | 沖崎 貴子 | 耳鼻咽喉科学講座 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 悪性中皮腫治療に向けたCD26による細胞運動・浮遊増殖能獲得メカニズムの解明 | 古宮 栄利子 | 寄付・免疫病・がん先端治療学 | 900,000 | 補委 日本学術振興会 |

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|--------|----------------|------------|------------|
| 腎臓の発生に必須なSall1蛋白のポドサイト障害からの回復期・再生期における役割 | 細江 佳子 | 腎臓内科学講座 | 700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| CD26陽性CD8 T細胞を標的とした自己免疫疾患の病態解明と革新的治療法の開発 | 波多野 良 | 寄付・免疫病・がん先端治療学 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 視線計測を用いた極早産児における社会的認知機能の発達の变化に関する検討 | 細澤 麻里子 | 小児科学講座 | 600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 炎症性皮膚疾患の新規治療に向けた皮膚炎症におけるオートファジー機能解析 | 高木 敦 | 皮膚科学講座 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 大腸癌発生進展における機能性RNAの機能解析 | 高橋 里奈 | 消外(下部消化管外科) | 900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 発達期および老年期の脳内神経伝達からみた吸入麻酔薬の影響とその解析 | 菅澤 佑介 | 麻酔・ペインクリニック | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 糖尿病脂肪組織由来幹細胞の細胞生物学的特性の解明 | 須田 俊一 | 形成外科学講座 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 「希少癌」骨軟部腫瘍の迅速な新規治療法の開発 | 末原 義之 | 整形外科科学講座 | 11,200,000 | 補委 日本学術振興会 |

計 229 件

- (注)
- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 - 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
 - 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 発表者の所属 | 題名 | 雑誌名 |
|----|--|-------------|---|-------------------------------------|
| 1 | Yamanaka H, Nagaoka S, Lee SK, Bae SC, Kasama T, Kobayashi H, Nishioka Y, Ueki Y, Seto Y, Nishinarita M, Tamura N, Kimura N, Saito K, Tomita T, Nawata Y, Suzuki S, Ishigatsubo Y, Munakata Y, Makino Y, Inoue E, Tanaka Y, Takeuchi T | 膠原病・リウマチ内科学 | ENCOURAGE study group: Discontinuation of etanercept after achievement of sustained remission in patients with rheumatoid arthritis who initially had moderate disease activity—results from the ENCOURAGE study, a prospective, international, multicenter randomized study. | Mod Rheumatol 26:651–661, 2016 |
| 2 | Yamada Y, Ogasawara M, Gorai M, Matsuki Y, Murayama G, Sugisaki N, Nemoto T, Ando S, Minowa K, Nakano S, Kon T, Tada K, Matsushita M, Yamaji K, Tamura N, Takasaki Y. | 膠原病・リウマチ内科学 | The synovial grade corresponding to clinically involved joints and a feasible ultrasound-adjusted simple disease activity index for monitoring rheumatoid arthritis. | Mod Rheumatol 26:1–6, 2016 |
| 3 | Hayashi E, Chiba A, Tada K, Haga K, Kitagaichi M, Nakajima S, Kusaoi M, Sekiya F, Ogasawara M, Yamaji K, Tamura N, Takasaki Y, Miyake S. | 膠原病・リウマチ内科学 | Involvement of Mucosal-associated invariant T cells in Ankylosing Spondylitis. | J Rheumatol 43:1695–1703, 2016 |
| 4 | Abe Y, Tamura N, Yang KS, Matsuoka J, Kon T, Yamaji K, Hashimoto H, Tsuda H, Takasaki Y. | 膠原病・リウマチ内科学 | Predictive factors for mortality in elderly Japanese patients with severe microscopic polyangiitis: A retrospective single-center study. | Mod Rheumatol 27:315–319, 2016 |
| 5 | Kusaoi M, Yamaji K, Ishibe Y, Murayama G, Nemoto T, Sekiya F, Kon T, Ogasawara M, Kempe K, Tamura N, Takasaki Y | 膠原病・リウマチ内科学 | Separation of circulating microRNAs using apheresis in patients with systemic lupus erythematosus. | Ther Apher Dial 20:348–353, 2016 |
| 6 | Kitagaichi M, Kusaoi M, Tsukahara T, Murayama G, Nemoto T, Sekiya F, Kon T, Ogasawara M, Kempe K, Yamaji K, Tamura N, Tsuda H, Takasaki Y. | 膠原病・リウマチ内科学 | Safety and efficacy of the leukocytapheresis procedure in eighty-five patients with rheumatoid arthritis. | Transfus Apher Sci 55:225–232, 2016 |

| | | | | |
|----|--|-------------|---|--|
| 7 | Matsuki-Muramoto Y, Nozawa K, Uomori K, Sekigawa I, Takasaki Y. | 膠原病・リウマチ内科学 | Bortezomib treatment prevents glomerulosclerosis associated with lupus nephritis in a murine model through suppressive effects on the immune and renin-angiotensin systems. | Mod Rheumatol. 2016 May 11:1-10. |
| 8 | Uomori K, Nozawa K, Ikeda K, Doe K, Yamada Y, Yamaguchi A, Fujishiro M, Kawasaki M, Morimoto S, Takamori K, Sekigawa I, Chan EK, Takasaki Y. | 膠原病・リウマチ内科学 | A re-evaluation of anti-NA-14 antibodies in patients with primary Sjögren's syndrome: Significant role of interferon- γ in the production of autoantibodies against NA-14. | Autoimmunity. 2016 Jun 21:1-10 |
| 9 | Hachiya Y, Kawasaki A, Oka S, Kondo Y, Ito S, Matsumoto I, Kusaoi M, Amano H, Suda A, Setoguchi K, Nagai T, Shimada K, Sugii S, Okamoto A, Chiba N, Suematsu E, Ohno S, Katayama M, Kono H, Hirohata S, Takasaki Y, Hashimoto H, Sumida T, Nagaoka S, Tohma S, Furukawa H, Tsuchiya N. | 膠原病・リウマチ内科学 | Association of HLA-G 3' Untranslated Region Polymorphisms with Systemic Lupus Erythematosus in a Japanese Population: A Case-Control Association Study. | PLoS One. 2016 22;11(6), |
| 10 | Kawasaki A, Hasebe N, Hidaka M, Hirano F, Sada KE, Kobayashi S, Yamada H, Furukawa H, Yamagata K, Sumida T, Miyasaka N, Tohma S, Ozaki S, Matsuo S, Hashimoto H, Makino H, Arimura Y, Harigai M, Tsuchiya N. | 膠原病・リウマチ内科学 | Protective Role of HLA-DRB1*13:02 against Microscopic Polyangiitis and MPO-ANCA-Positive Vasculitides in a Japanese Population: A Case-Control Study. | PLoS One. 2016 May 11;11(5):e0154393. doi: 10.1371/journal.pone.0154393. eCollection 2016. |
| 11 | Nishizaki N, Yamagami S, Inoue H, Uehara Y, Kobayashi S, Daida H. | 膠原病・リウマチ内科学 | Reactive arthritis caused by urinary tract infection: a case report. | Internal Med 2016; 55(9): 1195-8 |
| 12 | Miyashita T, Morimoto S, Fujishiro M, Hayakawa K, Suzuki S, Ikeda K, Miyazawa K, Morioka M, Takamori K, Ogawa H, Sekigawa I, Takasaki Y. | 膠原病・リウマチ内科学 | Inhibition of each module of connective tissue growth factor as a potential therapeutic target for rheumatoid arthritis. | Autoimmunity. 2016;49(2):109-14.(Impact factor:2.629) |
| 13 | Yamada Y, Nozawa K, Nakano S, Mitsuo Y, Hiruma K, Doe K, Sekigawa I, Yamanaka K, Takasaki Y. | 膠原病・リウマチ内科学 | Antibodies to microtubule-associated protein-2 in the cerebrospinal fluid are a useful diagnostic biomarker for neuropsychiatric systemic lupus erythematosus. | Mod Rheumatol. 2016 Jul;26(4):562-8.(Impact Factor:2.206) |

| | | | | |
|----|--|-------------|---|---|
| 14 | Tsuru T, Tanaka Y, Kishimoto M, Saito K, Yoshizawa S, Takasaki Y, Miyamura T, Niiro H, Morimoto S, Yamamoto J, Lledo-Garcia R, Shao J, Tatematsu S, Togo O, Koike T. | 膠原病・リウマチ内科学 | Safety, pharmacokinetics, and pharmacodynamics of epratuzumab in Japanese patients with moderate-to-severe systemic lupus erythematosus: Results from a phase 1/2 randomized study. | Mod Rheumatol. 2016;26(1):87-93.(Impact Factor:2.206) |
| 15 | Minowa K, Amano H, Ando S, Watanabe T, Ogasawara M, Kawano S, Kaneko T, Morimoto S, Yamaji K, Tamura N, Tokano Y, Hashimoto H, Takasaki Y. | 膠原病・リウマチ内科学 | Disease Flare Patterns and Predictors of Systemic Lupus Erythematosus in a Monocentric Cohort of 423 Japanese Patients during a Long-term Follow-up: the JUDE Study. | Mod Rheumatol. 2016;1-21.(Impact Factor :2.206) |
| 16 | Maya KAMIJO, Akino WADA, Reiko MINEKI, Tamami SAKANISHI, Shigaku IKEDA | 皮膚科学・アレルギー学 | Prostaglandin E receptor 4 inhibition restores UVB-induced downregulation of ATP2A2/SERCA2 in cultured normal human keratinocytes | J Dermatological Science, 2016; 81:61-73 |
| 17 | A. KAMO, M. TOMINAGA, H. MATSUDA, K. KINA, Y. KAMATA, Y. UMEHARA, H. OGAWA, K. TAKAMORI | 皮膚科学・アレルギー学 | Neurotropin suppresses itch-related behavior in NC/Nga mice with atopic dermatitis-like symptoms | J Dermatological Science, 2016; 81:212-215 |
| 18 | Teye K, Suga Y, Numata S, Soejima M, Ishii N, Krol RP, Ohata C, Matsuda M, Honma M, Ishida-Yamamoto A, Hamada T, Koda Y, Hashimoto T. | 皮膚科学・アレルギー学 | A founder deletion of corneodesmosin gene is prevalent in Japanese patients with peeling skin disease: Identification of 2 new cases. | J Dermatological Science, 2016; 82:134-137 |
| 19 | Y. Ise, Y. Suga, K. Okumura, O. Negi, N. Ishii, T. Hashimoto | 皮膚科学・アレルギー学 | Erythematous Variety of Bullous Pemphigoid: Case Report and Literature Review. | Acta Derm Venerol. 2016;96;3:412-413 |
| 20 | H. NOGUUCHI, Masatro HIRUMA, A. MIYASHITA, K. MAKINO, K. MIYATA, H. IHN | 皮膚科学・アレルギー学 | A case of fingernail onychomycosis due to <i>Aspergillus flavus</i> | Med. Mycol. J., 2016;57:E21-25 |

| | | | | |
|----|---|-------------|--|---|
| 21 | Sakiko Shimura, Toshiro Takai, Hideo Iida, Natsuko Maruyama, Hirono Ochi, Seiji Kamijo, Izumi Nishioka, Mutsuko Hara, Akira Matsuda, Hirohisa Saito, Susumu Nakae, Hideoki Ogawa, Ko Okumura, Shigaku Ikeda | 皮膚科学・アレルギー学 | Epicutaneous Allergic Sensitization by Cooperation between Allergen Protease Activity and Mechanical Skin Barrier Damage in Mice | Journal of Investigative Dermatology, 2016; 136:1408-1417 |
| 22 | Teye K, Suga Y, Numata S, Soejima M, Ishii N, Krol RP, Ohata C, Matsuda M, Honma M, Ishida-Yamamoto A, Hamada T, Koda Y, Hashimoto T. | 皮膚科学・アレルギー学 | A founder deletion of corneodesmosin gene is prevalent in Japanese patients with peeling skin disease: Identification of 2 new cases | J. Dermatol. Science 2016;82(2):134-137 |
| 23 | Kanazawa K, Okumura K, Ogawa H, Niyonsaba F. | 皮膚科学・アレルギー学 | An antimicrobial peptide with angiogenic properties, AG-30/5C, activates human mast cells through the MAPK and NF- κ B pathways | Immunol Res. 2016;64(2):594-603 |
| 24 | Noguchi H, Hiruma M, Maruo K, Jono M, Miyata K, Tanaka H, Tanabe K, Miyazaki Y, Ihn H. | 皮膚科学・アレルギー学 | Localized cutaneous Cryptococcosis: Summary of reported cases in Japan | Med. Mycol. J., 2016;57:E35-39 |
| 25 | C. Kiatsurayanon, F Niyonsaba, P. Chieosilapatham, K. Okumura, S. Ikeda, H. Ogawa | 皮膚科学・アレルギー学 | Angiogenic peptide (AG)-30/5C activates human keratinocytes to produce cytokines/chemokines and to migrate and proliferative <i>via</i> MrgX receptors | J Dermatol. Sci. 2016;83:190-199 |
| 26 | Yuichiro Tsunemi, Masataro Hiruma | 皮膚科学・アレルギー学 | Clinical study of Dermatophyte Test Strip, an immunochromatographic method, to detect tinea unguium dermatophytes | J of Dermatology 2016; 43:1417-1423 |
| 27 | Kamata Y, Kimura U, Matsuda H, Tengara S, Kamo A, Umehara Y, Iizumi K, Kawasaki H, Suga Y, Ogawa H, Tominaga M, Takamori K | 皮膚科学・アレルギー学 | Relationships among plasma granzyme B level, pruritus and dermatitis in patients with atopic dermatitis | J Dermatol Sci. 2016 ;84(3):266-271 |

| | | | | |
|----|---|-------------|--|---|
| 28 | Suzuki M, Hara M, Ichikawa S, Kamijo S, Nakazawa T, Hatanaka H, Akiyama K, Ogawa H, Okumura K, Takai T. | 皮膚科学・アレルギー学 | Presensitization to <i>Ascaris</i> antigens promotes induction of mite-specific IgE upon mite antigen inhalation in mice | Allergol Int. 2016 Jan;65(1):44-51. doi: 10.1016/j.alit.2015.07.003. |
| 29 | Nakayama H, Kurihara H, Morita YS, Kinoshita T, Mauri L, Prinetti A, Sonnino S, Yokoyama N, Ogawa H, Takamori K, Iwabuchi K | 皮膚科学・アレルギー学 | Lipoarabinomannan binding to lactosylceramide in lipid rafts is essential for the phagocytosis of mycobacteria by human neutrophils. | Sci Signal. 2016 Oct 11;9(449):ra101. |
| 30 | Yashiro T, Hara M, Ogawa H, Okumura K, Nishiyama C. | 皮膚科学・アレルギー学 | Critical Role of Transcription Factor PU.1 in the Function of the OX40L/TNFSF4 Promoter in Dendritic Cells. | Sci Rep. 2016 Oct 6;6:34825. doi: 10.1038/srep34825. |
| 31 | Noguchi A, Tominaga M, Takahashi N, Matsuda H, Kamata Y, Umehara Y, Ko KC, Suga Y, Ogawa H, Takamori K. | 皮膚科学・アレルギー学 | Differences in therapeutic effects of topically applied corticosteroid and tacrolimus on atopic dermatitis-like symptoms in NC/Nga mice. | J Dermatol Sci. 2016 Dec 24. pii: S0923-1811(16)31080-5. doi: 10.1016/j.jdermsci.2016.12.015. [Epub ahead of print] |
| 32 | Kamijo S, Suzuki M, Hara M, Shimura S, Ochi H, Maruyama N, Matsuda A, Saito H, Nakae S, Suto H, Ichikawa S, Ikeda S, Ogawa H, Okumura K, Takai T. | 皮膚科学・アレルギー学 | Subcutaneous Allergic Sensitization to Protease Allergen Is Dependent on Mast Cells but Not IL-33: Distinct Mechanisms between Subcutaneous and Intranasal Routes. | J Immunol. 2016 May 1;196(9):3559-69. doi: 10.4049/jimmunol.1500717. |
| 33 | Kamijo S, Nunomura S, Ra C, Kanaguchi Y, Suzuki Y, Ogawa H, Okumura K, Takai T. | 皮膚科学・アレルギー学 | Innate basophil IL-4 responses against allergens, endotoxin, and cytokines require the Fc receptor γ -chain. | J Allergy Clin Immunol. 2016 May;137(5):1613-1615.e2. doi: 10.1016/j.jaci.2015.10.037. |
| 34 | Kusube F, Tominaga M, Kawasaki H, Yamakura F, Naito H, Ogawa H, Tomooka Y, Takamori K. | 皮膚科学・アレルギー学 | Electrophysiological properties of brain-natriuretic peptide- and gastrin-releasing peptide-responsive dorsal horn neurons in spinal itch transmission. | Neurosci Lett. 2016 Aug 3;627:51-60. doi: 10.1016/j.neulet.2016.05.051. |

| | | | | |
|----|--|-------------|---|---|
| 35 | Miura R, Kasakura K, Nakano N, Hara M, Maeda K, Okumura K, Ogawa H, Yashiro T, Nishiyama C. | 皮膚科学・アレルギー学 | Role of PU.1 in MHC Class II Expression via CIITA Transcription in Plasmacytoid Dendritic Cells | PLoS One. 2016 Apr 22;11(4):e0154094. doi: 10.1371/journal.pone.0154094. |
| 36 | Torigoe K, Tominaga M, Ko KC, Takahashi N, Matsuda H, Hayashi R, Ogawa H, Takamori K. | 皮膚科学・アレルギー学 | Intrathecal Minocycline Suppresses Itch-Related Behavior and Improves Dermatitis in a Mouse Model of Atopic Dermatitis | J Invest Dermatol. 2016 Apr;136(4):879-81. doi: 10.1016/j.jid.2015.12.037 |
| 37 | Honjo A, Nakano N, Yamazaki S, Hara M, Uchida K, Kitaura J, Nishiyama C, Yagita H, Ohtsuka Y, Ogawa H, Okumura K, Shimizu T. | 皮膚科学・アレルギー学 | Pharmacologic inhibition of Notch signaling suppresses food antigen-induced mucosal mast cell hyperplasia | J Allergy Clin Immunol. 2016 Jul 16. pii: S0091-6749(16)30629-7. doi: 10.1016/j.jaci.2016.05.046. |
| 38 | Kamo A, Tominaga M, Matsuda H, Kina K, Kamata Y, Umehara Y, Ogawa H, Takamori K. | 皮膚科学・アレルギー学 | Neurotropin suppresses itch-related behavior in NC/Nga mice with atopic dermatitis-like symptoms | J Dermatol Sci. 2016 Mar;81(3):212-5. doi: 10.1016/j.jdermsci.2015.11.014 |
| 39 | Ko KC, Tominaga M, Kamata Y, Umehara Y, Matsuda H, Takahashi N, Kina K, Ogawa M, Ogawa H, Takamori K. | 皮膚科学・アレルギー学 | Possible Antipruritic Mechanism of Cyclosporine A in Atopic Dermatitis. | Acta Derm Venereol. 2016 Jun 15;96(5):624-9. doi: 10.2340/00015555-2318. |
| 40 | Miyashita T, Morimoto S, Fujishiro M, Hayakawa K, Suzuki S, Ikeda K, Miyazawa K, Morioka M, Takamori K, Ogawa H, Sekigawa I, Takasaki Y. | 皮膚科学・アレルギー学 | Inhibition of each module of connective tissue growth factor as a potential therapeutic target for rheumatoid arthritis. | Autoimmunity. 2016;49(2):109-14. doi: 10.3109/08916934.2015.1113405. |
| 41 | Kanazawa K, Okumura K, Ogawa H, Niyonsaba F. | 皮膚科学・アレルギー学 | An antimicrobial peptide with angiogenic properties, AG-30/5C, activates human mast cells through the MAPK and NF- κ B pathways. | Immunol Res. 2016 Apr;64(2):594-603. doi: 10.1007/s12026-015-8759-5. |

| | | | | |
|----|--|-------------|---|---|
| 42 | Nakamura Y, Nakano N, Ishimaru K, Ando N, Katoh R, Suzuki-Inoue K, Koyanagki S, Ogawa H, Okumura K, Shibata S, Nakao A. | 皮膚科学・アレルギー学 | Inhibition of IgE-mediated allergic reactions by pharmacologically targeting the circadian clock | J Allergy Clin Immunol. 2016 Apr;137(4):1226-35. doi: 10.1016/j.jaci.2015.08.052. |
| 43 | Misaki K, Takamura-Enya T, Ogawa H, Takamori K, Yanagida M. | 皮膚科学・アレルギー学 | Tumour-promoting activity of polycyclic aromatic hydrocarbons and their oxygenated or nitrated derivatives. | Mutagenesis. 2016 Mar;31(2):205-13. doi: 10.1093/mutage/gev076. |
| 44 | Endo S, Yoshitake H, Tsukamoto H, Matsuura H, Kato K, Sakuraba M, Takamori K, Fujiwara H, Takeda S, Araki Y. | 皮膚科学・アレルギー学 | TEX101, a glycoprotein essential for sperm fertility, is required for stable expression of Ly6k on testicular germ cells. | Sci Rep. 2016 Mar 23;6:23616. doi: 10.1038/srep23616. |
| 45 | Kumada H, Miyakawa H, Muramatsu T, Ando N, Oh T, Takamori K, Nakamoto H. | 皮膚科学・アレルギー学 | Efficacy of nalfurafine hydrochloride in patients with chronic liver disease with refractory pruritus: A randomized, double-blind trial. | Hepato Res. 2016 Oct 18. doi: 10.1111/hepr.12830 |
| 46 | Kamata Y, Tominaga M, Takamori K. | 皮膚科学・アレルギー学 | Itch in Atopic Dermatitis Management. | Curr Probl Dermatol. 2016;50:86-93. doi: 10.1159/000446048. |
| 47 | Uomori K, Nozawa K, Ikeda K, Doe K, Yamada Y, Yamaguchi A, Fujishiro M, Kawasaki M, Morimoto S, Takamori K, Sekigawa I, Chan EK, Takasaki Y. | 皮膚科学・アレルギー学 | A re-evaluation of anti-NA-14 antibodies in patients with primary Sjögren's syndrome: Significant role of interferon- γ in the production of autoantibodies against NA-14. | Autoimmunity. 2016 Aug;49(5):347-56. doi: 10.1080/08916934.2016.1196676. |
| 48 | Yoshitake H, Oda R, Yanagida M, Kawasaki Y, Sakuraba M, Takamori K, Hasegawa A, Fujiwara H, Araki Y. | 皮膚科学・アレルギー学 | Identification of an anti-sperm auto-monoclonal antibody (Ts4)-recognized molecule in the mouse sperm acrosomal region and its inhibitory effect on fertilization in vitro. | J Reprod Immunol. 2016 Jun;115:6-13. doi: 10.1016/j.jri.2016.04.001. |

| | | | | |
|----|---|-------------|---|---|
| 49 | Fukaura R, Takeichi T, Okuno Y, Kojima D, Kono M, Sugiura K, Suga Y, Akiyama M. | 皮膚科学・アレルギー学 | Striate Palmoplantar Keratoderma Showing Transgrediens in a Patient Harboring Heterozygous Nonsense Mutations in both DSG1 and SERPINB7. | Acta Derm Venereol. 2016 Oct 27. doi: 10.2340/00015555-2553 |
| 50 | Yuichiro Haba, Toshio Naito and Hiroshi Isonuma. | 総合診療科学 | Analysis of 1,044 Cases of Eosinophilia at the Department of General Medicine. | 日本病院総合診療医学会雑誌 第10巻2号1-9. 2016.6 |
| 51 | Takahashi H1, Kutasy B1, Friedmacher F1, Takahashi T1, Puri P2. | 総合診療科学 | Expression of hepatic lipid droplets is decreased in the nitrofen model of congenital diaphragmatic hernia. | Pediatr Surg Int. 2016 Feb;32(2):155-60. doi: 10.1007/s00383-015-3827-4. Epub 2015 Dec 9. |
| 52 | Fujibayashi K, Hayashi M, <u>Yokokawa H</u> , Naito T. | 総合診療科学 | Changes in antidiabetic prescription patterns and indicators of diabetic control among 200,000 patients over 13 years at a single institution in Japan. | Diabetol Metab Syndr 8:72, 2016, |
| 53 | Kudo N, <u>Yokokawa H</u> *, Fukuda H, Hisaoka T, Isonuma H, Naito T. | 総合診療科学 | Associations between health literacy and healthy lifestyle characteristics among Japanese outpatients with lifestyle-related disorders. | J Gen Fam Med 17: 299-306, 2016, |
| 54 | Okamoto A, <u>Yokokawa H</u> , Sanada H, Naito T. | 総合診療科学 | Changes in levels of biomarkers associated with adipocyte function and insulin and glucagon kinetics during treatment with dapagliflozin among obese type 2 diabetes mellitus (T2DM) patients. | Drugs RD 16: 255-261, 2016, |
| 55 | Fujibayashi K, Gunji T, <u>Yokokawa H</u> , Naito T, Sasabe N, Okumura M, Iijima K, Shibuya K, Hisaoka T, Fukuda H. | 総合診療科学 | The Relationships between Metabolic Disorders (Hypertension, Dyslipidemia, and Impaired Glucose Tolerance) and Computed Tomography-Based Indices of Hepatic Steatosis or Visceral Fat Accumulation in Middle-Aged Japanese Men. | PLoS One. 2016 Mar 3;11(3):e0149689. |

| | | | | |
|----|--|--------|---|--|
| 56 | Yokokawa H, Yuasa M, Nedsuwan S, Moolphate S, Fukuda H, Kitajima T, Minematsu K, Tanimura S, Marui E. | 総合診療科学 | Daily salt intake estimated by overnight urine collections and basic characteristics of participants with a high cardiovascular disease risk in Thailand. | Asia Pac J Clin Nutr. 25: 39-45, 2016, |
| 57 | Yokokawa H, Fukuda H, Yuasa M, Sanada H, Hisaoka T, Naito T. | 総合診療科学 | Association between health literacy and metabolic syndrome or healthy lifestyle characteristics among community-dwelling Japanese people. | Diabetol Metab syndr. 8: 30, 2016, |
| 58 | Fujibayashi K, Hayashi M, Yokokawa H, Naito T. | 総合診療科学 | Changes in antidiabetic prescription patterns and indicators of diabetic control among 200,000 patients over 13 years at a single institution in Japan. | Diabetol Metab Syndr. 2016 Nov 10;8:72. |
| 59 | Hirohide Yokokawa, Motoyuki Yuasa, Supalert Nedsuwan, Saiyud Moolphate, Hiroshi Fukuda, Tsutomu Kitajima, Kazuo Minematsu, Susumu Tanimura, Eiji Marui | 総合診療科学 | Daily salt intake estimated by overnight urine collections indicates a high cardiovascular disease risk in Thailand | Asia Pacific Journal of Clinical Nutrition, 2016;25(1):39-45 |
| 60 | Nagako Kudo, Hirohide Yokokawa, Hiroshi Fukuda, Teruhiko Hisaoka, Hiroshi Isonuma, Toshio Naito | 総合診療科学 | Analysis of Associations between Health Literacy and Healthy Lifestyle Characteristics among Japanese Outpatients with Lifestyle-related Disorders | Journal of General and Family Medicine, 2016;17(4):299-306 |
| 61 | Naito T. | 総合診療科学 | Should Inflammatory Markers Be Used in the Diagnosis of a Fever of Unknown Origin? | Intern Med. 2016; 55: 1407 |
| 62 | Yokokawa H, Fukuda H, Suzuki A, Fujibayashi K, Naito T, Uehara Y, Nakayama A, Matsuo H, Sanada H, Jose PA, Miwa Y, Hisaoka T, Isonuma H | 総合診療科学 | Association Between Serum Uric Acid Levels/Hyperuricemia and Hypertension Among 85,286 Japanese Workers. | J Clin Hypertens (Greenwich). 2016; 18: 53-59 |

| | | | | |
|----|---|--------|--|---|
| 63 | Suzuki A, Uehara Y, Saita M, Inui A, Isonuma H, Naito T. | 総合診療科学 | Raltegravir and Abacavir/Lamivudine in Japanese Treatment-Naïve and Treatment-Experienced Patients with HIV Infection: a 48-Week Retrospective Pilot Analysis. | Jpn J Infect Dis. 2016; 69: 33-38 |
| 64 | Inui A, Naito T. | 総合診療科学 | A Case of IgG4-Related Disease Admitted with CRP Elevation of Unknown Origin. | Juntendo Medical Journal. 2016; 62: 228-231 |
| 65 | Naito T. | 総合診療科学 | Clinical Approach to Febrile Patients. | Juntendo Medical Journal. 2016; 62: 224-227 |
| 66 | Morita F, Hirai Y, Suzuki K, Uehara Y, Mitsuhashi K, Amano A, Naito T. | 総合診療科学 | Infective endocarditis and Sjögren's syndrome diagnosed simultaneously. | IDCases. 2016; Nov: 22(7)6-8. |
| 67 | Liao CW, Fu CJ, Kao CY, Lee YL, Chen PC, Chuang TW, Naito T, Chou CM, Huang YC, Bonfim I, Fan CK. | 総合診療科学 | Prevalence of intestinal parasitic infections among school children in capital areas of the Democratic Republic of São Tomé and Príncipe, West Africa. | Afr Health Sci. 2016; Sep: 16(3): 690-697. |
| 68 | Suzuki K, Hirai Y, Morita F, Uehara Y, Oshima H, Mitsuhashi K, Amano A, Naito T. | 総合診療科学 | A case of infective endocarditis along with a ruptured valve caused by Streptococcus agalactiae in an immunocompetent man. | IDCases. 2016; Nov: 26: 94-96. |
| 69 | Fukui S, Uehara Y, Fujibayashi K, Takahashi O, Hisaoka T, Naito T. | 総合診療科学 | Bacteraemia predictive factors among general medical inpatients: a retrospective cross-sectional survey in a Japanese university hospital. | BMJ Open. 2016; Jul: 7: 6(7): e010527. |

| | | | | |
|----|--|---------|---|---|
| 70 | Okamoto A, Yokokawa H, Sanada H, Naito T. | 総合診療科学 | Changes in Levels of Biomarkers Associated with Adipocyte Function and Insulin and Glucagon Kinetics During Treatment with Dapagliflozin Among Obese Type 2 Diabetes Mellitus Patients. | Drugs R D. 2016; Sep; 16(3): 255-261. |
| 71 | Kawasaki A, Hasebe N, Hidaka M, Hirano F, Sada KE, Kobayashi S, Yamada H, Furukawa H, Yamagata K, Sumida T, Miyasaka N, Tohma S, Ozaki S, Matsuo S, Hashimoto H, Makino H, Arimura Y, Harigai M, Tsuchiya N. | 総合診療科学 | Protective Role of HLA-DRB1*13:02 against Microscopic Polyangiitis and MPO-ANCA-Positive Vasculitides in a Japanese Population: A Case-Control Study. | PLoS One. 2016 May 11;11(5):e0154393. doi: 10.1371/journal.pone.0154393. eCollection 2016. |
| 72 | Nishizaki N, Yamagami S, Inoue H, Uehara Y, Kobayashi S, Daida H | 総合診療科学 | Reactive arthritis caused by urinary tract infection: a case report. | Internal Med 2016; 55(9): 1195-8 |
| 73 | Kada A, Yonemoto N, Yokoyama H, Nonogi H; J-PULSE III Investigators, Hanada H, Hase M, Sakamoto T, Kasaoka S, Kikuti M, Nagao K, Sase K, Kimura K, Sumiyoshi T, Fujimoto K, Hisao O, Shirai S, Kanemitsu M, Hayashi K; J-PULSE III | 臨床薬理学 | Association between accessibility to emergency cardiovascular centers and cardiovascular mortality in Japan. | Int J Qual Health Care. 2016 Jun;28(3):281-7. doi: 10.1093/intqhc/mzw019. Epub 2016 Feb 25. |
| 74 | Kawakami I, Iseki E, Kasanuki K, Minegishi M, Sato K, Hino H, Shibuya K, Fujisawa K, Higashi S, Akiyama H, Furuta A, Takanashi M, Li Y, Hattori N, Mitsuyama Y, Arai H. | 精神・行動科学 | A family with hereditary diffuse leukoencephalopathy with spheroids caused by a novel c.2442+2T>C mutation in the CSF1R gene. | J Neurol Sci. 2016 Aug 15;367:349-55. |
| 75 | Higashiyama R, Ohnuma T, Takebayashi Y, Hanzawa R, Shibata N, Yamamori H, Yasuda Y, Kushima I, Aleksic B, Kondo K, Ikeda M, Hashimoto R, Iwata N, Ozaki N, Arai H. | 精神・行動科学 | Association of copy number polymorphisms at the promoter and translated region of COMT with Japanese patients with schizophrenia. | Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet. 2016 Apr;171B(3):447-57. |
| 76 | Ohnuma T, Toda A, Kimoto A, Takebayashi Y, Higashiyama R, Tagata Y, Ito M, Ota T, Shibata N, Arai H. | 精神・行動科学 | Benefits of use, and tolerance of, medium-chain triglyceride medical food in the management of Japanese patients with Alzheimer's disease: a prospective, open-label pilot study. | Clin Interv Aging. 2016 Jan 8;11:29-36. |

| | | | | |
|----|---|---------|---|---|
| 77 | Komatsu T, Nomura T, Takami H, Sakamoto S, Mizuno K, Sekii H, Hatta K, Sugita M. | 精神・行動科学 | Catatonic symptoms appearing before autonomic symptoms help distinguish neuroleptic malignant syndrome from malignant catatonia. | Internal Medicine 55: 2893-2897, 2016 |
| 78 | Kondo D, Ota K, Kasanuki K, Fujishiro H, Chiba Y, Murayama N, Sato K, Hirayasu Y, Arai H, Iseki E. | 精神・行動科学 | Characteristics of mild cognitive impairment tending to convert into Alzheimer's disease or dementia with Lewy bodies: A follow-up study in a memory clinic. | J Neurol Sci. 2016 Oct 15;369:102-8. |
| 79 | UMEMURA, A., OYAMA, G., SHIMO, Y., NAKAJIMA, M., NAKAJIMA, A., JO, T., Sekimoto, S., Ito, M., Mitsuhashi, T., Hattori, N., ARAI, H. | 精神・行動科学 | Current Topics in Deep Brain Stimulation for Parkinson Disease. | Neurol Med Chir. 2016;56(10):613-625. |
| 80 | Kobayashi N, Shinagawa S, Nagata T, Shimada K, Shibata N, Ohnuma T, Kasanuki K, Arai H, Yamada H, Nakayama K, Kondo K. | 精神・行動科学 | Development of Biomarkers Based on DNA Methylation in the NCAPH2/LMF2 Promoter Region for Diagnosis of Alzheimer's Disease and Amnesic Mild Cognitive Impairment. | PLoS One. 2016 Jan 7;11(1) |
| 81 | Arai H, Sumitomo K, Sakata Y, Daidoji K, Takase T, Toyoda T. | 精神・行動科学 | Disease state changes and safety of long-term donepezil hydrochloride administration in patients with Alzheimer's disease: interim results from the long-term, large-scale J-GOLD study in Japan. | Psychogeriatrics. 2016 Mar;16(2):107-15. |
| 82 | Chiba Y, Iseki E, Fujishiro H, Ota K, Kasanuki K, Suzuki M, Hirayasu Y, Arai H, Sato K. | 精神・行動科学 | Early differential diagnosis between Alzheimer's disease and dementia with Lewy bodies: Comparison between (18)F-FDG PET and (123)I-IMP SPECT. | Psychiatry Res. 2016 Mar 30;249:105-12. |
| 83 | Kirino E. | 精神・行動科学 | Effect of topiramate in Japanese patients with binge eating behavior. | Current Topics in Pharmacology. 20: 81-85. 2016 |

| | | | | |
|----|--|---------|---|--|
| 84 | Ito M, Bolati K, Kinjo T, Ichimura K, Furuta A, McLoughlin DMDM, et al. | 精神・行動科学 | Electroconvulsive stimulation transiently enhances the permeability of the rat blood-brain barrier and induces astrocytic changes. | Brain Res Bull. 2016;128:92-7. |
| 85 | Nakazawa T, Hashimoto R, Sakoori K, Sugaya Y, Tanimura A, Hashimotodani Y, Ohi K, Yamamori H, Yasuda Y, Umeda-Yano S, Kiyama Y, Konno K, Inoue T, Yokoyama K, Inoue T, Numata S, Ohnuma T, Iwata N, Ozaki N. | 精神・行動科学 | Emerging roles of ARHGAP33 in intracellular trafficking of TrkB and pathophysiology of neuropsychiatric disorders. | Nat Commun. 2016 Feb 3;7:10594. |
| 86 | Okumura Y, Hatta K, Wada K, Takeuchi T, Kishi Y, DELIRIA-J Group | 精神・行動科学 | Expert opinions on the first-line pharmacological treatment for delirium in Japan: A conjoint analysis. | International Psychogeriatrics 2016 Jun;28(6):1041-50. |
| 87 | Nishioka K, Hayashi T, Suzuki M, Li Y, Nakayama S, Matsushima T, Usui C, Shibata N, Motoi Y, Tanaka R, Nishioka K, Hattori N. | 精神・行動科学 | Fibromyalgia syndrome and cognitive dysfunction in elderly: a case series. | Int J Rheum Dis. 19: 21-9, 2016 |
| 88 | Tanaka S, Kirino E | 精神・行動科学 | Functional connectivity of the dorsal striatum in female musicians. | Frontiers in Human Neuroscience 10: PMID: 27148025. 2016 doi: 10.3389/fnhum.2016.00178 |
| 89 | Tanaka S, Kirino E | 精神・行動科学 | Functional connectivity of the precuneus in female university students with long-term musical training. | Frontiers in Human Neuroscience 10: PMID: 27148025. 2016 doi: 10.3389/fnhum.2016.00178 |
| 90 | Suzuki A, Shibata N, Kasanuki K, Nagata T, Shinagawa S, Kobayashi N, Ohnuma T, Takeshita Y, Kawai E, Takayama T, Nishioka K, Motoi Y, Hattori N, Nakayama K, Yamada H, Arai H. | 精神・行動科学 | Genetic Association between Presenilin 2 Polymorphisms and Alzheimer's Disease and Dementia of Lewy Body Type in a Japanese Population. | Dement Geriatr Cogn Dis Extra.2016 Mar 16;6(1):90-7. |

| | | | | |
|----|--|---------|---|---|
| 91 | Taniguchi N, Takahashi M, Kizuka Y, Kitazume S, Shuvaev VV, Ookawara T, Furuta A | 精神・行動科学 | Glycation vs. glycosylation: a tale of two different chemistries and biology in Alzheimer's disease. | Glycoconj J, 2016; 33: 487-497 |
| 92 | Nishioka K, Uchida T, Usui C, Tanaka R, Matsushima T, Matsumoto Y, Nakamura I, Nishioka K, Hattori N. | 精神・行動科学 | High prevalence of anti-TSH receptor antibody in fibromyalgia syndrome. | Int J Rheum Dis. 2016 Nov 30. |
| 93 | Arai H, Nakamura Y, Taguchi M, Kobayashi H, Yamauchi K, Schneider LS; J-CATIA Study Group.. | 精神・行動科学 | Mortality risk in current and new antipsychotic Alzheimer's disease users: Large scale Japanese study. | Alzheimers Dement.2016 Jul;12(7):823-30. |
| 94 | Ota K, Fujishiro H, Kasanuki K, Kondo D, Chiba Y, Murayama N, Arai H, Sato K, Iseki E. | 精神・行動科学 | Prediction of later clinical course by a specific glucose metabolic pattern in non-demented patients with probable REM sleep behavior disorder admitted to a memory clinic: A case study. | Psychiatry Res. 2016 Feb 28;248:151-8. |
| 95 | Maeshima H, Baba H, Satomura E, Shimano T, Inoue M, Ishijima S, Suzuki T, Arai H. | 精神・行動科学 | Residual memory impairment in remitted depression may be a predictive factor for recurrence. | J Clin Psychiatry. 2016 Feb;77(2):247-51. |
| 96 | Arai H, Umemura K, Ichimiya Y, Iseki Ei, Eto K, Kirino E, Shibata N, Baba H, Tsuchiwata S, Miyasato M, Ishikawa N. | 精神・行動科学 | Safety and Pharmacokinetics of Bapineuzumab in a Single Ascending Dose Study in Japanese Patients with Mild-to-Moderate Alzheimer's Disease | Geriatr Gerontol Int,2016;16(5):644-650 |
| 97 | Kimoto A, Kasanuki K, Kumagai R, Shibata N, Ichimiya Y, Arai H. | 精神・行動科学 | Serum insulin-like growth factor-I and amyloid beta protein in Alzheimer's disease: relationship with cognitive function. | Psychogeriatrics. 2016 Jul;16(4):247-54. |

| | | | | |
|-----|---|---------|--|--|
| 98 | Inoue M, Baba H, Yamamoto K, Shimada H, Yamakawa Y, Suzuki T, Miki T, Arai H. | 精神・行動科学 | Serum Levels of Albumin- β -Amyloid Complex in Patients with Depression. | Am J Geriatr Psychiatry. 2016 Sep;24(9):764-72. |
| 99 | Kirino E, Tanaka S, Fukuta M, Inami R, Arai H, Inoue R, Aoki S. | 精神・行動科学 | Simultaneous resting-state functional MRI and electroencephalography recordings of functional connectivity in patients with schizophrenia. | Psychiatry Clin Neurosci.2016 Dec 17. |
| 100 | Hamagishi T, Inagawa T, Kambayashi Y, Tsujiguchi H, Kitaoka M, Mitoma J, Asakura H, Suzuki F, Hori D, Anyenda EO, Thao NTT, Hibino Y, Hayashi K, Shibata A, Sagara T, Okochi J, Takamoku K, Hatta K, Konoshita T, Nakamura H. | 精神・行動科学 | The association between activity of daily living and the combination of Alzheimer's disease and cataract in elderly requiring nursing care. | Health 2016;8(10):994-1003 DOI: 10.4236/health.2016.810103 |
| 101 | Hori D, Tsujiguchi H, Kambayashi Y, Hamagishi T, Kitaoka M, Mitoma J, Asakura H, Suzuki F, Anyenda EO, Nguyen TT, Hibino Y, Shibata A, Hayashi K, Sagara T, Sasahara S, Matsuzaki I, Hatta K, Konoshita T, Nakamura H. | 精神・行動科学 | The associations between lifestyles and mental health using the General Health Questionnaire 12-items are different dependently on age and sex: a population-based cross-sectional study in Kanazawa, Japan. | Environ Health Prev Med. 2016;21(6):410-421. |
| 102 | Kobayashi N, Shinagawa S, Nagata T, Shimada K, Shibata N, Ohnuma T, Kasanuki K, Arai H, Yamada H, Nakayama K, Kondo K. | 精神・行動科学 | Usefulness of DNA Methylation Levels in COASY and SPINT1 Gene Promoter Regions as Biomarkers in Diagnosis of Alzheimer's Disease and Amnesic Mild Cognitive Impairment. | PLoS One. 2016 Dec 19;11(12):e0168816. |
| 103 | Isono H, Miyagami T, Katayama K, Isono M, Hasegawa R, Gomi H, Kobayashi H | 病院管理学 | Tetanus in the Elderly: The Management of Intensive Care and Prolonged Hospitalization | Intern. Med., 2016; 55:3399-3402 |
| 104 | Azuma M, Suzuki S, Sawa M, Yoshizawa T, Hu A, Yamaguchi T, Kobayashi H | 病院管理学 | Search of biomarker in the oral rehabilitation | Health, 2016; 8: 83-92 |

| | | | | |
|-----|---|------------|---|--------------------------------------|
| 105 | Komazawa M, Itao K, Kobayashi H, Luo Z | 病院管理学 | On human autonomic nervous activity related to behavior, daily and regional changes based on big data measurement via smartphone. | Health, 2016; 8: 827-845 |
| 106 | Komazawa M, Itao K, Kobayashi H, Luo Z | 病院管理学 | On human autonomic nervous activity related to weather conditions based on big data measurement via smartphone. | Health, 2016; 8: 894-904 |
| 107 | Komazawa M, Itao K, Kobayashi H, Luo Z | 病院管理学 | Measurement and evaluation the autonomic nervous function in daily life. | Health, 2016; 8: 959-970 |
| 108 | Yang X, Bai J, Imai H | 病院管理学 | Changes in Autopsy Rate in Japanese University Hospitals During the Past 34 Years | Juntendo Med J, 2016; 62(3): 240-247 |
| 109 | Iba T, Hamakubo T, Nagaoka I, Sato K | 救急・災害医学研究室 | Physiological levels of pentraxin 3 and albumin attenuate vascular endothelial cell damage induced by histone H3 in vitro | Microcirculation 2016;23(3):240-247. |
| 110 | Nagakari K, Iba T, Emmi M | 救急・災害医学研究室 | Prothrombin time tests for the monitoring of direct oral anticoagulants and their evaluation as indicators of the reversal effect | Clin Appl Thromb Hemost 2016 Mar 16 |
| 111 | Iba T, Emmi M, Hiki M, Nagayama M, Aihara K, Tabe Y, Yuri M, Ohsaka A | 救急・災害医学研究室 | Comparison of prothrombin tests used in the monitoring of edoxaban and their evaluation as indicators of reversal effect | Int J Hematol 2016;103(6): 665-672 |

| | | | | |
|-----|---|------------|---|---|
| 112 | Iba T, Saitoh D, Gando S, Ikeda T, Anan H, Oda S, Kitamura N, Mori S, Kotan J, Kuroda Y | 救急・災害医学研究室 | Efficacy and bleeding risk of antithrombin supplementation in patients with septic disseminated intravascular coagulation: A third survey | Clin Appl Thromb Hemost 2016 pii: 1076029616648405. |
| 113 | Iba T, Gando S, Saitoh D, Wada H, Di Nisio M, Thachil J | 救急・災害医学研究室 | Antithrombin supplementation and risk of bleeding in patients with sepsis-associated disseminated intravascular coagulation | Thromb Res 2016;145:46-50. |
| 114 | Iba T, Di Nisio M, Thachi J, Wada H, Asakura H, Sato K, Kitamura N, Saitoh D | 救急・災害医学研究室 | Revision of the Japanese Association for Acute Medicine (JAAM)-disseminated intravascular coagulation (DIC) diagnostic criteria using antithrombin activity | Crit Care 2016;20:287 |
| 115 | Suzuki K, Murakami T, Hu Z, Tamura H, Kuwahara-Arai K, Iba T, Nagaoka I. | 救急・災害医学研究室 | Human Host Defense Cathelicidin Peptide LL-37 Enhances the Lipopolysaccharide Uptake by Liver Sinusoidal Endothelial Cells without Cell Activation. | J Immunol 2016 Jan 4. pii: 1403203. |
| 116 | Hu Z, Murakami T, Suzuki K, Tamura H, Reich J, Kuwahara-Arai K, Iba T, Nagaoka I. | 救急・災害医学研究室 | Antimicrobial cathelicidin peptide LL-37 inhibits the pyroptosis of macrophages and improves the survival of polybacterial septic mice. | Sch. J. App. Med. Sci., 2016; 4(6D):2129-2132. |
| 117 | Ohsaka H, Ishikawa K, Jitsuiki K, Yanagawa Y. | 救急・災害医学研究室 | Factors affecting difficulty in extubation after initial successful resuscitation in cardiopulmonary arrest patients. | SAS J. Med., 2016;2:(5): 110-114. |
| 118 | Jitsuiki K, Ohsaka H, Ishikawa K, Yoshizawa T, Omori K, Yasumasa Oode Y, Yanagawa Y. | 救急・災害医学研究室 | Characteristics of patients who fell into open drains: a report from a single emergency center in East Shizuoka. | Am J Emerg Med. 2016 Dec 10. |

| | | | | |
|-----|--|------------|---|--|
| 119 | Ishikawa K, Ohsaka H, Omori K, Jitsuiki K, Yoshizawa T, Yanagawa Y, Oode Y, Yanagawa Y. | 救急・災害医学研究室 | Effective simulation training for advanced cardiopulmonary resuscitation for first year students of a nursing university. | Shock, 2016; 45:495-501. |
| 120 | Yanagawa Y, Takeuchi I, Jitsuiki K, Yoshizawa T, Ishikawa K, Omori K, Osaka H, Sato K, Mitsuhashi N, Mihara J, Ono K. | 救急・災害医学研究室 | Disaster Imagination Game at Izunokuni City for preparedness for a huge Nankai Trough earthquake. | Ann Intensive Care. 2016; 6:64 |
| 121 | Yanagawa Y, Anan H, Oshiro K, Yasuhiro Otomo Y. | 救急・災害医学研究室 | An evaluation of a mass casualty life support course for chemical, biological, radiological, nuclear, and explosive incidents. | Acute Medicine and Surgery. 2016; 3:101-106. |
| 122 | Ishikawa K, Omori K, Takeuchi I, Jitsuiki K, Yoshizawa T, Ohsaka H, Nakao Y, Yamamoto T, Yanagawa Y. | 救急・災害医学研究室 | A comparison between evacuation from the scene and interhospital transportation using a helicopter for subarachnoid hemorrhage. | Shock. 2016 Oct;46(4):431-8. |
| 123 | Hagiwara A, Kushimoto S, Sasaki J, Ogura H, Matsuoka T, Uejima T, Hayakawa M, Takeda M, Kaneko N, Saito D, Otomo Y, Yokota H, Sakamoto T, Tanaka H, Shiraishi A, Morimura N, Ishikura H. | 救急・災害医学研究室 | Can early aggressive administration of fresh frozen plasma improve outcomes in patients with severe blunt trauma? – a report by the Japanese Association for the Surgery of Trauma. | Shock, 2016; 45:495-501. |
| 124 | Sueyoshi K, Sumi Y, Inoue Y, Kuroda Y, Ishii K, Nakayama H, Iwabuchi K, Kurishita Y, Shigemitsu H, Hamachi I, Tanaka H. | 救急・災害医学研究室 | Fluorescence imaging of ATP in neutrophils from patients with sepsis using organelle-localizable fluorescent chemosensors. | Ann Intensive Care. 2016; 6:64 |
| 125 | Fukumoto Y, Inoue Y, Suginaka H, Hayashi N, Sumi Y, Matsuda S, Okamoto K, Tanaka H. | 救急・災害医学研究室 | Application to the triage of a blood lactate level. | Acute Medicine and Surgery. 2016; 3:101-106. |

| | | | | |
|-----|--|------------|--|---|
| 126 | Hirano Y, Aziz M, Yang WL, Ochani M, Wang P. | 救急・災害医学研究室 | Neutralization of Osteopontin Ameliorates Acute Lung Injury Induced by Intestinal Ischemia-Reperfusion. | Shock. 2016 Oct;46(4):431-8. |
| 127 | Shimura S, Takai T, Iida H, Maruyama N, Ochi H, Kamijo S, Nishioka I, Hara M, Matsuda A, Saito H, Nakae S, Ogawa H, Okumura K, Ikeda S | 眼科学 | Epicutaneous Allergic Sensitization by Cooperation between Allergen Protease Activity and Mechanical Skin Barrier Damage in Mice. | J Invest Dermatol, 2016; 136: 1408-1417 |
| 128 | Inomata T, Hua J, Di Zazzo A, Dana R | 眼科学 | Impaired Function of Peripherally Induced Regulatory T Cells in Hosts at High Risk of Graft Rejection. | Sci rep, 2016; Dec 23; 6: 39924. doi: 10.1038/srep39924 |
| 129 | Ueno K, Iwagawa T, Kuribayashi H, Baba Y, Nakauchi H, Murakami A, Nagasaki M, Suzuki Y, Watanabe S | 眼科学 | Transition of differential histone H3 methylation in photoreceptors and other retinal cells during retinal differentiation. | Sci Rep, 2016 Jul 5;6:29264. doi: 10.1038/srep29264 |
| 130 | Kamijo S, Suzuki M, Hara M, Shimura S, Ochi H, Maruyama N, Matsuda A, Saito H, Nakae S, Suto H, Ichikawa S, Ikeda S, Ogawa H, Okumura K, Takai T | 眼科学 | Subcutaneous allergic sensitization to protease allergen is dependent on mast cells but not IL-33: Distinct mechanisms between subcutaneous and intranasal routes. | J Immunol, 2016; 196(9): 3559-3569 |
| 131 | Palczewska G, Maeda A, Golczak M, Arai E, Dong Z, Perusek L, Kevany B, Palczewski P | 眼科学 | Receptor tyrosine kinase MERTK is not required for transfer of bis-retinoids to the retinal pigmented epithelium. | J Biol Chem, 2016; 291(52): 26937-26949 |
| 132 | Kobayashi Y, Yoshida S, Zhou Y, Nakama T, Ishikawa K, Kubo Y, Arima M, Nakao S, Hisatomi T, Ikeda Y, Matsuda A, Sonoda K-H, Ishibashi T | 眼科学 | Tenascin-C secreted by transdifferentiated retinal pigment epithelial cells promotes choroidal neovascularization via integrin αV . | Lab Invest, 2016; 96(11): 1178-1188 |

| | | | | |
|-----|--|-----|--|--|
| 133 | Tahvildari M, Omoto M, Chen Y, Emami-Naeini P, Inomata T, Dohlman TH, Kaye AE, Chauhan SK, Dana R | 眼科学 | In Vivo Expansion of Regulatory T Cells by Low-Dose Interleukin-2 Treatment Increases Allograft Survival in Corneal Transplantation. | Transplantation, 2016; 100(3): 525-532 |
| 134 | Tamaki K, Usui-Ouchi A, Murakami A, Ebihara N | 眼科学 | Fibrocytes and Fibrovascular Membrane Formation in Proliferative Diabetic Retinopathy. | Invest Ophthalmol Vis Sci, 2016; 57(11): 4999-5005 |
| 135 | Hamanaka T, Matsuda A, Sakurai T, Kumasaka T | 眼科学 | Morphological abnormalities of schlemm's canal in primary open-angle glaucoma from the aspect of aging. | Invest Ophthalmol Vis Sci, 2016; 57(2): 692-706 |
| 136 | Hua J, Stevenson W, Dohlman TH, Inomata T, Tahvildari M, Calcagno N, Pirmadjid N, Sadrai Z, Chauhan SK, Dana R | 眼科学 | Graft Site Microenvironment Determines Dendritic Cell Trafficking Through the CCR7-CCL19/21 Axis. | Invest Ophthalmol Vis Sci, 2016; 57(3): 1457-1467 |
| 137 | Parmar T, Parmar V, Arai E, Sahu B, Perusek L, Maeda A | 眼科学 | Acute stress responses are early molecular events of retinal degeneration in Abca4-/-Rdh8-/- mice after light exposure. | Invest Ophthalmol Vis Sci, 2016; 57(7): 3257-3267 |
| 138 | Tano T, Ono K, Hiratsuka Y, Otani K, Sekiguchi M, Konno S, Kikuchi S, Onishi Y, Takegami M, Yamada M, Fukuhara S, Murakami A | 眼科学 | Retinal vessel diameters in a Japanese population: the Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study. | Acta Ophthalmol, 2016; 94(6): e432-441 |
| 139 | Usui-Ouchi A, Ouchi Y, Kiyokawa M, Sakuma T, Ito R, Ebihara N | 眼科学 | Upregulation of Mir-21 Levels in the Vitreous Humor Is Associated with Development of Proliferative Vitreoretinal Disease. | PLoS One, 2016; 11(6): e0158043, doi: 10.1371/journal.pone.0158043 |

| | | | | |
|-----|---|-----|--|---|
| 140 | Miyamichi D, Asahina M, Nakajima J, Sato M, Hosono K, Nomura T, Negishi T, Miyake N, Hotta Y, Ogata T, Matsumoto N | 眼科学 | Novel HPS6 mutations identified by whole-exome sequencing in two Japanese sisters with suspected ocular albinism. | J Hum Genet, 2016; 61(9): 839-842 |
| 141 | Inomata T, Honda M, Murakami A | 眼科学 | Atypical VZV Retinitis in a Patient with Good Syndrome. | Ocul Immunol Inflamm, 2016; Aug 5:1-5, doi: 10.1080/09273948.2016.1201518 |
| 142 | Yamaguchi M, Shima N, Kimoto M, Ebihara N, Murakami A, Yamagami S | 眼科学 | Optimization of Cultured Human Corneal Endothelial Cell Sheet Transplantation and Post-Operative Sheet Evaluation in a Rabbit Model. | Curr Eye Res, 2016; 41(9): 1178-1184 |
| 143 | Serizawa S, Ohkoshi K, Minowa Y, Soejima K | 眼科学 | Interdigitation zone band restoration after treatment of diabetic macular edema. | Curr Eye Res, 2016; 41(9): 1229-1234 |
| 144 | Kobayashi Y, Yoshida S, Zhou Y, Nakama T, Ishikawa K, Arima M, Nakao S, Sassa Y, Takeda A, Hisatomi T, Ikeda Y, Matsuda A, Sonoda KH, Ishibashi T | 眼科学 | Tenascin-C promotes angiogenesis in fibrovascular membranes in eyes with proliferative diabetic retinopathy. | Mol Vis, 2016; 22: 436-445 |
| 145 | Nakatani S, Murakami A | 眼科学 | Descemet stripping automated endothelial keratoplasty using corneas from elderly donors. | Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol, 2016; 254(6): 1135-1140 |
| 146 | Watanabe S, Murakami A. | 眼科学 | Regulation of Retinal Development via the Epigenetic Modification of Histone H3. | Adv Exp Med Biol, 2016; 854: 635-641 |

| | | | | |
|-----|---|-----|---|--|
| 147 | Kawashima M, Hiratsuka Y, Nakano T, Tamura T, Ono K, Murakami A, Inoue S, Tsubota K, and Yamada M | 眼科学 | The association between legal Japanese visual impairment grades and vision related quality of life. | Jpn J Ophthalmol, 2016; 60(3): 219-225 |
| 148 | Shimazaki J, Maeda N, Hieda O, Ohashi Y, Murakami A, Nishida K, Tsubota K | 眼科学 | Japan Pellucid Marginal Corneal Degeneration Study Group. National survey of pellucid marginal corneal degeneration in Japan. | Jpn J Ophthalmol, 2016; 60(5): 341-348 |
| 149 | Sakanishi Y, Lee A, Usui-Ouchi A, Ito R, Ebihara N | 眼科学 | Twelve-month outcomes in patients with retinal vein occlusion treated with low-frequency intravitreal ranibizumab. | Clin Ophthalmol, 2016; 10: 1161-1165 |
| 150 | Toride A, Toshida H, Matsui A, Matsuzaki Y, Honda R, Ohta T, Murakami A | 眼科学 | Visual outcome after emergency surgery for open globe eye injury in Japan. | Clin Ophthalmol, 2016; 10: 1731-1736 |
| 151 | Hirakata T, Fujinami K, Watanabe K, Sasaki M, Noda T, Akiyama K | 眼科学 | One-year outcome of intravitreal aflibercept injection for age-related macular degeneration resistant to ranibizumab: rapid morphologic recovery and subsequent visual improvement. | Clin Ophthalmol, 2016; 10: 969-977 |
| 152 | Nakano T, Kawashima M, Hiratsuka Y, Tamura H, Ono K, Murakami A, Tsubota K, Yamada M | 眼科学 | Assessment of quality of life in patients with visual impairments using a new visual function questionnaire: the VFQ-J11. | Clin Ophthalmol, 2016; 10: 1939-1944 |
| 153 | Hayashi Y, Toshida H, Matsuzaki Y, Matsui A, Ohta T | 眼科学 | Persistent corneal epithelial defect responding to rebamipide ophthalmic solution in a patient with diabetes. | Int Med Case Rep J, 2016; May 9: 113-116 |

| | | | | |
|-----|---|-----|---|---|
| 154 | Elahi M, Motoi Y, Matsumoto SE, Hasan Z, Ishiguro K, Hattori N. | 神経学 | Short-term treadmill exercise increased tau insolubility and neuroinflammation in tauopathy model mice | NEUROSCIENCE LETTERS, 2016; 610: 207-212 |
| 155 | Tomizawa Y, Nakamura R, Hoshino Y, Sasaki F, Nakajima S, Kawajiri S, Noda K, Takanashi M, Fujita N, Yokoyama K, Hattori N, Takahashi T, Okuma Y. | 神経学 | Tumefactive demyelinating brain lesions with multiple closed-ring enhancement in the course of neuromyelitis optica | JOURNAL OF THE NEUROLOGICAL SCIENCES, 2016; 361: 49-51 |
| 156 | Yamada D, Saiki S, Furuya N, Ishikawa KI, Imamichi Y, Kambe T, Fujimura T, Ueno T, Koike M, Sumiyoshi K, Hattori N. | 神経学 | Ethambutol neutralizes lysosomes and causes lysosomal zinc accumulation | BIOCHEMICAL AND BIOPHYSICAL RESEARCH COMMUNICATIONS, 2016; 471(1):109-116 |
| 157 | Kurosawa M, Matsumoto G, Sumikura H, Hatsuta H, Murayama S, Sakurai T, Shimogori T, Hattori N, Nukina N. | 神経学 | Serine 403-phosphorylated p62/SQSTM1 immunoreactivity in inclusions of neurodegenerative diseases | NEUROSCIENCE RESEARCH, 2016; 103: 64-70 |
| 158 | Matsumoto T, Fujimori K, Andoh-Noda T, Ando T, Kuzumaki N, Toyoshima M, Tada H, Imaizumi K, Ishikawa M, Yamaguchi R, Isoda M, Zhou Z, Sato S, Kobayashi T, Ohtaka M, Nishimura K, Kurosawa H, Yoshikawa T, Takahashi T, Nakanishi M, Ohyama | 神経学 | Functional Neurons Generated from T Cell-Derived Induced Pluripotent Stem Cells for Neurological Disease Modeling | STEM CELL REPORTS, 2016; 6(3):422-435 |
| 159 | Hatano T, Saiki S, Okuzumi A, Mohny R P., Hattori N. | 神経学 | Identification of novel biomarkers for Parkinson's disease by metabolomic technologies | JOURNAL OF NEUROLOGY NEUROSURGERY AND PSYCHIATRY, 2016; 87(3):295-301 |
| 160 | Nakamura R, Sone J, Atsuta N, Tohnai G, Watanabe H, Yokoi D, Nakatochi M, Watanabe H, Ito M, Senda J, Katsuno M, Tanaka F, Li Y, Izumi Y, Morita M, Taniguchi A, Kano O, Oda M, Kuwabara S, Abe K, Aiba I, Okamoto K, Mizoguchi K, Hasegawa K, Aoki M, Hattori N, Tsuji S, Nakashima K, Kaji R, Sobue G | 神経学 | Next-generation sequencing of 28 ALS-related genes in a Japanese ALS cohort | NEUROBIOLOGY OF AGING, 2016; 39:219.e1 |

| | | | | |
|-----|---|-----|---|---|
| 161 | Yamanaka T, Tosaki A, Kurosawa M, Shimogori T, Hattori N, Nukina N. | 神経学 | Genome-wide analyses in neuronal cells reveal that upstream transcription factors regulate lysosomal gene expression | FEBS JOURNAL, 2016; 283(6):1077-1087 |
| 162 | Ochiishi T, Doi M, Yamasaki K, Hirose K, Kitamura A, Urabe T, Hattori N, Kinjo M, Ebihara T, Shimura H. | 神経学 | Development of new fusion proteins for visualizing amyloid-beta oligomers in vivo | SCIENTIFIC REPORTS, 2016; 6:22712 |
| 163 | Takamura S, Ikeda A, Nishioka K, Furuya H, Tashiro M, Matsushima T, Li Y, Yoshino H, Funayama M, Morinobu S, Hattori N. | 神経学 | Schizophrenia as a prodromal symptom in a patient harboring SNCA duplication | PARKINSONISM & RELATED DISORDERS, 2016; 25:108-109 |
| 164 | Conedera S, Apaydin H, Li Y, Yoshino H, Ikeda A, Matsushima T, Funayama M, Nishioka K, Hattori N. | 神経学 | FBXO7 mutations in Parkinson's disease and multiple system atrophy | NEUROBIOLOGY OF AGING, 2016; 40:192.e1 |
| 165 | Nakamura R, Ueno Y, Ando J, Matsuda H, Masuda A, Iiduka K, Shingai N, Takanashi M, Yokoyama K, Komatsu N, Hattori N. | 神経学 | Clinical and radiological CLIPPERS features after complete remission of peripheral T-cell lymphoma, not otherwise specified | JOURNAL OF THE NEUROLOGICAL SCIENCES, 2016; 364:6-8 |
| 166 | Yoritaka A, Abe T, Ohtsuka C, Maeda T, Hirayama M, Watanabe H, Saiki H, Oyama G, Fukae J, Shimo Y, Hatano T, Kawajiri S, Okuma Y, Machida Y, Miwa H, Suzuki C, Kazama A, Tomiyama M, Kihara T, Hirasawa M, Shimura H. | 神経学 | A randomized double-blind multi-center trial of hydrogen water for Parkinson's disease: protocol and baseline characteristics | BMC NEUROLOGY, 2016; 16:66 |
| 167 | Kuroki T, Tanaka R, Shimada Y, Yamashiro K, Ueno Y, Shimura H, Urabe T, Hattori N. | 神経学 | Exendin-4 Inhibits Matrix Metalloproteinase-9 Activation and Reduces Infarct Growth After Focal Cerebral Ischemia in Hyperglycemic Mice | STROKE, 2016; 47(5):1328-1335 |

| | | | | |
|-----|--|-----|--|--|
| 168 | Takanashi M, Li Y, Hattori N. | 神経学 | Absence of Lewy pathology associated with PINK1 homozygous mutation | NEUROLOGY, 2016; 86(23):2212-2213 |
| 169 | Cossu D, Yokoyama K, Sechi L A, Otsubo S, Tomizawa Y, Momotani E, Hattori N. | 神経学 | Humoral response against host-mimetic homologous epitopes of Mycobacterium avium subsp paratuberculosis in Japanese multiple sclerosis patients | SCIENTIFIC REPORTS, 2016; 6:29227 |
| 170 | Umemura A, Oyama G, Shimo Y, Nakajima M, Nakajima A, Jo T, Sekimoto S, Ito M, Mitsuhashi T, Hattori N, Arai H. | 神経学 | Current Topics in Deep Brain Stimulation for Parkinson Disease | NEUROLOGIA MEDICO-CHIRURGICA, 2016; 56(10):613-625 |
| 171 | Hara H, Ono F, Nakamura S, Matsumoto SE, Jin H, Hattori N, Tabira T. | 神経学 | An Oral A beta Vaccine Using a Recombinant Adeno-Associated Virus Vector in Aged Monkeys: Reduction in Plaque Amyloid and Increase in A beta Oligomers | JOURNAL OF ALZHEIMERS DISEASE, 2016; 54(3):1047-1059 |
| 172 | Yoritaka A, Mori H, Hattori N. | 神経学 | Treatment of Mild Camptocormia with Selegiline in Patients with Parkinson's Disease | EUROPEAN NEUROLOGY, 2016; 76(1-2):35-39 |
| 173 | Suzuki A, Shibata N, Kasanuki K, Nagata T, Shinagawa S, Kobayashi N, Ohnuma T, Takeshita Y, Kawai E, Takayama T, Nishioka K, Motoi Y, Hattori N, Nakayama K, Yamada H, Arai H. | 神経学 | Genetic Association between Presenilin 2 Polymorphisms and Alzheimer's Disease and Dementia of Lewy Body Type in a Japanese Population | DEMENTIA AND GERIATRIC COGNITIVE DISORDERS EXTRA, 2016; 6(1):90-97 |
| 174 | Ueno Y, Nakamura R, Hattori N. | 神経学 | Reply to CLIPPERS features before, during and after lymphoma | JOURNAL OF THE NEUROLOGICAL SCIENCES, 2016; 366:253-254 |

| | | | | |
|-----|--|-----|--|---|
| 175 | Kamagata K, Hatano T, Okuzumi A, Motoi Y, Abe O, Shimoji K, Kamiya K, Suzuki M, Hori M, Kumamaru KK., Hattori N, Aoki S. | 神経学 | Neurite orientation dispersion and density imaging in the substantia nigra in idiopathic Parkinson disease | EUROPEAN RADIOLOGY, 2016; 26(8):2567-2577 |
| 176 | Kawakami I, Iseki E, Kasanuki K, Minegishi M, Sato K, Hino H, Shibuya K, Fujisawa K, Higashi S, Akiyama H, Furuta A, Takanashi M, Li Y, Hattori N, Mitsuyama Y, Arai H. | 神経学 | A family with hereditary diffuse leukoencephalopathy with spheroids caused by a novel c.2442+2T > C mutation in the CSF1R gene | JOURNAL OF THE NEUROLOGICAL SCIENCES, 2016; 367:349-355 |
| 177 | Hoshino Y, Nishioka K, Kanai K, Tanaka R, Nagaoka M, Kuwabara S, Hattori N. | 神経学 | Utility of ultrasonography in evaluating muscle contractions in stiff-person syndrome | JOURNAL OF THE NEUROLOGICAL SCIENCES, 2016; 367:361-362 |
| 178 | Yamanaka T, Tosaki A, Miyazaki H, Kurosawa M, Koike M, Uchiyama Y, Maity S N., Misawa H, Takahashi R, Shimogori T, Hattori N, Nukina N. | 神経学 | Differential roles of NF- κ B transcription factor in ER chaperone expression and neuronal maintenance in the CNS | SCIENTIFIC REPORTS, 2016; 6:34575 |
| 179 | Sekimoto S, Oyama G, Izawa N, Ueno S, Jo T, Shimo Y, Nakajima A, Nakajima M, Umemura A, Arai H, Hattori N. | 神経学 | Effect of zonisamide on post-traumatic Holmes' tremor | NEUROLOGY AND CLINICAL NEUROSCIENCE, 2016; 4(5):184-185 |
| 180 | Kino Y, Washizu C, Kurosawa M, Yamada M, Doi H, Takumi T, Adachi H, Katsuno M, Sobue G, Hicks G G., Hattori N, Shimogori T, Nukina N. | 神経学 | FUS/TLS acts as an aggregation-dependent modifier of polyglutamine disease model mice | SCIENTIFIC REPORTS, 2016; 6:35236 |
| 181 | Fujimori K, Tezuka T, Ishiura H, Mitsui J, Doi K, Yoshimura J, Tada H, Matsumoto T, Isoda M, Hashimoto R, Hattori N, Takahashi T, Morishita S, Tsuji S, Akamatsu W, Okano H. | 神経学 | Modeling neurological diseases with induced pluripotent cells reprogrammed from immortalized lymphoblastoid cell lines | MOLECULAR BRAIN, 2016; 9:88 |

| | | | | |
|-----|--|-----|---|--|
| 182 | Ueno Y, Yamashiro K, Tanaka R, Kuroki T, Hira K, Kurita N, Urabe T, Hattori N. | 神経学 | Emerging Risk Factors for Recurrent Vascular Events in Patients With Embolic Stroke of Undetermined Source | STROKE, 2016; 47(11):2714-2721 |
| 183 | Takeshige H, Ueno Y, Sasaki F, Namera A, Matsukawa T, Yokoyama K, Hattori N | 神経学 | Acute hippocampal and chronic diffuse white matter involvement in severe methanol intoxication | NEUROLOGY, 2016; 87(22):2382-2383 |
| 184 | Hattori N, Kikuchi M, Adachi N, Hewitt D, Huyck S, Saito T. | 神経学 | Adjunctive praladenant: A placebo-controlled, dose-finding study in Japanese patients with Parkinson's disease | PARKINSONISM & RELATED DISORDERS, 2016; 32:73-79 |
| 185 | Elahi M, Hasan Z, Motoi Y, Matsumoto S-E, Ishiguro K, Hattori N. | 神経学 | Region-Specific Vulnerability to Oxidative Stress, Neuroinflammation, and Tau Hyperphosphorylation in Experimental Diabetes Mellitus Mice | JOURNAL OF ALZHEIMERS DISEASE, 2016; 51(4):1209-1224 |
| 186 | Sato S, Koike M, Funayama M, Ezaki J, Fukuda T, Ueno T, Uchiyama Y Hattori N. | 神経学 | Lysosomal Storage of Subunit c of Mitochondrial ATP Synthase in Brain-Specific Atp13a2-Deficient Mice | AMERICAN JOURNAL OF PATHOLOGY, 2016; 186(12):3074-3082 |
| 187 | Yoritaka A, Fukae J, Hatano T, Oda E, Hattori N. | 神経学 | The Direct Cost of Parkinson Disease at Juntendo Medical University Hospital, Japan | INTERNAL MEDICINE, 2016; 55(2):113-119 |
| 188 | Noda K, Ishimoto R, Hattori N, Okuma Y, Yamamoto T | 神経学 | Hemichorea improvement following endarterectomy for internal carotid artery stenosis | JOURNAL OF THE NEUROLOGICAL SCIENCES, 2016; 371:45-47 |

| | | | | |
|-----|---|-----|--|--|
| 189 | Masuda M, Senda J, Watanabe H, Epifanio B, Tanaka Y, Imai K, Riku Y, Li Y, Nakamura R, Ito M, Ishigaki S, Atsuta N, Koike H, Katsuno M, Hattori N, Naganawa S, Sobue G. | 神経学 | Involvement of the caudate nucleus head and its networks in sporadic amyotrophic lateral sclerosis–frontotemporal dementia continuum | AMYOTROPHIC LATERAL SCLEROSIS AND FRONTOTEMPORAL DEGENERATION, 2016; 17(7–8):571–579 |
| 190 | Shimizu Y, Fujihara K, Ohashi T, Nakashima I, Yokoyama K, Ikeguch R, Takahashi T, Misu T, Shimizu S, Aoki M, Kitagawa K | 神経学 | Pregnancy-related relapse risk factors in women with anti-AQP4 antibody positivity and neuromyelitis optica spectrum disorder | Mult Scler. 2016 Oct;22(11):1413–1420 |
| 191 | Yamasaki R, Matsushita T, Fukazawa T, Yokoyama K, Fujihara K, Ogino M, Yokota T, Miyamoto K, Niino M, Nomura K, Tomioka R, Tanaka M, Kawachi I, Ohashi T, Kaida K, Matsui M, Nakatsuji Y, Ochi H, Fukaura H, Kanda T, Nagaishi A, Togo K, Mizusawa H, Murai H, Kira J | 神経学 | Efficacy of intravenous methylprednisolone pulse therapy in patients with multiple sclerosis and neuromyelitis optica. | Mult Scler. 2016 Sep;22(10):1337–48. |
| 192 | Furukawa Y, Rajput AH, Tong J, Tomizawa Y, Hornykiewicz O, Kish SJ. | 神経学 | A marked contrast between serotonergic and dopaminergic changes in dopa-responsive dystonia. | Neurology. 2016 Sep 6;87(10):1060–1. |
| 193 | Saji N, Kimura K, Tateishi Y, Fujimoto S, Kaneko N, Urabe T, Tsujino A, Iguchi Y: daVinci Study Group. | 神経学 | Safety and efficacy of non-vitamin K oral anticoagulant treatment compared with warfarin in patients with non-valvular atrial fibrillation who develop acute ischemic stroke or transient ischemic attack: a multicenter prospective cohort study (daVinci study). | J Thromb Thrombolysis 42: 453–462, 2016. |
| 194 | Iyer J, Wang Q, Le T, Pizzo L, Grönke S, Ambegaokar S, Imai Y, Srivastava A, Lu B, Mardon G, Artero R, Jackson GR, Isaacs AM, Partridge L, Kumar JP, Girirajan S. | 神経学 | Quantitative assessment of eye phenotypes for functional genetic studies using <i>Drosophila melanogaster</i> . | G3 6(5):1427–1437 (2016) |
| 195 | Klionsky DJ, Abdelmohsen K, Abe A, Abedin MJ, Abeliovich H, Acevedo Arozena A, Imai Y, et al. | 神経学 | Guidelines for the use and interpretation of assays for monitoring autophagy (3rd edition). | Autophagy. 2016;12(1):1–222. |

| | | | | |
|-----|--|----------|---|--|
| 196 | Kato K, Yokochi F, Iwamuro H, Kawasaki T, Hamada K, Isoo A, Kimura K, Okiyama R, Taniguchi M, Ushiba J. | 神経学 | Frequency-specific synchronization in the bilateral subthalamic nuclei depending on voluntary muscle contraction and relaxation in patients with Parkinson's disease. | Front Hum Neurosci. 2016;10:131 |
| 197 | Hayakawa K, Pham LD, Seo JH, Miyamoto N, Maki T, Terasaki Y, Sakadzic S, Boas D, van Leyen K, Waeber C, Kim KW, Arai K, Lo EH. | 神経学 | CD200 restrains macrophage attack on oligodendrocyte precursors via toll-like receptor 4 downregulation. | J Cereb Blood Flow Metab. 2016 Apr;36(4):781-93. |
| 198 | Mitome-Mishima Y, Oishi H, Yamamoto M, Yatomi K, Nonaka S, Miyamoto N, Urabe T, Arai H. | 神経学 | Differences in tissue proliferation and maturation between Matrix2 and bare platinum coil embolization in experimental swine aneurysms. | J Neuroradiol. 2016 Feb;43(1):43-50 |
| 199 | Kubo S, Hamada S, Maeda T, Uchiyama T, Hashimoto M, Nomoto N, Kano O, Takahashi T, Terashi H, Takahashi T, Hatano T, Hasegawa T, Baba Y, Sengoku R, Watanabe H, Kadowaki T, Inoue M, Kaneko S, Shimura H, Nagayama H | 神経学 | The Young Japanese Expert Group for Parkinson's Disease and Movement Disorders: YJ-EXPANDS: A Japanese Multicenter Survey Characterizing Pain in Parkinson's Disease. | J Neurol Sci 365:162-166, 2016 |
| 200 | Akiyama O, Matsushima K, Gungor A, Matsuo S, Goodrich DJ, Shane Tubbs R, Klimo P Jr, Cohen-Gadol AA, Arai H, Rhoton AL Jr | 脳神経外科学講座 | Microsurgical and endoscopic approaches to the pulvinar. | J Neurosurg 9: 1-16, Dec. 2016 [Epub ahead of print] |
| 201 | Andica, C; Hagiwara, A; Nakazawa, M; Tsuruta, K; Takano, N; Hori, M; Suzuki, H; Sugano, H; Arai, H; Aoki, S | 脳神経外科学講座 | The Advantage of Synthetic MRI for the Visualization of Early White Matter Change in an Infant with Sturge-Weber Syndrome | Magn. Reson. Med. Sci., 2016; 15: 347-348 |
| 202 | Arakawa, J; Nagai, T; Takasaki, H; Sugano, H; Hamabe, A; Tahara, M; Mori, H; Takase, Y; Gatate, Y; Togashi, N; Takiguchi, S; Nakaya, K; Ishigami, N; Tabata, H; Fukushima, K; Katsushika, S | 脳神経外科学講座 | Cardiac Asystole Triggered by Temporal Lobe Epilepsy with Amygdala Enlargement | Intern. Med., 2016; 55: 1463-1465 |

| | | | | |
|-----|---|----------|---|--|
| 203 | Bandai H, Okuda O, Hirai S | 脳神経外科学講座 | Pulsatile scalp mass induced by head injury: Angio-lymphoid hyperplasia with eosinophilia—a case report—. | Juntendo Medical Journal 62 (4): 336—339, 2016 |
| 204 | Higo, T; Sugano, H; Nakajima, M; Karagiozov, K; Imura, Y; Suzuki, M; Sato, K; Arai, H | 脳神経外科学講座 | The predictive value of FDG-PET with 3D-SSP for surgical outcomes in patients with temporal lobe epilepsy | Seizure, 2016; 41: 127-133 |
| 205 | Imura, Y; Sugano, H; Nakajima, M; Higo, T; Suzuki, H; Nakanishi, H; Arai, H | 脳神経外科学講座 | Analysis of Epileptic Discharges from Implanted Subdural Electrodes in Patients with Sturge-Weber Syndrome | PLoS One. April 7; 11 (4): e0152992. 2016 |
| 206 | Irie R, Tsuruta K, Hori M, Suzuki M, Kamagata K, Nakanishi A, Kamiya K, Nakajima M, Miyajima M, Arai H, Aoki S | 脳神経外科学講座 | Neurite orientation dispersion and density imaging for evaluation of corticospinal tract in idiopathic normal pressure hydrocephalus. | Jpn J Radiol 35: 25—30, 2016 |
| 207 | Ishikawa K, Omori K, Takeuchi I, Jitsuiki K, Yoshizawa T, Ohsaka H, Nakao Y, Yamamoto T, Yanagawa Y | 脳神経外科学講座 | A comparison between evacuation from the scene and interhospital transportation using a helicopter for subarachnoid hemorrhage | Am J Emerg Med. doi: 10.1016/j.ajem.2016.12.007. [Epub ahead of print], 2016 |
| 208 | Jurjevic I, Miyajima M, Ogino I, Akiba C, Nakajima M, Kondo A, Kikkawa M, Kanai M, Hattori N, Arai H | 脳神経外科学講座 | Decreased Expression of hsa-miR-4274 in Cerebrospinal Fluid of Normal Pressure Hydrocephalus Mimics with Parkinsonian Syndromes | J Alzheimers Dis. 2016 Nov. 28. [Epub ahead of print] |
| 209 | Kageyama, H; Miyajima, M; Ogino, I; Nakajima, M; Shimoji, K; Fukai, R; Miyake, N; Nishiyama, K; Matsumoto, N; Arai, H | 脳神経外科学講座 | Panventriculomegaly with a wide foramen of Magendie and large cisterna magna | J. Neurosurg., 2016; 124: 1858-1866 |

| | | | | |
|-----|--|----------|--|---|
| 210 | Kamiya, K; Kamagata, K; Miyajima, M; Nakajima, M; Hori, M; Tsuruta, K; Mori, H; Kunimatsu, A; Arai, H; Aoki, S; Ohtomo, K | 脳神経外科学講座 | Diffusional Kurtosis Imaging in Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus: Correlation with Severity of Cognitive Impairment | Magn. Reson. Med. Sci., 2016; 15: 316-323 |
| 211 | Kimura, T; Schulz, M; Shimoji, K; Miyajima, M; Arai, H; Thomale, UW | 脳神経外科学講座 | In vitro performance of the fixed and adjustable gravity-assisted unit with and without motion-evidence of motion-induced flow | Acta Neurochir., 2016; 158: 2011-2018 |
| 212 | Kimura T, Tucker A, Sugimura T, Seki T, Fukuda S, Takeuchi S, Miyata S, Fujita T, Hashizume A, Izumi N, Kawasaki K, Katsuno M, Hashimoto M, Sako K | 脳神経外科学講座 | Ultra-Early Combination Antiplatelet Therapy with Cilostazol for the Prevention of Branch Atheromatous Disease: A Multicenter Prospective Study. | Cerebrovasc Dis Extra 6: 84-95, 2016 |
| 213 | Kondo, A; Ishii, H; Aoki, S; Suzuki, M; Nagasawa, H; Kubota, K; Minamimoto, R; Arakawa, A; Tominaga, M; Arai, H | 脳神経外科学講座 | Phase IIa clinical study of [F-18]fluciclovine: efficacy and safety of a new PET tracer for brain tumors | Ann. Nucl. Med., 2016; 30: 608-618 |
| 214 | Miyajima, M; Kazui, H; Mori, E; Ishikawa, M | 脳神経外科学講座 | One-year outcome in patients with idiopathic normal-pressure hydrocephalus: comparison of lumboperitoneal shunt to ventriculoperitoneal shunt | J. Neurosurg., 2016; 125: 1483-1492 |
| 215 | Nakajima M, Miyajima M, Ogino I, Akiba C, Fusegi K, Hara T, Sugano H, Arai H, Hagiwara Y | 脳神経外科学講座 | Accelerated cerebrospinal fluid turnover lowers amyloid b oligomer concentration. | Journal of Hydrocephalus 1-9, 2016 |
| 216 | Noda K, Ishimoto R, Hattori N, Okuma Y, Yamamoto T | 脳神経外科学講座 | Hemichorea improvement following endarterectomy for internal carotid artery stenosis | J Neurol Sci 371: 45-47, 2016 |

| | | | | |
|-----|--|----------|--|--|
| 217 | Nonaka, S; Oishi, H; Tsutsumi, S; Teranishi, K; Tanoue, S; Yasumoto, Y; Yamamoto, M; Arai, H | 脳神経外科学講座 | Endovascular Therapy for Infectious Intracranial Aneurysm: A Report of Four Cases | J. Stroke Cerebrovasc. Dis., 2016; 25: E33-E37 |
| 218 | Okura, H; Golbourn, BJ; Shahzad, U; Agnihotri, S; Sabha, N; Krieger, JR; Figueiredo, CA; Chalil, A; Landon-Brace, N; Riemenschneider, A; Arai, H; Smith, CA; Xu, SL; Kaluz, S; Marcus, AI; Van Meir, EG; Rutka, JT | 脳神経外科学講座 | A role for activated Cdc42 in glioblastoma multiforme invasion | Oncotarget, 2016; 7: 56958-56975 |
| 219 | Ono, K; Oishi, H; Tanoue, S; Hasegawa, H; Yoshida, K; Yamamoto, M; Arai, H | 脳神経外科学講座 | Direct carotid-cavernous fistulas occurring during neurointerventional procedures | Interv. Neuroradiol., 2016; 22: 91-96 |
| 220 | Orgun D, Horiguchi M, Hayashi A, Shimoji K, Arai H, Mizuno H | 脳神経外科学講座 | Conservative Treatment of Large Aplasia Cutis Congenita of the Scalp With Bone Defect With Basic Fibroblast Growth Factor Application | J Craniofac Surg. 2016 Dec. 30. doi: 10.1097/SCS.0000000000003347. [Epub ahead of print] |
| 221 | Otani N, Wada K, Fujii K, Toyooka T, Kumagai K, Ueno H, Tomura S, Tomiyama A, Nakao Y, Yamamoto T, Mori K | 脳神経外科学講座 | Usefulness of Extradural Optic Nerve Decompression via Trans-Superior Orbital Fissure Approach for Treatment of Traumatic Optic Nerve Injury: Surgical Procedures and Techniques from Experience with 8 Consecutive Patients | World Neurosurgery 90: 357-363, 2016 |
| 222 | Otani N, Wada K, Toyooka T, Fujii K, Kobayashi Y, Mori K | 脳神経外科学講座 | Operative surgical nuances of modified extradural temporopolar approach with mini-peeling of dura propria based on cadaveric anatomical study of lateral cavernous structures | Surg Neurol Int 7: 7 (Suppl 16): S454-458, July 2016 |
| 223 | Otani N, Wada K, Toyooka T, Fujii K, Ueno H, Tomura S, Tomiyama A, Nakao Y, Yamamoto T, Mori K | 脳神経外科学講座 | Retrograde Suction Decompression Through Direct Puncture of the Common Carotid Artery for Paraclinoid Aneurysm | Acta Neurochir 123 (Suppl): 51-56, 2016 |

| | | | | |
|-----|--|----------|---|--|
| 224 | Otani N, Wada K, Toyooka T, Fujii K, Ueno H, Tomura S, Tomiyama A, Nakao Y, Yamamoto T, Mori K | 脳神経外科学講座 | Usefulness of suction decompression method combined with extradural temporopolar approach during clipping of complicated internal carotid artery aneurysm. | World Neurosurgery 90: 293—299, 2016 |
| 225 | Sato, H; Takahashi, Y; Kimihira, L; Iseki, C; Kato, H; Suzuki, Y; Igari, R; Sato, H; Koyama, S; Arawaka, S; Kawanami, T; Miyajima, M; Samejima, N; Sato, S; Kameda, M; Yamada, S; Kita, D; Kajima, M; Date, I; Sonoda, Y; Kayama, T; Kuwana, N; Aral, H; Kato, T | 脳神経外科学講座 | A Segmental Copy Number Loss of the SFMBT1 Gene Is a Genetic Risk for Shunt-Responsive, Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus (iNPH): A Case-Control Study | PLoS One. 2016 Nov. 18; 11 (11):e0166615. doi: 10.1371/journal.pone.0166615 |
| 226 | Sekiguchi K, Tsutsumi S, Arai S, Nonaka S, Suzuki T, Ishii H, Izumi H, Yasumoto Y | 脳神経外科学講座 | Osteochondroma Presenting as a Calcified Mass in the Sellar Region and Review of the Literature | J Neurol Surg A Cent Eur Nov. 2016 doi: 10.1055/s-0036-1596056 |
| 227 | Sekimoto S, Oyama G, Izawa N, Ueno S, Jo T, Shimo Y, Nakajima A, Nakajima M, Umemura A, Arai H, Hattori N | 脳神経外科学講座 | Effect of zonisamide on post-traumatic Holmes' tremor | Neurology and Clinical Neuroscience.2016; 4(5)184-185 |
| 228 | Shimizu, A; Komuro, Y; Shimoji, K; Miyajima, M; Arai, H | 脳神経外科学講座 | Quantitative Analysis of Change in Intracranial Volume After Posterior Cranial Vault Distraction | J. Craniofac. Surg., 2016; 27: 1135-1138 |
| 229 | Suzuki M, Kondo A, Ogino I, Arai H, Tomita T, Sredni ST | 脳神経外科学講座 | Overexpression of TEAD4 in atypical teratoid/rhabdoid tumor: New insight to the pathophysiology of an aggressive brain tumor. | Pediatr Blood Cancer64 (7). 2016 Dec. 14. doi: 10.1002/pbc. 26398. [Epub ahead of print] |
| 230 | Takeuchi S, Nagatani K, Otani N, Wada K, Mori K | 脳神経外科学講座 | Hydrogen does not Exert Neuroprotective Effects or Improve Functional Outcomes in Rats After Intracerebral Hemorrhage. | Turk Neurosurg 26: 854—859, 2016 |

| | | | | |
|-----|--|----------|---|---|
| 231 | Teramoto, S; Bertalanffy, H | 脳神経外科学講座 | Predicting the necessity of anterior communicating artery division in the bifrontal basal interhemispheric approach | Acta Neurochir., 2016; 158: 1701-1708 |
| 232 | Tsutsumi, S | 脳神経外科学講座 | Bedside computed tomography in traumatic brain injury: Experience of consecutive 10,000 cases in neurosurgery at a level 1 trauma center in India | Neurol. India, 2016; 64: 199 |
| 233 | Tsutsumi, S; Hori, M; Ono, H; Tabuchi, T; Aoki, S; Yasumoto, Y | 脳神経外科学講座 | The Infundibular Recess Passes through the Entire Pituitary Stalk | Clin. Neuroradiol., 2016; 26: 465-469 |
| 234 | Tsutsumi, S; Nakajima, S; Oda, H; Yasumoto, Y | 脳神経外科学講座 | Langerhans cell histiocytosis with seborrheic eczema of the scalp and extensive calvarial involvement | Childs Nerv. Syst., 2016; 32: 1337-1341 |
| 235 | Tsutsumi, S; Nonaka, S; Ono, H; Yasumoto, Y | 脳神経外科学講座 | The extracranial to intracranial anastomotic channel through the parietal foramen: delineation with magnetic resonance imaging | Surg. Radiol. Anat., 2016; 38: 455-459 |
| 236 | Tsutsumi, S; Ogino, I; Miyajima, M; Arai, H; Ito, M; Yasumoto, Y | 脳神経外科学講座 | Cerebral cavernous malformations with diffuse manifestation: A benign entity? | J. Neurol. Sci., 2016; 367: 335-341 |
| 237 | Tsutsumi, S; Ono, H; Yasumoto, Y | 脳神経外科学講座 | A possible venous connection between the cranial and nasal cavity | Surg. Radiol. Anat., 2016; 38: 911-916 |

| | | | | |
|-----|---|----------|---|---|
| 238 | Tsutsumi, S; Ono, H; Yasumoto, Y | 脳神経外科学講座 | The chiasmatic recess of the third ventricle: delineation with magnetic resonance imaging | Surg. Radiol. Anat., 2016; 38: 881-886 |
| 239 | Uchiyama Y, Nakashima M, Watanabe S, Miyajima M, Taguri M, Miyatake S, Miyake N, Saito H, Mishima H, Kinoshita A, Arai H, Yoshiura K, Matsumoto N | 脳神経外科学講座 | Ultra-sensitive droplet digital PCR for detecting a low-prevalence somatic GNAQ mutation in Sturge-Weber syndrome | Sci Rep 6: 22985, 2016 |
| 240 | Umemura A | 脳神経外科学講座 | Deep brain stimulation for Parkinson disease: Present status and future subject. | Juntendo Medical Journal 62: 315-317, 2016 |
| 241 | Umemura, A; Oyama, G; Shimo, Y; Nakajima, M; Nakajima, A; Jo, T; Sekimoto, S; Ito, M; Mitsuhashi, T; Hattori, N; Arai, H | 脳神経外科学講座 | Current Topics in Deep Brain Stimulation for Parkinson Disease | Neurol. Med.-Chir., 2016; 56: 613-625 |
| 242 | Yamada S, Ishikawa M, Miyajima M, Atsuchi M, Kimura T, Kazui H, Mori E | 脳神経外科学講座 | Disease duration: the key to accurate CSF tap test in iNPH | Acta Neurol Scand, doi: 10.1111/ane.12580. Epub 2016 Feb 29 |
| 243 | Yamada S, Kimura T, Jingami N, Atsuchi M, Hirai O, Tokuda T, Miyajima M, Kazui H, Mori E, Ishikawa M | 脳神経外科学講座 | SINPHONI-2 Investigators. Disability risk or unimproved symptoms following shunt surgery in patients with idiopathic normal-pressure hydrocephalus: post hoc analysis of SINPHONI-2. | J Neurosurg, doi: 10.3171/2016.5.JNS.16377. Epub 2016 Jul 15. |
| 244 | Yamamoto T, Mori K, Esaki T, Nakao Y, Tokugawa J, Watanabe M | 脳神経外科学講座 | Preventive effect of continuous cisternal irrigation with magnesium sulfate solution on angiographic cerebral vasospasms associated with aneurysmal subarachnoid hemorrhages: a randomized controlled trial | Journal of Neurosurgery 124 (1): 18-26, 2016 |

| | | | | |
|-----|---|----------|--|---|
| 245 | Yoshihara A, Fukatsu M, Hoshi K, Ito H, Nollet K, Yamaguchi Y, Ishii R, Tokuda T, Miyajima M, Arai H, Kato T, Furukawa K, Arai H, Kikuchi A, Takeda A, Ugawa Y, Hashimoto Y | 脳神経外科学講座 | Subgroup differences in “brain-type” transferrin and α -synuclein in Parkinson’s disease and multiple system atrophy. | J Biochem 160: 87—91, 2016 |
| 246 | Osada T.Sakamoto N.Ritsuno H.Murakami T.Ueyama H.Matsumoto K.Shibuya T.Ogihara T.Watanabe S. | 消化器内科学 | Closure with clips to accelerate healing of mucosal defects caused by colorectal endoscopic submucosal dissection. | Surg Endosc.2016;30,10:4 438-44 |
| 247 | Asaoka D.Nagahara A.Hojo M.Matsumoto K.Ueyama H.Matsumoto K.Izumi K.Takeda T.Komori H.Akazawa Y.Shimada Y.Osada T.Watanabe S. | 消化器内科学 | Association of medications for lifestyle-related diseases with reflux esophagitis. | Ther Clin Risk Manag. 2016 Oct 4;12:1507-1515. PMID: 27785038 |
| 248 | Asaoka D.Nagahara A.Hojo M.Matsumoto K.Ueyama H.Matsumoto K.Izumi K.Takeda T.Komori H.Akazawa Y.Shimada Y.Osada T.Watanabe S. | 消化器内科学 | Efficacy of alfacalcidol and alendronate on lumbar bone mineral density in osteoporotic patients using proton pump inhibitors. | Biomed Rep. 2016 Aug;5(2):165-170. PMID: 27446535 |
| 249 | Mori M.Genda T.Ichida T.Murata A.Kmaei M.Tsuzura H.Sato S.Narita Y.Kanemitsu Y.Ishikawa S.Kikuchi T.Shimada Y.Hirano K.Iijima K.Sugimoto K.Wada R.Nagahara A.Watanabe S. | 消化器内科学 | Aldo-keto reductase family 1 member B10 is associated with hepatitis B virus-related hepatocellular carcinoma risk. | Hepatol Res. 2016 Apr 15. doi: 10.1111/hepr.12725. [Epub ahead of print] PMID: 27084455 |
| 250 | Ueyama H.Yao T.Matsumoto K.Nakagawa Y.Takeda T.Matsumoto K.Nagahara A.Watanabe S. | 消化器内科学 | Flat-type primary malignant melanoma of the esophagus. | Endoscopy international open2016;4,(6):E687 -9 |
| 251 | Matsumoto K.Ueyama H.Matsumoto K.Akazawa Y.Komori H.Takeda T.Murakami T.Asaoka D.Hojo M.Tomita N.Nagahara A.Kajiyama Y.Yao T.Watanabe S. | 消化器内科学 | Clinicopathological features of alpha-fetoprotein producing early gastric cancer with enteroblastic differentiation. | World J Gastroenterol.2016; 22,36:8203-10 |

| | | | | |
|-----|---|--------|---|---|
| 252 | Takashima S.Ikejima K.Arai K.Yokokawa J.Kon K.Yamashina S.Watanabe S. | 消化器内科学 | Glycine prevents metabolic steatohepatitis in diabetic KK-Ay mice through modulation of hepatic innate immunity. | Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol.2016;311,6:G 1105-1113 |
| 253 | Nakadera E.Yamashina S.Izumi K.Inami Y.Sato T.Fukushima H.Kon K.Ikejima K.Ueno T.Watanabe S. | 消化器内科学 | Inhibition of mTOR improves the impairment of acidification in autophagic vesicles caused by hepatic steatosis. | Biochem Biophys Res Commun.2016;469,4: 1104-10 |
| 254 | Konishi M.Shibuya T.Mori H.Kurashita E.Takeda T.Nomura O.Fukuo Y.Matsumoto K.Sakamoto N.Osada T.Nagahara A.Ogihara T.Watanabe S. | 消化器内科学 | Usefulness of flexible spectral imaging color enhancement for the detection and diagnosis of small intestinal lesions found by capsule endoscopy. | Scand J Gastroenterol2016;4 9,4:501-5 |
| 255 | Nakadera E.Yamashina S.Izumi K.Inami Y.Sato T.Fukushima H.Kon K.Ikejima K.Ueno T.Watanabe S. | 消化器内科学 | Inhibition of mTOR improves the impairment of acidification in autophagic vesicles caused by hepatic steatosis. | Biochem Biophys Res Commun2016;469,4: 1104-10 |
| 256 | Ito T.Sai J K.Okubo H.Saito H.Ishii S.Kanazawa R.Tomishima KWatanabe S.Shiina S. | 消化器内科学 | Safety of immediate endoscopic sphincterotomy in acute suppurative cholangitis caused by choledocholithiasis. | World Journal of Gastrointestinal Endoscopy2016;8,3: 122-197 |
| 257 | Ito T.Sai J K.Okubo H.Saito H.Ishii S.Kanazawa R.Tomishima KWatanabe S.Shiina S. | 消化器内科学 | Safety of immediate endoscopic sphincterotomy in acute suppurative cholangitis caused by choledocholithiasis. | World J Gastrointest Endosc.2016;8,3:180 -5 |
| 258 | Murakami T.Yao T.Mitomi H.Morimoto T.Ueyama H.Matsumoto K.Saito T.Osada T.Nagahara A.Watanabe S. | 消化器内科学 | Clinicopathologic and immunohistochemical characteristics of gastric adenocarcinoma with enteroblastic differentiation: a study of 29 cases. | Gastric Cancer.2016;19,2:49 8-507 |

| | | | | |
|-----|--|--------|---|--|
| 259 | Konuma H.Matsumoto K.Ueyama H.Komori H.Akazawa Y.Ueyama M.Nakagawa Y.Morimoto T.Takeda T.Matsumoto K.Asaoka D.Hojo M.Nagahara A.Yao T.Miyazaki A.Watanabe S. | 消化器内科学 | Procedure Time for Gastric Endoscopic Submucosal Dissection according to Location, considering Both Mucosal Circumferential Incision and Submucosal Dissection. | GASTROENTEROLOGY RESEARCH AND PRACTICE2016;2016:9183793. Epub 2016 Dec 19. |
| 260 | Kanazawa R.Sai J K.Ito T.Miura H.Ishii S.Saito H.Tomishima KShimizu R.Sato K.Hayashi M.Watanabe S.Shiina S. | 消化器内科学 | Prior minimal endoscopic sphincterotomy to prevent pancreatitis related to endoscopic balloon sphincteroplasty. | World J Gastrointest Endosc.2016;8,18:663-668 |
| 261 | Kusama H.Kon K.Ikejima K.Arai K.Aoyama T.Uchiyama A.Yamashina S.Watanabe S. | 消化器内科学 | Sodium 4-phenylbutyric acid prevents murine acetaminophen hepatotoxicity by minimizing endoplasmic reticulum stress. | Journal of Gastroenterology2016 |
| 262 | Kumagai E.Mano Y.Yoshio S.Shoji H.Sugiyama M.Korenaga M.Ishida T.Arai T.Itokawa N.Atsukawa M.Hyogo H.Chayama K.Ohashi T.Ito K.Yoneda M.Kawaguchi T.Torimura T.Nozaeki Y.Watanabe S.Mizokami M.Kanato T. | 消化器内科学 | Serum YKL-40 as a marker of liver fibrosis in patients with non-alcoholic fatty liver disease. | Sci Rep.2016;6:35282 |
| 263 | Kumagai E.Korenaga K.Korenaga M.Imamura M.Ueyama M.Aoki Y.Sugiyama M.Murata K.Masaki N.Kanto T.Mizokami M.Watanabe S. | 消化器内科学 | Appropriate use of virtual touch quantification and FibroScan M and XL probes according to the skin capsular distance. | Journal of Gastroenterology2016;51,5:496-505 |
| 264 | Ueyama M.Nishida N.Korenaga M.Korenaga K.Kumagai E.Yanai H.Adachi H.Katsuyama H.Moriyama S.Hamasaki H.Sako A.Sugiyama M.Aoki Y.Imamura M.Murata K.Masaki N.Kawaguchi T.Torimura T.Hyogo H.Aikata H.Ito K.Sumida Y.Kanazawa A.Watada H.Okamoto K.Honda K.Kon K.Kanto T.Mizokami M.Watanabe S. | 消化器内科学 | The impact of PNPLA3 and JAZF1 on hepatocellular carcinoma in non-viral hepatitis patients with type 2 diabetes mellitus. | Journal of Gastroenterology2016;51,4:370-9 |

| | | | | |
|-----|--|--------|---|--|
| 265 | Haga K.Chiba A.Shibuya T.Osada T.Ishikawa D.Kodani T.Nomura O.Watanabe S.Miyake S. | 消化器内科学 | MAIT cells are activated and accumulated in the inflamed mucosa of ulcerative colitis. | J Gastroenterol Hepatol.2016;31,5:965-72 |
| 266 | Yatagai N.Ueyama H.Shibuya T.Haga K.Takahashi M.Nomura O.Sakamoto N.Osada T.Yao T.Watanabe S. | 消化器内科学 | Obscure gastrointestinal bleeding caused by small intestinal lipoma: a case report. | Journal of medical case reports2016;10,(1):226 |
| 267 | Obayashi N.Ohtsuka Y.Hosoi K.Ikuse T.Jimbo K.Aoyagi Y.Fujii T.Kudo T.Asaoka D.Hojo M.Nagahara A.Watanabe S.Shimizu T. | 消化器内科学 | Comparison of Gene Expression Between Pediatric and Adult Gastric Mucosa with Helicobacter pylori Infection. | Helicobacter2016;21,(2):114-23 |
| 268 | Tsukune Y.Sasaki M.Odajima T.Isoda A.Matsumoto M.Koike M.Tamura H.Moriya K.Ito S.Asahi M.Imai Y.Tanaka J.Handa H.Koiso H.Tanosaki S.Hua J.Hagihara M.Yahata Y.Suzuki S.Watanabe S.Sugimori H.Komatsu N. | 消化器内科学 | Incidence and clinical background of hepatitis B virus reactivation in multiple myeloma in novel agents' era. | Ann Hematol.2016;95,(9):1465-72 |
| 269 | Sato S.Genda T.Ichida T.Murata A.Tsuzura H.Narita Y.Kanemitsu Y.Ishikawa S.Kikuch T.Mori M.Hirano K.Iijima K.Wada R.Nagahara A.Watanabe S. | 消化器内科学 | Impact of aldo-keto reductase family 1 member B10 on the risk of hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma. | J Gastroenterol Hepatol.2016;31,(7):1315-22 |
| 270 | Sato S.Genda T.Ichida T.Amano N.Sato S.Murata A.Tsuzura H.Narita Y.Kanemitsu Y.Hirano K.Shimada Y.Iijima K.Wada R.Nagahara A.Watanabe S. | 消化器内科学 | Prediction of Hepatocellular Carcinoma Development after Hepatitis C Virus Eradication Using Serum Wisteria floribunda Agglutinin-Positive Mac-2-Binding Protein. | Int J Mol Sci. 2016 Dec 20;17(12). pii: E2143. doi: 10.3390/ijms17122143. PMID: 27999409 |
| 271 | Uchiyama Y.Nakashima M.Watanabe S.Miyajima M.Taguri M.Miyatake S.Miyake N.Saito H.Mishima H.Kinoshita A.Arai H.Yoshiura K.Matsumoto N. | 消化器内科学 | Ultra-sensitive droplet digital PCR for detecting a low-prevalence somatic GNAQ mutation in Sturge-Weber syndrome. | Sci Rep.2016;6:22985 |

| | | | | |
|-----|---|--------|---|---|
| 272 | Tatsuzawa M, Ogawa R, Ohkubo A, Shimojima K, Maeda K, Echizen H and Miyazaki A: | 消化器内科学 | Influence of proton pump inhibitors and histamine H2 receptor antagonists on serum phosphorus level control by calcium carbonate in patients undergoing hemodialysis: a retrospective medical chart review. | Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences (2016) 2:34 Published on: 22 November 2016 |
| 273 | Murata A, Genda T, Ichida T, Amano N, Sato S, Tsuzura H, Sato S, Narita Y, Kanemitsu Y, Shimada Y, Hirano K, Iijima K, Wada R, Nagahara A, Watanabe S. | 消化器内科学 | Pretreatment AKR1B10 expression predicts the risk of hepatocellular carcinoma development after hepatitis C virus eradication. | World J Gastroenterol. 2016 Sep 7;22(33):7569-78. PMID: 27672277 |
| 274 | Genda T, Ichida T, Sakisaka S, Tanaka E, Mochida S, Ueno Y, Inui A, Egawa H, Umeshita K, Furukawa H, Kawasaki S, Inomata Y; Assessment Committee of Indication for Transplantation. | 消化器内科学 | Survival in patients with Child-Pugh class C cirrhosis: Analysis of the liver transplant registry in Japan. | Hepatol Res. 2016 Dec 20. doi: 10.1111/hepr.12855. |
| 275 | Fujimoto S, Kondo T, Takamura K, Baber U, Shinozaki T, Nishizaki Y, Kawaguchi Y, Matsumori R, Hiki M, Miyauchi K, Daida H, Hecht H, Stone GW, Narula J | 循環器内科 | Incremental prognostic value of coronary computed tomographic angiography high-risk plaque characteristics in newly symptomatic patients. | J Cardiol. 2016;67:538-44 |
| 276 | Takamura K, Kondo T, Fujimoto S, Hiki M, Matsumori R, Kawaguchi Y, Amanuma M, Takase S, Daida H | 循環器内科 | Incremental predictive value for obstructive coronary artery disease by combination of Duke Clinical Score and Agatston score. Eur Heart J Cardiovasc Imaging. | Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2016;17:550-6 |
| 277 | Takase M, Fujimoto S, Takamura K, Yamashita H, Uno K, Aoki S | 循環器内科 | Age-related differences in image quality of prospectively ECG-triggered axial and helical scans for coronary CT angiography. | Radiol Phys Technol 2016;9:214-20 |
| 278 | Chikata Y, Iwata H, Osborn EA, Fukuda K, Okai I, Shiozaki M, Kimura Y, Inoue K, Fujiwara Y, Sumiyoshi M. | 循環器内科 | Simultaneous subacute coronary artery stent thrombosis in a carrier of two CYP2C19 loss-of function polymorphisms (*2/*3). | Int J Cardiol. 2016 Mar 18;212:148-150 |

| | | | | |
|-----|---|-------|--|---|
| 279 | Shiozawa T, Shimada K, Sekita G, Hayashi H, Tabuchi H, Komatsu S, Miyazaki T, Miyauchi K, Shitara J, Yoshihara T, Sai E, Shiozaki M, Fukao K, Fukushima Y, Yamagami S, Suwa S, Katoh Y, Fujiwara Y, Ikeda H, <u>Sumiyoshi M</u> , Nakazato K, Daida H | 循環器内科 | Watching national team matches in World Cup Soccer 2014 on television was associated with increasing frequency of premature ventricular contractions | J Heart Cardiol, 2016; 2:1-5 |
| 280 | Onda T, Inoue K, Suwa S, Nishizaki Y, Kasai T, Kimura Y, Fukuda K, Okai I, Fujiwara Y, Matsuoka J, Sumiyoshi M, Daida H | 循環器内科 | Reevaluation of cardiac risk scores and multiple biomarkers for the prediction of first major cardiovascular events and death in the drug-eluting stent era | Int J Cardiol, 2016 Jun 14;219:180-185.doi:10.1016/j.ijcard.2016.06.014. [Epub ahead of print], |
| 281 | Murata A, Inoue K, Maruyama S, Iguchi S, Sugita M, Hiki M, Okazaki S, Okai I, Fujiwara Y, Sumiyoshi M, Yamamoto T, Amano A, Daimon M, Daida H | 循環器内科 | Enormous Pedunculated Vegetation Originating in the Left Ventricular Apex in a Patient with Infective Endocarditis | Intern Med, 2016;55(20):2971-2973 |
| 282 | Sai E, Shimada K, Miyauchi K, Masaki Y, Kojima T, Miyazaki T, Kurata T, Ogita M, Tsuboi S, Yoshihara T, Miyazaki T, Ohsaka A, Daida H | 循環器内科 | Increased cystatin C levels as a risk factor of cardiovascular events in patients with preserved estimated glomerular filtration rate after elective percutaneous coronary intervention with drug-eluting stents | Heart Vessels. 2016;31:694-701 |
| 283 | Shiraishi Y, Kohsaka S, Harada K, Miyamoto T, Tanimoto S, Iida K, Sakai T, Miyazaki T, Yagawa M, Matsushita K, Furihata S, Sato N, Fukuda K, Yamamoto T, Nagao K, Takayama M; Tokyo CCU Network Scientific Committee | 循環器内科 | Correlation of pre- and in-hospital systolic blood pressure in acute heart failure patients and the prognostic implications - Report from the Tokyo Cardiac Care Unit Network Emergency Medical Service Database | Circ J. 2016; 80:2473-2481 |
| 284 | Naito R, Miyauchi K*, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Temporal trends in the Clinical Outcomes after Percutaneous Coronary Intervention from 1984 to 2010 - Report from the Juntendo PCI Registry- | Circ J. 2016; 80: 93-100. |

| | | | | |
|-----|--|-------|--|--|
| 285 | Yamakoshi S*, Kasai T, Tomita Y, Takaya H, Kasagi, S, Kawabata M, Narui K, Setoguchi Y. | 循環器内科 | Comparison of clinical features and polysomnographic findings between men and women with sleep apnea. | J Thorac Dis. 2016; 8: 145-151. |
| 286 | Konishi H, Miyauchi K*, Kasai T, Tsuboi S, Ogita M, Naito R, Nishizaki Y, Okai I, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Long-term effect of β -blocker in ST-segment elevation myocardial infarction in patients with preserved left ventricular systolic function: a propensity analysis. | Heart Vessels. 2016; 31: 441-448. |
| 287 | Konishi H, Miyauchi K*, Naito R, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Impact of stent length on clinical outcomes of first-generation and new-generation drug-eluting stents. | Cardiovasc Interv Ther. 2016; 31: 114-121. |
| 288 | Naito R, Miyauchi K*, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Appropriate level of low density lipoprotein cholesterol for secondary prevention of coronary artery disease. | J Atheroscler Thromb. 2016; 23: 413-421. |
| 289 | Uchida T*, Suzuki R, Kasai T, Onose H, Komiya K, Goto H, Takeno K, Ishii S, Sato J, Honda A, Kawano Y, Himuro M, Yamada E, Yamada T, Watada H. | 循環器内科 | Cutoff value of thyroid uptake of ^{99m}Tc -pertechnetate to discriminate between Graves' disease and painless thyroiditis: a single center retrospective study. | Endocr J. 2016; 63: 143-149. |
| 290 | Naito R, Miyauchi K*, Shitara J, Endo H, Wada H, Doi S, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Temporal trends in clinical outcomes following percutaneous coronary intervention in patients with renal insufficiency. | J Atheroscler Thromb. 2016; 23: 1080-1088. |
| 291 | Nakano S*, Takahashi M, Kimura F, Senoo D, Saeki T, Ueda S, Tanno J, Senbonmatsu T, Kasai T, Nishimura S. | 循環器内科 | Cardiac magnetic resonance imaging-based myocardial strain study for evaluation of cardiotoxicity in breast cancer patients treated with trastuzumab: a pilot study to evaluate the feasibility of the method. | Cardiol J. 2016; 23: 270-280. |

| | | | | |
|-----|---|-------|--|---|
| 292 | Mazaki T*, Kasai T, Yokoi H, Kuramitsu S, Yamaji K, Morinaga T, Masuda H, Shirai S, Ando K. | 循環器内科 | Impact of sleep-disordered breathing on long-term outcomes in patients with acute coronary syndrome who have undergone primary percutaneous coronary intervention. | J Am Heart Assoc. 2016; 5: e003270. |
| 293 | Koikawa N, Shimada S, Suda S, Murata A, Kasai T*. | 循環器内科 | Sex differences in subjective sleep quality, sleepiness, and health-related quality of life among collegiate soccer players. | Sleep Biol Rhythms. 2016; 14: 377-386. |
| 294 | Ogita M, Miyauchi K*, Onishi A, Tsuboi S, Wada H, Konishi H, Naito R, Dohi T, Kasai T, Kojima Y, Schwartz R, Daida H. | 循環器内科 | Accelerated coronary atherosclerotic model in a novel low density lipoprotein receptor knock-out swine. | PLoS One. 2016; 11: e0163055. |
| 295 | Tanno J*, Gatate Y, Kasai T, Nakano S, Senbonmatsu T, Sato O, Ichioka S, Kuro-o M, Nishimura S. | 循環器内科 | A novel index using ankle hemodynamic parameters to assess the severity of peripheral arterial disease: A pilot study. | PLoS One. 2016; 11: e0164756. |
| 296 | Naito R, Miyauchi K*, Shitara J, Endo H, Wada H, Doi S, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Combined Effect of Body mass index and Renal Function on Long-term Clinical Outcomes in the Elderly following Percutaneous Coronary Intervention. | J Am Geriatr Soc. 2016; 64: e39-41. |
| 297 | Kattel S, Kasai T*, Matsumoto H, Yatsu S, Murata A, Kato T, Suda S, Hiki M, Takagi A, Daida H. | 循環器内科 | Association between elevated blood glucose level on admission and long-term mortality in patients with acute decompensated heart failure. | J Cardiol. 2016; 69: 619-624 |
| 298 | Shimizu M, Miyazaki T*, Takagi A, Kato T, Suda S, Hiki M, Hiki M, Hayashi H, Kasai T, Shimada K, Miyauchi K, Daida H. | 循環器内科 | Low serum coenzyme Q10 during acute phase in the coronary care unit is associated with in-hospital mortality. | Heart Vessels. 2016 Dec8. [Epub ahead of print] |

| | | | | |
|-----|---|-------|---|---|
| 299 | Yatsu S, Kasai T*, Suda S, Matsumoto H, Shiroshita N, Kato M, Kawana F, Murata A, Kato T, Hiki M, Daida H. | 循環器内科 | Impact of periodic leg movements during sleep in hospitalized patients following acute decompensated heart failure on clinical outcomes. | Circ J. 2016 In press |
| 300 | Miura M, Yamasaki M, Uemura Y, Yoshikawa M, Miyauchi K, Tanaka H, Miyachi H, Yamashita J, Suzuki M, Yamamoto T, Nagao K, Komuro I, Takayama M | 循環器内科 | Effect of Statin Treatment and Low-Density Lipoprotein-Cholesterol on Short-Term Mortality in Acute Myocardial Infarction Patients Undergoing Primary Percutaneous Coronary Intervention – Multicenter Registry From Tokyo CCU Network Database | Circ J. 80: 461–8, 2016 |
| 301 | Hassan A, Dohi T, Miyauchi K, Ogita M, Kurano M, Ohkawa R, Nakamura K, Tamura H, Isoda K, Okazaki S, Yatomi Y, Daida H | 循環器内科 | Prognostic impact of homocysteine levels and homocysteine thiolactonase activity on long-term clinical outcomes in patients undergoing percutaneous coronary intervention. | J Cardiol. 2016 Sep 27. pii: S0914–5087(16)30207–6 |
| 302 | Kuramitsu S, Miyauchi K, Yokoi H, Suwa S, Nishizaki Y, Yokoyama T, Nojiri S, Iwabuchi M, Shirai S, Ando K, Okazaki S, Tamura H, Watada H, Daida H | 循環器内科 | Effect of sitagliptin on plaque changes in coronary artery following acute coronary syndrome in diabetic patients: The ESPECIAL-ACS study. | J Cardiol. 2016 Sep 15. pii: S0914–5087(16)30194–0. |
| 303 | Ogita M, Miyauchi K, Onishi A, Tsuboi S, Wada H, Konishi H, Naito R, Dohi T, Kasai T, Kojima Y, Schwartz RS, Daida H. | 循環器内科 | Development of Accelerated Coronary Atherosclerosis Model Using Low Density Lipoprotein Receptor Knock-Out Swine with Balloon Injury. | PLoS One. 2016 Sep 15;11(9):e0163055 |
| 304 | Noguchi K, Sakakibara M, Asakawa N, Tokuda Y, Kamiya K, Yoshitani T, Oba K, Miyauchi K, Nishizaki Y, Ogawa H, Yokoi H, Matsumoto M, Kitakaze M, Kimura T, Matsubara T, Ikari Y, Kimura K, Origasa H, Isshiki T, Morino Y, Daida H, Tsutsui H; PACIFIC investigators.. | 循環器内科 | Higher Hemoglobin A1c After Discharge Is an Independent Predictor of Adverse Outcomes in Patients With Acute Coronary Syndrome – Findings From the PACIFIC Registry. | Circ J. 2016 Jun 24;80(7):1607–14 |
| 305 | Naito R, Miyauchi K, Daida H, Morimoto T, Hiro T, Kimura T, Nakagawa Y, Yamagishi M, Ozaki Y, Matsuzaki M; JAPAN-ACS Investigators | 循環器内科 | Impact of Total Risk Management on Coronary Plaque Regression in Diabetic Patients with Acute Coronary Syndrome. | J Atheroscler Thromb. 2016 Aug 1;23(8):922–31 |

| | | | | |
|-----|---|-------|--|---|
| 306 | Naito R, Miyauchi K, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Gender difference in long-term clinical outcomes following percutaneous coronary intervention during 1984–2008. | Atherosclerosis. 2016 Apr;247:105–10 |
| 307 | Konishi H, Miyauchi K, Tsuboi S, Ogita M, Naito R, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Plasma lipoprotein(a) predicts major cardiovascular events in patients with chronic kidney disease who undergo percutaneous coronary intervention. | Int J Cardiol. 2016 Feb 15;205:50–3 |
| 308 | Shibayama K, Daimon M, Watanabe H, Kawata T, Miyazaki S, Morimoto-Ichikawa R, Maruyama M, Chiang SJ, Miyauchi K, Daida H. | 循環器内科 | Significance of Coronary Artery Disease and Left Ventricular Afterload in Unoperated Asymptomatic Aortic Stenosis. | Circ J. 2016;80(2):519–25 |
| 309 | Naito R, Miyauchi K, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Temporal Trends in Clinical Outcome After Percutaneous Coronary Intervention 1984–2010 – Report From the Juntendo PCI Registry. | Circ J. 2016;80(1):93–100. |
| 310 | Konishi H, Miyauchi K, Dohi T, Tsuboi S, Ogita M, Naito R, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Impact of stent length on clinical outcomes of first-generation and new-generation drug-eluting stents. | Cardiovasc Interv Ther. 2016 Apr;31(2):114–21 |
| 311 | Konishi H, Miyauchi K, Kasai T, Tsuboi S, Ogita M, Naito R, Nishizaki Y, Okai I, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Long-term effect of β -blocker in ST-segment elevation myocardial infarction in patients with preserved left ventricular systolic function: a propensity analysis. | Heart Vessels. 2016 Apr;31(4):441–8 |
| 312 | Saito S, Maehara A, Yakushiji T, Dohi T, Kobayashi N, Song L, Mintz GS, Ochiai M. | 循環器内科 | Serial Intravascular Ultrasound Findings After Treatment of Chronic Total Occlusions Using Drug-Eluting Stents. | Am J Cardiol. 2016 Mar 1;117(5):727–34. |

| | | | | |
|-----|--|-------|--|--|
| 313 | Wada H, Ogita M, Miyauchi K, Suwa S, Yamano M, Daida H. | 循環器内科 | Case report: Fulminant myocarditis associated with overwhelming pneumococcal infection. | Int J Cardiol. 2016 Nov 15;223:706-707 |
| 314 | Chan MY, Du X, Eccleston D, Ma C, Mohanan PP, Ogita M, Shyu KG, Yan BP, Jeong YH. (equally contributed) | 循環器内科 | Acute coronary syndrome in the Asia-Pacific region | Int J Cardiol. 2016;202:861-869 |
| 315 | Fujino M, Ishihara M, Ogawa H, Nakao K, Yasuda S, Noguchi T, Ozaki Y, Kimura K, Suwa S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Uematsu M, Ako J, Nakai M, Nishimura K, Miyamoto Y; J-MINUET Investigators.. | 循環器内科 | Impact of symptom presentation on in-hospital outcomes in patients with acute myocardial infarction. | Circ J. 2016 Nov 19 |
| 316 | Iijima R, Nakamura M, Matsuyama Y, Muramatsu T, Yokoi H, Hara H, Okada H, Ochiai M, Suwa S, Hozawa H, Kawai K, Awata M, Mukawa H, Fujita H, Nanto S; J-DESSERT.. | 循環器内科 | Effect of Optimal Medical Therapy Before Procedures on Outcomes in Coronary Patients Treated With Drug-Eluting Stents | Am J Cardiol. 2016 Sep 15;118(6):790-6 |
| 317 | Nakatsuma K, Shiomi H, Morimoto T, Furukawa Y, Nakagawa Y, Ando K, Kadota K, Yamamoto T, Suwa S, Horie M, Kimura T; CREDO-Kyoto AMI investigators.. | 循環器内科 | Inter-Facility Transfer vs. Direct Admission of Patients With ST-Segment Elevation Acute Myocardial Infarction Undergoing Primary Percutaneous Coronary Intervention | Circ J. 2016 Jul 25;80(8):1764-72 |
| 318 | Nakamura M, Muramatsu T, Yokoi H, Okada H, Ochiai M, Suwa S, Hozawa H, Kawai K, Awata M, Mukawa H, Fujita H, Shiode N, Asano R, Tsukamoto Y, Yamada T, Yasumura Y, Ohira H, Miyamoto A, Takashima H, Ogawa T, Ito S, Matsuyama Y, Nanto S; J-DESSERT Investigators | 循環器内科 | Three-year follow-up outcomes of SES and PES in a randomized controlled study stratified by the presence of diabetes mellitus: J-DEsSERT trial | Int J Cardiol. 2016 Apr 1;208:4-12 |

| | | | | |
|-----|---|-------|--|---|
| 319 | Kramann R, Goettsch C, Wongboonsin J, Iwata H, Schneider RK, Kuppe C, Kaesler N, Chang-Panesso M, Machado FG, Gratwohl S, Madhurima K, Hutcheson JD, Jain S, Aikawa E and Humphreys BD | 循環器内科 | Adventitial MSC-like Cells Are Progenitors of Vascular Smooth Muscle Cells and Drive Vascular Calcification in Chronic Kidney Disease. | Cell Stem Cell. 2016;19:628-642. |
| 320 | Iwata H, Osborn E, Ughi G, Murakami K, Goettsch C, Hutcheson J, Mauskapf A, Mattson P, Libby P and Aikawa E | 循環器内科 | A Highly Selective PPAR α Agonist K-877 Suppresses Neointima Formation Following Coronary Stenting in Swine. | Journal of the American College of Cardiology. 2016;67:156-159 |
| 321 | Iwata H, Koga J-i, Decano J, Choi J, Mlynarchik AK, Mattson PC, Aikawa E and Aikawa M. | 循環器内科 | Mouse Models of Atherosclerosis (Book Chapter) | Mouse Models of Vascular Diseases: Springer Japan; 2016: 159-193. |
| 322 | Iwata H, Goettsch C, Sharma A, Ricchiuto P, Goh WW, Halu A, Yamada I, Yoshida H, Hara T, Wei M, Inoue N, Fukuda D, Mojcher A, Mattson PC, Barabasi AL, Boothby M, Aikawa E, Singh SA and Aikawa M. | 循環器内科 | PARP9 and PARP14 cross-regulate macrophage activation via STAT1 ADP-ribosylation. | Nat Commun. 2016;7:12849. |
| 323 | Hasumi E, Fujiu K, Imamura T, Iwata H, Sawaki D, Hosoya Y, Ando J, Kojima T, Shimizu Y, Oguri G, Matsubara T, Hatano M, Akazawa H, Watanabe M, Ono M and Komuro I. | 循環器内科 | Cardiac Arrest Triggered by Subepicardial Aneurysm Without Cardiac Rupture. | Circ J. 2016;80:538-40. |
| 324 | Goettsch C, Hutcheson JD, Aikawa M, Iwata H, Pham T, Nykjaer A, Kjolby M, Rogers M, Michel T, Shibasaki M, Hagita S, Kramann R, Rader DJ, Libby P, Singh SA and Aikawa E. | 循環器内科 | Sortilin mediates vascular calcification via its recruitment into extracellular vesicles. | J Clin Invest. 2016;126:1323-36. |
| 325 | Ghiassian SD, Menche J, Chasman DI, Giulianini F, Wang R, Ricchiuto P, Aikawa M, Iwata H, Muller C, Zeller T, Sharma A, Wild P, Lackner K, Singh S, Ridker PM, Blankenberg S, Barabasi AL and Loscalzo J. | 循環器内科 | Endophenotype Network Models: Common Core of Complex Diseases. | Sci Rep. 2016;6:27414. |

| | | | | |
|-----|--|-------|--|---|
| 326 | Takahashi M, Miyazaki S, Myojo M, Sawaki D, Iwata H, Kiyosue A, Higashikuni Y, Tanaka T, Fujita D, Ando J, Fujita H, Hirata Y and Komuro I | 循環器内科 | Impact of the Distance from the Stent Edge to the Residual Plaque on Edge Restenosis following Everolimus-Eluting Stent Implantation | PLoS One. 2016;10:e0121079. |
| 327 | Akita K, Isoda K, Okabayasi Y, Shimada K, Daida H | 循環器内科 | Lack of IkBNS accelerates atherosclerosis in LDL receptor-deficient mice via increased interleukin-6 production | Int J Cardiol, 2016; 211:61-63 |
| 328 | Konishi H, Miyauchi K, Kasai T, Tsuboi S, Ogita M, Naito R, Nishizaki Y, Okai I, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Long-term effect of β -blocker in ST-segment elevation myocardial infarction in patients with preserved left ventricular systolic function: a propensity analysis. | Heart Vessels. 2016 Apr;31(4):441-8. |
| 329 | Konishi H, Miyauchi K, Dohi T, Tsuboi S, Ogita M, Naito R, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Impact of stent length on clinical outcomes of first-generation and new-generation drug-eluting stents. | Cardiovasc Interv Ther. 2016 Apr;31(2):114-21. |
| 330 | Ogita M, Daida H. | 循環器内科 | Optimal medical therapy in diabetic patients with coronary artery disease | Nihon Rinsho. 2016 Apr;74 Suppl 2:311-8 |
| 331 | Ogita M, Miyauchi K, Onishi A, Tsuboi S, Wada H, Konishi H, Naito R, Dohi T, Kasai T, Kojima Y, Schwartz RS, Daida H. | 循環器内科 | Development of Accelerated Coronary Atherosclerosis Model Using Low Density Lipoprotein Receptor Knock-Out Swine with Balloon Injury. | PLoS One. 2016 Sep 15;11(9):e0163055. |
| 332 | Fujino M, Ishihara M, Ogawa H, Nakao K, Yasuda S, Noguchi T, Ozaki Y, Kimura K, Suwa S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Uematsu M, Ako J, Nakai M, Nishimura K, Miyamoto Y; J- | 循環器内科 | Impact of symptom presentation on in-hospital outcomes in patients with acute myocardial infarction. | J Cardiol. 2016 Nov 14. pii: S0914-5087(16)30240-4. |

| | | | | |
|-----|--|-------|---|---|
| 333 | Jiang L, Konishi H, Nurwidya F, Satoh K, Takahashi F, Ebinuma H, Fujimura K, Takasu K, Jiang M, Shimokawa H, Bujo H, Daida H. | 循環器内科 | Deletion of LR11 Attenuates Hypoxia-Induced Pulmonary Arterial Smooth Muscle Cell Proliferation With Medial Thickening in Mice. | Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2016 Sep;36(9):1972-9. doi: 10.1161/ATVBAHA.116.307900. Epub 2016 Aug 4. |
| 334 | Takeshi Wada, Yuji Nakamura, XinCao, Hiroshi Ohara, Hiroko Izumi-nakaseko, Kentaro Ando, Yuji Nakazato, Atsushi Sugiyama. | 循環器内科 | Antiviral drug vidarabine possessing cardiac type 5 adenylyl cyclase inhibitory property did not affect cardiac hemodynamic or electrophysiological variables in the halothane-anesthetized dogs. | J.Toxicolo.Sci. 41:115-122, 2016 |
| 335 | Megumi Shimizu | 循環器内科 | Low circulating coenzyme Q10 during acute phase is associated with inflammation, malnutrition, and in-hospital mortality in patients admitted to the coronary care unit | Heart and vessels,2016; published online |
| 336 | Chiang SJ, Daimon M, Miyazaki S, Kawata T, Morimoto-Ichikawa R, Maruyama M, Ohmura H, Miyauchi K, Lee SL, Daida H. | 循環器内科 | When and how aortic stenosis is first diagnosed: A single-center observational study | J Cardiol 2016; 68: 324-328 |
| 337 | Shibayama K, Daimon M, Watanabe H, Kawata T, Miyazaki S, Morimoto-Ichikawa R, Maruyama M, Chiang SJ, Miyauchi K, Daida H. | 循環器内科 | Significance of Coronary Artery Disease and Left Ventricular Afterload in Unoperated Asymptomatic Aortic Stenosis. | Circ J. 2016;80(2):519-25. |
| 338 | Tamura H, Miyauchi K, Dohi T, Tsuboi S, Ogita M, Kasai T, Katoh Y, Naito R, Konishi H, Yokoyama K, Okazaki S, Isoda K, Kurata T, Daida H | 循環器内科 | Comparison of Clinical and Angiographic Outcomes After Bare Metal Stents and Drug-Eluting Stents Following Rotational Atherectomy | Int Heart J. 2016; 57:150-157 |
| 339 | Akita K, Isoda K, Okabayashi Y, Shimada K, Daida H | 循環器内科 | Lack of IkBNS accelerates atherosclerosis in LDL receptor-deficient mice via increased interleukin-6 production | Int J Cardiol, 2016; 211:61-63 |

| | | | | |
|-----|--|-------|---|---|
| 340 | Wada H, Ogita M, Miyauchi K, Shitara J, Endo H, Doi S, Naito R, Konishi H, Tsuboi S, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Suwa S, Daida H | 循環器内科 | Impact of gender difference on long-term outcomes of percutaneous coronary intervention for coronary artery disease in patients under statin treatment. | Heart Vessels, 2016; 23 |
| 341 | Konishi H, Miyauchi K, Shitara J, Endo H, Wada H, Doi S, Naito R, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Okazaki S, Isoda K, Suwa S, Daida H. | 循環器内科 | Impact of Lipoprotein(a) on Long-term Outcomes in Patients With Diabetes Mellitus Who Underwent Percutaneous Coronary Intervention | Am J Cardiol, 2016; 118(12): 1781-85 |
| 342 | Takase M, Fujimoto S, Takamura K, Yamashita H, Uno K, Aoki S | 循環器内科 | Age-related differences in image quality of prospectively ECG-triggered axial and helical scans for coronary CT angiography. | Radiol Phys Technol. 2016 Jul;9(2):214-20. |
| 343 | Ko BS, Cameron JD, Munnur RK, Wong DT, Fujisawa Y, Sakaguchi T, Hirohata K, Hislop-Jambrich J, Fujimoto S, Takamura K, Crossett M, Leung M, Kuganesan A, Malaiapan Y, Nasis A, Troupis J, Meredith IT, Seneviratne SK. | 循環器内科 | Noninvasive CT-Derived FFR Based on Structural and Fluid Analysis: A Comparison With Invasive FFR for Detection of Functionally Significant Stenosis. | JACC Cardiovasc Imaging. 2016 Oct 14. |
| 344 | Konishi H, Miyauchi K, Kasai T, Tsuboi S, Ogita M, Naito R, Dohi T, Tamura H, Okazaki S, Daida H. | 循環器内科 | Adequate time in therapeutic INR range using triple antithrombotic therapy is not associated with long-term cardiovascular events and major bleeding complications after drug-eluting stent implantation. | J Cardiol. 2016 ;68(6):517-522. |
| 345 | Konishi H, Miyauchi K, Dohi T, Tsuboi S, Ogita M, Naito R, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Impact of stent length on clinical outcomes of first-generation and new-generation drug-eluting stents. | Cardiovasc Interv Ther. 2016 ;31(2):114-21. |
| 346 | Konishi H, Miyauchi K, Kasai T, Tsuboi S, Ogita M, Naito R, Nishizaki Y, Okai I, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Long-term effect of β -blocker in ST-segment elevation myocardial infarction in patients with preserved left ventricular systolic function: a propensity analysis. | Heart Vessels. 2016 ;31(4):441-8. |

| | | | | |
|-----|---|-------|---|--|
| 347 | Naito R, Miyauchi K, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kajimoto K, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Yamamoto T, Amano A, Daida H. | 循環器内科 | Comparing Mortality between Coronary Artery Bypass Grafting and Percutaneous Coronary Intervention with Drug-eluting Stents in Elderly with Diabetes and Multivessel Coronary Disease | Heart and Vessels, 2016; 31: 1424 |
| 348 | Naito R, Miyauchi K, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Temporal Trends in Clinical Outcome After Percutaneous Coronary Intervention 1984–2010 – Report From the Juntendo PCI Registry. | Circ J, 2016; 80: 93 |
| 349 | Naito R, Miyauchi K, Daida H, Morimoto T, Hiro T, Kimura T, Nakagawa Y, Yamagishi M, Ozaki Y, Matsuzaki M; JAPAN-ACS Investigators. | 循環器内科 | Impact of Total Risk Management on Coronary Plaque Regression in Diabetic Patients with Acute Coronary Syndrome. | J Atheroscler Thromb, 2016; 23: 922 |
| 350 | Miura M, Yamasaki M, Uemura Y, Yoshikawa M, Miyauchi K, Tanaka H, Miyachi H, Yamashita J, Suzuki M, Yamamoto T, Nagao K, Komuro I, Takayama M | 循環器内科 | Effect of Statin Treatment and Low-Density Lipoprotein-Cholesterol on Short-Term Mortality in Acute Myocardial Infarction Patients Undergoing Primary Percutaneous Coronary Intervention – Multicenter Registry From Tokyo CCU Network Database | Circ J. 80: 461–8, 2016 |
| 351 | Hassan A, Dohi T, Miyauchi K, Ogita M, Kurano M, Ohkawa R, Nakamura K, Tamura H, Isoda K, Okazaki S, Yatomi Y, Daida H | 循環器内科 | Prognostic impact of homocysteine levels and homocysteine thiolactonase activity on long-term clinical outcomes in patients undergoing percutaneous coronary intervention. | J Cardiol. 2016 Sep 27. pii: S0914-5087(16)30207-6 |
| 352 | Ogita M, Miyauchi K, Onishi A, Tsuboi S, Wada H, Konishi H, Naito R, Dohi T, Kasai T, Kojima Y, Schwartz RS, Daida H. | 循環器内科 | Development of Accelerated Coronary Atherosclerosis Model Using Low Density Lipoprotein Receptor Knock-Out Swine with Balloon Injury. | PLoS One. 2016 Sep 15;11(9):e0163055 |
| 353 | Noguchi K, Sakakibara M, Asakawa N, Tokuda Y, Kamiya K, Yoshitani T, Oba K, Miyauchi K, Nishizaki Y, Ogawa H, Yokoi H, Matsumoto M, Kitakaze M, Kimura T, Matsubara T, Ikari Y, Kimura K, Origasa H, Isshiki T, Morino Y, Daida H, Tsutsui H; PACIFIC investigators.. | 循環器内科 | Higher Hemoglobin A1c After Discharge Is an Independent Predictor of Adverse Outcomes in Patients With Acute Coronary Syndrome – Findings From the PACIFIC Registry. | Circ J. 2016 Jun 24;80(7):1607–14 |

| | | | | |
|-----|--|-------|--|---|
| 354 | Naito R, Miyauchi K, Daida H, Morimoto T, Hiro T, Kimura T, Nakagawa Y, Yamagishi M, Ozaki Y, Matsuzaki M; JAPAN-ACS Investigators | 循環器内科 | Impact of Total Risk Management on Coronary Plaque Regression in Diabetic Patients with Acute Coronary Syndrome. | J Atheroscler Thromb. 2016 Aug 1;23(8):922-31 |
| 355 | Shibayama K, Daimon M, Watanabe H, Kawata T, Miyazaki S, Morimoto-Ichikawa R, Maruyama M, Chiang SJ, Miyauchi K, Daida H. | 循環器内科 | Significance of Coronary Artery Disease and Left Ventricular Afterload in Unoperated Asymptomatic Aortic Stenosis. | Circ J. 2016;80(2):519-25 |
| 356 | Naito R, Miyauchi K, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Temporal Trends in Clinical Outcome After Percutaneous Coronary Intervention 1984-2010 - Report From the Juntendo PCI Registry. | Circ J. 2016;80(1):93-100. |
| 357 | Konishi H, Miyauchi K, Dohi T, Tsuboi S, Ogita M, Naito R, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Impact of stent length on clinical outcomes of first-generation and new-generation drug-eluting stents. | Cardiovasc Interv Ther. 2016 Apr;31(2):114-21 |
| 358 | Konishi H, Miyauchi K, Kasai T, Tsuboi S, Ogita M, Naito R, Nishizaki Y, Okai I, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Long-term effect of β -blocker in ST-segment elevation myocardial infarction in patients with preserved left ventricular systolic function: a propensity analysis. | Heart Vessels. 2016 Apr;31(4):441-8 |
| 359 | Saito S, Maehara A, Yakushiji T, Dohi T, Kobayashi N, Song L, Mintz GS, Ochiai M. | 循環器内科 | Serial Intravascular Ultrasound Findings After Treatment of Chronic Total Occlusions Using Drug-Eluting Stents. | Am J Cardiol. 2016 Mar 1;117(5):727-34. |
| 360 | Wada H, Ogita M, Miyauchi K, Suwa S, Yamano M, Daida H. | 循環器内科 | Case report: Fulminant myocarditis associated with overwhelming pneumococcal infection. | Int J Cardiol. 2016 Nov 15;223:706-707 |

| | | | | |
|-----|--|-------|--|---|
| 361 | Chan MY, Du X, Eccleston D, Ma C, Mohanan PP, Ogita M, Shyu KG, Yan BP, Jeong YH. (equally contributed) | 循環器内科 | Acute coronary syndrome in the Asia-Pacific region | Int J Cardiol. 2016;202:861-869 |
| 362 | Ogita M, Miyauchi K. | 循環器内科 | C-reactive protein and cardiovascular disease | J Cardiol. 2016 Jun 2. Aug;68(2):179 |
| 363 | Fujino M, Ishihara M, Ogawa H, Nakao K, Yasuda S, Noguchi T, Ozaki Y, Kimura K, Suwa S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Uematsu M, Ako J, Nakai M, Nishimura K, Mivamoto Y. J- | 循環器内科 | Impact of symptom presentation on in-hospital outcomes in patients with acute myocardial infarction. | Circ J. 2016 Nov 19 |
| 364 | Kramann R, Goettsch C, Wongboonsin J, Iwata H, Schneider RK, Kuppe C, Kaesler N, Chang-Panesso M, Machado FG, Gratwohl S, Madhurima K, Hutcheson JD, Jain S, Aikawa E and Humphreys BD | 循環器内科 | Adventitial MSC-like Cells Are Progenitors of Vascular Smooth Muscle Cells and Drive Vascular Calcification in Chronic Kidney Disease. | Cell Stem Cell. 2016;19:628-642. |
| 365 | Iwata H, Osborn E, Ughi G, Murakami K, Goettsch C, Hutcheson J, Mauskapf A, Mattson P, Libby P and Aikawa E | 循環器内科 | A Highly Selective PPAR α Agonist K-877 Suppresses Neointima Formation Following Coronary Stenting in Swine. | Journal of the American College of Cardiology. 2016;67:156-159 |
| 366 | Iwata H, Koga J-i, Decano J, Choi J, Mlynarchik AK, Mattson PC, Aikawa E and Aikawa M. | 循環器内科 | Mouse Models of Atherosclerosis (Book Chapter) | Mouse Models of Vascular Diseases: Springer Japan; 2016: 159-193. |
| 367 | Iwata H, Goettsch C, Sharma A, Ricchiuto P, Goh WW, Halu A, Yamada I, Yoshida H, Hara T, Wei M, Inoue N, Fukuda D, Mojcher A, Mattson PC, Barabasi AL, Boothby M, Aikawa E, Singh SA and Aikawa M. | 循環器内科 | PARP9 and PARP14 cross-regulate macrophage activation via STAT1 ADP-ribosylation. | Nat Commun. 2016;7:12849. |

| | | | | |
|-----|---|-------|--|--------------------------------------|
| 368 | Hasumi E, Fujiu K, Imamura T, Iwata H, Sawaki D, Hosoya Y, Ando J, Kojima T, Shimizu Y, Oguri G, Matsubara T, Hatano M, Akazawa H, Watanabe M, Ono M and Komuro I. | 循環器内科 | Cardiac Arrest Triggered by Subepicardial Aneurysm Without Cardiac Rupture. | Circ J. 2016;80:538-40. |
| 369 | Goettsch C, Hutcheson JD, Aikawa M, Iwata H, Pham T, Nykjaer A, Kjolby M, Rogers M, Michel T, Shibasaki M, Hagita S, Kramann R, Rader DJ, Libby P, Singh SA and Aikawa E. | 循環器内科 | Sortilin mediates vascular calcification via its recruitment into extracellular vesicles. | J Clin Invest. 2016;126:1323-36. |
| 370 | Ghiassian SD, Menche J, Chasman DI, Giulianini F, Wang R, Ricchiuto P, Aikawa M, Iwata H, Muller C, Zeller T, Sharma A, Wild P, Lackner K, Singh S, Ridker PM, Blankenberg S, Barabasi AL and Loscalzo J. | 循環器内科 | Endophenotype Network Models: Common Core of Complex Diseases. | Sci Rep. 2016;6:27414. |
| 371 | Takahashi M, Miyazaki S, Myojo M, Sawaki D, Iwata H, Kiyosue A, Higashikuni Y, Tanaka T, Fujita D, Ando J, Fujita H, Hirata Y and Komuro I | 循環器内科 | Impact of the Distance from the Stent Edge to the Residual Plaque on Edge Restenosis following Everolimus-Eluting Stent Implantation | PLoS One. 2016;10:e0121079. |
| 372 | Akita K, Isoda K, Okabayashi Y, Shimada K, Daida H | 循環器内科 | Lack of IkBNS accelerates atherosclerosis in LDL receptor-deficient mice via increased interleukin-6 production | Int J Cardiol, 2016; 211:61-63 |
| 373 | Ogita M, Miyauchi K, Kasai T, Tsuboi S, Wada H, Naito R, Konishi H, Dohi T, Tamura H, Okazaki S, Yanagisawa N, Shimada K, Suwa S, Jiang M, Bujo H, Daida H. | 循環器内科 | Prognostic impact of circulating soluble LR11 on long-term clinical outcomes in patients with coronary artery disease. | Atherosclerosis, 2016; 244: 216-221. |
| 374 | Nishizaki Y, Shimada K, Tani S, Ogawa T, Ando J, Takahashi M, Yamamoto M, Shinozaki T, Miyazaki T, Miyauchi K, Nagao K, Hirayama A, Yoshimura M, Komuro I, Nagai R, Daida H. | 循環器内科 | Association between the docosahexaenoic acid to arachidonic acid ratio and acute coronary syndrome: a multicenter observational study. | BMC Cardiovasc Disord, 2016; 16:143 |

| | | | | |
|-----|--|-------|---|--|
| 375 | Takahashi S, Shimada K, Miyauchi K, Miyazaki T, Sai E, Ogita M, Tsuboi S, Tamura H, Okazaki S, Shiozawa T, Ouchi S, Aikawa T, Kadoguchi T, Al Shahi H, Yoshihara T, Hiki M, Isoda K, Daida H. | 循環器内科 | Low and exacerbated levels of 1,5-anhydroglucitol are associated with cardiovascular events in patients after first-time elective percutaneous coronary intervention. | Cardiovasc Diabetol, 2016; 15:145 |
| 376 | Tadaki S, Sakata Y, Miura Y, Miyata S, Asakura M, Shimada K, Yamamoto T, Fukumoto Y, Kadokami T, Yasuda S, Miura T, Ando S, Yano M, Kitakaze M, Daida H, Shimokawa H. | 循環器内科 | Prognostic Impacts of Metabolic Syndrome in Patients with Chronic Heart Failure –A Multicenter Prospective Cohort Study–. | Circ J, 2016; 80:677–688 |
| 377 | Akita K, Isoda K, Okabayashi Y, Shimada K, Daida H | 循環器内科 | Lack of IkBNS accelerates atherosclerosis in LDL receptor-deficient mice via increased interleukin-6 production | Int J Cardiol, 2016; 211:61–63 |
| 378 | Takeo K, Tamura Y, Kawaguchi M, Kakehi S, Watanabe T, Funayama T, Kaga H, Yamamoto R Kim M, Nishitani M, Shimada K, Daida H, Aoki S, Taka H, Fujimura T, Sawada S, Giacca A, Kanazawa A, Fujitani Y, Kawamori R, Watada H. | 循環器内科 | Relation between insulin sensitivity and metabolic abnormalities in Japanese men with BMI of 23–25 kg/m ² . | J Clin Endocrinol Metab, 2016; 101: 3676–3684 |
| 379 | Kramann R, Goettsch C, Wongboonsin J, <u>Iwata H</u> , Schneider RK, Kuppe C, Kaesler N, Chang-Panesso M, Machado FG, Gratwohl S, Madhurima K, Hutcheson JD, Jain S, Aikawa E and Humphreys BD | 循環器内科 | Adventitial MSC-like Cells Are Progenitors of Vascular Smooth Muscle Cells and Drive Vascular Calcification in Chronic Kidney Disease. | Cell Stem Cell. 2016;19:628–642. |
| 380 | <u>Iwata H</u> , Osborn E, Ughi G, Murakami K, Goettsch C, Hutcheson J, Mauskopf A, Mattson P, Libby P and Aikawa E | 循環器内科 | A Highly Selective PPAR α Agonist K-877 Suppresses Neointima Formation Following Coronary Stenting in Swine. | Journal of the American College of Cardiology. 2016;67:156–159 |
| 381 | <u>Iwata H</u> , Goettsch C, Sharma A, Ricchiuto P, Goh WW, Halu A, Yamada I, Yoshida H, Hara T, Wei M, Inoue N, Fukuda D, Mojcher A, Mattson PC, Barabasi AL, Boothby M, Aikawa E, Singh SA and Aikawa M. | 循環器内科 | PARP9 and PARP14 cross-regulate macrophage activation via STAT1 ADP-ribosylation. | Nat Commun. 2016;7:12849. |

| | | | | |
|-----|---|--------|--|----------------------------------|
| 382 | Hasumi E, Fujiu K, Imamura T, <u>Iwata H</u> , Sawaki D, Hosoya Y, Ando J, Kojima T, Shimizu Y, Oguri G, Matsubara T, Hatano M, Akazawa H, Watanabe M, Ono M and Komuro I. | 循環器内科 | Cardiac Arrest Triggered by Subepicardial Aneurysm Without Cardiac Rupture. | Circ J. 2016;80:538-40. |
| 383 | Goettsch C, Hutcheson JD, Aikawa M, <u>Iwata H</u> , Pham T, Nykjaer A, Kjolby M, Rogers M, Michel T, Shibasaki M, Hagita S, Kramann R, Rader DJ, Libby P, Singh SA and Aikawa E. | 循環器内科 | Sortilin mediates vascular calcification via its recruitment into extracellular vesicles. | J Clin Invest. 2016;126:1323-36. |
| 384 | Ghiassian SD, Menche J, Chasman DI, Giulianini F, Wang R, Ricchiuto P, Aikawa M, <u>Iwata H</u> , Muller C, Zeller T, Sharma A, Wild P, Lackner K, Singh S, Ridker PM, Blankenberg S, Barabasi AL and Loscalzo J. | 循環器内科 | Endophenotype Network Models: Common Core of Complex Diseases. | Sci Rep. 2016;6:27414. |
| 385 | Takahashi M, Miyazaki S, Myojo M, Sawaki D, <u>Iwata H</u> , Kiyosue A, Higashikuni Y, Tanaka T, Fujita D, Ando J, Fujita H, Hirata Y and Komuro I | 循環器内科 | Impact of the Distance from the Stent Edge to the Residual Plaque on Edge Restenosis following Everolimus-Eluting Stent Implantation | PLoS One. 2016;10:e0121079. |
| 386 | Lung transplantation for lymphangioleiomyomatosis in Japan. | 呼吸器内科学 | Lung transplantation for lymphangioleiomyomatosis in Japan. | PLoS One 2016; 11(1): e0146749. |
| 387 | Detection of low-prevalence somatic TSC2 mutations in sporadic pulmonary lymphangioleiomyomatosis tissues by deep sequencing. | 呼吸器内科学 | Detection of low-prevalence somatic TSC2 mutations in sporadic pulmonary lymphangioleiomyomatosis tissues by deep sequencing. | Hum Genet. 2016;135(1):61-8. |
| 388 | Benign clear cell "sugar" tumor of the lung in a patient with Birt-Hogg-Dubé syndrome: a case report. | 呼吸器内科学 | Benign clear cell "sugar" tumor of the lung in a patient with Birt-Hogg-Dubé syndrome: a case report. | BMC Med Genet. 2016;17(1):85. |

| | | | | |
|-----|--|--------|--|---|
| 389 | LSD1/KDM1 isoform LSD1+8a contributes to neural differentiation in small cell lung cancer. | 呼吸器内科学 | LSD1/KDM1 isoform LSD1+8a contributes to neural differentiation in small cell lung cancer. | Biochemical and biophysical research communications. 2016;473(1):125-132. |
| 390 | Loxoprofen-induced interstitial pneumonia: a case report. | 呼吸器内科学 | Loxoprofen-induced interstitial pneumonia: a case report. | J Med Case Rep. 2016,10(1):128. |
| 391 | Frequency of EGFR T790M mutatoin and multimutational profiles of rebiopsy samples from non-small cell lung cancer developing acquired resistance to EGFR tryosine kinase inhibitors in Japanese patients | 呼吸器内科学 | Frequency of EGFR T790M mutatoin and multimutational profiles of rebiopsy samples from non-small cell lung cancer developing acquired resistance to EGFR tryosine kinase inhibitors in Japanese patients | BMC cancer, 2016; 16(1): 864 |
| 392 | Oct4 plays a crucial role in the maintenance of gefitinib-resistant lung cancer stem cells. | 呼吸器内科学 | Oct4 plays a crucial role in the maintenance of gefitinib-resistant lung cancer stem cells. | Biochem Biophys Res Commun. 2016,22;473(1):125-32. |
| 393 | Non-Small-Cell lung cancer treatment: cytotoxic chemotherapy, molecular targeted therapy, and immunotherapy. | 呼吸器内科学 | Non-Small-Cell lung cancer treatment: cytotoxic chemotherapy, molecular targeted therapy, and immunotherapy. | Juntendo Medical Journal,2016, 62(1): 7-12. |
| 394 | Bronchial-pulmonary arterial fistula with primary racemose hemangioma. | 呼吸器内科学 | Bronchial-pulmonary arterial fistula with primary racemose hemangioma. | Respirol Case Rep. 2016,4(2):e00148. . |
| 395 | Gefitinib in the treatment of nonsmall cell lung cancer with activating epidermal growth factor receptor mutation. | 呼吸器内科学 | Gefitinib in the treatment of nonsmall cell lung cancer with activating epidermal growth factor receptor mutation. | J Nat Sci Biol Med. 2016,7(2):119-23. |

| | | | | |
|-----|--|--------|--|--|
| 396 | Bevacizumab-induced chronic interstitial pneumonia during maintenance therapy in non-small cell lung cancer. | 呼吸器内科学 | Bevacizumab-induced chronic interstitial pneumonia during maintenance therapy in non-small cell lung cancer. | Respirol Case Rep. 2016 ,4(2):e00151. |
| 397 | Pleural Covering Application for Recurrent Pneumothorax in a Patient with Birt-Hogg-Dubé Syndrome. | 呼吸器内科学 | Pleural Covering Application for Recurrent Pneumothorax in a Patient with Birt-Hogg-Dubé Syndrome. | Ann Thorac Cardiovasc Surg.2016, 22(3):189-92. |
| 398 | Risk of the preoperative underestimation of tumour size of lung cancer in patients with idiopathic interstitial pneumonias. | 呼吸器内科学 | Risk of the preoperative underestimation of tumour size of lung cancer in patients with idiopathic interstitial pneumonias. | Eur J Cardiothorac Surg. 2016, 50(3): 428-32 |
| 399 | Reductions in pulmonary function detected in patients with lymphangioleiomyomatosis: An analysis of the Japanese National Research Project on Intractable Diseases database. | 呼吸器内科学 | Reductions in pulmonary function detected in patients with lymphangioleiomyomatosis: An analysis of the Japanese National Research Project on Intractable Diseases database. | Respir Investig. 2016,54(3):193-200. |
| 400 | Efficient detection of human circulating tumor cells without significant production of false-positive cells by a novel conditionally replicating adenovirus. | 呼吸器内科学 | Efficient detection of human circulating tumor cells without significant production of false-positive cells by a novel conditionally replicating adenovirus. | Mol Ther Methods Clin Dev. 2016,3:16001. |
| 401 | Sensitive cytometry based system for enumeration, capture and analysis of gene mutations of circulating tumor cells. | 呼吸器内科学 | Sensitive cytometry based system for enumeration, capture and analysis of gene mutations of circulating tumor cells. | Cancer Sci. 2016,107(3):307-14. |
| 402 | A nationwide epidemiological survey of alpha1-antitrypsin deficiency in Japan. | 呼吸器内科学 | A nationwide epidemiological survey of alpha1-antitrypsin deficiency in Japan. | Respir Investig. 2016,54(3):201-6. |

| | | | | |
|-----|--|--------|--|---|
| 403 | A multicenter phase II trial of S-1 combined with bevacizumab after platinum-based chemotherapy in patients with advanced non-squamous non-small cell lung cancer. | 呼吸器内科学 | A multicenter phase II trial of S-1 combined with bevacizumab after platinum-based chemotherapy in patients with advanced non-squamous non-small cell lung cancer. | Cancer Chemother Pharmacol. 2016,78(3):501-7. |
| 404 | Impact of Airflow Limitation on Comorbidities and Postoperative Complications in Patients Undergoing Thoracic Surgery: A Retrospective Observational | 呼吸器内科学 | Impact of Airflow Limitation on Comorbidities and Postoperative Complications in Patients Undergoing Thoracic Surgery: A Retrospective Observational | Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2016,22(3):146-52. |
| 405 | Haploinsufficiency of the folliculin gene leads to impaired functions of lung fibroblasts in patients with Birt-Hogg-Dubé syndrome. | 呼吸器内科学 | Haploinsufficiency of the folliculin gene leads to impaired functions of lung fibroblasts in patients with Birt-Hogg-Dubé syndrome. | Physiol Rep. 2016,4(21). pii: e13025. |
| 406 | Development of diffuse alveolar damage after initiation of Nijutsuto. | 呼吸器内科学 | Development of diffuse alveolar damage after initiation of Nijutsuto. | Respirol Case Rep. 2016,25;4(6):e00195. |
| 407 | Associations between peripheral blood eosinophil counts in patients with systemic sclerosis and disease severity. | 呼吸器内科学 | Associations between peripheral blood eosinophil counts in patients with systemic sclerosis and disease severity. | Springer Plus 2016,5: 1401. |
| 408 | Possible effect of abatacept on the progression of interstitial lung disease in rheumatoid arthritis patients. | 呼吸器内科学 | Possible effect of abatacept on the progression of interstitial lung disease in rheumatoid arthritis patients. | Respiratory Investigation. 2016,54(5): 376-379. |
| 409 | Genomic Instability Is Induced by Persistent Proliferation of Cells Undergoing Epithelial-to-Mesenchymal Transition | 呼吸器内科学 | Genomic Instability Is Induced by Persistent Proliferation of Cells Undergoing Epithelial-to-Mesenchymal Transition | Cell Rep. 2016,6;17(10):2632-2647 |

| | | | | |
|-----|---|--------|---|--|
| 410 | Official American Thoracic Society/Japanese Respiratory Society Clinical Practice Guidelines: Lymphangioleiomyomatosis Diagnosis and Management. | 呼吸器内科学 | Official American Thoracic Society/Japanese Respiratory Society Clinical Practice Guidelines: Lymphangioleiomyomatosis Diagnosis and Management. | Am J Respir Crit Care Med. 2016;15:194(6):748-61 |
| 411 | Leukotriene B4 receptor type 2 protects against pneumolysin-dependent acute lung injury. | 呼吸器内科学 | Leukotriene B4 receptor type 2 protects against pneumolysin-dependent acute lung injury. | Sci Rep, 2016; 6: 34560. |
| 412 | Clinic-based lung cancer screening in Urayasu | 呼吸器内科学 | Clinic-based lung cancer screening in Urayasu | Juntendo Medical Journal 2016;62(6):455-459. |
| 413 | Circulating activated innate lymphoid cells and mucosal-associated invariant T cells are associated with airflow limitation in patients with asthma. | 呼吸器内科学 | Circulating activated innate lymphoid cells and mucosal-associated invariant T cells are associated with airflow limitation in patients with asthma. | Allergol Int. 2016 Aug 26. |
| 414 | Lobe-Specific Nodal Dissection for Clinical Stage I and II NSCLC: Japanese Multi-Institutional Retrospective Study Using a Propensity Score Analysis. | 呼吸器内科学 | Lobe-Specific Nodal Dissection for Clinical Stage I and II NSCLC: Japanese Multi-Institutional Retrospective Study Using a Propensity Score Analysis. | J Thorac Oncol. 2016,11(9):1529-37. |
| 415 | Deletion of LR11 Attenuates Hypoxia-Induced Pulmonary Arterial Smooth Muscle Cell Proliferation With Medial Thickening in Mice. | 呼吸器内科学 | Deletion of LR11 Attenuates Hypoxia-Induced Pulmonary Arterial Smooth Muscle Cell Proliferation With Medial Thickening in Mice. | Arterioscler Thromb Vasc Biol 2016,36(9):1972-9. |
| 416 | A Total Pleural Covering for Lymphangioleiomyomatosis Prevents Pneumothorax Recurrence. | 呼吸器内科学 | A Total Pleural Covering for Lymphangioleiomyomatosis Prevents Pneumothorax Recurrence. | PLoS One. 2016,22;11(9):e0163637 |

| | | | | |
|-----|--|--------|--|--|
| 417 | Isolation of individual cellular components from lung tissues of patients with lymphangioleiomyomatosis. | 呼吸器内科学 | Isolation of individual cellular components from lung tissues of patients with lymphangioleiomyomatosis. | Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol. 2016;310(10):L899-908. |
| 418 | Cerebral infarction in advanced non-small cell lung cancer: a case control study. | 呼吸器内科学 | Cerebral infarction in advanced non-small cell lung cancer: a case control study. | BMC Cancer. 2016,10;16:203. |
| 419 | Comparison of amrubicin and weekly cisplatin/etoposide/irinotecan in patients with relapsed small-cell lung cancer. | 呼吸器内科学 | Comparison of amrubicin and weekly cisplatin/etoposide/irinotecan in patients with relapsed small-cell lung cancer. | Clin Lung Cancer 2016 Oct 25. |
| 420 | Safety of Bronchoscopy for Patients Undergoing Hemodialysis. | 呼吸器内科学 | Safety of Bronchoscopy for Patients Undergoing Hemodialysis. | Respiratory Investigation, 2016; 10: 007 |
| 421 | Relationship between Overall Survival and Response or Progression-Free Survival in Advanced Non-Small Cell Lung Cancer Patients Treated with Anti-PD-1/PD-L1 Antibodies. | 呼吸器内科学 | Relationship between Overall Survival and Response or Progression-Free Survival in Advanced Non-Small Cell Lung Cancer Patients Treated with Anti-PD-1/PD-L1 Antibodies. | J Thorac Oncol. 2016,11(11):1927-1939. |
| 422 | Efficacy and Safety of Long-Term Sirolimus Therapy for Asian Patients with Lymphangioleiomyomatosis. | 呼吸器内科学 | Efficacy and Safety of Long-Term Sirolimus Therapy for Asian Patients with Lymphangioleiomyomatosis. | Ann Am Thorac Soc. 2016,13(11):1912-1922. |
| 423 | Sequential Use of Anaplastic Lymphoma Kinase Inhibitors in Japanese Patients With ALK-Rearranged Non-Small-Cell Lung Cancer: A Retrospective Analysis. | 呼吸器内科学 | Sequential Use of Anaplastic Lymphoma Kinase Inhibitors in Japanese Patients With ALK-Rearranged Non-Small-Cell Lung Cancer: A Retrospective Analysis. | Clin Lung Cancer 2016 Dec 7 |

| | | | | |
|-----|---|--------|---|--|
| 424 | Elimination of p19ARF-expressing cells enhances pulmonary function in mice | 呼吸器内科学 | Elimination of p19ARF-expressing cells enhances pulmonary function in mice | JCI Insight, 2016;1(12):e87732 |
| 425 | Treatment and outcomes of advanced/recurrent non-small cell lung cancer harboring the EGFR T790M mutation: a retrospective observational study of 141 patients in Japan | 呼吸器内科学 | Treatment and outcomes of advanced/recurrent non-small cell lung cancer harboring the EGFR T790M mutation: a retrospective observational study of 141 patients in Japan | Jpn J Clin Oncol, 2016,46(12): 1135-1142 |
| 426 | Assessing usability of the "Adherence Starts with Knowledge 20" (ASK-20) questionnaire for Japanese adults with bronchial asthma receiving inhaled corticosteroids long term. | 呼吸器内科学 | Assessing usability of the "Adherence Starts with Knowledge 20" (ASK-20) questionnaire for Japanese adults with bronchial asthma receiving inhaled corticosteroids long term. | Allergol Int. pii: S1323-8930(16)30150-2, 2016. |
| 427 | Bronchial involvement in advanced stage lymphangioleiomyomatosis: histopathologic and molecular analyses. | 呼吸器内科学 | Bronchial involvement in advanced stage lymphangioleiomyomatosis: histopathologic and molecular analyses. | Hum Pathol. 2016;50:34-42. |
| 428 | Expression of programmed death 1 (PD-1) and its ligand (PD-L1) in thymic epithelial tumors: Impact on treatment efficacy and alteration in expression after chemotherapy. | 呼吸器内科学 | Expression of programmed death 1 (PD-1) and its ligand (PD-L1) in thymic epithelial tumors: Impact on treatment efficacy and alteration in expression after chemotherapy. | Lung Cancer 2016; 99: 4-10. |
| 429 | Risk factors for serious adverse events due to cytotoxic chemotherapy for advanced non-small cell lung cancer. | 呼吸器内科学 | Risk factors for serious adverse events due to cytotoxic chemotherapy for advanced non-small cell lung cancer. | Cancer Treatment and Research Communications 2016;19:106 |
| 430 | Antioxidant nutrients in plasma of Japanese patients with chronic obstructive pulmonary disease (COPD), asthma-COPD overlap syndrome, and bronchial asthma. | 呼吸器内科学 | Antioxidant nutrients in plasma of Japanese patients with chronic obstructive pulmonary disease (COPD), asthma-COPD overlap syndrome, and bronchial asthma. | The Clinical Respiratory Journal 2016 ISSN 1752-6981 |

| | | | | |
|-----|--|----------|--|--|
| 431 | Foley J., Bhosekar V., Kawamori R. | 代謝内分泌内科学 | Does the treatment of type 2 diabetes mellitus with the DPP -4 inhibitor vildagliptin reduce HbA1c to a greater extent in Japanese patients than in Caucasian patients? | Vasc Health Risk Manag. 2016; 12: 9-12 |
| 432 | Fujitani Y., Fujimoto S., Takahashi K., Satoh H., Hirose T., Hiyoshi T., Ai M., Okada Y., Goshō M., Mita T., Watada H. | 代謝内分泌内科学 | Effects of linagliptin monotherapy compared with voglibose on postprandial blood glucose responses in Japanese patients with type 2 diabetes: Linagliptin Study of Effects on Postprandial blood glucose (L-STEP). | Diabetes Res Clin Pract 2016; 121: 146-156 |
| 433 | Hirai H., Fukushima N., Hasegawa K., Watanabe T., Hasegawa O., Satoh H. | 代謝内分泌内科学 | Superior Mesenteric Artery Syndrome Complicated by Diabetic Ketoacidosis and Graves' Disease in Slowly Progressive Insulin Dependent Diabetes Mellitus (SPIDDM): A Case Report and a Review of the Literature. | Intern Med. 2016; 55(15): 2035-2042 |
| 434 | Hirai H., Midorikawa S., Suzuki S., Sasano H., Watanabe T., Satoh H. | 代謝内分泌内科学 | Somatostatin-secreting Pheochromocytoma Mimicking Insulin-dependent Diabetes Mellitus | Intern Med 2016; 55(20): 2985-2991 |
| 435 | Hirai H., Ogata E., Kikuchi N., Kohno T., Machii N., Hasegawa K., Watanabe T., Satoh H. | 代謝内分泌内科学 | The effects of liraglutide on both hypereosinophilic insulin allergy and the characteristics of anti-insulin antibodies in type 2 diabetes mellitus: a case report. | J Med Case Rep, 2016; 10: 202 |
| 436 | Hirai H., Ogata E., Ohki S., Fukuda I., Tanaka M., Watanabe T., Satoh H. | 代謝内分泌内科学 | Hypoglycemia Associated with a Gastrointestinal Stromal Tumor Producing High-molecular-weight Insulin Growth Factor II: A Case Report and Literature Review. | Intern Med. 2016; 55(10): 1309-1314 |
| 437 | Ikeda S., Tamura Y., Kakehi S., Sanada H., Kawamori R., Watada H. | 代謝内分泌内科学 | Exercise-induced increase in IL-6 level enhances GLUT4 expression and insulin sensitivity in mouse skeletal muscle. | Biochem Biophys Res Commun, 2016; 473(4): 947-52 |

| | | | | |
|-----|---|----------|--|---|
| 438 | Imamura M., Takahashi A., Yamauchi T., Hara K., Yasuda K., Grarup N., Zhao W., Wang X., Huerta-Chagoya A., Hu C., Moon S., Long J., Kwak S. H., Rasheed A., Saxena R., Ma R. C., Okada Y., Iwata M., Hosoe J., Shojima N., Iwasaki M., Fujita H., Suzuki K., Danesh J., Jorgensen T., Jorgensen M. E., Witte D. R., Brandslund I., Christensen C., Hansen T., Mercader J. M., Flannick J., Moreno-Macias H., Burt N. P., Zhang R., Kim Y. J., Zheng W., Singh J. R., Tam C. H., Hirose H., Maegawa H., Ito C., Kaku K., Watada H., Tanaka Y., Tobe K., Kawamori R., Kubo M., Cho Y. S., Chan J. C., Sanghera D., Frossard P., Park K. S., Shu X. O., Kim B. J., Florez J. C., Tusie-Luna T., Jia W., Tai E. S., Pedersen O., Saleheen D., Maeda S., Kadowaki T. | 代謝内分泌内科学 | Genome-wide association studies in the Japanese population identify seven novel loci for type 2 diabetes. | Nat Commun, 2016; 7: 10531 |
| 439 | Takehi S., Tamura Y., Takeno K., Sakurai Y., Kawaguchi M., Watanabe T., Funayama T., Sato F., Ikeda S., Kanazawa A., Fujitani Y., Kawamori R., Watada H. | 代謝内分泌内科学 | Increased intramyocellular lipid/impaired insulin sensitivity is associated with altered lipid metabolic genes in muscle of high responders to a high-fat diet. | Am J Physiol Endocrinol Metab, 2016; 310(1): E32-40 |
| 440 | Kubo F., Miyatsuka T., Sasaki S., Takahara M., Yamamoto Y., Shimo N., Watada H., Kaneto H., Gannon M., Matsuoka T. A., Shimomura I. | 代謝内分泌内科学 | Sustained expression of GLP-1 receptor differentially modulates β -cell functions in diabetic and nondiabetic mice. | Biochem Biophys Res Commun, 2016; 471(1): 68-74 |
| 441 | Matsuba R., Imamura M., Tanaka Y., Iwata M., Hirose H., Kaku K., Maegawa H., Watada H., Tobe K., Kashiwagi A., Kawamori R., Maeda S. | 代謝内分泌内科学 | Replication Study in a Japanese Population of Six Susceptibility Loci for Type 2 Diabetes Originally Identified by a Transethnic Meta-Analysis of Genome-Wide Association Studies. | PLoS One, 2016; 11(4): e0154093 |
| 442 | Mita T., Katakami N., Shimomura I., Watada H. | 代謝内分泌内科学 | Response to Comment on Mita et al. Sitagliptin Attenuates the Progression of Carotid Intima-Media Thickening in Insulin-Treated Patients With Type 2 Diabetes: The Sitagliptin Preventive Study of Intima-Media Thickness Evaluation (SPIKE): A Randomized Controlled Trial. Diabetes Care 2016;39:455-464 | Diabetes Care, 2016; 39(7): e104-5 |

| | | | | |
|-----|---|----------|--|--|
| 443 | Mita T., Katakami N., Shiraiwa T., Yoshii H., Onuma T., Kuribayashi N., Osonoi T., Kaneto H., Kosugi K., Umayahara Y., Yamamoto T., Matsumoto K., Yokoyama H., Tsugawa M., Goshō M., Shimomura I., Watada H., Collaborators on the Sitagliptin Preventive Study of Intima-Media Thickness Evaluation T. | 代謝内分泌内科学 | Sitagliptin Attenuates the Progression of Carotid Intima-Media Thickening in Insulin-Treated Patients With Type 2 Diabetes: The Sitagliptin Preventive Study of Intima-Media Thickness Evaluation (SPIKE): A Randomized Controlled Trial | Diabetes Care, 2016; 39(3): 455-64 |
| 444 | Mita T., Katakami N., Yoshii H., Onuma T., Kaneto H., Osonoi T., Shiraiwa T., Kosugi K., Umayahara Y., Yamamoto T., Yokoyama H., Kuribayashi N., Jinnouchi H., Goshō M., Shimomura I., Watada H., Collaborators on the Study of Preventive Effects of Alogliptin on Diabetic Atherosclerosis T. | 代謝内分泌内科学 | Alogliptin, a Dipeptidyl Peptidase 4 Inhibitor, Prevents the Progression of Carotid Atherosclerosis in Patients With Type 2 Diabetes: The Study of Preventive Effects of Alogliptin on Diabetic Atherosclerosis (SPEAD-A). | Diabetes Care, 2016; 39(1): 139-48 |
| 445 | Moriya C., Satoh H. | 代謝内分泌内科学 | Teneligliptin Decreases Uric Acid Levels by Reducing Xanthine Dehydrogenase Expression in White Adipose Tissue of Male Wistar Rats. | J Diabetes Res, 2016; 2016: 3201534, 2016.8.29 |
| 446 | Nishioka K., Uchida T., Usui C., Tanaka R., Matsushima T., Matsumoto Y., Nakamura I., Nishioka K., Hattori N. | 代謝内分泌内科学 | High prevalence of anti-TSH receptor antibody in fibromyalgia syndrome. | Int J Rheum Dis, 2016; [Epub ahead of print], 2016.11.30 |
| 447 | Ohira T., Hosoya M., Yasumura S., Satoh H., Suzuki H., Sakai A., Ohtsuru A., Kawasaki Y., Takahashi A., Ozasa K., Kobashi G., Hashimoto S., Kamiya K., Yamashita S., Abe M., G F. H. M. S. | 代謝内分泌内科学 | Evacuation and Risk of Hypertension After the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. | Hypertension, 2016; 68(3): 558-564 |
| 448 | Ohira T., Hosoya M., Yasumura S., Satoh H., Suzuki H., Sakai A., Ohtsuru A., Kawasaki Y., Takahashi A., Ozasa K., Kobashi G., Kamiya K., Yamashita S., Abe M., G F. H. M. S. | 代謝内分泌内科学 | Effect of Evacuation on Body Weight After the Great East Japan Earthquake. | Am J Prev Med 2016; 50(5): 553-560 |

| | | | | |
|-----|--|----------|---|--|
| 449 | Osonoi Y., Mita T., Osonoi T., Saito M., Tamasawa A., Nakayama S., Someya Y., Ishida H., Kanazawa A., Goshō M., Fujitani Y., Watada H. | 代謝内分泌内科学 | Relationship between dietary patterns and risk factors for cardiovascular disease in patients with type 2 diabetes mellitus: a cross-sectional study. | Nutr J, 2016; 15:15 |
| 450 | Sato J., Kanazawa A., Ikeda F., Shigihara N., Kawaguchi M., Komiya K., Uchida T., Ogihara T., Mita T., Shimizu T., Fujitani Y., Watada H. | 代謝内分泌内科学 | Effect of treatment guidance using a retrospective continuous glucose monitoring system on glycaemic control in outpatients with type 2 diabetes mellitus: A randomized controlled trial. | J Int Med Res, 2016; 44(1): 109-121 |
| 451 | Satoh H., Ohira T., Nagai M., Hosoya M., Sakai A., Watanabe T., Ohtsuru A., Kawasaki Y., Suzuki H., Takahashi A., Kobashi G., Ozasa K., Yasumura S., Yamashita S., Kamiya K., Abe M. | 代謝内分泌内科学 | Prevalence of Renal Dysfunction among Evacuees and Non-evacuees after the Great East Earthquake: Results from the Fukushima Health Management Survey. | Intern Med, 2016; 55(18): 2563-2569 |
| 452 | Satoh H., Ohira T., Nagai M., Hosoya M., Sakai A., Watanabe T., Ohtsuru A., Kawasaki Y., Suzuki H., Takahashi A., Kobashi G., Ozasa K., Yasumura S., Yamashita S., Kamiya K., Abe M. | 代謝内分泌内科学 | Hypo-high-density Lipoprotein Cholesterolemia Caused by Evacuation after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: Results from the Fukushima Health Management Survey. | Intern Med 2016; 55(15): 1967-1976 |
| 453 | Schnell O., Weng J., Sheu W. H., Watada H., Kalra S., Soegondo S., Yamamoto N., Rathod R., Zhang C., Grzeszczak W. | 代謝内分泌内科学 | Acarbose reduces body weight irrespective of glycemic control in patients with diabetes: results of a worldwide, non-interventional, observational study data pool | J Diabetes Complications, 2016; 30(4): 628-37 |
| 454 | Sugaya Y., Satoh H. | 代謝内分泌内科学 | Liver-specific G0/G1 switch gene 2 (G0s2) expression promotes hepatic insulin resistance by exacerbating hepatic steatosis in male Wistar rats. | J Diabetes, 2016; [Epub ahead of print] |
| 455 | Suzuki L., Hirayama S., Fukui M., Sasaki M., Hiroi S., Ayaori M., Terai S., Tozuka M., Watada H., Miida T. | 代謝内分泌内科学 | Lipoprotein-X in cholestatic patients causes xanthomas and promotes foam cell formation in human macrophages. | Journal of Clinical Lipidology, 2016; 11(1): 110-118 |

| | | | | |
|-----|---|----------|---|---|
| 456 | Takeo K., Tamura Y., Kawaguchi M., Kakehi S., Watanabe T., Funayama T., Furukawa Y., Kaga H., Yamamoto R., Kim M., Nishitani-Yokoyama M., Shimada K., Daida H., Aoki S., Taka H., Fujimura T., Sawada S., Giacca A., Kanazawa A., Fujitani Y., Kawamori R., Watada H. | 代謝内分泌内科学 | Relation between insulin sensitivity and metabolic abnormalities in Japanese men with BMI of 23–25 kg/m ² . | J Clin Endocrinol Metab, 2016; 101(10): 3676–3684 |
| 457 | Tanaka A., Inoue T., Kitakaze M., Oyama J., Sata M., Taguchi I., Shimizu W., Watada H., Tomiyama H., Ako J., Sakata Y., Anzai T., Uematsu M., Suzuki M., Eguchi K., Yamashina A., Saito Y., Sato Y., Ueda S., | 代謝内分泌内科学 | Rationale and design of a randomized trial to test the safety and non-inferiority of canagliflozin in patients with diabetes with chronic heart failure: the CANDLE trial | Cardiovasc Diabetol, 2016; 15(1): 57 |
| 458 | Uchida T., Himuro M., Komiya K., Goto H., Takeo K., Honda A., Sato J., Kawano Y., Suzuki R., Watada H. | 代謝内分泌内科学 | Prevalence of fine-needle aspiration biopsy-related complications in Japanese patients and an unfamiliar hyperechoic lesion. | Journal of Ultrasound in Medicine, 2016; 35(3): 599–604 |
| 459 | Uchida T., Himuro M., Komiya K., Goto H., Takeo K., Honda A., Sato J., Kawano Y., Suzuki R., Watada H. | 代謝内分泌内科学 | Evanescence Hyperechoic Changes After Fine-Needle Aspiration Biopsy of the Thyroid in a Series With a Low Overall Prevalence of Complications | Journal of Ultrasound in Medicine, 2016; 35(3): 599–604 |
| 460 | Uchida T., Nishimoto K., Fukumura Y., Asahina M., Goto H., Kawano Y., Shimizu F., Tsujimura A., Seki T., Mukai K., Kabe Y., Suematsu M., Gomez-Sanchez C. E., Yao T., Horie S., Watada H. | 代謝内分泌内科学 | Disorganized Steroidogenesis in Adrenocortical Carcinoma, a Case Study | Endocr Pathol, 2016; 28(1): 27–35 |
| 461 | Uchida T., Suzuki R., Kasai T., Onose H., Komiya K., Goto H., Takeo K., Ishii S., Sato J., Honda A., Kawano Y., Himuro M., Yamada E., Yamada T., Watada H. | 代謝内分泌内科学 | Cutoff value of thyroid uptake of (99m)Tc-pertechnetate to discriminate between Graves' disease and painless thyroiditis: a single center retrospective study. | Endocr J, 2016; 63(2): 143–149 |
| 462 | Ueyama M., Nishida N., Korenaga M., Korenaga K., Kumagai E., Yanai H., Adachi H., Katsuyama H., Moriyama S., Hamasaki H., Sako A., Sugiyama M., Aoki Y., Imamura M., Murata K., Masaki N., Kawaguchi T., Torimura T., Hyogo H., | 代謝内分泌内科学 | The impact of PNPLA3 and JAZF1 on hepatocellular carcinoma in non-viral hepatitis patients with type 2 diabetes mellitus | J Gastroenterol, 2016; 51(4): 370–379 |

| | | | | |
|-----|---|----------|---|---|
| 463 | Yamaguchi H., Arakawa S., Kanaseki T., Miyatsuka T., Fujitani Y., Watada H., Tsujimoto Y., Shimizu S. | 代謝内分泌内科学 | Golgi membrane-associated degradation pathway in yeast and mammals. | EMBO J, 2016; 35(18): 1991-2007 |
| 464 | Yasuda H., Hotta N., Kasuga M., Kashiwagi A., Kawamori R., Yamada T., Baba Y., Alev L., Nakajo K. | 代謝内分泌内科学 | Efficacy and safety of 40 mg or 60 mg duloxetine in Japanese adults with diabetic neuropathic pain: Results from a randomized, 52-week, open-label study. | J Diabetes Investig, 2016; 7(4): 100-108 |
| 465 | Kamijo S, Nunomura S, Ra C, Kanaguchi Y, Suzuki Y, Ogawa H, Okumura K, Takai T | 腎臓内科学 | Innate basophil IL-4 responses against allergens, endotoxin, and cytokines require the Fc receptor gamma-chain | J Allergy Clin Immun, 2016; 137(5) 1613-1615, |
| 466 | Arai S, Kitada K, Yamazaki T, Takai R, Zhang XZ, Tsugawa Y, Sugisawa R, Matsumoto A, Mori M, Yoshihara Y, Doi K, Maehara N, Kusunoki S, Takahata A, Noiri E, Suzuki Y, Yahagi N, Nishiyama A, Gunaratnam L, Takano T. | 腎臓内科学 | Apoptosis inhibitor of macrophage protein (AIM/CD5L) enhances intraluminal debris clearance and ameliorates acute kidney injury in mice | Nat Med, 2016; 22(2) 183-193 |
| 467 | Suzuki H, Allegri L, Suzuki Y, Hall S, Moldoveanu Z, Wyatt RJ, Novak J, Julian BA. | 腎臓内科学 | Galactose-Deficient IgA1 as a Candidate Urinary Polypeptide Marker of IgA Nephropathy? | Dis Markers, 2016; 7806438 |
| 468 | Maruyama S, Gohda T, Suzuki Y, Suzuki H, Sonoda Y, Ichikawa S, Li Z, Murakoshi M, Horikoshi S, Tomino Y | 腎臓内科学 | Beneficial effects of tonsillectomy plus steroid pulse therapy on inflammatory and tubular markers in patients with IgA nephropathy | Kidney Res Clin Pract, 2016; 35: 233-236 |
| 469 | Tawada M, Ito Y, Hamada C, Honda K, Mizuno M, Suzuki Y, Sakata F, Terabayashi T, Matsukawa Y, Maruyama S, Imai E, Matsuo S, Takei Y. | 腎臓内科学 | Vascular Endothelial Cell Injury Is an Important Factor in the Development of Encapsulating Peritoneal Sclerosis in Long-Term Peritoneal Dialysis Patients. | PLoS One, 2016; 11(4): e015464 |

| | | | | |
|-----|---|-------|---|--|
| 470 | Takahata A, Kitada K, Nogi C, Arai S, Makita Y, Suzuki H, Nakata J, Horhoshi S, Miyazaki T, Suzuki Y | 腎臓内科学 | Key role of apoptosis inhibitor of macrophage in pathogenic action of glomerular nephritogenic IgA in IgA nephropathy | Nephrology, 2016; 21: 150 |
| 471 | Takahashi K, Kobayashi T, Sugaya T, Nishiyama A, Fujisawa Y, Horikoshi S, Suzuki Y | 腎臓内科学 | Pathophysiological role of kidney in systemic oxidative stress during chronic intermittent hypoxia | Nephrology, 2016; 21: 156 |
| 472 | Takahata A, Kitada K, Nogi C, Arai S, Makita Y, Suzuki H, Nakata J, Horikoshi S, Miyazaki T, Suzuki Y | 腎臓内科学 | AMI(CD5L) Regulates glomerular IgA deposition and its pathogenicity in IgA nephropathy regulates the glomerular IgA deposition and its pathogenicity in IgA nephropathy | Nephrol Dial Transplant, 2016; 31: 101-102 |
| 473 | Takahashi K, Kobayashi T, Sugaya T, Nishiyama A, Fujisawa Y, Horikoshi S, Suzuki Y | 腎臓内科学 | Pathophysiological role of kidney in systemic oxidative stress during chronic intermittent hypoxia | Nephrol Dial Transplant, 2016; 31: 112-113 |
| 474 | Suzuki H, Makita Y, Takagi M, Kano T, Nogi C, Takahata A, Suzuki Y | 腎臓内科学 | Glomerular galactose-deficient IgA1 is specific for IgA nephropathy | Nephrol Dial Transplant, 2016; 31: 127-128 |
| 475 | Matsuzaki K, Suzuki Y, Suzuki H, Horikoshi S, Kawamura T, Yasuda Y, Yasuda T, Matsuo S, Maruyama S | 腎臓内科学 | Clinical significance of new remission criteria of IgA nephropathy for renal prognosis: A retrospective Japanese multicenter large cohort study. | Nephrol Dial Transplant, 2016; 31: 132-133 |
| 476 | Yamanaka T, Tamauchi H, Suzuki Y, Suzuki H, Horikoshi S, Terashima M, Iwabuchi K, Habu S, Okumura K, Tomino Y | 腎臓内科学 | Release from Th1-type immune tolerance in spleen and enhanced production of IL-5 in Peyer's patch by cholera toxin B induce the glomerular deposition of IgA | Immunobiology, 2016; 221(4): 577-585 |

| | | | | |
|-----|---|-------|--|---|
| 477 | Taguchi K, Ueda S, Fukami K. | 腎臓内科学 | Accurate estimation of protein/creatinine ratio on urine sample in CKD patients | Clin Exp Nephrol, 2016; 20(3): 319-321 |
| 478 | Matsuzaki K, Suzuki H, Kobayashi T, Shimizu Y, Tomino Y | 腎臓内科学 | Analysis of Predictive Factors for Deterioration of Renal Function in Chronic Kidney Disease Patients | Journal of Nephrology & Therapeutics; 2016; 6(2): 1000240 |
| 479 | Yamamoto-Nonaka K, Koike M, Asanuma K, Takagi M, Oliva Trejo J. A, Seki T, Hidaka T, Ichimura K., Sakai T, Tada N, Ueno T, Uchiyama Y, Tomino Y | 腎臓内科学 | Cathepsin D in Podocytes Is Important in the Pathogenesis of Proteinuria and CKD | J Am Soc Nephrol, 2016; 27(9): 2685-2700 |
| 480 | Pesce F, Diciolla M, Binetti G, Naso D, Ostuni V. C, Di Noia T, Vagane A. M, Bjorneklett R, Suzuki H, Tomino Y, Di Sciascio E, Schena F. P. | 腎臓内科学 | Clinical decision support system for end-stage kidney disease risk estimation in IgA nephropathy patients | Nephrol Dial Transplant, 2016; 31(1): 80-86 |
| 481 | Tsuprykov O, Ando R, Reichetzeder C, von Websky K, Antonenko V, Sharkovska Y, Chaykovska L, Rahnenfuhrer J, Hasan A. A, Tammen H, Alter M, Klein T, Ueda S, Yamagishi S, Okuda S, Hofer B | 腎臓内科学 | The dipeptidyl peptidase inhibitor linagliptin and the angiotensin II receptor blocker telmisartan show renal benefit by different pathways in rats with 5/6 nephrectomy | Kidney Int, 2016; 89(5): 1049-1061 |
| 482 | Kato T. S, Nakamura , Murata M, Kuroda K, Suzuki H, Yokoyama Y, Shimada A, Matsushita S, Yamamoto T, Amano A | 腎臓内科学 | The effect of tolvaptan on renal excretion of electrolytes and urea nitrogen in patients undergoing coronary artery bypass surgery | BMC Cardiovasc Disord, 2016; 16: 181 |
| 483 | Nakata J, Io H, Watanabe T, Sasaki Y, Makita Y, Aoki T, Yanagawa H, Kanda R, Tomino Y | 腎臓内科学 | Impact of preoperative ultrasonography findings on the patency rate of vascular access in Japanese hemodialysis patients | Springerplus, 2016; 5: 462 |

| | | | | |
|-----|---|-------|---|--|
| 484 | Yamada-Obara N, Yamagishi S. I, Taguchi K, Kaida Y, Yokoro M, Nakayama Y, Ando R, Asanuma K., Matsui T, Ueda S., Okuda S., Fukami K. | 腎臓内科学 | Maternal exposure to high-fat and high-fructose diet evokes hypo adiponectinemia and kidney injury in rat offspring | Clin Exp Nephrol, 2016; 20(6): 853-861 |
| 485 | Ishijima M, Kaneko H, Hada S, Kinoshita M, Sadatsuki R., Liu L. Z, Shimura Y, Arita H, Shiozawa J, Yusup A, Futami I, Sakamoto Y, Ishibashi M, Machida S, Naito H, Arikawa-Hirasawa E, Hamada C, Saita Y, Takazawa Y. | 腎臓内科学 | Osteoarthritis as a Cause of Locomotive Syndrome: Its Influence on Functional Mobility and Activities of Daily Living | Clinical Reviews in Bone and Mineral Metabolism, 2016; 14(2): 77-104 |
| 486 | Idei M, Tabe Y, Hamada C, Miyake K, Takemura H, Io H, Wakita M, Horii T, Tomino Y, Ohsaka A, Miida T | 腎臓内科学 | Pancreatic lipase activity in overnight effluent predicts high transport status in peritoneal dialysis patients | Clin Chim Acta, 2016; 462: 65-70 |
| 487 | Nohara N, Io H, Matsumoto M, Furukawa M, Okumura K, Nakata J, Shimizu Y, Horikoshi S, Tomino Y | 腎臓内科学 | Predictive factors associated with increased progression to dialysis in early chronic kidney disease (stage 1-3) patients | Clin Exp Nephrol, 2016; 20(5): 740-747 |
| 488 | Huang Z. Q, Raska M, Stewart T. J, Reil C, King R. G, Crossman D. K, Crowley M. R, Hargett A, Zhang Z, Suzuki H, Hall S, Wyatt R. J, Julian B. A, Renfrow M. B, Gharavi A. G, Novak J | 腎臓内科学 | Somatic Mutations Modulate Autoantibodies against Galactose-Deficient IgA1 in IgA Nephropathy | J Am Soc Nephrol, 2016; 27(11): 3278-3284 |
| 489 | Kurahashi H, Okumura A, Kubota T, Kidokoro H, Maruyama K, Hayakawa M, Itakura A, Matsuzawa K, Yamamoto H, Kato T, Hayakawa F, Watanabe K. | 産婦人科学 | Increased fetal heart rate variability in periventricular leukomalacia. | Brain Dev 2016; 38:196-203. |
| 490 | Yamada T, Obata-Yasuoka M, Hamada H, Baba Y, Ohkuchi A, Yasuda S, Kawabata K, Minakawa S, Hirai C, Kusaka H, Murabayashi N, Inde Y, Nagura M, Umazume T, Itakura A, Maeda M, Sagawa N, Ohno Y, Kataoka S, Fujimori K, Kudo Y, Ikeda T, Nakai A, Minakami H. | 産婦人科学 | Isolated gestational proteinuria preceding the diagnosis of preeclampsia – an observational study. | Acta Obstet Gynecol Scand. 2016; 95: 1048-54. |

| | | | | |
|-----|--|-------|---|--|
| 491 | Minatoguchi M, Itakura A, Miki A, Kajihara T, Sasaki S, Takase Y, Kobayashi K, Asada R, Ikebuchi K, Ishihara O. | 産婦人科学 | Coagulation factors in whole blood collected from pregnant women and stored at 4° C. | Nagoya J Med Sci. 2016; 78:1-7. |
| 492 | Makino S, Takeda J, Takeda S | 産婦人科学 | Repair of old perineal laceration accompanied by rectovaginal fistula using levator ani muscle interposition | Taiwanese Journal of Obstetrics and Gynecology 2016;55:743-4 |
| 493 | Katayama M, Hirayama T, Horie K, Kiyono T, Donai K, Takeda S, Nishimori K, Fukuda T | 産婦人科学 | Induced pluripotent stem cells with six reprogramming factors from Prairie Vole, which is an animal model for social behaviors. | Cell Transplant. 2016;25:783-96 |
| 494 | Rumbajan JM, Yamaguchi Y, Nakabayashi K, Higashimoto K, Yastuki H, Nishioka K, Matsuoka K, Aoki S, Toda S, Takeda S, Seki H, Hatada I, Hata K, Soejima H, Joh K. | 産婦人科学 | The HUS1B promoter is hypomethylated in the placentas of low-birth-weight infants. | Gene. 2016 1;583:141-6. |
| 495 | Endo S, Yoshitake H, Tsukamoto H, Matsuura H, Kato K, Sakuraba M, Takamori K, Fujiwara H, Takeda S, Araki Y. | 産婦人科学 | TEX101, a glycoprotein essential for sperm fertility, is required for stable expression of Ly6k on testicular germ cells. | Sci Rep. 2016 23;6:23616 |
| 496 | Hirai C, Sugimura M, Makino S, Takeda | 産婦人科学 | Chymotrypsin enhances soluble fms-like tyrosine kinase 1 production through protease-activated receptor 2 in placenta-derived immortalized human trophoblast cells. | Reprod Sci. 2016;23:1542-1550 |
| 497 | Ujihira T, Ota T, Kusunoki S, Sugimori Y, Kimura M, Kaneda H, Terao Y, Ogishima D, Takeda S | 産婦人科学 | Outcome of Neoadjuvant Intra-Arterial Chemotherapy and Radical Hysterectomy for Treatment of Bulky Stage IB to Stage IIB Uterine Cervical Cancer. Can Postoperative Irradiation Be Avoided? | Int J Gynecol Cancer. 2016;26:1258-63 |

| | | | | |
|-----|---|-------|--|--------------------------------------|
| 498 | Ozaki R, Kumakiri J, Tinelli A, Grimbizis GF, Kitade M, Takeda S. | 産婦人科学 | Evaluation of factors predicting diminished ovarian reserve before and after laparoscopic cystectomy for ovarian endometriomas: a prospective cohort study. | J Ovarian Res. 2016 21;9:37 |
| 499 | Kusunoki S, Ota T, Kaneda H, Kimura M, Terao Y, Takeda S | 産婦人科学 | Analysis of positron emission tomography/computed tomography in patients to differentiate between malignant transformation of endometrioma and endometrioma. | Int J Clin Oncol. 2016 ;21:1136-41 |
| 500 | Suzuki T, Miyake N, Tsurusaki Y, Okamoto N, Alkindy A, Inaba A, Sato M, Ito S, Muramatsu K, Kimura S, Ieda D, Saitoh S, Hiyane M, Suzumura H, Yagyu K, Shiraishi H, Nakajima M, Fueki N, Habata Y, Ueda Y, Komatsu Y, Yan K, Shimoda K, Shitara Y, Mizuno S, Ichinomiya K, Sameshima K, Tsuyusaki Y, Kurosawa K, Sakai Y, Haginoya K, Kobayashi Y, Yoshizawa C, Hisano M, Nakashima M, Saitsu H, Takeda S, Matsumoto N. | 産婦人科学 | Molecular genetic analysis of 30 families with Joubert syndrome. | Clin Genet. 2016 90:526-35. |
| 501 | Takemoto Y, Ota E, Yoneoka D, Mori R, Takeda S. | 産婦人科学 | Japanese secular trends in birthweight and the prevalence of low birthweight infants during the last three decades: A population-based study. | Sci Rep. 2016 9;6:31396. |
| 502 | Makino S, Hirai C, Takeda J, Yorifuji T, Itakura A, Takeda S | 産婦人科学 | Hemostatic technique during cesarean section. | Hypertens Res Pregnancy 2016;4:6-10 |
| 503 | Sano Y, Takeda J, Kuroda K, Makino S, Itakura A, Takeda S | 産婦人科学 | Embrittlement of uterus after uterine artery embolization: a case of uterine perforation. | Hypertens Res Pregnancy 2016;4:42-44 |

| | | | | |
|-----|---|-------|---|--|
| 504 | Takeda J, Tanaka K, Ohashi R | 産婦人科学 | Uterine isthmus vertical compression suture for controlling uterine corpus bleeding: A possible mechanism of decreasing uterine blood flow. | Hypertens Res Pregnancy 2016;4:45 |
| 505 | Ishiguro Tomohito; Takeda, Jun; Fang, Xin; Bronson, Heather; Olson, David | 産婦人科学 | Interleukin (IL)-1 in rat parturition: IL-1 receptors 1 and 2 and accessory proteins abundance in pregnant rat uterus at term - regulation by progesterone. | Physiol Rep. 2016;4. pii: e12866 |
| 506 | Sugiyama T, Okamoto A, Enomoto T, Hamano T, Aotani E, Terao Y, Suzuki N, Mikami M, Yaegashi N, Kato K, Yoshikawa H, Yokoyama Y, Tanabe H, Nishino K, Nomura H, Kim JW, Kim BG, Pignata S, Alexandre J, Green J, Isonishi S, Terauchi F, Fujiwara K, Aoki D. | 産婦人科学 | Randomized Phase III Trial of Irinotecan Plus Cisplatin Compared With Paclitaxel Plus Carboplatin As First-Line Chemotherapy for Ovarian Clear Cell Carcinoma: JGOG3017/GCIG Trial. | J Clin Oncol. 2016 ;20;34:2881-7 |
| 507 | Kunogi H, Yamaguchi N, Terao Y, Sasai K. | 産婦人科学 | Kidney-Sparing Methods for Extended-Field Intensity-Modulated Radiotherapy (EF-IMRT) in Cervical Carcinoma Treatment. | PLoS One. 2016 3;11:e0156623. |
| 508 | Terao Yasuhisa, Kitade Mari, Kusunoki Soshi, Fujino Kazunari, Ujihira Takafumi, Kimura Miki, Kaneda Hiroshi, Takeda Satoru | 産婦人科学 | Surgical and oncological outcome of laparoscopic surgery compared to laparotomy for Japanese patients with endometrial cancer | GMIT 2016;5:64-68. |
| 509 | Inagaki Tetsunori, Kusunoki Soshi, Tabu Kouichi, Okabe Hitomi, Yamada Izumi, Taga Tetsuya, Matsumoto Akemi, Makino Shintaro, Takeda S, Kato Kiyoko | 産婦人科学 | Up-regulation of lymphocyte antigen 6 complex expression in side-population cells derived from a human trophoblast cell line HTR-8/Svneo | Human cell 2016; 29:10-21. |
| 510 | Lee CL, Kusunoki S, Huang KG, Wu KY, Huang CY, Yen CF | 産婦人科学 | Long-term survival outcomes of laparoscopic staging surgery in treating endometrial cancer: 20 years of follow-up | Taiwan J Obstet Gynecol 2016;55:545-551. |

| | | | | |
|-----|---|-------|--|--|
| 511 | Kusunoki S, Kuan-Gen H, Angelito M, Chyi-Long L | 産婦人科学 | Laparoscopic technique of para-aortic lymph node dissection: a comparison of the different approaches to trans- versus extraperitoneal para-aortic lymphadenectomy | GMIT 2016 :1-7 |
| 512 | Kusunoki S, Kuan-Gen H, Angelito M | 産婦人科学 | Spontaneous healing of vaginal cuff dehiscence in a uterine cervical cancer following laparoscopic radical hysterectomy and chemoradiation | Journal of Gynecologic Surgery 2016; 32:300-302 |
| 513 | Kusunoki S, Kuan-Gen H, Angelito M | 産婦人科学 | Total Laparoscopic Repair of Vaginal Cuff Dehiscence During Chemoradiation in an Endometrial Cancer Following Laparoscopic Staging | Journal of Gynecologic Surgery 2016, doi:10.1089/gyn.2016.0093 |
| 514 | Gong C, Yao S, Gomes AR, Man EP, Lee HJ, Gong G, Chang S, Kim SB, Fujino K, Kim SW, Park SK, Lee JW, Lee MH; KOHBRA study group, Khoo US, Lam EW. | 産婦人科学 | BRCA1 positively regulates FOXO3 expression by restricting FOXO3 gene methylation and epigenetic silencing through targeting EZH2 in breast cancer. | Oncogenesis. 2016 4;5:e214. doi: 10.1038/oncsis.2016.23 |
| 515 | Honda Y, Suzuki M, Sato Y, Kuroda K, Shoji H, Shimizu T. | 産婦人科学 | Decreased Serum Anti-Muellerian Hormone Level Is Associated with Vitamin D Deficiency in Healthy Japanese Women | Juntendo Medical Journal, 2016; 62; 153-159. |

| | | | | |
|-----|--|-------|---|--|
| 516 | Toshirumi Suzuki, Noriko Miyake, Yoshinori Tsurusaki, Nobuhiko Okamoto, Adila Alkindy, Aya Inaba, Mai Sato, Shuichi Ito, Kazuhiro Muramatsu, Shigemi Kimura, Daisuke Ieda, Shinji Saitoh, Masato Hiyane, Hiroshi Suzumura, Kazuyori Yagyu, Hideaki Shiraishi, Midori Nakajima, Noboru Fueki, Yumi Habata, Yuki Ueda, Yumiko Komatsu, Kunimasa Yan, Konomi Shimoda, Yoshihiko Shitara, Seiji Mizuno, Kenji Ichinomiya, Kiyoko Sameshima, Yu Tsuyusaki, Kenji Kurosawa, Yasunari Sakai, Kazuhiro Haginoya, Yasuko Kobayashi, Chikage Yoshizawa, Masataka Hisano, Mitsuko Nakashima, Hirotomo Saitsu, Satoru Takeda | 産婦人科学 | Molecular genetic analysis of 30 families with Joubert syndrome. | Clin Genet. 2016; 90:526-535 |
| 517 | Masafumi Katayama, Tohru Kiyono, Kengo Horie, Takashi Hirayama, Takahiro Eitsuka, Kengo Kuroda, Kenichiro Donai, Shizu Hidema, Katsuhiko Nishimori and Tomokazu Fukuda | 産婦人科学 | Establishment of an immortalized cell line derived from the prairie vole via lentivirus-mediated transduction of mutant cyclin-dependent kinase 4, cyclin D, and telomerase reverse transcriptase | Experimental Animals 2016;65;87-96 |
| 518 | Balogun OO, da Silva Lopes K, Ota E, Takemoto Y, Rumbold A, Takegata M, Mori R. | 産婦人科学 | Vitamin supplementation for preventing miscarriage | Cochrane Database of Systematic Reviews 2016, Issue 5. Art. No.: CD004073. doi: 10.1002/14651858.CD004073.pub4 |
| 519 | Jun Takeda, Jun Kumakiri, Shintaro Makino, Atsuo Itakura, Satoru Takeda | 産婦人科学 | Laparoscopic removal of uterine vertical compression sutures | GMIT (2016) http://dx.doi.org/10.1016/j.gmit.2016.03.002 |
| 520 | Nagai S, Ikeda K, Horie-Inoue K, Shiba S, Nagasawa S, Takeda S, Inoue S | 産婦人科学 | Estrogen modulates exercise endurance along with mitochondrial uncoupling protein 3 downregulation in skeletal muscle of female mice. | Biochem Biophys Res Commun. 2016 25;480:758-764 |

| | | | | |
|-----|---|-------|---|--|
| 521 | Jun Takeda, Kazunori Tanaka, Ryota Ohashi | 産婦人科学 | Uterine isthmus vertical compression suture for controlling uterine corpus bleeding: A possible mechanism of decreasing uterine blood flow | Hypertens Res Pregnancy 2016; 4: 45-45 |
| 522 | Hamamura K, Nonaka D, Ishikawa H, Banzai M, Yanagida M, Nojima M, Yoshida K, Lee LJ, Tanaka K, Takamori K, Takeda S, Araki Y | 産婦人科学 | Simple quantitation for potential serum disease biomarker peptides, primarily identified by a peptidomics approach in the serum with hypertensive disorders of pregnancy | Annals of Clinical Biochemistry 2016; 53: 85-96 |
| 523 | Tajima A, Suzuki C, Kikuchi I, Kasahara H, Koizumi A, Nojima M, Yoshida K. | 産婦人科学 | Efficacy of the echo pattern classification of ovarian tumors 2000 in conjunction with transvaginal ultrasonography for diagnosis of ovarian masses | J Med Ultrason. 2016;43:249-55. |
| 524 | Hiroshi Yoshitake, Risako Oda, Mitsuaki Yanagida, Yu Kawasaki, Mayumi Sakuraba, Kenji Takamori, Akiko Hasegawa, Hiroshi Fujiwara, Yoshihiko Araki | 産婦人科学 | Identification of an anti-sperm auto-monoclonal antibody (Ts4)-recognized molecule in the mouse sperm acrosomal region and its inhibitory effects on fertilization in vitro | Journal of Reproductive Immunology, 2016, 115:6-13 |
| 525 | Yoshimi A, Toya T, Nannya Y, Takaoka K, Kirito K, Ito E, Nakajima H, Hayashi Y, Takahashi T, Moriya-Saito A, Suzuki K, Harada H, Komatsu N, Usuki K, Ichikawa M, Kurokawa M | 血液内科学 | Spectrum of clinical and genetic features of patients with inherited platelet disorder with suspected predisposition to hematological malignancies: a nationwide survey in Japan. | Ann Oncol, 2016;27(5):887-95 |
| 526 | Tsukune Y, Sasaki M, Odajima T, Isoda A, Matsumoto M, Koike M, Tamura H, Moriya K, Ito S, Asahi M, Imai Y, Tanaka J, Handa H, Koiso H, Tanosaki S, Hua J, Hagihara M, Yahata Y, Suzuki S, Watanabe S, Sugimori H, Komatsu N | 血液内科学 | Incidence and clinical background of hepatitis B virus reactivation in multiple myeloma in novel agents' era. | Ann Hematol, 2016;95(9):1465-72 |
| 527 | Araki M, Yang Y, Masubuchi N, Hironaka Y, Takei H, Morishita S, Mizukami Y, Kan S, Shirane S, Edahiro Y, Sunami Y, Ohsaka A, Komatsu N | 血液内科学 | Activation of the thrombopoietin receptor by mutant calreticulin in CALR-mutant myeloproliferative neoplasms. | Blood, 2016;127(10):1307-1316 |

| | | | | |
|-----|--|-------|--|------------------------------------|
| 528 | Baba T, Tanabe Y, Yoshikawa S, Yamanishi Y, Morishita S, Komatsu N, Karasuyama H, Hirao A, Mukaida N | 血液内科学 | MIP-1 α /CCL3-expressing basophil-lineage cells drive the leukemic hematopoiesis of chronic myeloid leukemia in mice. | Blood, 2016;127(21):2607-17 |
| 529 | Liew EL, Araki M, Hironaka Y, Mori S, Tan TZ, Morishita S, Edahiro Y, Ohsaka A, Komatsu N. | 血液内科学 | Identification of AIM2 as a downstream target of JAK2V617F. | Exp Hematol Oncol, 2016;5:2 |
| 530 | Miyasaka N, Miura O, Kawaguchi T, Arima N, Morishita E, Usuki K, Morita Y, Nishiwaki K, Ninomiya H, Gotoh A, Imashuku S, Urabe A, Shichishima T, Nishimura J, Kanakura Y | 血液内科学 | Pregnancy outcomes of patients with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria treated with eculizumab: a Japanese experience and updated review. | Int J Hematol, 2016;103(6):703-12 |
| 531 | Ichikawa K, Edahiro Y, Gotoh A, Iiduka K, Komatsu N, Koike M | 血液内科学 | Co-occurrence of hyperleukocytosis and elevated fibrin-fibrinogen degradation product levels is a risk factor for early intracranial hemorrhage in patients with de novo acute leukemia. | Int J Hematol, 2016;104(5):612-620 |
| 532 | Tsukune Y, Komatsu N | 血液内科学 | Management of Adult Chronic Immune Thrombocytopenia in Japan: Patient and Hematologist Perspectives from a Multi-center Cross-sectional Questionnaire Survey. | Intern Med, 2016;55(17):2379-85 |
| 533 | Kobayashi Y, Saita Y, Nishio H, Ikeda H, Takazawa Y, Nagao M, Takaku T, Komatsu N, Kaneko K | 血液内科学 | Leukocyte concentration and composition in platelet-rich plasma(PRP) influences the growth factor and protease concentrations. | J Orthop Sci, 2016;21(5):683-9 |
| 534 | Matsuoka S, Ishii Y, Nakao A, Abe M, Ohtsuji N, Momose S, Jin H, Arase H, Sugimoto K, Nakaushi Y, Masutani H, Maeda M, Yagita H, Komatsu N, Hino O | 血液内科学 | Establishment of a Therapeutic Anti-Pan HLA-Class II Monoclonal Antibody That Directly Induces Lymphoma Cell Death via Large Pore Formation. | PLoS One, 2016;11(3):e0150496 |

| | | | | |
|-----|--|-------------|--|---|
| 535 | Iizuka K, Yokomizo T, Watanabe N, Tanaka Y, Osato M, Takaku T, Komatsu N | 血液内科学 | Lack of Phenotypical and Morphological Evidences of Endothelial to Hematopoietic Transition in the Murine Embryonic Head during Hematopoietic Stem Cell Emergence. | PLoS One, 2016;11(5):e0156427 |
| 536 | Ayabe T, Fukami M, Ogata T, Kawamura T, Urakami T, Kikuchi N, Yokota I, Ihara K, Takemoto K, Mukai T, Nishii A, Kikuchi T, Mori T, Shimura N, Sasaki G, Kizu R, Takubo N, Soneda S, Fujisawa T, Takaya R, Kizaki Z, Kanzaki S, Hanaki K, Matsuura N, Kasahara Y, Kosaka K, Takahashi T, Minamitani K, Matsuo S, Mochizuki H, Kobayashi K, Koike A, Horikawa R, Teno S, Tsubouchi K, Mochizuki T, Igarashi Y, Amemiya S, Sugihara S; Japanese Study Group of Insulin Therapy for Childhood and Adolescent Diabetes (JSGIT). | 小児思春期発達・病態学 | Variants associated with autoimmune type 1 diabetes in Japanese children: implications for age-specific effects of cis-regulatory haplotypes at 17q12-q21. | Diabet Med, 2016; 33:1717-22. |
| 537 | Fujii T, Sato M, Hosoi K, Ohbayashi N, Ikuse T, Jimbo K, Aoyagi Y, Kudo T, Ohtsuka Y, Shimizu T. | 小児思春期発達・病態学 | Assessment of the family history of patients with ulcerative colitis at a single center in Japan. | J Pediatr Gastroenterol Nutr, 2016; 63:512-5. |
| 538 | Fujinaga S, Ozawa K, Sakuraya K, Yamada A, Shimizu T. | 小児思春期発達・病態学 | Late-onset adverse events after a single dose of rituximab in children with complicated steroid-dependent nephrotic syndrome. | Clin Nephrol, 2016; 85:340-5. |
| 539 | Honda Y, Suzuki M, Sato Y, Kuroda K, Shoji H, Shimizu T. | 小児思春期発達・病態学 | Decreased serum anti-Müllerian hormone level is associated with vitamin D deficiency in Japanese healthy women. | Juntendo Medical Journal, 2016; 62,153-9. |
| 540 | Ikeda N, Shoji H, Suganuma H, Ohkawa N, Kantake M, Murano Y, Sakuraya K, Shimizu T. | 小児思春期発達・病態学 | Effects of insulin-like growth factor-I during early postnatal period in intrauterine growth-restricted rats. | Pediatr Int, 2016; 58:353-8. |

| | | | | |
|-----|--|-------------|---|-----------------------------------|
| 541 | Ikejiri K, Hosozawa M, Mitomo S, Tanaka K, Shimizu T. | 小児思春期発達・病態学 | Reduced growth during early infancy in very low birth weight children with autism spectrum disorder. | Early Hum Dev, 2016; 98:23-7. |
| 542 | Ishibashi T, Yaguchi A, Terada K, Ueno-Yokohata H, Tomita O, Iijima K, Kobayashi K, Okita H, Fujimura J, Ohki K, Shimizu T, Kiyokawa N. | 小児思春期発達・病態学 | Ph-like ALL-related novel fusion kinase ATF7IP-PDGFRB exhibits high sensitivity to tyrosine kinase inhibitors in murine cells. | Exp Hematol, 2016; 44:177-88. |
| 543 | Ishiyama A, Seo S, Murakami H, Ochi T, Okawada M, Doi T, Miyano G, Koga H, Lane GJ, Haruna H, Shimizu T, Yamataka A. | 小児思春期発達・病態学 | Staged segmental urethroplasty for scrotal/perineal hypospadias: a new concept. | Pediatr Surg Int, 2016; 32:403-9. |
| 544 | Jimbo K, Takeda M, Miyata E, Murakami H, Kyodo R, Orikasa H, Lane GJ, Shimizu T, Yamataka A. | 小児思春期発達・病態学 | Is a pediatrician performed gray scale ultrasonography with power Doppler study safe and effective for triaging acute non-perforated appendicitis for conservative management? | J Pediatr Surg, 2016; 51:1952-6. |
| 545 | Keino D, Kinoshita A, Tomizawa D, Takahashi H, Ida K, Kurosawa H, Koike K, Ota S, Iwasaki N, Fujimura J, Yuza Y, Kiyotani C, Yamamoto S, Osumi T, Ueda T, Mochizuki S, Isoyama K, Hanada R, Tawa A, Manabe A, Taguchi Y. | 小児思春期発達・病態学 | Residual disease detected by multidimensional flow cytometry shows prognostic significance in childhood acute myeloid leukemia with intermediate cytogenetics and negative FLT3-ITD: a report from the Tokyo Children's Cancer Study Group. | Int J Hematol, 2016; 103: 416-22. |
| 546 | Kitamura T, Kitamura Y, Hamano H, Shoji H, Shimizu T, Shimizu T. | 小児思春期発達・病態学 | The ratio of docosahexaenoic acid and arachidonic acid in Infant formula influences the fatty acid composition of the erythrocyte membrane in low-birth-weight infants. | Ann Nutr Metab, 2016; 68:103-12. |
| 547 | Kitamura Y, Kondo E, Urano M, Aoki R, Saito K. | 小児思春期発達・病態学 | Target resequencing of neuromuscular disease-related genes using next-generation sequencing for patients with undiagnosed early-onset neuromuscular disorders. | J Hum Genet, 2016; 61:931-42. |

| | | | | |
|-----|---|-------------|---|---|
| 548 | Kono Y, Yonemoto N, Kusuda S, Hirano S, Iwata O, Tanaka K, Nakazawa J. | 小児思春期発達・病態学 | Developmental assessment of VLBW infants at 18 months of age: a comparison study between KSPD and Bayley III. | Brain Dev, 2016; 38:377-85. |
| 549 | Matsui K, Takahashi K, Tanaka N, Kobayashi M, Yamada M, Kishiro M, Itatani, K, Miyaji K, Shimizu T. | 小児思春期発達・病態学 | Relationship between left ventricular deformation and early diastolic intraventricular pressure difference during rest and exercise. | Juntendo Medical Journal, 2016; 62:26-33. |
| 550 | Nakanishi K, Takahashi K, Kawasaki S, Fukunaga H, Amano A. | 小児思春期発達・病態学 | Management of congenital complete heart block in a low-birth-weight infant. | J Card Surg, 2016; 31:645-7 . |
| 551 | Nishizaki N, Maiguma A, Obinata K, Okazaki T, Shimizu T. | 小児思春期発達・病態学 | Localized intestinal perforations as a potential complication of brain hypothermic therapy for perinatal asphyxia. | J Matern Fetal Neonatal Med, 2016; 29:2537-9. |
| 552 | Obayashi N, Ohtsuka Y, Hosoi K, Ikuse T, Jimbo K, Aoyagi Y, Fujii T, Kudo T, Asaoka D, Hojo M, Nagahara A, Watanabe S, Shimizu T. | 小児思春期発達・病態学 | Comparison of gene expression between pediatric and adult gastric mucosa with Helicobacter pylori infection. | Helicobacter, 2016; 21:114-23. |
| 553 | Okumura A, Abe S, Kurahashi H, Takasu M, Ikeno M, Nakazawa M, Igarashi A, Shimizu T. | 小児思春期発達・病態学 | Worsening of attitudes toward epilepsy following less influential media coverage of epilepsy-related car accidents: An infodemiological approach. | Epilepsy Behav, 2016; 64(Pt A):206-11. |
| 554 | Okumura A, Nakahara E, Ikeno M, Abe S, Igarashi A, Nakazawa M, Takasu M, Shimizu T. | 小児思春期発達・病態学 | Efficacy and tolerability of high-dose phenobarbital in children with focal seizures. | Brain Dev, 2016; 38:414-8. |

| | | | | |
|-----|--|-------------|--|---|
| 555 | Saito N, Suzuki M, Sakurai Y, Nakano S, Naritaka N, Minowa K, Sai JK, Shimizu T. | 小児思春期発達・病態学 | Genetic analysis of Japanese children with acute recurrent and chronic pancreatitis. | J Pediatr Gastroenterol Nutr, 2016; 63:431-6. |
| 556 | Shimizu H, Arai K, Abe J, Nakabayashi K, Yoshioka T, Hosoi K, Kuroda M. | 小児思春期発達・病態学 | Repeated fecal microbiota transplantation in a child with ulcerative colitis. | Pediatr Int, 2016; 58:781-5. |
| 557 | Shoda T, Matsuda A, Arai K, Shimizu H, Morita H, Orihara K, Okada N, Narita M, Ohya Y, Saito H, Matsumoto K, Nomura I. | 小児思春期発達・病態学 | Sera of patients with infantile eosinophilic gastroenteritis showed a specific increase in both thymic stromal lymphopoietin and IL-33 levels. | J Allergy Clin Immunol, 2016; 138:299-303. |
| 558 | Shoji H, Watanabe A, Ikeda N, Mori M, Kitamura T, Hisata K, Shimizu T. | 小児思春期発達・病態学 | Influence of gestational age on serum incretin levels in preterm infants. | J Dev Orig Health Dis, 2016; 7:685-8. |
| 559 | Suzuki M, Tajiri H, Tanaka Y, Takano T, Miyoshi Y, Murakami J, Shimizu T, Brooks S. | 小児思春期発達・病態学 | Peginterferon therapy in children with chronic hepatitis C: A nationwide, multi-center study in Japan, 2004-2013. | J Pediatr Gastroenterol Nutr, 2016; 63:88-93. |
| 560 | Takamizu A, Yamamoto Y, Takahashi K, Shimizu T, Itakura A, Takeda S. | 小児思春期発達・病態学 | EP03.09: The change of early diastolic intraventricular pressure difference in fetuses at mid to late gestation. | Ultrasound Obstet Gynecol, 2016; 48 Suppl 1:279-80. |
| 561 | Tomiki Y, Dambara K, Okada T, Nishizuka M, Kempe K, Suzuki T, Watanabe M, Sekine M, Ishii Y, Shimizu T. | 小児思春期発達・病態学 | Medical students who do not practice prior to taking clinical skill examinations -Sex differences in students' practical examinations scores-. | Juntendo Medical Journal, 2016; 62:42-46. |

| | | | | |
|-----|---|-----------------|---|--|
| 562 | Vecchio AL, Dias JA, Berkley JA, Boey C, Cohen MB, Cruchet S, Liguoro I, Lindo ES, Sandhu B, Sherman P, Shimizu T, Guarino A. | 小児思春期発達・病態学 | Comparison of recommendations in clinical practice guidelines for acute gastroenteritis in children. | J Pediatr Gastroenterol Nutr, 2016; 63:226-35. |
| 563 | Wakabayashi K, Kodama H, Ogawa E, Sato Y, Motoyama K, Suzuki M. | 小児思春期発達・病態学 | Serum biotin in Japanese children: Enzyme-linked immunosorbent assay measurement. | Pediatr Int, 2016; 58:872-6. |
| 564 | Yamamoto T, Igarashi N, Shimojima K, Sangu N, Sakamoto Y, Shimoji K, Nijima S. | 小児思春期発達・病態学 | Use of targeted next-generation sequencing for molecular diagnosis of craniosynostosis: identification of a novel de novo mutation of EFNB1. | Congenit Anom (Kyoto), 2016; 56:91-3. |
| 565 | Mitaka C, Masuda T, Kido K, Uchida T, Abe S, Miyasho T, Tomita M, Inada E | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | Polymyxin B hemoperfusion prevents acute kidney injury in sepsis model | Journal of Surgical Research 2016;201:59-68 |
| 566 | Sumikura H, Inada E | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | Uterotonics and tocolytics for anesthesiologists | Curr Opin Anaesthesiol. 2016;29(3):282-7 |
| 567 | Amano K, Nishizawa D, Mieda T, Tsujita M, Kitamura A, Hasegawa J, Inada E, Hayashida M, Ikeda K. | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | Opposite Associations Between the rs3845446 Single-Nucleotide Polymorphism of the CACNA1E Gene and Postoperative Pain-Related Phenotypes in Gastrointestinal Surgery Versus Previously Reported Orthognathic Surgery. | J Pain.2016, 17(10):1126-34 |
| 568 | Ishibashi C, Hayashida M, Sugasawa Y, Yamaguchi K, Tomita N, Kajiyama Y, Inada E. | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | Effects of dexmedetomidine on hemodynamics and respiration in intubated, spontaneously breathing patients after endoscopic submucosal dissection for cervical esophageal or pharyngeal cancer. | J Anesth. 2016; 30: 628-36. |

| | | | | |
|-----|---|-----------------|--|---|
| 569 | Kawagoe I, Hayashida M, Suzuki K, Kitamura Y, Oh S, Satoh D, Inada E. | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | Anesthetic management of patients undergoing right lung surgery after left upper lobectomy: selection of tubes for one-lung ventilation (OLV) and oxygenation during OLV. | J Cardiothorac Vasc Anesth. 2016; 30: 961-6 |
| 570 | Mieda T, Nishizawa D, Nakagawa H, Tsujita M, Imanishi H, Terao K, Yoshikawa H, Itoh K, Amano K, Tashiro J, Ishii T, Ariyama J, Yamaguchi S, Kasai S, Hasegawa J, Ikeda K, Kitamura A, Hayashida M. | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | Genome-wide association study identifies candidate loci associated with postoperative fentanyl requirements after laparoscopic-assisted colectomy. | Pharmacogenomics. 2016;17:133-45 |
| 571 | Ushida T, Shibata M, Kitahara M, Yabuki S, Sumitani M, Murakami T, Iseki M, Hosoi M, Shiokawa H, Tetsunaga T, Nishie H, Fukui S, Kawasaki M, Inoue S, Nishihara M, Aono S, Ikemoto T, Kawai T, Arai YC. | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | Effect of Guidance regarding Home Exercise and ADL on Adolescent Females Suffering from Adverse Effects after HPV Vaccination in Japanese Multidisciplinary Pain Centers. | Pain Res Manag, 2016; 3689352 |
| 572 | Mizuno J, Otsuji M, Yokoyama T, Arita H, Hanaoka K | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | Half-Logistic function model for first half of descending phase of cardiomyocyte cytoplasmic Ca ²⁺ concentration ([Ca ²⁺] _i)-time curve (CaTCIII) in isolated aequorin-injected mouse left ventricular papillary muscle | Acta Cardiol Sin, 2016; 32(1): 65-74 |
| 573 | Mizuno J, Takahashi T | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | Male sex, height, weight, and body mass index can increase external pressure to calf region using knee-crutch-type leg holder system in lithotomy position | Therapeutics and Clinical Risk Management, 2016; 12: 305-312 |
| 574 | Qi y, Uchida T, Yamamoto M, Yamamoto Y, Kido K, Ito H, Ohno M, Asahara M, Yamada Y, Yamaguchi O, Mitaka C, Tomita M, Makita K | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | Perioperative elevation in cell-free DNA levels in patients undergoing cardiac surgery: possible contribution of neutrophil extracellular traps to perioperative renal dysfunction | Anesthesiology Research and Practice 2016, article ID 2794364, 11pages, http://dx.doi.org/10.1155/2016/2794364 |
| 575 | Ishibashi H, Kobayashi M, Takasaki C, Ishikawa S, Miura Y, Makita K, Okubo K. | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | Efficacy of supraglottic airway for preventing lung injury associated with coughing at extubation after pulmonary lobectomy. | World J Surg, 2016; 40: 1892-8. |

| | | | | |
|-----|---|-----------------|--|---|
| 576 | Fukui M, Suzuki K, Oh S, Matsunaga T, Miyasaka Y, Kawagoe I, Takamochi K. | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | Distribution of interstitial pneumonia: a new radiological predictor of 90-day mortality after resection of lung cancer. | Surg Today, 2016 Jan;46(1):66-73. |
| 577 | Hori N, Narita M, Yamashita A, Horiuchi H, Hamada Y, Kondo T, Watanabe M, Igarashi K, Kawata M, Shibasaki M, Yamazaki M, Kuzumaki N, Inada E, Ochiya T, Iseki M, Mori T, Narita M. | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | Changes in the expression of IL-6-Mediated MicroRNAs in the dorsal root ganglion under neuropathic pain in mice | Synapse, 2016; 70: 317-324 |
| 578 | Inoue R., Suzuki T., Nishimura K., Miura M | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | Nicotinic acetylcholine receptor-mediated GABAergic inputs to cholinergic interneurons in the striosomes and the matrix compartments of the mouse striatum. | Neuropharmacology, 2016; 105: 318-28 |
| 579 | Ueno T, Hirayama S, Sugihara M, Miida T, | 臨床病態検査医学 | The bromocresol green assay, but not the modified bromocresol purple assay, overestimates the serum albumin concentration in nephrotic syndrome through reaction with α 2-macroglobulin | Ann Clin Biochem, 2016; 53(Pt1): 97-105 |
| 580 | Tabe Y, Hatanaka Y, Nakashiro M, Sekihara K, Yamamoto S, Matsushita H, Kazuno S, Fujimura T, Ikegami T, Nakanaga K, Matsumoto H, Ueno T, Aoki J, Yokomizo T, Konopleva M, Andreeff M, Miida M, Iwabuchi K, Sasai K, | 臨床病態検査医学 | Integrative genomic and proteomic analyses identifies glycerol-3-phosphate acyltransferase as a target of low-dose ionizing radiation in EBV infected-B cells. | Int J Radiat Biol, 2016; 92(1): 24-34 |
| 581 | Horiuchi Y, Tabe Y, Kasuga K, Maenou I, Idei M, Horii T, Miida T, Ohsaka A, | 臨床病態検査医学 | The efficacy of an internet-based e-learning system using the CellaVision competency software for continuing professional development. | Clin Chem Lab Med, 2016; 54(4): e127-e131 |
| 582 | Hayashi K, Tabe Y, Miida T, | 臨床病態検査医学 | Impact of clotting condition on the measurement of circulating microRNAs in serum. | Clin Lab, 2016; 62(3): 471-475 |

| | | | | |
|-----|--|----------|--|--|
| 583 | Idei M, Tabe Y, Hamada C, Miyake K, Takemura H, Io H, Wakita M, Horii T, Tomino Y, Ohsaka A, Miida T, | 臨床病態検査医学 | Pancreatic lipase activity in overnight effluent predicts high transport status in peritoneal dialysis patients. | Clin Chim Acta, 2016; 462(3): 65-70 |
| 584 | Ishizawa J, Kojima K, Chachad D, Ruvolo P, Ruvolo V, Jacamo R.O, Borthakur G, Mu H, Zeng Z, Tabe Y, Allen J.E, Wang Z, Ma W, Lee H.C, Orłowski R, Sarbassov d.D, Lorenzi P.L, Huang X, Neelapu S.S, McDonnell T, Miranda R.N, Wang M, Kantarjian H, Konopleva M, Davis R.E, Andreeff M | 臨床病態検査医学 | ATF4 induction through an atypical integrated stress response to ONC201 triggers p53-independent apoptosis in hematological malignancies. | Sci Signal, 2016;9(415):ra17 |
| 585 | Iba T, Emmi M, Hiki M, Nagayama M, Aihara K, Tabe Y, Yuri M, Ohsaka A | 臨床病態検査医学 | Comparison of prothrombin time tests used in the monitoring of edoxaban and their evaluation as indicators of the reversal effect. | Int J Hematol, 2016; 103(6); 665-672 |
| 586 | Hosoda T, Uehara Y, Matsuda N, Kawase Y, Tanei M, Haba Y, Nakamura A, Tabe Y, Naito T, Ohsaka A | 臨床病態検査医学 | Performance evaluation of a novel fully automated real-time reverse transcriptase-polymerase chain reaction kit for the detection of norovirus.GeneOhm™ MRSA Assay negative strains. | Rinsho Byori, 2016; 64(12); 1347-1352 |
| 587 | Yu CC, Ko JS, Ai T, Tsai WC, Chen Z, Rubart M, Vatta M, George AL Jr, Chen PS | 臨床病態検査医学 | Arrhythmogenic Calmodulin Mutations Impede Activation of Small-conductance Calcium-Activated Potassium Current. | Heart Rhythm 2016; S1547-5271: 30271-5 |
| 588 | Turker I, Makiyama T, Vatta M, Itoh H, Ueyama T, Shimizu A, Ai T (corresponding author), Horie M. | 臨床病態検査医学 | A novel SCN5A variant associated with drug-induced Brugada type ECG | PLoS ONE. 2016; 11 : e0161872 |
| 589 | Nohara S, Kato K, Fujiwara D, Sakuragi N, Yanagihara K, Iwanuma Y, Kajiyama Y. | 上部消化管外科学 | Aminopeptidase N (APN/CD13) as a target molecule for scirrhus gastric cancer. | Clin Res Hepatol Gastroenterol, 2016 ; 40(4) : 494-503 |

| | | | | |
|-----|--|----------|--|--|
| 590 | Matsumoto K, Ueyama H, Matsumoto K, Akazawa Y, Komori H, Takeda T, Murakami T, Asaoka D, Hojo M, Tomita N, Nagahara A, Kajiyama Y, Yao T, Watanabe S. | 上部消化管外科学 | Clinicopathological features of alpha-fetoprotein producing early gastric cancer with enteroblastic differentiation. | World J Gastroenterol, 2016 ; 22(36) : 8203-10 |
| 591 | Hayashi A, Natori Y, Komoto M, Matsumura T, Horiguchi M, Yoshizawa H, Iwanuma Y, Tsurumaru M, Kajiyama Y, Mizuno H. | 上部消化管外科学 | Microvascular Reconstruction of Free Jejunal Graft in Larynx-preserving Esophagectomy for Cervical Esophageal Carcinoma. | Plast Reconstr Surg Glob Open , 2016 March ; 4(3) : e632 |
| 592 | Ishibashi C, Hayashida M, Sugasawa Y, Yamaguchi K, Tomita N, Kajiyama Y, Inada E. | 上部消化管外科学 | Effects of dexmedetomidine on hemodynamics and respiration in intubated, spontaneously breathing patients after endoscopic submucosal dissection for cervical esophageal or pharyngeal cancer. | J Anesth , 2016 ; 30(4) : 628-36 |
| 593 | Sawada G, Niida A, Uchi R, Hirata H, Shimamura T, Suzuki Y, Shiraishi Y, Chiba K, Imoto S, Takahashi Y, Iwaya T, Sudo T, Hayashi T, Takai H, Kawasaki Y, Matsukawa T, Eguchi H, Sugimachi K, Tanaka F, Suzuki H, Yamamoto K, Ishii H, Shimizu M, Yamazaki H, Yamazaki M, Tachimori Y, Kajiyama Y, Natsugoe S, Fujita H, Mafune K, Tanaka Y, Kellsell DP, Scott CA, Tsuji S, Yachida S, Shibata T, Sugano S, Doki Y, Akiyama T, Aburatani H, Ogawa S, Miyano S. | 上部消化管外科学 | Genomic Landscape of Esophageal Squamous Cell Carcinoma in a Japanese Population. | Gastroenterology, 2016 ; 150(5) : 1171-82 |
| 594 | Ito T, Maekawa H, Sakurada M, Orita H, Kushida T, Semuma K, Sato K. | 上部消化管外科学 | Risk factors for postoperative complications in patients on maintenance hemodialysis who undergo abdominal surgery. | Asian Journal of Surgery, 2016;39 (4) :211-217 |
| 595 | Sakuraba S, Orita H, Ito T, Kushida T, Sakurada M, Maekawa H, Wada R, Sato K. | 上部消化管外科学 | A Case of Pletin Negative Gastrointestinal Stromal Tumor (GIST), Metastasized to the Liver Five Years after Surgery: A Surgical Challenge | J Molecular Biomarkers & Diagnosis. 2016, S8:014 |

| | | | | |
|-----|--|----------|---|---|
| 596 | Iba T, Hamakubo T, Nagaoka I, Sato K, Thachil J. | 上部消化管外科学 | Physiological Levels of Pentraxin 3 and Albumin Attenuate Vascular Endothelial Cell Damage Induced by Histone H3 In Vitro | Microcirculation. 2016 Apr;23(3):240-7. doi: 10.1111/micc.12269 |
| 597 | Orita H, Malcolm Brock, Iwanuma Y, Shimada K, Daida H, Hino O, Kajiyama Y, Tsurumaru M. | 上部消化管外科学 | Serum Fatty Acid Synthase As A Marker Of Esophageal Neoplasia | Hereditary Genet 2016; 5:160 |
| 598 | Ito T, Kushida T, Sakurada M, Maekawa H, Orita H, Mizuguchi K, Sato K. | 上部消化管外科学 | Two cases of laparoscopic simultaneous resection of colorectal cancer and synchronous liver metastases in elderly patients | Int. J. Surg. Case Rep., 2016; 26: 134-137 |
| 599 | Maekawa H, Ito T, Kushida T, Orita H, Sakurada M, Sato K, Wada R. | 上部消化管外科学 | Clinicopathological Significance of Fatty Acid Synthase Expression In Extrahepatic Cholangiocarcinoma | Oncology and Cancer Case Reports 2016 ; 2:2 |
| 600 | Iba T, Marcello Di Nisio, Jecko Thachil, Wada H, Asakura H, Sato K, Kitamura N, Saitoh D. | 上部消化管外科学 | Revision of the Japanese Association for Acute Medicine(JAAM) disseminated intravascular coagulation (DIC) diagnostic criteria using antithrombin activity. | Critical Care2016;20:287 |
| 601 | Sakuyama N, Kojima M, Kawano S, Akimoto T, Saito N, Ito M, Ochiai A | 下部消化管外科学 | Histological differences between preoperative chemoradiotherapy and chemotherapy for rectal cancer: a clinicopathological study. | Pathology International, 2016; 66: 273-280 |
| 602 | Douaa Dhahri, Kaori Sato-Kusubata, Makiko Ohki-Koizumi, Chiemi Nishida, Yoshihiko Tashiro, Shinya Munakata, Hiroshi Shimazu, Yousef Salama, Salita Eiamboonsert, Hiromitsu Nakauchi, Koichi Hattori, Beate Heissig | 下部消化管外科学 | Fibrinolytic factor-mediated crosstalk with endothelial cells expands murine bone marrow mesenchymal stromal cells | Blood 2016 128(8):1063-75 |

| | | | | |
|-----|---|----------|--|---|
| 603 | Motohiro Kojima, Koji Ikeda, Norio Saito, Naoki Sakuyama, Kenichi Koushi, Shingo Kawano, Toshiaki Watanabe, Kenichi Sugihara, Masaaki Ito and Atsushi Ochiai | 下部消化管外科学 | Neuroendocrine tumors of the large intestine: clinicopathological features and predictive factors of lymph node metastasis | Frontiers in Oncology, 2016; 6:173 |
| 604 | Kawano S, Komai Y, Ishioka J, Sakai Y, Fuse N, Ito M, Kihara K, Saito N. | 下部消化管外科学 | Development of prognostic model for predicting survival after retrograde placement of ureteral stent in advanced gastrointestinal cancer patients and its evaluation by decision curve analysis. | Minerva Urol Nefrol. 2016 Oct;68(5):437-43. |
| 605 | Kumpei Horjo, Kazumasa Kure, Ryosuke Ichikawa, Hisashi Ro, Rina Takahashi, Koichiro Niwa, Shun Ishiyama, Kiichi Sugimoto, Hirohiko Kamiyama, Makoto Takahashi, Yutaka Kojima, Michitoshi Goto, Yuichi Tomiki, Kazuhiro Sakamoto, Yuki Fukumura, Takashi Yao | 下部消化管外科学 | Two cases of rectal NETs resection combined with dissection of the circular muscle layer using the ESD technique | Case Rep Gastroenterol 2016;10:693-700 |
| 606 | Kamiyama H, Niwa K, Ishiyama S, Takahashi M, Kojima Y, Goto M, Tomiki Y, Higashihara Y, Sakamoto K. | 下部消化管外科学 | Ascending Colon Cancer Associated with Dermatomyositis Which Was Cured after Colon Resection. | Case Rep Gastroenterol. 2016 Jun 27;10(2):338-43. doi: 10.1159/000447289 |
| 607 | Kamiyama H, Sakamoto K, Niwa K, Ishiyama S, Takahashi M, Kojima Y, Goto M, Tomiki Y, Nakamichi I, Oh S, Suzuki K. | 下部消化管外科学 | Unusual False-Positive Mesenteric Lymph Nodes Detected by PET/CT in a Metastatic Survey of Lung Cancer. | Case Rep Gastroenterol. 2016 Jun 14;10(2):275-82. doi: 10.1159/000446579. |
| 608 | Kamiyama H, Sakamoto K, China T, Aoki J, Niwa K, Ishiyama S, Takahashi M, Kojima Y, Goto M, Tomiki Y, Horie S. | 下部消化管外科学 | Combined laparoscopic abdominoperineal resection and robotic-assisted prostatectomy for synchronous double cancer of the rectum and the prostate. | Asian J Endosc Surg. 2016 May;9(2):142-5. doi: 10.1111/ases.12265 |
| 609 | Ito S, Takeda R, Kokubo R, Kojima Y, Goto M, Tomiki Y, Sakamoto K. | 下部消化管外科学 | Accessory liver lobe attached to the gallbladder wall preoperatively detected by ultrasonography: A case report. | Int J Surg Case Rep. 2016;26:205-8. |

| | | | | |
|-----|---|----------|--|---|
| 610 | Niwa K, Sakamoto K , Ro H, Aoki J, Munakata S, Ishiyama S, Sugimoto K, Kamiyama H, Takahashi M, Kojima Y, Goto M, Tomiki Y. | 下部消化管外科学 | The Usefulness Measuring Anti-Xa Activity for the Prediction of Bleeding Adverse Events Dueing Postsurgical Fondaparinux Anticoagulant Therapy | Juntendo Medical journal 62(5)399-405, 2016; |
| 611 | Sugimoto K, Sakamoto K, Niwa K, Ishiyama S, Kamiyama H, Komiyama H, Takahashi M, Kojima Y, Goto M, Tomiki Y. | 下部消化管外科学 | Postoperative Adjuvant Chemotherapy Improves Survival in Stage II Colon Cancer ? A Propensity Score Matching Analysis | Juntendo Medical journal 62(6)463-471, 2016 |
| 612 | Yuichi Tomiki, Koichiro Niwa, Kiichi Nagayasu, Yu Okazawa, Shingo Ito, Ryosuke Ichikawa, Hisashi Ro, Shun Ishiyama, Kiichi Sugimoto, Kazuhiro Sakamoto. | 下部消化管外科学 | Two Patients with Large Colonic Lipomas for which Endoscopic Unroofing was Ineffective. | Case Reports in Gastroenterology 2016, 10 (3): 538-544 |
| 613 | Tomoaki Fujii, Shin-ichiro Tsunesumi , Hiroshi Sagara , Miyo Munakata , Yoshihiro Hisaki, Takao Sekiya, Yoichi Furukawa , Kazuhiro Sakamoto, Sumiko Watanabe. | 下部消化管外科学 | Smyd5 plays pivotal roles in both primitive and definitive hematopoiesis during zebrafish embryogenesis. | Scientific reports 2016 6:29157 |
| 614 | Hiroaki Io , Kazuaki Hara, Junichiro Nakata, Kazuhiro Sakamoto, Yasuhiko Tomino. | 下部消化管外科学 | Laparoscope Is a Useful Tool for Reducing and Drawing off a Peritoneal Dialysis Catheter in Peritoneal Dialysis Patients. | Kidney International Reports (2016) 1, 93 |
| 615 | Takahashi R, Sakamoto K, Tomiki Y, Kojima Y, Takahashi M, Sugimoto K, Kawai M, Okazawa Y, Makino Y. | 下部消化管外科学 | Two-stage laparoscopic curative resection for synchronous multiple colorectal cancers: A case report: Two-stage laparoscopic resection | Asian Journal of Endoscopic Surgery ·2016 Nov;9(4):300-302. |
| 616 | Kawai M, Komiyama H, Hosoya M, Okubo H, Fujii T, Yokoyama N, Sato C, Ueyama T, Okuzawa A, Goto M, Kojima Y, Takahashi M, Sugimoto K, Ishiyama S, Munakata S, Ogura D, Niwa SI, Tomiki Y, Ochiai T, Sakamoto K | 下部消化管外科学 | Impact of chromosome 17q deletion in the primary lesion of colorectal cancer on liver metastasis. | Oncol Lett. 2016 Dec;12(6):4773-4778. |

| | | | | |
|-----|--|------------|---|--|
| 617 | H.Maekawa, T.Ito, H.Orita, M.Sakurada, T.Kushida, K.Sato, R.Wada | 下部消化管外科学 | Clinicopathological Significance of Fatty Acid Synthase Expression in Extrahepatic cholangiocarcinoma. | Oncology and cancer case reports 2016, 2:117 |
| 618 | H.Maekawa, T.Ito, H.Orita, M.Sakurada, T.Kushida, K.Sato, R.Wada | 下部消化管外科学 | Clinicopathological Significance of Fatty Acid Synthase Expression in Extrahepatic cholangiocarcinoma. | Oncology and cancer case reports 2016, 2:117 |
| 619 | Fuse N, Bando H, Chin K, Ito S, Yoshikawa T, Tsuburaya A, Terashima M, Kawashima Y, Fukunaga T, Gotoh M, Emi Y, Yoshida K, Oki E, Takahashi S, Kuriki H, Sato K, Sasako M. | 消化器・低侵襲外科学 | Adjuvant capecitabine plus oxaliplatin after D2 gastrectomy in Japanese patients with gastric cancer | Gastric Cancer. Mar 8, 2016 |
| 620 | T Mizukami, K Sakai, S Naruki, T Taniyama, Y Horie, N Izawa, T Tsuda, T Fujino, N Boku, H Yasuda, T Fukunaga, T Eguchi, K | 消化器・低侵襲外科学 | Identification of a FGFR3-TACC3 fusion in esophageal cancer. | Annals of Oncology Advance Access published October 22, 2016 |
| 621 | Yuta Ogura, Takeharu Enomoto, Shinya Mikami, Hiroyuki Hoshino, Akiyoshi Noda, Osamu Saji, Tsunehisa Matsushita, Shinya Ishigouoka, Masaki Yamashita, Saeko Naruki, Takashi Fujino, Tetsu Fukunaga, Takehito | 消化器・低侵襲外科学 | Rare Case of Metastasis of Merkel Cell Carcinoma to the Jejunum. | Journal of Case Reports, Vol.6, No.3, July-Sep 2016 |
| 622 | Miyoshi, Y; Shien, T; Ogiya, A; Ishida, N; Yamazaki, K; Horii, R; Horimoto, Y ; Masuda, N; Yasojima, H; Inao, T; Osako, T; Takahashi, M; Tomioka, N; Endo, Y; Hosoda, M; Doihara, H; Miyoshi, S; Yamashita, H | 乳腺・内分泌外科学 | Differences in expression of the cancer stem cell marker aldehyde dehydrogenase 1 among estrogen receptor-positive/human epidermal growth factor receptor type 2-negative breast cancer cases with early, late, and no recurrence | BREAST CANCER RESEARCH 巻: 18 記事番号: 73 DOI: 10.1186/s13058-016-0731-3 発行: JUL 2 2016 |
| 623 | Himuro, T ; Horimoto, Y ; Arakawa, A; Matsuoka, J ; Tokuda, E ; Tanabe, M ; Saito, M | 乳腺・内分泌外科学 | Activated Caspase 3 Expression in Remnant Disease After Neoadjuvant Chemotherapy May Predict Outcomes of Breast Cancer Patients | ANNALS OF SURGICAL ONCOLOGY 巻: 23号: 7ページ: 2235-2241 DOI: 10.1245/s10434-016-5164-9 発行: JUL 2016 |

| | | | | |
|-----|---|-----------|--|---|
| 624 | Hiroko Yamashita, Akiko Ogiya, Tadahiko Shien, Yoshiya Horimoto , Norikazu Masuda, Touko Inao, Tomofumi Osako, Masato Takahashi, Yumi Endo, Mitsuchika Hosoda, Naoko Ishida, Rie Horii, Kieko Yamazaki, Yuichiro Miyoshi, Hiroyuki Yasojima, Nobumoto Tomioka グループ著者名: Japanese Breast Canc Soc | 乳腺・内分泌外科学 | Clinicopathological factors predicting early and late distant recurrence in estrogen receptor-positive, HER2-negative breast cancer. | Breast Cancer 23(6):830-843, 2016.11 発行: NOV 2016 |
| 625 | Himuro, T; Horimoto, Y ; Arakawa, A; Tanabe, M ; Saito, M | 乳腺・内分泌外科学 | Ki67 Heterogeneity in Estrogen Receptor-Positive Breast Cancers: Which Tumor Type Has the Most Heterogeneity? | INTERNATIONAL JOURNAL OF SURGICAL PATHOLOGY 巻: 24号: 2ページ: 103-107 DOI: 10.1177/1066896915605179 発行: APR 2016 |
| 626 | Kaoru Kubota, Mitsue Saito , Kenjiro Aogi, Ikuo Sekine, Hirohisa Yoshizawa, Yasuhiro Yanagita, Hiroshi Sakai, Kenichi Inoue, Chiyo Kitagawa, Takashi Ogura | 乳腺・内分泌外科学 | Control of nausea with palonosetron versus granisetron, both combined with dexamethasone, in patients receiving cisplatin- or anthracycline plus cyclophosphamide-based regimens | Supportive Care in Cancer September 2016, Volume 24, Issue 9, pp 4025-4033 |
| 627 | Takayuki Iwamoto, Naohito Fukui, Takayuki Kinoshita, Keisei Anan, Naoki Niikura, Masaaki Kawai, Naoki Hayashi, Kouichiro Tsugawa, Kenjiro Aogi, Takanori Ishida, Hideji Masuoka, Shinobu Masuda, Kotaro Iijima , Seigo Nakamura, Yutaka Tokuda | 乳腺・内分泌外科学 | Comprehensive prognostic report of the Japanese Breast Cancer Society registry in 2006 | Breast Cancer 2016; 23:(1) 62-72 DOI: 10.1007/s12282-015-0646-3 Epub:13 October 2015 発行: JAN 2016 |
| 628 | Iwamoto T, Fukui N, Kinoshita T, Anan K, Niikura N, Kawai M, Hayashi N, Tsugawa K, Aogi K, Ishida T, Masuoka H, Masuda S, Iijima K , Nakamura S, Tokuda Y. | 乳腺・内分泌外科学 | Comprehensive prognostic report of the Japanese Breast Cancer Society Registry in 2005. | Breast Cancer 2016;23:50-61. DOI:10.1007/s12282-015-0645-4. Epub:13October2015 発行: JAN 2016 |
| 629 | Horimoto, Y. Arakawa, A. Sasahara, N. Tanabe, M. Sai, S.Himuro, T. Saito, M. | 乳腺・内分泌外科学 | Combination of Cancer Stem Cell Markers CD44 and CD24 Is Superior to ALDH1 as a Prognostic Indicator in Breast Cancer Patients with Distant Metastases | PLoS One. 2016.10.21;11(10):e0165253. doi: 10.1371/journal.pone.0165253. eCollection 2016 発行: OCT 21 2016 |

| | | | | |
|-----|--|-----------|---|---|
| 630 | Horimoto Y, Hayashi T, Arakawa A | 乳腺・内分泌外科学 | Pathology of healing: what else might we look at? | Cancer Med. 2016 Oct 26. doi: 10.1002/cam4.952. [Epub ahead of print] |
| 631 | Masahiko Tanabe, Sally Fujiyama, Yoshiya Horimoto | 乳腺・内分泌外科学 | Developmentally regulated GTP binding protein 2 (DRG2) and Nup107 are associated with epigenetic regulation via H2A.Z on promoter regions of specific genes in MCF7 breast cancer cells. | J Clin Epigenet 2:4, 2016 October 31. |
| 632 | Murata M, Kato TS, Kuwaki K, Dohi S, Amano A | 心臓血管外科学 | Preoperative hepatic dysfunction could predict postoperative mortality and morbidity in patients undergoing cardiac surgery: Utilization of the MELD scoring system.(MELDスコアを用いた術前肝機能障害評価による開胸術対象患者の合併症発生率及び死亡率の予測) | Int J Cardiol. 2016 Jan 15;203:682-9. |
| 633 | Unai S, Tanaka D, Ruggiero N, Hirose H, Cavarocchi NC. | 心臓血管外科学 | Acute myocardial infarction complicated by cardiogenic shock: an algorithm-based extracorporeal membrane oxygenation program can improve clinical outcomes. | Artif Organ 2016 Mar;40(3):261-269 |
| 634 | Kawasaki Shiori, Nakanishi Keisuke, Takahashi Ken, Amano Atsushi | 心臓血管外科学 | Evaluation of a Venous Unifocalization of the Bilateral Superior Vena Cava and Comparison with the Bilateral Bidirectional Glenn Procedure | Juntendo medical journal (2187-9737)62(2) 141-145(2016.04) |
| 635 | Tanaka D, Hirose H, Cavarocchi N, Entwistle JW. | 心臓血管外科学 | The impact of vascular complications on survival of patients on venoarterial extracorporeal membrane oxygenation. | Ann Thorac Surg. 2016 May;101(5):1729-34 |
| 636 | Pitcher HT, Harrison MA, Shaw C, Cowan SW, Hirose H, Cavarocchi N. | 心臓血管外科学 | Management considerations of massive hemoptysis while on extracorporeal membrane oxygenation. | Perfusion 2016 May;31(8):653-658 |

| | | | | |
|-----|---|---------|---|---|
| 637 | Matsushita S, Forrester JS, Li C, Sato M, Li Z, Guo X, Guan J, Amano A. | 心臟血管外科学 | Administration of cells with thermosensitive hydrogel enhances the functional recovery in ischemic rat heart. | J Tissue Eng. 2016 May 4;7:2041731416646676 |
| 638 | Hironobu Yamaoka, Kenji Kuwaki, Hiroataka Inaba, Taira Yamamoto, Tomoko S. Kato, Shizuyuki Dohi, Satoshi Matsushita, Atsushi Amano | 心臟血管外科学 | Comparison of modern risk scores in predicting operative mortality for patients undergoing aortic valve replacement for aortic stenosis | Journal of Cardiology,2016;68(2016)135-140 |
| 639 | Thangappan K, Cavarocchi NC, Baram M, Thoma B, Hirose H. | 心臟血管外科学 | Systemic inflammatory response syndrome (SIRS) after extracorporeal membrane oxygenation (ECMO): Incidence, risks and survivals. | Heart Lung. 2016 Sep-Oct;45(5):449-53 |
| 640 | Watanabe, Y (Watanabe, Yukio); Kusumoto, M (Kusumoto, Masahiko); Yoshida, A (Yoshida, Akihiko); Shiraiishi, K (Shiraiishi, Kouya); Suzuki, K(Suzuki, Kenji); Watanabe, S (Watanabe, Shun-ichi); Tsuta, K (Tsuta, Koji) | 呼吸器外科学 | Cavity Wall Thickness in Solitary Cavitary Lung Adenocarcinomas Is a Prognostic Indicator | ANNALS OF THORACIC SURGERY,DEC 2016;102,6:1863-1871 |
| 641 | Oizumi, H (Oizumi, Hiroaki) ; Suzuki, K (Suzuki, Kenji) ; Banno, T (Banno, Takamitsu); Matsunaga, T (Matsunaga, Takeshi); Oh, S (Oh, Shiaki) ; Takamochi, K (Takamochi, Kazuya) | 呼吸器外科学 | Patency of grafts after total resection and reconstruction of the superior vena cava for thoracic malignancy | SURGERY TODAY,DEC 2016;46,12:1421-1426 |
| 642 | Takamochi, K (Takamochi, Kazuya) ; Ohmiya, H (Ohmiya, Hiroko) ; Itoh, M (Itoh, Masayoshi) ; Mogushi, K (Mogushi, Kaoru) ; Saito, T (Saito, Tsuyoshi) ; Hara, K (Hara, Kieko) ; Mitani, K (Mitani, Keiko) ; Kogo, Y (Kogo, Yasushi) ; Yamanaka, Y (Yamanaka, Yasunari) ; Kawai, J (Kawai, Jun) ; Hayashizaki, Y (Hayashizaki, Yoshihide) ; Oh, S (Oh, Shiaki) ; Suzuki, K (Suzuki, Kenji) ; Kawaji, H (Kawaji, Hideya) | 呼吸器外科学 | Novel biomarkers that assist in accurate discrimination of squamous cell carcinoma from adenocarcinoma of the lung | BMC CANCER, SEP 29 2016;16,760 |

| | | | | |
|-----|--|--------|--|--|
| 643 | Fukui, M (Fukui, Mariko) ; Takamochi, K (Takamochi, Kazuya) ; Matsunaga, T (Matsunaga, Takeshi) ; Oh, S (Oh, Shiaki) ; Ando, K (Ando, Katsutoshi) ; Suzuki, K (Suzuki, Kazuhiro) ; Arakawa, A (Arakawa, Atsushi) ; Uekusa, T (Uekusa, Toshimasa) ; Suzuki, K (Suzuki, Kenji) | 呼吸器外科学 | Risk of the preoperative underestimation of tumour size of lung cancer in patients with idiopathic interstitial pneumonias | EUROPEAN JOURNAL OF CARDIO-THORACIC SURGERY,SEP 2016;50,3:428-432 |
| 644 | Eba, J (Eba, Junko) ; Nakamura, K (Nakamura, Kenichi); Mizusawa, J (Mizusawa, Junki) ; Suzuki, K (Suzuki, Kenji) ; Nagata, Y (Nagata, Yasushi) ; Koike, T (Koike, Teruaki) ; Hiraoka, M (Hiraoka, Masahiro) ; Watanabe, S (Watanabe, Shun-ichi) ; Ishikura, S (Ishikura, Satoshi) ; Asamura, H (Asamura, Hisao) ; Fukuda, H (Fukuda, Haruhiko) | 呼吸器外科学 | Stereotactic body radiotherapy versus lobectomy for operable clinical stage IA lung adenocarcinoma: comparison of survival outcomes in two clinical trials with propensity score analysis (JCOG1313-A) | JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,AUG 2016;46,8:748-753 |
| 645 | Kawagoe, I (Kawagoe, Izumi) ; Hayashida, M (Hayashida, Masakazu) ; Suzuki, K (Suzuki, Kenji) ; Kitamura, Y (Kitamura, Yoshitaka); Oh, S (Oh, Shiaki) ; Satoh, D (Satoh, Daizoh) ; Inada, E (Inada, Eiichi) | 呼吸器外科学 | Anesthetic Management of Patients Undergoing Right Lung Surgery After Left Upper Lobectomy: Selection of Tubes for One-Lung Ventilation (OLV) and Oxygenation During OLV | JOURNAL OF CARDIOTHORACIC AND VASCULAR ANESTHESIA, AUG 2016;30,4:961-966 |
| 646 | Hattori, A (Hattori, Aritoshi); Matsunaga, T (Matsunaga, Takeshi) ; Takamochi, K (Takamochi, Kazuya) ; Oh, S (Oh, Shiaki) ; Suzuki, K(Suzuki, Kenji) | 呼吸器外科学 | Neither Maximum Tumor Size nor Solid Component Size Is Prognostic in Part-Solid Lung Cancer: Impact of Tumor Size Should Be Applied Exclusively to Solid Lung Cancer | ANNALS OF THORACIC SURGERY,AUG 2016;102,2:407-415 |
| 647 | Hattori, A (Hattori, Aritoshi) ; Matsunaga, T (Matsunaga, Takeshi) ; Takamochi, K (Takamochi, Kazuya) ; Oh, S (Oh, Shiaki) ; Suzuki, K(Suzuki, Kenji) | 呼吸器外科学 | The oncological outcomes of segmentectomy in clinical-T1b lung adenocarcinoma with a solid-dominant appearance on thin-section computed tomography | SURGERY TODAY AUG 2016;46,8:914-921 |
| 648 | Ichikawa, T (Ichikawa, Tomohiro); Hattori, A (Hattori, Aritoshi); Suzuki, K (Suzuki, Kazuhiro); Matsunaga, T (Matsunaga, Takeshi); Takamochi, K (Takamochi, Kazuya) ; Oh, S (Oh, Shiaki); Suzuki, K (Suzuki, Kenji) | 呼吸器外科学 | Clinicopathological characteristics of lung cancer mimicking organizing pneumonia on computed tomography—a novel radiological entity of pulmonary malignancy | JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,JUL2016;46,7:681-686 |

| | | | | |
|-----|---|--------|--|--|
| 649 | Mimae, T (Mimae, Takahiro) ; Suzuki, K (Suzuki, Kenji) ; Tsuboi, M (Tsuboi, Masahiro); Ikeda, N (Ikeda, Norihiko) ; Takamochi, K (Takamochi, Kazuya); Aokage, K (Aokage, Keiju) ; Shimada, Y (Shimada, Yoshihisa); Miyata, Y (Miyata, Yoshihiro) ; Okada, M (Okada, Morihito) | 呼吸器外科学 | Severity of lung fibrosis affects early surgical outcomes of lung cancer among patients with combined pulmonary fibrosis and emphysema | MEDICINE JUL2016;95,29 |
| 650 | Hata, K (Hata, Kazunori); Yoshida, J (Yoshida, Junji) ; Udagawa, H (Udagawa, Hibiki); Hashimoto, H (Hashimoto, Hiroko); Fujii, S (Fujii, Satoshi); Hishida, T (Hishida, Tomoyuki) ; Kuwata, T (Kuwata, Takeshi) ; Aokage, K (Aokage, Keiju) ; Kojima, M (Kojima, Motohiro) ; Ochiai, A (Ochiai, Atsushi) ; Suzuki, K (Suzuki, Kenji) ; Tsuboi, M (Tsuboi, Masahiro) ; Ishii, G (Ishii, Genichiro) | 呼吸器外科学 | The difference in Ezrin-pAkt signaling axis between lepidic and papillary predominant invasive adenocarcinomas of the lung | JOURNAL OF CANCER RESEARCH AND CLINICAL ONCOLOGY JUL2016;142,7:1421-1430 |
| 651 | Ando, K (Ando, Katsutoshi) ; Fujino, N (Fujino, Naoya) ; Mitani, K (Mitani, Keiko); Ota, C (Ota, Chiharu) ; Okada, Y (Okada, Yoshinori) ; Kondo, T (Kondo, Takashi) ; Mizobuchi, T (Mizobuchi, Teruaki) ; Kurihara, M (Kurihara, Masatoshi) ; Suzuki, K (Suzuki, Kenji) ; Hoshika, Y (Hoshika, Yoshito) ; Ebana, H (Ebana, Hiroki) ; Kobayashi, E (Kobayashi, Etsuko) ; Takahashi, K (Takahashi, Kazuhisa) ; Kubo, H (Kubo, Hiroshi) ; Seyama, K (Seyama, Kazuhisa) | 呼吸器外科学 | Isolation of individual cellular components from lung tissues of patients with lymphangioleiomyomatosis | AMERICAN JOURNAL OF PHYSIOLOGY- LUNG CELLULAR AND MOLECULAR PHYSIOLOGY MAY 15 2016;310,10:L899- L908 |
| 652 | Hattori, A (Hattori, Aritoshi) ; Matsunaga, T (Matsunaga, Takeshi) ; Takamochi, K (Takamochi, Kazuya) ; Oh, S (Oh, Shiaki) ; Suzuki, K (Suzuki, Kenji) | 呼吸器外科学 | Oncological Characteristics of Radiological Invasive Adenocarcinoma with Additional Ground-Glass Nodules on Initial Thin-Section Computed Tomography: Comparison with Solitary Invasive Adenocarcinoma | JOURNAL OF THORACIC ONCOLOGY MAY 2016,11.5:729-736 |
| 653 | Sueyoshi, R (Sueyoshi, Ryo); Koga, H (Koga, Hiroyuki) ; Suzuki, K (Suzuki, Kenji) ; Miyano, G (Miyano, Go) ; Okawada, M (Okawada, Manabu) ; Doi, T (Doi, Takashi) ; Lane, GJ (Lane, Geoffrey J.) ; Yamataka, A (Yamataka, Atsuyuki) | 呼吸器外科学 | Surgical intervention for congenital pulmonary airway malformation (CPAM) patients with preoperative pneumonia and abscess formation: "open versus thoracoscopic lobectomy" | PEDIATRIC SURGERY INTERNATIONAL APR2016;32,4:347- 351 |

| | | | | |
|-----|---|-----------------|--|---|
| 654 | Fukui, M (Fukui, Mariko); Suzuki, K (Suzuki, Kenji); Matsunaga, T (Matsunaga, Takeshi); Oh, S (Oh, Shiaki); Takamochi, K (Takamochi, Kazuya) | 呼吸器外科学 | Outcomes of lung cancer resection for patients with combined pulmonary fibrosis and emphysema | SURGERY TODAY MAR 2016;46,3:341-347 |
| 655 | Uchida, S (Uchida, Shinsuke); Suzuki, K (Suzuki, Kenji); Hattori, A (Hattori, Aritoshi); Takamochi, K (Takamochi, Kazuya); Oh, S (Oh, Shiaki) | 呼吸器外科学 | Surgical intervention strategy for postoperative chylothorax after lung resection | SURGERY TODAY FEB2016;46,2:197-202 |
| 656 | Yoshimi, K (Yoshimi, Kaku); Oh, S (Oh, Shiaki); Suzuki, K (Suzuki, Kenji); Kodama, Y (Kodama, Yuzo); Sekiya, M (Sekiya, Mitsuaki); Seyama, K (Seyama, Kuniaki); Fukuchi, Y (Fukuchi, Yoshinosuke) | 呼吸器外科学 | Impact of Airflow Limitation on Comorbidities and Postoperative Complications in Patients Undergoing Thoracic Surgery: A Retrospective Observational Study | ANNALS OF THORACIC AND CARDIOVASCULAR SURGERY 2016;22,3:146-152 |
| 657 | Hattori, A (Hattori, Aritoshi); Takamochi, K (Takamochi, Kazuya); Matsunaga, T (Matsunaga, Takeshi); Oh, S (Oh, Shiaki); Suzuki, K (Suzuki, Kenji) | 呼吸器外科学 | Oncological outcomes of sublobar resection for clinical-stage IA high-risk non-small cell lung cancer patients with a radiologically solid appearance on computed tomography | GENERAL THORACIC AND CARDIOVASCULAR SURGERY JAN2016;64,1:18-24 |
| 658 | Nakazawa-Tanaka N, Miyahara K, Fujiwara N, Urao M, Akazawa C, Yamataka A. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Three- and four-dimensional analysis of altered behavior of enteric neural crest derived cells in the Hirschsprung's disease mouse model. | Pediatr Surg Int, 2016; 32:3-7 |
| 659 | Fujiwara N, Miyahara K, Nakazawa-Tanaka N, Akazawa C, Yamataka A. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Altered differentiation of enteric neural crest-derived cells from endothelin receptor-B null mouse model of Hirschsprung's disease. | Pediatr Surg Int. 2016 Dec;32(12):1095-1101 |
| 660 | Okazaki T, Okawada M, Koga H, Miyano G, Doi T, Ogasawara Y, Yamataka A | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Congenital diaphragmatic hernia in neonates: factors related to failure of thoracoscopic repair. | Pediatr Surg Int, 2016 Oct;32(10):933-7 |

| | | | | |
|-----|---|-----------------|---|--|
| 661 | Okawada M, Wilson MW, Larsen SD, Lipka E, Hillfinger J, Teitelbaum DH. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Blockade of the renin-angiotensin system prevents acute and immunologically relevant colitis in murine models. | Pediatr Surg Int. 2016 Dec;32(12):1103-1114. |
| 662 | Yazaki Y, Koga H, Ochi T, Okawada M, Doi T, Lane GJ, Yamataka A | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Surgical management of recto-prostatic and recto-bulbar anorectal malformations | Pediatr Surg Int. 2016 32:939-944 |
| 663 | Takahashi T, Friedmacher F, Zimmer J, Puri P. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Decreased desmin expression in the developing diaphragm of the nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia rat model. | Pediatr Surg Int. 2016 Dec;32(12):1127-1132. |
| 664 | Takahashi T, Friedmacher F, Zimmer J, Puri P. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Expression of T-box transcription factors 2, 4 and 5 is decreased in the branching airway mesenchyme of nitrofen-induced hypoplastic lungs. | Pediatr Surg Int. 2016 Nov 11. [Epub ahead of print] |
| 665 | Takahashi T, Friedmacher F, Zimmer J, Puri P. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Decreased expression of hepatocyte growth factor in the nitrofen model of congenital diaphragmatic hernia. | Pediatr Surg Int. 2016 Oct;32(10):967-73. |
| 666 | Takahashi T, Friedmacher F, Zimmer J, Puri P. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Mesenchymal expression of the FRAS1/FREM2 gene unit is decreased in the developing fetal diaphragm of nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia. | Pediatr Surg Int. 2016 Feb;32(2):135-40. |
| 667 | Nakamura H, Murase N, Koga H, Cazares J, Lane GJ, Uchida H, Yamataka A. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Classification of biliary atresia in the laparoscopic era. | Pediatr Surg Int. 2016 Dec;32(12):1209-1212 |

| | | | | |
|-----|---|-----------------|---|---|
| 668 | Nakamura H, Koga H, Cazares J, Okazaki T, Lane GJ, Miyano G, Okawada M, Doi T, Urao M, Yamataka A. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Comprehensive assessment of prognosis after laparoscopic portoenterostomy for biliary atresia. | Pediatr Surg Int. 2016 Feb;32(2):109-112 |
| 669 | Murakami H, Shimomura Y, Matsumoto M, Lane GJ, Yamataka A, Okawada M. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Intestinal microbiota in neonates requiring urgent surgery: assessing the role of probiotics using fecal DNA sequencing | Pediatr Surg Int. 2016 Jan;32(1):37-43 |
| 670 | Imaizumi T, Murakami H, Nakamura H, Seo S, Koga H, Miyano G, Okawada M, Doi T, Lane GJ, Okazaki T, Arakawa A, Yao T, Yamataka A | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Rectal mucosal/submucosal biopsy under general anesthesia ensures optimum diagnosis of bowel motility disorders. | Pediatr Surg Int. 2016 Dec;32(12):1173-1176 |
| 671 | Takahashi H, Kutasy B, Friedmacher F, Takahashi T, Puri P. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Expression of hepatic lipid droplets is decreased in the nitrofen model of congenital diaphragmatic hernia. | Pediatr Surg Int. 2016 Feb;32(2):155-60. |
| 672 | Zimmer J, Takahashi T, Duess JW, Hofmann AD, Puri P. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Upregulation of S1P1 and Rac1 receptors in the pulmonary vasculature of nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia. | Pediatr Surg Int. 2016 Feb;32(2):147-54. |
| 673 | Takeda M, Miyahara K, Okawada M, Akazawa C, Lane GJ, Yamataka A. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Semaphorin 3A expression following intestinal ischemia/reperfusion injury in Sox10-Venus mice. | Pediatr Surg Int. 2016 Dec;24[Epub ahead of print] |
| 674 | Zimmer J, Takahashi T, Hofmann AD, Puri P. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Decreased Endoglin expression in the pulmonary vasculature of nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia rat model. | Pediatr Surg Int. 2016 Nov 7. [Epub ahead of print] |

| | | | | |
|-----|--|-----------------|--|--|
| 675 | Zimmer J, Takahashi T, Hofmann AD, Puri P. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Downregulation of Forkhead box F1 gene expression in the pulmonary vasculature of nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia. | Pediatr Surg Int. 2016 Dec;32(12):1121-1126. |
| 676 | Takahashi T, Friedmacher F, Zimmer J, Puri P. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Expression of Prx1 and Tcf4 is decreased in the diaphragmatic muscle connective tissue of nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia. | J Pediatr Surg. 2016 Dec;51(12):1931-1935. |
| 677 | Takahashi T, Friedmacher F, Zimmer J, Puri P. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Decreased Expression of Monocarboxylate Transporters 1 and 4 in Branching Airway Epithelium in the Nitrofen-Induced Congenital Diaphragmatic Hernia. | J Pediatr Surg. 2016 Jun;51(6):896-9. |
| 678 | Takahashi T, Friedmacher F, Zimmer J, Puri P. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Increased c-kit and stem cell factor expression in the pulmonary vasculature of nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia. | J Pediatr Surg. 2016 May;51(5):706-9. |
| 679 | Nakamura H, Kawano T, Yoshizawa K, Nakajima H, Suda K, Koga H, Nakame K, Ieiri S, Takamizawa S, Urushihara N, Yanai T, Yamataka A. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Long-term follow-up for anicteric survival with native liver after redo Kasai: a first report. | J Pediatr Surg. 2016 Dec;51(12):2109-2112 |
| 680 | Miyano G, Nakamura H, Seo S, Sueyoshi R, Okawada M, Doi T, Koga H, Lane GJ, Yamataka A. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Pneumoperitoneum and hemodynamic stability during pediatric laparoscopic appendectomy. | J Pediatr Surg. "Equb ahead of print" |
| 681 | Jimbo K, Takeda M, Miyata E, Murakami H4, Kyodo R, Oriksa H, Lane GJ, Shimizu T, Yamataka A. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Is a pediatrician performed gray scale ultrasonography with power Doppler study safe and effective for triaging acute non-perforated appendicitis for conservative management? | J Pediatr Surg. 2016 Dec;51(12):1952-1956 |

| | | | | |
|-----|--|-----------------|--|--|
| 682 | Takahashi T, Friedmacher F, Zimmer J, Puri P. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Fibrillin-1 expression is decreased in the diaphragmatic muscle connective tissue of nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia. | Eur J Pediatr Surg. 2016 Aug 14. [Epub ahead of print] |
| 683 | Takahashi T, Friedmacher F, Zimmer J, Puri P. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Gene expression of fras1-related extracellular matrix 1 is decreased in nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia. | Eur J Pediatr Surg. 2016 Feb;26(1):81-5. |
| 684 | Zimmer J, Takahashi T, Hofmann AD, Puri P. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Imbalance of NFATc2 and KV1.5 Expression in Rat Pulmonary Vasculature of Nitrofen-Induced Congenital Diaphragmatic Hernia. | Eur J Pediatr Surg. 2016 Aug 14. [Epub ahead of print] |
| 685 | Hofmann AD, Zimmer J, Takahashi T, Gosemann JH, Puri P. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | The Role of Activin Receptor-Like Kinase 1 Signaling in the Pulmonary Vasculature of Experimental Diaphragmatic Hernia. | Eur J Pediatr Surg. 2016 Feb;26(1):106-11. |
| 686 | Miyano G, Nakamura H, Seo S, Sueyoshi R, Okawada M, Doi T, Koga H, Lane GJ, Okazaki T, Yamataka A. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Laparoscopy-assisted Duhamel-Z suture for total colonic aganglionosis. Outcome assessed by fecal continence evaluation. | J Laparoendosc Adv Surg Tech A. "Epub ahead of print" |
| 687 | Weaver KL, Baerg JE, Okawada M, Miyano G, Barsness KA, Lacher M, Gonzalez DO, Minneci PC, Perger L, St Peter SD. | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | A multi-institutional review of thoracoscopic congenital diaphragmatic hernia repair. | J Laparoendosc Adv Surg Tech A, 2016 Oct;26(10):825-30 |
| 688 | Okazaki T, Asahara T, Yamataka A, Ogasawara Y, Lane GJ, Nomoto K, Nagata S, Yamashiro Y | 小児外科・小児泌尿生殖器外科学 | Intestinal microbiota in pediatric surgical cases administered Bifidobacterium Breve: a randomized controlled trial. | J Pediatr Gastroenterol Nutr, 2016 Jul;63(1): 46-50 |

| | | | | |
|-----|---|-----------------|--|--|
| 689 | Ochi T, Feng Y, Kitamoto S, Nagao-Kitamoto H, Kuffa P, Atarashi K, Honda K, Teitelbaum DH, Kamada N | 小兒外科・小兒泌尿生殖器外科学 | Diet-dependent, microbiota-independent regulation of IL-10-producing lamina propria macrophages in the small intestine | Sci Rep. 2016 Jun; 6, 27634 |
| 690 | Okawada M, Esposito C, Escolino M, Farina A, Cerulo M, Turrà F, Yamataka A. | 小兒外科・小兒泌尿生殖器外科学 | Treatment of vesico-ureteral reflux in infants and children using endoscopic approaches. | Transl Pediatr. 2016 Oct;5(4):282-290 |
| 691 | Esposito C, Escolino M, Miyano G, Caione P, Chiarenza F, Riccipetroni G, Yamataka A, Savanelli A, Settini A, Varlet F, Patkowski D, Cerulo M, Castagnetti M, Till H, Marotta R, La Manna A, Valla JS. | 小兒外科・小兒泌尿生殖器外科学 | A comparison between laparoscopic and retroperitoneoscopic approach for partial nephrectomy in children with duplex kidney: A multicentric survey. | World J Urol. 2016 Jul;34(7):939-48 |
| 692 | Ieda T, Muto S, Shimizu F, Taguri M, Yanada S, Kitanura K, Terai K, Saito K, Ogishima T, Nagata M, Ide H, Okegawa T, Wakumoto Y, Sakamoto Y, Tsujimura A, Yamaguchi R, Nutahara K and Horie S | 泌尿器外科学 | Development and Validation of a Novel Recurrence Risk Stratification for Initial Non-muscle Invasive Bladder Cancer in Asia. | EBioMedicine 2016; 12, 98-104. |
| 693 | Tsujimura A | 泌尿器外科学 | Sexual interest and neuroimaging of the site of the libido. | Juntendo Medical Journal 62: 381-385, 2016 |
| 694 | Miyamoto T, Bando Y, Koh E, Tsujimura A, Miyagawa Y, Iijima M, Namiki M, Shiina M, Ogata K, Matsumoto N, Sengoku K | 泌尿器外科学 | A PLK4 mutation causing azoospermia in a man with Sertoli cell-only syndrome. | Andrology 4:75-81, 2016 |
| 695 | Tung NH, Tanaka H, Tsujimura A, Miyagawa Y, Wada M, Fujii S, Uto T, Shoyama Y | 泌尿器外科学 | in vitro fertilization with mouse sperm activated by components of licorice root extract. | Nat Prod Chem Res, 4: 1000217, 2016 |

| | | | | |
|-----|---|--------|---|--|
| 696 | Takezawa K, Kondo M, Kiuchi H, Ueda N, Soda T, Fukuhara S, Takao T, Miyagawa Y, Tsujimura A, Matsumoto-Miyai K, Ishida Y, Negoro H, Ogawa O, Nonomura N, Shimada S | 泌尿器外科学 | Authentic role of ATP signaling in micturition reflex. | Scientific Reports 6, Article number: 19585 (2016) |
| 697 | Tanaka H, Yoshimoto T, Nakamura N, Takeda T, Wada M, Miyagawa Y, Tsujimura A | 泌尿器外科学 | SNPs within the intron-less TAF7 gene encoding a general transcription factor in Japanese Males. | Nagasaki Int Univ Rev 16: 197-201, 2016 |
| 698 | Tanaka H, Tsujimura A, Miyagawa Y, Oh D, Choi D, Wada M, Nishimura H, Nishimune Y | 泌尿器外科学 | Genetic variation in the testis-specific HASPIN gene encoding a serine/threonine protein kinase in infertile Japanese males. | Advances in Sexual Medicine 6: 19-25, 2016 |
| 699 | Sato Y, Tajima A, Katsurayama M, Nozawa S, Yoshiike M, Koh E, Kanaya J, Namiki M, Matsumiya K, Tsujimura A, Komatsu K, Itoh N, Eguchi J, Imoto I, Yamauchi A, Iwamoto T | 泌尿器外科学 | A replication study of a candidate locus for follicle-stimulating hormone levels and association analysis for semen quality traits in Japanese men. | J Hum Genet 61: 911-915, 2016 |
| 700 | Tsujimura A, Shimoyama H, Nozaki T, Aoki Y, Takahata S, Yanada S, Mizuno T, Shirai M, Nagao K, Horie S | 泌尿器外科学 | Experience of 3 Cases of Living Renal Transplantation in Juntendo University Urayasu Hospital | Juntendo Medical Journal, 2016; 62: 47-50 |
| 701 | Kinoshita M, Higashihara E, Kawano H, Higashiyama R, Koga D, Fukui T, Gondo N, Oka T, Kawahara K, Rigo K, Hague T, Katsuragi K, Sudo K, Takeshi M, Horie S, Nutahara K. | 泌尿器外科学 | Technical Evaluation: Identification of Pathogenic Mutations in PKD1 and PKD2 in Patients with Autosomal Dominant Polycystic Kidney Disease by Next-Generation Sequencing and Use of a Comprehensive New Classification System. | PLoS One. 2016 Nov 11;11(11):e0166288. |

| | | | | |
|-----|--|--------|--|--|
| 702 | Akaza H, Hirao Y, Kim CS, Oya M, Ozono S, Ye D, Cooperberg M, Hinotsu S, Lee JY, Zhu G, Namiki M, Horie S, Chung BH, Chen CH, Fai NC, Hakim L, Chiong E, Letran J, Umbas R, Suzuki K, Nishimura K, Ong TA, Lojanapiwat B, Wu TL, Kim WJ, Murphy D, Ogawa O, Carroll P, Naito S, Tsukamoto T. | 泌尿器外科学 | Asia prostate cancer study (A-CaP Study) launch symposium. | Prostate Int. 2016 Sep;4(3):88-96. |
| 703 | Kojima T, Mizukami K, Tomita N, Arai H, Ohru T, Eto M, Takeya Y, Isaka Y, Rakugi H, Sudo N, Arai H, Aoki H, Horie S, Ishii S, Iwasaki K, Takayama S, Suzuki Y, Matsui T, Mizokami F, Furuta K, Toba K, Akishita M | 泌尿器外科学 | Screening Tool for Older Persons' Appropriate Prescriptions in Japanese: Report of the Japan Geriatrics Society Working Group on "Guidelines for medical treatment and its safety in the elderly". | Geriatr Gerontol Int. 2016 Sep;16(9):983-1001. |
| 704 | Kunogi H, Wakumoto Y, Yamaguchi N, Horie S, Sasai K. | 泌尿器外科学 | Focal partial salvage low-dose-rate brachytherapy for local recurrent prostate cancer after permanent prostate brachytherapy with a review of the literature. | J Contemp Brachytherapy. 2016 Jun;8(3):165-72. |
| 705 | Abdelhamed A, Hisasue S, Nada EA, Kassem AM, Abdel-Kareem M, Horie S. | 泌尿器外科学 | Relation Between Erectile Dysfunction and Silent Myocardial Ischemia in Diabetic Patients: A Multidetector Computed Tomographic Coronary Angiographic Study. | Sex Med. 2016 Sep;4(3):e127-34. |
| 706 | Horiuchi A, Muto S, Horie S. | 泌尿器外科学 | Holmium laser enucleation of the prostate followed by high-intensity focused ultrasound treatment for patients with huge prostate adenoma and localized prostate cancer: 5-Year follow-up. | Prostate Int. 2016 Jun;4(2):49-53. |
| 707 | Horie S, Mochizuki T, Muto S, Hanaoka K, Fukushima Y, Narita I, Nutahara K, Tsuchiya K, Tsuruya K, Kamura K, Nishio S, Suwabe T, Ubara Y, Ishimura E, Nakanishi K, Furukawa K, Kimura K, Matsuo S. | 泌尿器外科学 | Evidence-based clinical practice guidelines for polycystic kidney disease 2014. | Clin Exp Nephrol. 2016 Aug;20(4):510. |

| | | | | |
|-----|---|-----------|--|--|
| 708 | Kurita N, Horie S, Yamazaki S, Otani K, Sekiguchi M, Onishi Y, Takegami M, Ono R, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S. | 泌尿器外科学 | Low Testosterone Levels and Reduced Kidney Function in Japanese Adult Men: The Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study. | J Am Med Dir Assoc. 2016 Apr 1;17(4):371.e1-6. |
| 709 | Nagata M, Muto S, Horie S. | 泌尿器外科学 | Molecular Biomarkers in Bladder Cancer: Novel Potential Indicators of Prognosis and Treatment Outcomes. | Dis Markers. 2016;2016:8205836. |
| 710 | Hisasue S, China T, Horiuchi A, Kimura M, Saito K, Isotani S, Ide H, Muto S, Yamaguchi R, Horie S. | 泌尿器外科学 | Impact of aging and comorbidity on the efficacy of low-intensity shock wave therapy for erectile dysfunction. | Int J Urol. 2016 Jan;23(1):80-4. |
| 711 | Kakimoto A, Otsubo K, Hanawa M, Kuwabara T, Futaki-Sanbe T, Saito H, Ohsaka A. Acute undifferentiated leukemia or minimally differentiated acute myeloid leukemia | 輸血・幹細胞制御学 | Further emphasis on molecular analysis in leukemia diagnosis. | Juntendo Med J 62 (1): 37-41, 2016 . |
| 712 | Sai E, Shimada K, Miyauchi K, Masaki Y, Kojima T, Miyazaki T, Kurata T, Ogita M, Tsuboi S, Yoshihara T, Miyazaki T, Ohsaka A, Daida H. | 輸血・幹細胞制御学 | Increased cystatin C levels as a risk factor of cardiovascular events in patients with preserved estimated glomerular filtration rate after elective percutaneous coronary intervention with drug-eluting stents. Heart Vessels. | 31 (5): 694-701, 2016 . |
| 713 | Yuri M, Tabe Y, Tsuchiya K, Sadatsuki R, Aoki J, Horii T, Iba T, Ohsaka A. | 輸血・幹細胞制御学 | Evaluation of Factor Xa-Specific Chromogenic Substrate Assays and the Determination of Pharmacokinetics of Fondaparinux. | Clin Appl Thromb - Hemost 22 (5): 453-458, 2016 . |
| 714 | Horiuchi Y, Tabe Y, Kasuga K, Maenou I, Idei M, Horii T, Miida T, Ohsaka A. | 輸血・幹細胞制御学 | The efficacy of an internet-based e-learning system using the CellaVision Competency Software for continuing professional development. | Clin Chem Lab Med 54 (4): e127-e131, 2016 . |

| | | | | |
|-----|---|-------------|---|---|
| 715 | Furuta Y, Ohsawa T, Nakamura Y, Tokida M, Ichikawa K, Ohsaka A. | 輸血・幹細胞制御学 | Implementation of electronic identification system for blood transfusion in the setting of hematopoietic progenitor cell infusion at the bedside. | Transfus Apher Sci 54 (3): 380–383, <u>2016</u> . |
| 716 | Araki M, Yang Y, Masubuchi N, Hironaka Y, Takei H, Morishita S, Mizukami Y, Kan S, Shirane S, Edahiro Y, Sunami Y, Ohsaka A, Komatsu N. | 輸血・幹細胞制御学 | Activation of the thrombopoietin receptor by mutant calreticulin in CALR-mutant myeloproliferative neoplasms. | Blood. ;127(10):1307–1316. <u>2016</u> |
| 717 | Iba T, Emmi M, Hiki M, Nagayama M, Aihara K, Tabe Y, Yuri M, Ohsaka A. | 輸血・幹細胞制御学 | Comparison of prothrombin time tests used in the monitoring of edoxaban and their evaluation as indicators of the reversal effect. | Int J Hematol 103 (6): 665–672, <u>2016</u> . |
| 718 | Ohsaka A, Kato H, Kino S, Kawabata K, Kitazawa J, Sugimoto T, Takeshita A, Baba K, Hamaguchi M, Fujii Y, Horiuchi K, Yonemura Y, Hamaguchi I, Handa M | 輸血・幹細胞制御学 | Japan Society of Transfusion Medicine and Cell Therapy Working Party on Safety Management of Blood Transfusions. Recommendations for the electronic pre-transfusion check at the bedside. | Blood Transfus 14 (5): 419–424, <u>2016</u> . |
| 719 | Idei M, Tabe Y, Hamada C, Miyake K, Takemura H, Io H, Wakita M, Horii T, Tomino Y, Ohsaka A, Miida T. | 輸血・幹細胞制御学 | Pancreatic lipase activity in overnight effluent predicts high transport status in peritoneal dialysis patients. | Clin Chim Acta 462: 65–70, <u>2016</u> . |
| 720 | Baba T, Tanabe Y, Yoshikawa S, Yamanishi Y, Morishita S, Komatsu N, Karasuyama H, Hirao A, and Mukaida N | 輸血・幹細胞制御学 | MIP-1a/CCL3-expressing basophil-lineage cells drive the leukemic hematopoiesis of chronic myeloid leukemia in mice | Blood 127(21): 2607–2617, <u>2016</u> . |
| 721 | Yamaguchi T, Fujiwara T* , Tsai YA, Tang SC, Kawakami M, Mizuno K, Kodama M, Masakado Y, Liu M | リハビリテーション医学 | The effect of anodal transcranial direct current stimulation and patterned electrical stimulation on spinal inhibitory interneurons and motor function in patients with spinal cord injury. | Exp Brain Res 234: 1469–1478, <u>2016</u> |

| | | | | |
|-----|---|-------------|---|--|
| 722 | Kawakami M, Fujiwara T* , Ushiba J, Nishimoto A, Abe K, Honaga K, Nishimura A, Mizuno K, Kodama M, Masakado Y, Liu M | リハビリテーション医学 | A new therapeutic application of brain-machine interface (BMI) training followed by hybrid assistive neuromuscular dynamic stimulation (HANDS) therapy for patients with severe hemiparetic stroke: A proof of concept study. | Restorative Neurology and Neuroscience 34: 789-797, 2016 |
| 723 | Kodama M, Tochikura M, Shimoda N, Fujii C, Fujiwara T , Masakado Y | リハビリテーション医学 | Premotor potential study for diagnosis of carpal tunnel syndrome | Tokai J Exp Clin Med 41: 101-107, 2016 |
| 724 | Yokoyama, J., Ishibashi, K., Shiramizu, H., and Ohba, S. | 耳鼻咽喉科学講座 | Impact of Endoscopic Indocyanine Green Fluorescence Imaging on Superselective Intra-arterial Chemotherapy for Recurrent Cancer of the Skull Base. | <i>Anticancer research</i> 2016, 36 , 3419-3424 |
| 725 | Ohba, S., Yokoyama, J., Kojima, M., Fujimaki, M., Anzai, T., Komatsu, H., and Ikeda, K. | 耳鼻咽喉科学講座 | Significant preservation of swallowing function in chemoradiotherapy for advanced head and neck cancer by prophylactic swallowing exercise. | <i>Head & neck</i> 2016, 38 , 517-521 |
| 726 | Matsumoto, F., Ohba, S., Fujimaki, M., and Ikeda, K. | 耳鼻咽喉科学講座 | The value of insulin-like growth factor-1 receptor for predicting early glottic carcinoma response to radiotherapy. | <i>Auris, nasus, larynx</i> 2016, 43 , 440-445 |
| 727 | Kusunoki, T., Wada, R., Homma, H., Kidokoro, Y., Yanai, A., and Ikeda, K. | 耳鼻咽喉科学講座 | Two Cases of the Laryngeal Cystic Lesions. | <i>Clinics and practice</i> 2016, 6 , 822 |
| 728 | Kusunoki, T., Homma, H., Kidokoro, Y., Yanai, A., Fujimaki, M., and Ikeda, K. | 耳鼻咽喉科学講座 | A Case of a Very Elongated Styloid Process 8 cm in Length with Frequent Throat Pain for 10 Years. | <i>Clinics and practice</i> 2016, 6 , 820 |

| | | | | |
|-----|---|------------|---|---|
| 729 | Furukawa, M., Hayashi, C., Narabayashi, O., Kasai, M., Okada, H., Haruyama, T., Minekawa, A., Iizuka, T., and Ikeda, K. | 耳鼻咽喉科学講座 | Surgical Management of Myringosclerosis over an Entire Perforated Tympanic Membrane by Simple Underlay Myringoplasty. | <i>International journal of otolaryngology</i> , 2016,2894932 |
| 730 | Fukunaga, I., Fujimoto, A., Hatakeyama, K., Aoki, T., Nishikawa, A., Noda, T., Minowa, O., Kurebayashi, N., Ikeda, K., and Kamiya, K. | 耳鼻咽喉科学講座 | In Vitro Models of GJB2-Related Hearing Loss Recapitulate Ca ²⁺ Transients via a Gap Junction Characteristic of Developing Cochlea. | <i>Stem cell reports</i> 2016,7, 1023-1036 |
| 731 | Akaike K, Toda-Ishii M, Suehara S, Takagi T, Kaneko K, Yao T, Saito | 整形外科・運動器医学 | Paget's sarcoma with sarcoma-specific TP53 mutation arising from a Japanese patient | Int J Clin Exp Pathol,2016; 9(3):3978-3986 |
| 732 | Baba T, Homma Y, Ochi H, Ozaki Y, Matsumoto M, Shitoto K, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | Total hip arthroplasty using a Kerboul-type plate for rapidly destructive coxarthrosis - Comparison with uncemented acetabular component- | Eur J Orthop Surg Trauma,2016;26(2):189-194 |
| 733 | Endo S, Sakuraba K, Kubota A | 整形外科・運動器医学 | Effect of local cooling and blood flow restriction on muscle weakness and atrophy caused by detraining | Juntendo Medical Journal,2016; 62(2):146-152 |
| 734 | Futamura K, Baba T, Homma Y, Mogami A, Kanda A, Obayashi O, Sato K, Ueda Y, Kurata Y, Tsuji H, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | New classification focusing on the relationship between the attachment of the iliofemoral ligament and the course of the fracture line for intertrochanteric fractures. | Injury,2016;47(8):1685-1691 |
| 735 | Homma Y, Baba T, Sano K, Ochi H, Matsumoto M, Kobayashi H, Yuasa T, Maruyama Y, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | Lateral femoral cutaneous nerve injury with the direct anterior approach for total hip arthroplasty. | Int Orthop,2016;40(8):1587-1593 |

| | | | | |
|-----|---|------------|--|---|
| 736 | Homma Y, Watari T, Baba T, Suzuki M, Shimizu T, Fujii Y, Maruyama Y, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | Injury patterns in patients after the landslide disaster in Oshima, Tokyo, Japan on October 16, 2013. | Disaster Medicine and Public Health Preparedness 2016;10(2):248-252 |
| 737 | Homma Y, Baba T, Kobayashi H, Desroches A, Ozaki Y, Ochi H, Matsumoto M, Yuasa T, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | Safety in early experience with a direct anterior approach using fluoroscopic guidance with manual leg control for primary total hip arthroplasty: a consecutive one hundred and twenty case series. | Int Orthop,2016;40(12):2487-2494 |
| 738 | Homma Y, Baba T, Kobayashi H, Ozaki Y, Ochi H, Matsumoto M, Yuasa T, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | Benefit and risk in short term after total hip arthroplasty by direct anterior approach combined with dual mobility cup. | Eur J Orthop Surg Trauma,2016;26(6):619-624 |
| 739 | Homma Y, Baba T, Kobayashi H, Ozaki Y, Ochi H, Matsumoto M, Yuasa T, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | Greater Trochanter Chip Fractures in the Direct Anterior Approach for Total Hip Arthroplasty. | Eur J Orthop Surg Trauma,2016;26(6):605-611 |
| 740 | Honecker S, Hidalgo Diaz JJ, Naito K, Pire E, Prunières G, Facca S, Liverneaux P. | 整形外科・運動器医学 | Proximodistal interphalangeal joint arthrodesis of the little finger: A series of 7 cases. | Hand Surg Rehabil,2016;35(4):262-265 |
| 741 | Honecker S, Lazarus P, Ichihara S, Facca S, Liverneaux P | 整形外科・運動器医学 | Interest of a free hand camera in Wrist Arthroscopy: 3 cases. | SOJ Robotics Automation,2016;1(1):1-3 |
| 742 | Huang W, Li Q, Amiry-Moghaddam M, Hokama M, Sardi SH, Nagao M, Warman ML, Olsen BR. | 整形外科・運動器医学 | Critical endothelial regulation by LRP5 during retinal vascular development | PLoS One,2016;Mar 31;11(3):e0152833 |

| | | | | |
|-----|--|------------|--|--|
| 743 | Ichihara S, Bodin F, Pedersen JC, Porto de Melo P, Garcia JC Jr, Facca S, Liverneaux PA. | 整形外科・運動器医学 | Robotically assisted harvest of the latissimus dorsi muscle: A cadaver feasibility study and clinical test case. | Hand Surg Rehabil,2016;Apr;35(2):81-4 |
| 744 | Ichihara S, Barthel L, Díaz JJH, Facca S, Bodin F, Liverneaux P | 整形外科・運動器医学 | Bowstringing after Trigger Finger Release: A Case Report | M J Ortho,2016;1(1):002 |
| 745 | Ishii S, Homma Y, Baba T, Ozaki Y, Matsumoto M, Kaneko K | 整形外科・運動器医学 | Does the Canal Fill Ratio and Femoral Morphology of Asian females Influence Early Radiographic Outcomes of Total hip Arthroplasty with an Uncemented Proximally Coated, Tapered-Wedge Stem? | J Arthroplasty,2016;31(7):1524-1528 |
| 746 | Itoigawa Y, Hooke AW, Steinmann SP, Sperling JW, Zhao KD, Yamamoto N, Itoi E, An KN. | 整形外科・運動器医学 | Repairing the Capsule to the Transferred Coracoid Preserves External Rotation in the Modified Latarjet Procedure. | J Bone Joint Surg Am,2016;Sep 7;98(17):1484-9 |
| 747 | Itoigawa Y, Itoi E. | 整形外科・運動器医学 | Anatomy of the capsulolabral complex and rotator interval related to glenohumeral instability. | Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc,2016;Feb;24(2):343-9 |
| 748 | Jiang S, Ichihara S, Prunières G, Peterson B, Facca S, Xu WD, Liverneaux P. | 整形外科・運動器医学 | Robot-assisted C7 nerve root transfer from the contralateral healthy side: A preliminary cadaver study. | Hand Surg Rehabil,2016;Apr;35(2):95-9 |
| 749 | Kobayashi H, Homma Y, Baba T, Ochi H, Matsumoto M, Yuasa T, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | Surgeons changing the approach for total hip arthroplasty from posterior to direct anterior with fluoroscopy should consider potential excessive cup anteversion and flexion implantation of the stem in their early experience. | Int Orthop,2016;40(9):1813-19 |

| | | | | |
|-----|---|------------|---|---|
| 750 | Kobayashi Y, Saita Y, Nishio H, Ikeda H, Takazawa Y, Nagao M, Takaku T, Komatsu N, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | Leukocyte concentration and composition in platelet-rich plasma (PRP) influences the growth factor and protease concentrations | J Orthop Sci,2016;21(5):683-9 |
| 751 | Kim Y, Kobayashi E, Kubota D, Suehara Y, Mukaihara K, Akaike, Ito A, Kaneko K, Chuman H, Kawai A, Kitano S | 整形外科・運動器医学 | Reduced argininosuccinate synthetase expression in refractory sarcomas: Impacts on therapeutic potential and drug resistance | Oncotarget,2016;7(43):70832-44 |
| 752 | Kim Y, Suehara Y, Ishii M, Kawasaki T, Matsuoka K, Okubo T, Okubo N, Tanabe Y, Akaike K, Mukaihara K, Kubota D, Maruyama Y, Saito T, Kaneko K | 整形外科・運動器医学 | A Comparative Study of 2 Screening Tools for Locomotive Syndrome (The "Loco-check" and the "GLFS-25"): An Orthopedic Outpatient-based Survey | British Journal of Medicine and Medical Research,2016;17(5): 1-13 |
| 753 | Kubota D, Kosaka N, Fujiwara T, Yoshida A, Arai Y, Qiao Z, Takeshita F, Ochiya T, Kawai A, Kondo T | 整形外科・運動器医学 | miR-125b and miR-100 Are Predictive Biomarkers of Response to Induction Chemotherapy in Osteosarcoma. | Sarcoma,2016;1390 571 |
| 754 | Kudo T, Hara A, Iwase H, Ichihara S, Nagao M, Maruyama Y, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | Biomechanical properties of orthogonal plate configuration versus parallel plate configuration using the same locking plate system for intra-articular distal humeral fractures under radial or ulnar column axial load | Injury,2016;47(10):2 071-76 |
| 755 | Maruyama-Nagao A, Sakuraba K, Suzuki Y | 整形外科・運動器医学 | Seasonal variations in vitamin D status in in- and outdoor Japanese female athletes. | Biomed Rep,2016;5(1): 113-17 |
| 756 | Moriya S, Izu Y, Arayal S, Kawasaki M, Hata K, Pawaputanon Na Mahasarakham C, Izumi Y, Saftig P, Kaneko K, Noda M, Ezura Y. | 整形外科・運動器医学 | Cathepsin K Deficiency Suppresses Disuse-Induced Bone Loss. | J Cell Physiol,2016;231(5): 1163-70 |

| | | | | |
|-----|---|------------|--|--|
| 757 | Mukaihara K, Suehara Y, Kohsaka S, Kubota D, Toda-Ishii M, Akaike K, Fujimura T, Kobayashi E, Yao T, Ladanyi M, Kaneko K, Saito T | 整形外科・運動器医学 | Expression of F-actin-capping protein subunit beta, CAPZB, is associated with cell growth and motility in epithelioid sarcoma. | BMC Cancer,2016;16:206 |
| 758 | Mukaihara K, Suehara Y, Kohsaka S, Akaike K, Tanabe Y, Kubota D, Ishii M, Fujimura T, Kazuno S, Okubo T, Takagi T, Yao T, Kaneko K, Saito T | 整形外科・運動器医学 | Protein Expression Profiling of Giant Cell Tumors of Bone Treated with Denosumab | PLoS One,2016;11(2):e0148401 |
| 759 | Mukaihara K, Suehara Y, Kohsaka S, Kubota D, Toda-Ishii M, Akaike K, Fujimura T, Kobayashi E, Yao T, Ladanyi M, Kaneko K, Saito T | 整形外科・運動器医学 | Expression of F-actin-capping protein subunit beta, CAPZB, is associated with cell growth and motility in epithelioid sarcoma. | BMC Cancer,2016;16:206 |
| 760 | Nagao M, Cheong CW, Olsen BR | 整形外科・運動器医学 | Col2-Cre and tamoxifen-inducible Col2-CreER target different cell populations in the knee joint. Osteoarthritis Cartilage | Osteoarthritis Cartilage,2016;Jan;24(1):188-91 |
| 761 | Nagao M, Doi T, Saita Y, Kobayashi Y, Kubota M, Kaneko H, Takazawa Y, Ishijima M, Kurosawa H, Kaneko K, Nozawa M, Ikeda H, Kim SG | 整形外科・運動器医学 | A novel patient-reported outcome measure for anterior cruciate ligament injury: evaluating the reliability, validity, and responsiveness of Japanese anterior cruciate ligament questionnaire 25 | Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc,2016;24(9):2973-82 |
| 762 | Naito K, Zemirline A, Sugiyama Y, Obata H, Liverneaux P, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | Possibility of fixation of a distal radius fracture with a volar locking plate through a 10 mm approach. | Tech Hand Up Extrem Surg,2016;20(2):71-76 |
| 763 | Naito K, Aritomi K, Sugiyama Y, Obata H, Obayashi O, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | Non-operative treatment for distal ulna fractures associated with distal radius fractures. | Int J Clin Exp Med,2016;9(2):3221-26 |

| | | | | |
|-----|---|------------|---|---|
| 764 | Naito K, Sugiyama Y, Igeta Y, Obata H, Aritomi K, Nagahama Y, Tomita Y, Obayashi O, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | Assessment of dorsal instability of the ulnar head in the distal radioulnar joint: comparison between normal wrist joints and cases of ruptured extensor tendons. | Eur J Orthop Surg Traumatol,2016;26(2):161-66 |
| 765 | Naito K, Sugiyama Y, Igeta Y, Kaneko K, Obayashi O. | 整形外科・運動器医学 | Thorough debridement and immediate primary wound closure for animal bite injuries of the upper limbs. | Eur J Traum Emerg Surg,2016;42(2):213-17 |
| 766 | Nojiri H, Miyagawa K, Banno S, Sakamoto I, Koike M, Sawa M, Iwase Y, Kudo H, Sakai T, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | Lumbar artery branches coursing vertically over the intervertebral discs of the lower lumbar spine: an anatomic study. | Eur Spine J,2016; 25(12):4195-98 |
| 767 | Nasirden A, Saito T, Fukumura Y, Hara K, Akaike K, Kurisaki-Arakawa A, Asahina M, Yamashita A, Tomomasa R, Hayashi T, Arakawa A, Yao T. | 整形外科・運動器医学 | In Japanese patients with papillary thyroid carcinoma, TERT promoter mutation is associated with poor prognosis, in contrast to BRAF V600E mutation. | Virchows Arch,2016;469(6):687-96 |
| 768 | Ochi H, Baba T, Homma Y, Matsumoto M, Nojiri H, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | Importance of the spinopelvic factors on the pelvic inclination from standing to sitting before total hip arthroplasty. | Eur Spine J,2016;25(11):3699-06 |
| 769 | Ozaki Y, Homma Y, Baba T, Sano K, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | Small femoral offset is a risk factor for lateral femoral cutaneous nerve injury during total hip arthroplasty using a direct anterior approach. | Orthop Traumatol Surg Res,2016;102(8):1043-47 |
| 770 | Pawaputanon Na Mahasarakham C, Ezura Y, Kawasaki M, Smriti A, Moriya S, Yamada T, Izu Y, Nifuji A, Nishimori K, Izumi Y, Noda M. | 整形外科・運動器医学 | BMP-2 Enhances Lgr4 Gene Expression in Osteoblastic Cells. | J Cell Physiol,2016;231(4): 887-95 |

| | | | | |
|-----|--|------------|--|---|
| 771 | Saito T, Akaike K, Tomomasa R, Suehara Y, Takagi T, Kaneko K, Yao T | 整形外科・運動器医学 | A case of epithelioid hemangioma of the right third rib in a 55-year-old man | Int J Clin Exp Pathol,2016;9(9):9681-86 |
| 772 | Shimasaki Y, Nagao M, Miyamori T, Aoba Y, Fukushi N, Saita Y, Ikeda H, Kim SG, Nozawa M, Kaneko K, Yoshimura M. | 整形外科・運動器医学 | Evaluating the Risk of a Fifth Metatarsal Stress Fracture by Measuring the Serum 25-Hydroxyvitamin D Levels | Foot Ankle Int,2016;37(3):307-11 |
| 773 | Suzuki Y, Fukushima M, Sakuraba K, Sawaki K, Sekigawa K | 整形外科・運動器医学 | Krill oil improves mild knee joint pain: A randomized control trial. | PLOS One,2016;11(10):e0162769 |
| 774 | Saito T, Akaike K, Kurisaki-Arakawa A, Toda-Ishii M, Mukaihara K, Suehara Y, Takagi T, Kaneko K, Yao T | 整形外科・運動器医学 | TERT promoter mutations are rare in bone and soft tissue sarcomas of Japanese patients. | Mol Clin Oncol,2016;4(1):61-64 |
| 775 | Takano H, Yonezawa I, Todo M, Muhammad HM, Sato T, Kaneko K | 整形外科・運動器医学 | Biomechanical Study of the Effects of Balloon Kyphoplasty on the Adjacent Vertebrae | J. Biomedical Science and Engineering,2016;9,478-87 |
| 776 | Tanabe Y, Suehara Y, Okubo T, Kim Y, Ishii M, Kawasaki T, Matsuoka K, Akaike K, Mukaihara K, Kubota D, Okubo N, Maruyama Y, Saito T and Kaneko K | 整形外科・運動器医学 | An Outpatient-based Survey on the Recognition of Locomotive Syndrome in Japan: The Results of three Years of Surveys | British Journal of Medicine and Medical Research,2016;15(9):1-9 |
| 777 | Takazawa Y, Nagayama M, Ikeda H, Kawasaki T, Ishijima M, Saita Y, Kaneko H, Kobayashi Y, Hada S, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | Anterior cruciate ligament injuries in elite and high school rugby players: a 11-year review. | Phys Sportsmed,2016;44(1):53-8 |

| | | | | |
|-----|--|------------|---|---|
| 778 | Toda-Ishii M, Akaike K, Suehara Y, Mukaihara K, Kubota D, Kohsaka S, Okubo T, Mitani K, Mogushi K, Takagi T, Kaneko K, Yao T, Saito T | 整形外科・運動器医学 | Clinicopathological effects of protein phosphatase 2, regulatory subunit A, alpha mutations in gastrointestinal stromal tumors | Mod Pathol,2016;29(11):1424-32 |
| 779 | Toda-Ishii M, Akaike K, Suehara Y, Mukaihara K, Kubota D, Kohsaka S, Okubo T, Mitani K, Mogushi K, Takagi T, Kaneko K, Yao T, Saito T. | 整形外科・運動器医学 | Clinicopathological effects of protein phosphatase 2, regulatory subunit A, alpha mutations in gastrointestinal stromal tumors | Modern Pathology,2016;29(11):1424-32 |
| 780 | Tommomasa R, Akaike K, Asahina M, Toda-Ishii M, Yashiro D, Suehara Y, Takagi T, Kaneko K, Yao T, Saito T | 整形外科・運動器医学 | A case of Secondary Chondrosarcoma with TP53 Mutation Arising from Fibrous Dysplasia | Int J Clin Exp Pathol,2016;9(7):7230-36 |
| 781 | Yuasa T, Maezawa K, Nozawa M, Kaneko K | 整形外科・運動器医学 | Cementless total hip arthroplasty in patients aged > 80 years | J Orthopaedics,2016;13:29-32 |
| 782 | Yuasa T, Maezawa K, Nozawa M, Kaneko K | 整形外科・運動器医学 | Cementless total hip arthroplasty for patients with rheumatoid arthritis: a more than 10-year follow-up. | Eur J Orthop Surg Traumatol,2016;26(6):599-603 |
| 783 | Yuasa T, Maezawa K, Nozawa M, Kaneko K | 整形外科・運動器医学 | Midterm outcome of total hip arthroplasty in patients with rapidly destructive coxarthrosis; a comparative study | J Orthop Surg (Hong Kong),2016;24(1):27-30 |
| 784 | Kanazawa H, Maruyama Y, Shitoto K, Yokoyama M, Kaneko K | 整形外科・運動器医学 | Survival and clinical results of a modified “crosse de hockey” procedure for chronic isolated patellofemoral joint osteoarthritis: mid-term follow-up | J Orthopaed Traumatol,2016 Oct 3. [Epub ahead of print] |

| | | | | |
|-----|---|------------|--|--|
| 785 | Liu L, Ishijima M, Kaneko H, Sadatsuki R, Hada S, Kinoshita M, Futami I, Yusup A, Takazawa Y, Ikeda H, Kaneko K | 整形外科・運動器医学 | MRI-evaluated osteophyte size is a risk factor for receiving the total knee arthroplasty in patients with end-stage knee osteoarthritis | Mod Rheumatol,2016 Jul 18. [Epub ahead of print] |
| 786 | Matter-Parrat V, Hidalgo Diaz JJ, Collon S, Salazar Botero S, Prunières G, Ichihara S, Facca S, Liverneaux P. | 整形外科・運動器医学 | Establishing a reproducible protocol for measuring index active extension strength. | J Hand Surg Eur Vol,2016 Jul 29. [Epub ahead of print] |
| 787 | Obayashi O, Obata H, Naito K, Kanda A, Itoi A, Morohashi I, Mogami A, Kaneko K. | 整形外科・運動器医学 | Recurrence of acute myelogenous leukemia with granulocytic sarcoma-associated tarsal tunnel syndrome in an elderly patient. | J Orthop Sci,2016 Jul 21. [Epub ahead of print] |
| 788 | Sadatsuki R, Kaneko H, Kinoshita M, Futami I, Nonaka R, Culley KL, Otero M, Hada S, Goldring MB, Yamada Y, Kaneko K, Arikawa-Hirasawa E, Ishijima M | 整形外科・運動器医学 | Perlecan is required for the chondrogenic differentiation of synovial mesenchymal cells through regulation of Sox9 gene expression. | J Orthop Res,2016 May 30. [Epub ahead of print] |
| 789 | Sugawara Y, Ishijima M, Kurosawa H, Shimura Y, Kaneko H, Liu L, Futami I, Iwase Y, Kaneko K | 整形外科・運動器医学 | Pre-operative timed single leg standing time is associated with the post-operative activity of daily living after receiving total knee arthroplasty in aged disabled patients with end-stage knee osteoarthritis | Mod Rheumatol,2016 Jun 20. [Epub ahead of print] |
| 790 | Sugiyama Y, Naito K, Obata H, Aritomi K, Kaneko K, Obayashi O. | 整形外科・運動器医学 | Devising for a distal radius fracture fixation focus on the intra-articular volar dislocated fragment. | Ann Med Surg (Lond),2016 Apr 14. [Epub ahead of print] |
| 791 | Vasileiadis GI, Itoigawa Y, Amanatullah DF, Pulido-Sierra L, Crenshaw JR, Huyber C, Taunton MJ, Kaufman KR. | 整形外科・運動器医学 | Intraobserver Reliability and Interobserver Agreement in Radiographic Classification of Heterotopic Ossification. | Orthopedics,2016 Sep 30. [Epub ahead of print] |

| | | | | |
|-----|---|----------|---|---|
| 792 | Horikoshi-Ishihara H, Tobita M, Tajima S, Tanaka R, Oshita T, Tabata Y and Mizuno H | 形成・再建外科学 | Co-administration of adipose-derived stem cells and control-released basic fibroblast growth factor facilitates angiogenesis in a murine ischemic hind limb model | J Vasc Surg 64: 1825-1834, 2016 |
| 793 | Hayashi A, Natori Y, Komoto M, Matsumura T, Horiguchi M, Yoshizawa H, Iwanuma Y, Tsurumaru M, Kajiyama Y and Mizuno H | 形成・再建外科学 | Microvascular reconstruction of free jejunal graft in larynx-preserving esophagectomy for cervical esophageal carcinoma | Plast Reconstr Surg Global Open 4: e632, 2016 |
| 794 | Oshita T, Tobita M, Tajima S and Mizuno H | 形成・再建外科学 | Adipose-derived stem cells improve collagenase-induced tendinopathy in a rat model | Am J Sports Med 44: 1983-1989, 2016 |
| 795 | Huang C, Orbay H, Tobita M, Miyamoto M, Tabata Y, Hyakusoku H and Mizuno H | 形成・再建外科学 | Pro-apoptotic effect of control-released basic fibroblast growth factor on skin wound healing in a diabetic mouse model | Wound Repair Regen 24: 65-74, 2016 |
| 796 | Shimizu A, Komuro Y, Shimoji K, Miyajima M and Arai H | 形成・再建外科学 | Quantitative analysis of change in intracranial volume after posterior cranial vault distraction | J Craniofaci Surg 27: 1135-1138, 2016 |
| 797 | Hayashi A, Yoshizawa H, Natori Y, Suda S, Mochizuki M, Tsukiyama Y, Tanaka R and Mizuno H | 形成・再建外科学 | Assessment of T-shaped double fascia graft for lower lip deformity from facial paralysis: A questionnaire survey | J Plast Reconstr Aesthet Surg 69: 427-435, 2016 |
| 798 | Hayashi A, Mochizuki M, Suda S, Natori Y, Andou E, Yoshizawa H, Senda D, Tanaka R and Mizuno H | 形成・再建外科学 | Effectiveness of platysma muscle flap in preventing Frey syndrome and depressive deformities after parotidectomy | J Plast Reconstr Aesthet Surg 69: 663-672, 2016 |

| | | | | |
|-----|--|----------|---|---|
| 799 | Sukmawati D, Tanaka R, Fujimura S, Jitsukawa S, Ito-Hirano R, Hayashi A, Itoh S, Mizuno H, and Daida H | 形成・再建外科学 | The role of notch signaling in oxidative stress tolerance cells dysfunction | J Diabetes Complications 30: 12-20, 2016 |
| 800 | Yoshizawa H, Senda D, Natori Y, Tanaka R, Mizuno H and Hayashi A | 形成・再建外科学 | End-to-side neurorrhaphy as Schwann cells provider to acellular nerve allograft and its suitable application | PLOS ONE 11: e0167507, 2016 |
| 801 | Kamagata K, Hatano T, Aoki S. | 放射線診断学 | What is NODDI and what is its role in Parkinson's assessment? | Expert Rev Neurother. 2016;16(3):241-3. |
| 802 | Hagiwara A, Akai H, Kosaka T, Suyama Y, Ogura K, Kawauchi N. | 放射線診断学 | A Dorsal Pancreatic Artery Originating from the Right Inferior Phrenic Artery. | J Vasc Interv Radiol. 2016;27(1):143-5. |
| 803 | Hagiwara A, Hori M, Suzuki M, Andica C, Nakazawa M, Tsuruta K, Takano N, Sato S, Hamasaki N, Yoshida M, Kumamaru KK, Ohtomo K, Aoki S. | 放射線診断学 | Contrast-enhanced synthetic MRI for the detection of brain metastases. | Acta Radiol Open. 2016; 5(2):2058460115626 757 |
| 804 | George E, Giannopoulos AA, Aghayev A, Rohatgi S, Imanzadeh A, Antoniadis AP, Kumamaru KK, Chatzizisis YS, Dunne R, Steigner M, Hanley M, Gravereaux EC, Rybicki FJ, Mitsouras D. | 放射線診断学 | Contrast inhomogeneity in CT angiography of the abdominal aortic aneurysm. | J Cardiovasc Comput Tomogr. J Cardiovasc Comput Tomogr.2016 Mar-Apr;10(2):179-83. |
| 805 | Hagiwara A, Nakazawa M, Andica C, Tsuruta K, Takano N, Hori M, Suzuki H, Sugano H, Arai H, Aoki S. | 放射線診断学 | Dural Enhancement in a Patient with Sturge-Weber Syndrome Revealed by Double Inversion Recovery Contrast Using Synthetic MRI. | Magn Reson Med Sci. 2016 Apr 11;15(2):151-2. |

| | | | | |
|-----|--|--------|---|--|
| 806 | Tai R, Dunne RM, Trotman-Dickenson B, Jacobson FL, Madan R, Kumamaru KK, Hunsaker AR. | 放射線診断学 | Frequency and Severity of Pulmonary Hemorrhage in Patients Undergoing Percutaneous CT-guided Transthoracic Lung Biopsy: Single-Institution Experience of 1175 Cases. | Radiology. 2016 Apr;279(1):287-96. |
| 807 | Takemura MY, Hori M, Yokoyama K, Hamasaki N, Suzuki M, Kamagata K, Kamiya K, Suzuki Y, Kyogoku S, Masutani Y, Hattori N, Aoki S. | 放射線診断学 | Alterations of the optic pathway between unilateral and bilateral optic nerve damage in multiple sclerosis revealed by the combined use of advanced diffusion kurtosis imaging and visualevoked potentials. | Magn Reson Imaging. 2016 Apr 21;39:24-30. |
| 808 | Kumamaru KK, George E, Aghayev A, Saboo SS, Khandelwa A, Rodríguez-López S, Cai T, Jiménez-Carretero D, José Estépar RS, Ledesma-Carbayo MJ, González G, Rybicki FJ. | 放射線診断学 | Implementation and performance of automated software for computing RV/LV diameter ratio from CT pulmonary angiography images. | J Comput Assist Tomogr. 2016 May-Jun;40(3):387-92. |
| 809 | Kumamaru KK, Kogure Y, Suzuki M, Hori M, Nakanishi A, Kamagata K, Hagiwara A, Andica C, Ri K, Houshido N, Aoki S. | 放射線診断学 | A strategy to optimize radiation exposure for non-contrast head CT: comparison with the Japanese diagnostic reference levels. | Jpn J Radiol. 2016 Jun;34(6):451-7. |
| 810 | Kamiya K, Amemiya S, Suzuki Y, Kunii N, Kawai K, Mori H, Kunimatsu A, Saito N, Aoki S, Ohtomo K. | 放射線診断学 | Machine Learning of DTI Structural Brain Connectomes for Lateralization of Temporal Lobe Epilepsy. | Magn Reson Med Sci. 2016;15(1):121-9 |
| 811 | Kamiya K, Kamagata K, Miyajima M, Nakajima M, Hori M, Tsuruta K, Mori H, Kunimatsu A, Arai H, Aoki S, Ohtomo K. | 放射線診断学 | Diffusional Kurtosis Imaging in Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus: Correlation with Severity of Cognitive Impairment. | Magn Reson Med Sci. 2016 Jul 11;15(3):316-23. |
| 812 | Kueckelhaus M, Turk M, Kumamaru KK, Wo L, Bueno EM, Lian CG, Alhefzi M, Aycart MA, Fischer S, De Girolami U, Murphy GF, Rybicki FJ, Pomahac B. | 放射線診断学 | Transformation of Face Transplants: Volumetric and Morphologic Graft Changes Resemble Aging After Facial Allotransplantation. | Am J Transplant. 2016;16(3):968-78. |

| | | | | |
|-----|--|--------|--|---|
| 813 | Taoka T, Fujioka M, Kashiwagi Y, Obata A, Rokugawa T, Hori M, Masutani Y, Aoki S, Naganawa S, Abe K. | 放射線診断学 | Time Course of Diffusion Kurtosis in Cerebral Infarctions of Transient Middle Cerebral Artery Occlusion Rat Model. | J Stroke Cerebrovasc Dis. 2016;25(3):610-7. |
| 814 | Imanzadeh A, George E, Kondo T, Takase S, Amanuma M, Rybicki FJ, Kumamaru KK. | 放射線診断学 | Coronary artery calcium score and CT angiography in asymptomatic elderly patients with high pretest probability for coronary artery disease. | Jpn J Radiol. 2016;34(2):140-7. |
| 815 | Cai T, Giannopoulos AA, Yu S, Kelil T, Ripley B, Kumamaru KK, Rybicki FJ, Mitsouras D. | 放射線診断学 | Natural Language Processing Technologies in Radiology Research and Clinical Applications. | Radiographics. 2016;36(1):176-91. |
| 816 | Suzuki Y, Hori M, Kamiya K, Fukunaga I, Aoki S, VAN Cauteren M. | 放射線診断学 | Estimation of the Mean Axon Diameter and Intra-axonal Space Volume Fraction of the Human Corpus Callosum: Diffusion q-space Imaging with Low q-values. | Magn Reson Med Sci. 2016;15(1):83-93. |
| 817 | Nishioka K, Hayashi T, Suzuki M, Li Y, Nakayama S, Matsushima T, Usui C, Shibata N, Motoi Y, Tanaka R, Nishioka K, Hattori N. | 放射線診断学 | Fibromyalgia syndrome and cognitive dysfunction in elderly: a case series. | Int J Rheum Dis. 2016;19(1):21-9. |
| 818 | Kamagata K, Hatano T, Okuzumi A, Motoi Y, Abe O, Shimoji K, Kamiya K, Suzuki M, Hori M, Kumamaru KK, Hattori N, Aoki S. | 放射線診断学 | 1. Neurite orientation dispersion and density imaging in the substantia nigra in idiopathic Parkinson disease. | Eur Radiol. 2016 Aug;26(8):2567-77. |
| 819 | Tachibana Y, Obata T, Tsuchiya H, Omatsu T, Kishimoto R, Kawaguchi H, Nishikori A, Kamagata K, Hori M, Aoki S, Tsuji H, Inoue T. | 放射線診断学 | Diffusion-tensor-based method for robust and practical estimation of axial and radial diffusional kurtosis. | Eur Radiol. 2016 Aug;26(8):2559-66. |

| | | | | |
|-----|---|--------|--|---|
| 820 | Hori M, Kamiya K, Nakanishi A, Fukunaga I, Miyajima M, Nakajima M, Suzuki M, Suzuki Y, Irie R, Kamagata K, Arai H, Aoki S. | 放射線診断学 | Prospective estimation of mean axon diameter and extra-axonal space of the posterior limb of the internal capsule in patients with idiopathic normal pressure hydrocephalus before and after a lumboperitoneal shunt by using q-space diffusion MRI. | Eur Radiol. 2016 Sep;26(9):2992-8. |
| 821 | Kamagata K, Kerever A, Yokosawa S, Otake Y, Ochi H, Hori M, Kamiya K, Tsuruta K, Tagawa K, Okazawa H, Aoki S, Arikawa-Hirasawa E. | 放射線診断学 | Quantitative Histological Validation of Diffusion Tensor MRI with Two-Photon Microscopy of Cleared Mouse Brain. | Magn Reson Med Sci. 2016 Oct 11;15(4):416-421. |
| 822 | Andica C, Hagiwara A, Nakazawa M, Tsuruta K, Takano N, Hori M, Suzuki H, Sugano H, Arai H, Aoki S. | 放射線診断学 | The Advantage of Synthetic MRI for the Visualization of Early White Matter Change in an Infant with Sturge-Weber Syndrome. | Magn Reson Med Sci 2016;15(4):347-348. |
| 823 | Takahashi N, Yoshino O, Maeda E, Naganawa S, Harada M, Koga K, Hiraike O, Nakamura M, Tabuchi T, Hori M, Saito S, Fujii T, Osuga Y. | 放射線診断学 | Usefulness of T2 star-weighted imaging in ovarian cysts and tumors. | J Obstet Gynaecol Res. 2016 Oct;42(10):1336-1342. |
| 824 | Goto M, Suzuki M, Mizukami S, Abe O, Aoki S, Miyati T, Fukuda M, Gomi T, Takeda T. | 放射線診断学 | Repeatability of Brain Volume Measurements Made with the Atlas-based Method from T1-weighted Images Acquired Using a 0.4 Tesla Low Field MR Scanner. | Magn Reson Med Sci. 2016 Oct 11;15(4):365-370. |
| 825 | Goto M, Abe O, Miyati T, Yamasue H, Gomi T, Takeda T. | 放射線診断学 | Head Motion and Correction Methods in Resting-state Functional MRI. | Magn Reson Med Sci. 2016;15(2):178-86. |
| 826 | Khandelwal A, Kondo T, Amanuma M, Oida A, Sano T, Sachin SS, Takase S, Rybicki FJ, Kumamaru KK. | 放射線診断学 | Single Injection Protocol for Coronary and Lower Extremity CT Angiographies in Patients Suspected for Peripheral Arterial Disease. | Medicine (Baltimore). 2016 Nov;95(46):e5410. |

| | | | | |
|-----|--|--------|---|---|
| 827 | Takahashi N, Yoshino O, Hiraike O, Maeda E, Nakamura M, Hori M, Harada M, Koga K, Saito S, Fujii T, Osuga Y. | 放射線診断学 | The assessment of myometrium perfusion in patients with uterine fibroid by arterial spin labeling MRI. | Springerplus. 2016 Nov 3;5(1):1907. |
| 828 | Harada K, Matsuo K, Nakashima M, Hobara T, Higuchi N, Higuchi F, Nakano M, Otsuki K, Shibata T, Watanuki T, Matsubara T, Fujita Y, Shimoji K, Yamagata H, Watanabe Y. | 放射線診断学 | Disrupted orbitomedial prefrontal limbic network in individuals with later-life depression. | J Affect Disord. 2016 Nov;204:112-9. |
| 829 | Kumamaru KK, Saboo SS, Aghayev A, Cai P, Quesada CG, George E, Hussain Z, Cai T, Rybicki FJ. | 放射線診断学 | CT pulmonary angiography-based scoring system to predict the prognosis of acute pulmonary embolism. | J Cardiovasc Comput Tomogr. 2016 Nov - Dec;10(6):473-479. |
| 830 | Kumamaru KK, Kumamaru H, Bateman BT, Gronsbell J, Cai T, Liu J, Higgins LD, Aoki S, Ohtomo K, Rybicki FJ, Patorno E. | 放射線診断学 | Limited Hospital Variation in the Utilization and Yield of CT for Pulmonary Embolism in Patients Undergoing Total Hip or Knee Replacement Surgery. | Radiology. 2016 Dec;281(3):826-834. |
| 831 | Tsutsumi S, Hori M, Ono H, Tabuchi T, Aoki S, Yasumoto Y. | 放射線診断学 | The Infundibular Recess Passes through the Entire Pituitary Stalk. | Clin Neuroradiol. 2016 Dec;26(4):465-469. |
| 832 | Tsushima Y, Ishiguchi T, Murakami T, Hayashi H, Hayakawa K, Fukuda K, Korogi Y, Sugimoto H, Takehara Y, Narumi Y, Arai Y, Kuwatsuru R, Yoshimitsu K, Awai K, Kanematsu M, Takagi R | 放射線診断学 | Safe use of iodinated and gadolinium-based contrast media in current practice in Japan: a questionnaire survey. | Jpn J Radiol, 2016; 34(2):130-139 |
| 833 | Okada M, Murakami T, Kuwatsuru R, Nakamura Y, Isoda H, Goshima S, Hanaoka R, Haradome H, Shinagawa Y, Kitao A, Fujinaga Y, Marugami N, Yuki M, Ichikawa T, Higaki A, Hori M, Fujii S, Matsui O | 放射線診断学 | Biochemical and clinical predictive approach and time point analysis of hepatobiliary phase liver enhancement on Gd-EOB-DTPA-enhanced MR images: a multicenter study. | Radiology, 2016; 281(2):474-483 |

| | | | | |
|-----|--|--------|---|---|
| 834 | Shimada A, Takeuchi H, Kamiya S, Fukuda K, Nakamura R, Takahashi T, Wada N, Kawakubo H, Saikawa Y, Omori T, Nakahara T, Jinzaki M, Murakami K, Kitagawa Y. | 放射線診断学 | Clinical significance of the anterosuperior lymph nodes along the common hepatic artery identified by sentinel node mapping in patients with gastric cancer. | Gastric Cancer. 2016 Oct;19(4):1088-94. doi: 10.1007/s10120-015-0563-3. Epub 2015 Nov 6. PubMed PMID: 26545881. |
| 835 | Kamiya S, Takeuchi H, Nakahara T, Niihara M, Nakamura R, Takahashi T, Wada N, Kawakubo H, Saikawa Y, Omori T, Murakami K, Kitagawa Y. | 放射線診断学 | Auxiliary diagnosis of lymph node metastasis in early gastric cancer using quantitative evaluation of sentinel node radioactivity. | Gastric Cancer. 2016 Oct;19(4):1080-7. doi: 10.1007/s10120-015-0572-2. Epub 2015 Nov 30. PubMed PMID: 26621524 |
| 836 | Kameyama M, Murakami K, Jinzaki M | 放射線診断学 | Comparison of [(15)O] H2O Positron Emission Tomography and Functional Magnetic Resonance Imaging in Activation Studies. | World J Nucl Med. 2016 Jan-Apr;15(1):3-6. doi: 10.4103/1450-1147.172139. Review. PubMed PMID: 26912971; PubMed Central PMCID: PMC4729011 |
| 837 | Kameyama M, Murakami K, Jinzaki M | 放射線診断学 | Optimal HMPAO α value for Lassen's correction algorithm obscured by statistical noise. | Ann Nucl Med. 2016 Jul;30(6):445-9. doi: 10.1007/s12149-016-1073-z. Epub 2016 Mar 26. PubMed PMID: 27017602; PubMed Central PMCID: PMC4925692 |
| 838 | Nogami Y, Fujii-Nishimura Y, Banno K, Suzuki A, Susumu N, Hibi T, Murakami K, Yamada T, Sugiyama H, Morishima Y, Aoki D | 放射線診断学 | Anisakiasis mimics cancer recurrence: two cases of extragastrointestinal anisakiasis suspected to be recurrence of gynecological cancer on PET-CT and molecular biological investigation. | BMC Med Imaging. 2016 Apr 26;16:31. doi: 10.1186/s12880-016-0134-z. PubMed PMID: 27112922; PubMed Central PMCID: PMC4845301 |
| 839 | Nakahara T, Iwabuchi Y, Murakami K | 放射線診断学 | Diagnostic Performance of 3D Bull's Eye Display of SPECT and Coronary CTA Fusion. | JACC Cardiovasc Imaging. 2016 Jun;9(6):703-11. doi: 10.1016/j.jcmg.2015.09.024. Epub 2016 May 18. PubMed PMID: 27209105 |
| 840 | Suzuki Y, Okabayashi K, Hasegawa H, Tsuruta M, Shigeta K, Murakami K, Kitagawa Y | 放射線診断学 | Metabolic Tumor Volume and Total Lesion Glycolysis in PET/CT Correlate With the Pathological Findings of Colorectal Cancer and Allow Its Accurate Staging. | Clin Nucl Med. 2016 Oct;41(10):761-5. doi: 10.1097/RLU.0000000000001332. PubMed PMID: 27556789 |

| | | | | |
|-----|--|----------------------|--|---|
| 841 | Kamata Y, Kikuta K, Susa M, Nishimoto K, Sasaki A, Kameyama K, Murakami K, Nakamura M, Matsumoto M, Morioka H | 放射線診断学 | Hibernoma Showing High Uniform Accumulation on an (18)F-Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography Scan: A Case Report. | Case Rep Oncol. 2016 Aug 17;9(2):427-431. eCollection 2016 May-Aug. PubMed PMID: 27721763; PubMed Central PMCID: PMC5043362 |
| 842 | Shimada A, Takeuchi H, Ono T, Kamiya S, Fukuda K, Nakamura R, Takahashi T, Wada N, Kawakubo H, Saikawa Y, Omori T, Nakahara T, Jinzaki M, Murakami K, Kitagawa Y | 放射線診断学 | Pylorus-Preserving Surgery Based on the Sentinel Node Concept in Early Gastric Cancer. | Ann Surg Oncol. 2016 Dec;23(13):4247-4252. Epub 2016 Jun 30. PubMed PMID: 27364500 |
| 843 | Ichikawa T, Hattori A, Suzuki K, Matsunaga T, Takamochi K, Oh S, Suzuki K | 放射線診断学 | Clinicopathological characteristics of lung cancer mimicking organizing pneumonia on computed tomography—a novel radiological entity of pulmonary malignancy. | Jpn J Clin Oncol. 2016;46(7):681-6 |
| 844 | Fukui M, Takamochi K, Matsunaga T, Oh S, Ando K, Suzuki K, Arakawa A, Uekusa T, Suzuki K. | 放射線診断学 | Risk of the preoperative underestimation of tumour size of lung cancer in patients with idiopathic interstitial pneumonias. | Eur J Cardiothorac Surg. 2016;50(3):428-32 |
| 845 | Naoi Y, Yamada K, Kurokawa C, Ozaki Y, Kyogoku S. | 放射線診断学 | The Ten-Year Results of Radiation Therapy at the Juntendo University Nerima Hospital. | Juntendo Medical Journal 62:160-163,2016. |
| 846 | Kunogi H, Yamaguchi N, Terao Y, Sasai K. | 放射線治療学(放射線腫瘍学・医学物理学) | Kidney-Sparing Methods for Extended-Field Intensity-Modulated Radiotherapy (EF-IMRT) in Cervical Carcinoma Treatment. | PLOS One 2016 Jun 3;11(6):e0156623. |
| 847 | Inoue, T; Widder, J; van Dijk, LV; Takegawa, H; Koizumi, M; Takashina, M; Usui, K; Kurokawa, C; Sugimoto, S; Saito, AI; Sasai, K; van't Veld, AA; Langendijk, JA; Korevaar, EW | 放射線治療学(放射線腫瘍学・医学物理学) | Limited Impact of Setup and Range Uncertainties, Breathing Motion, and Interplay Effects in Robustly Optimized Intensity Modulated Proton Therapy for Stage III Non-small Cell Lung Cancer | Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys., 2016; 96: 661-669 |

| | | | | |
|-----|---|------------------------------|--|--|
| 848 | Kunogi, H; Wakumoto, Y; Yamaguchi, N; Horie, S; Sasai, K | 放射線治療学(放射 線腫瘍学・医学物理 学) | Focal partial salvage low-dose-rate brachytherapy for local recurrent prostate cancer after permanent prostate brachytherapy with a review of the literature | J. Contemp. Brachytherapy, 2016; 8: 167-174 |
| 849 | Asahina, T; Kaida, A; Goto, T; Yoshimura, RI; Sasai, K; Miura, M | 放射線治療学(放射 線腫瘍学・医学物理 学) | Temporo-spatial cell-cycle kinetics in HeLa cells irradiated by Ir-192 high dose-rate remote afterloading system (HDR-RALS) | Radiat. Oncol., 2016; 11: 99 |
| 850 | C Kurokawa | 放射線治療学(放射 線腫瘍学・医学物理 学) | Physics and Nuclear Data in Radiation Therapy | JAEA-Conf, 2015- 003, INDC(JPN)- 201:2016年: 75-80. |
| 851 | Anneyuko I. Saito, Masaru Suda, Keisuke Sasai, Reshma Jagsi | 放射線治療学(放射 線腫瘍学・医学物理 学) | Satisfaction of breast cancer patients regarding surgery and radiation therapy: A survey in Japan | Advances in Radiation Oncology, 2016 Sep 1(4):216- 221. |
| 852 | Ito T, Sai JK, Okubo H, Saito H, Ishii S, Kanazawa R, Tomishima K, Watanabe S, Shiina S. | 消化器画像診断・治 療学 | Safety of immediate endoscopic sphincterotomy in acute suppurative cholangitis caused by choledocholithiasis. | World J Gastrointest Endosc. 2016;8:180- 5. |
| 853 | Uchino K, Tateishi R, Fujiwara N, Minami T, Sato M, Enooku K, Nakagawa H, Asaoka Y, Kondo Y, Yoshida H, Moriya K, Shiina S, Omata M, Koike K. | 消化器画像診断・治 療学 | Impact of serum ferritin level on hepatocarcinogenesis in chronic hepatitis C patients. | Hepato Res. 2016;46:259-68. |
| 854 | Okubo H, Kitamura T, Ando H, Fukada H, Igusa Y, Kokubu S, Miyazaki A, Fujimura A, Shiina S, Watanabe S. | 消化器画像診断・治 療学 | Gadoxetic Acid-Enhanced MR Imaging Predicts Simeprevir-Induced Hyperbilirubinemia During Hepatitis C Virus Treatment: A Pilot Study. | J Clin Pharmacol. 2016;57(3):369-375 |

| | | | | |
|-----|--|-------------|---|---|
| 855 | Minami T, Tateishi R, Nakagomi R, Fujiwara N, Sato M, Enooku K, Nakagawa H, Asaoka Y, Kondo Y, Shiina S, Koike K. | 消化器画像診断・治療学 | The impact of direct-acting antivirals on early tumor recurrence after radiofrequency ablation in hepatitis C-related hepatocellular carcinoma. | JOURNAL OF HEPATOLOGY,2016 ;65(6):1272-73 |
| 856 | Kanazawa R, Sai JK, Ito T, Miura H, Ishii S, Saito H, Tomishima K, Shimizu R, Sato K, Hayashi M, Watanabe S, Shiina S. | 消化器画像診断・治療学 | Prior minimal endoscopic sphincterotomy to prevent pancreatitis related to endoscopic balloon sphincteroplasty. | World J Gastrointest Endosc. 2016;8:663-8. |
| 857 | Shiina S, Ohno M, Ohka F, Kuramitsu S, Yamamichi A, Kato A, Motomura K, Tanahashi K, Yamamoto T, Watanabe R, Ito I, Senga T, Hamaguchi M, Wakabayashi T, Kaneko MK, Kato Y, Chandramohan V, Bigner DD, Natsume A | 消化器画像診断・治療学 | CAR T Cells Targeting Podoplanin Reduce Orthotopic Glioblastomas in Mouse Brains. | Cancer Immunol Res. 2016; 4: 259-68. |
| 858 | Donadon M, Solbiati L, Dawson L, Barry A, Sapisochin G, Greig PD, Shiina S, Fontana A, Torzilli G. | 消化器画像診断・治療学 | Hepatocellular Carcinoma: The Role of Interventional Oncology. | Liver Cancer.2016; 6: 34-43. |
| 859 | Kanazawa R, Sai JK, Fukumura Y, Miura H, Watanabe S, Shiina S, Kawasaki S, Kato S. | 消化器画像診断・治療学 | A Case of Pancreatoblastoma in Which EUS-FNA Aided the Diagnosis. | Pancreas, 2016;45:926. |
| 860 | Suehara Y, Osawa H, Kubota D, Kato S, Akaike K, Toda Ishii M, Tanabe Y, Mukaiharu K, Kim Y, Takagi T, Saito T, Kaneko K. | 臨床腫瘍学 | Large skin ulcer due to a subcutaneous orthopedic implant after bevacizumab therapy: A case report. | JBJS Case Connect, 2016 Aug 24; 6 (3): e70 . https://doi.org/10.2106/JBJS.CC.15.00281 |
| 861 | Shun-Ichiro kageyama,Shigeo Yamaguchi,Shin Ito,Yoshiyuki Suehara,Tsuyoshi Saito,Keisuke Akaike,Kayo Miura,Shunsuke Kato. | 臨床腫瘍学 | A case report of using nivolumab for a malignant melanoma patient with rheumatoid arthritis. | International Cancer Conference Journal:23 July 2016 e-ISSN2192-3183 |

| | | | | |
|-----|--|------------|---|--|
| 862 | Shiono M, Huang K, Downey RJ, Consul N, Villanueva N, Beck K, Fenn K, Dietz D, Yamaguchi T, Kato S, Divgi C, Kalinsky K, Wei Y, Zhang Y, Borczuk AC, Inoue A, Halmos B, Acharyya S. | 臨床腫瘍学 | An analysis of the relationship between metastases and cachexia in lung cancer patients. | Cancer Med. 2016 Aug 3. doi: 10.1002/cam4.841 |
| 863 | Shibata H, Kato S, Sekine I, Abe K, Araki N, Iguchi H, Izumi T, Inaba Y, Osaka I, Kato S, Kawai A, Kinuya S, Kodaira M, Kobayashi E, Kobayashi T, Sato J, Shinohara N, Takahashi S, Takamatsu Y, Takayama K, Takayama K, Tateishi U, Nagakura H, Hosaka M. | 臨床腫瘍学 | Diagnosis and treatment of bone metastasis: comprehensive guideline of the Japanese Society of Medical Oncology, Japanese Orthopedic Association, Japanese Urological Association, and Japanese Society for Radiation Oncology. | ESMO Open. 2016 Mar 16;1(2):e000037. eCollection 2016. Review. |
| 864 | Taro IWASAKI, Futoshi KOMINE, Ryosuke FUSHIKI, Kei KUOCHI, Mitsuyo SHINOHARA, Hideo MATSUMURA | 歯科口腔外科学研究室 | Shear bond strengths of an indirect composite layering material to a tribochemically silica-coated zirconia framework material. | Dental Materials Journal,2016; 35(3):461-469 |
| 865 | Akita D, Kano K, Saito-Tamura Y, Mashimo T, Sato-Shionome M, Tsurumachi N, Yamanaka K, Kaneko T, Toriumi T, Arai Y, Tsukimura N, Matsumoto T, Ishigami T, Isokawa K, Honda M | 歯科口腔外科学研究室 | Use of Rat Mature Adipocyte-Derived Dedifferentiated Fat Cells as a Cell Source for Periodontal Tissue Regeneration. | Front Physiol,2016; 23(7):50 |
| 866 | Takamitsu Koga, Tokutaro Minamizato, Yosuke Kawai, Kei-ichiro Miura, Takashi I, Yuya Nakatani, Yoshinori Sumita, Izumi Asahina | 歯科口腔外科学研究室 | Bone regeneration using Dentin Matrix depends on the degree of demineralization and particle size | PLOS ONE, 2016;11(1): e0147235 |
| 867 | Ohba S, Sumita Y, Umebayashi M, Yoshimura H, Yoshida H, Mastuda S, Kimura H, Asahina I, Sano K | 歯科口腔外科学研究室 | Onlay bone augmentation on mouse calvarial bone using a hydroxyapatite/collagen composite material with total blood or platelet-rich plasma | Arch Oral Biol,2016;61:23-27 |
| 868 | Takako Kawasaki, Seigo Ohba, Yuji Fujimura, Izumi Asahina | 歯科口腔外科学研究室 | Bimaxillary osteotomy for jaw deformity with facioscapulohumeral muscular dystrophy | Journal of Craniofacial Surgery 27(3):776-778, 2016 |

| | | | | |
|-----|---|------------|---|---|
| 869 | Ohba S, Nakao N, Nakatani Y, Minamizato T, Kawasaki T, Koga T, Matsuura T, Yoshimura H, Yoshida N, Sano K, Asahina I | 齒科口腔外科学研究室 | The skeletal and dentoalveolar stability of the maxilla after LeFort I osteotomy for cant correction | Cranio,2016; 34:38-42 |
| 870 | Tomofumi Naruse, Souichi Yanamoto, Yuki Matsushita, Yuki Sakamoto, Kota Morishita, Seigo Ohba, Takeshi Shiraishi, Shin-ichi Yamada, Izumi Asahina, Masahiro Umeda | 齒科口腔外科学研究室 | Our experience of treating locally advanced and recurrent/metastatic oral cancer with cetuximab: an investigation of distant metastasis. | Molecular and Clinical Oncology,2016; 5:246-252 |
| 871 | Seigo Ohba, Noriko Nakao, Takako Kawasaki, Kei-ichiro Miura, Tokutarō Minamizato, Yoshiyuki Koga, Noriaki Yoshida, Izumi Asahina | 齒科口腔外科学研究室 | Skeletal stability after sagittal splitting ramus osteotomy with physiological positioning strategy in skeletal mandibular prognathism with facial asymmetry. | British Journal of Oral and Maxillofacial Surgery,2016; 54(8):920-926 |
| 872 | Seigo Ohba, Takako Kawasaki, Megumi Hashimoto, Noriaki Yoshida Izumi Asahina. | 齒科口腔外科学研究室 | A case of aspiration pneumonia after mandibular osteotomy with genioplasty | Journal of Craniofacial Surgery,2016; 27:e356-e358 |
| 873 | Hiromi Yamashita, Shuichi Fujita, Tohru Ikeda, Izumi Asahina | 齒科口腔外科学研究室 | Multiple odontogenic cysts in a patient with Neurofibromatosis-Noonan syndrome | J Oral Maxillofac Surg Med Pathol,2016;28:51-54 |
| 874 | Miura K, Yoshida M, Yamaguchi K, Yoshida R, Asahina I | 齒科口腔外科学研究室 | Sonographic Evaluation of Bone Formation After Sagittal Split Ramus Osteotomy. | Journal of Ultrasound in Medicine January,2016; 18:395-400 |
| 875 | Nakatani Y, Agata H, Sumita Y, Koga T, Asahina I | 齒科口腔外科学研究室 | Efficacy of freeze-dried platelet-rich plasma on bone engineering | Arch Oral Biol,2016;1426-1433 (e-pub) |

| | | | | |
|-----|--|---------------------|--|--|
| 876 | Nagpal R, Tsuji T, Takahashi T, Kawashima K, Nagata S, Nomoto K, Yamashiro Y. | プロバイオティクス研究(ヤクルト)講座 | Sensitive Quantitative Analysis of the Meconium Bacterial Microbiota in Healthy Term Infants Born Vaginally or by Cesarean Section. | Frontiers in Microbiology, 2016; 7: 1997. |
| 877 | Nagata S, Asahara T, Wang C, Suyama Y, Chonan O, Takano K, Daibou M, Takahashi T, Nomoto K, Yamashiro Y. | プロバイオティクス研究(ヤクルト)講座 | The effectiveness of <i>Lactobacillus</i> beverages in controlling infections among the residents of an aged care facility: a randomized placebo- controlled double-blind trial. | Annals of Nutrition & Metabolism, 2016; 68(1): 51-59 |
| 878 | Okazaki T, Asahara T, Yamataka A, Ogasawara Y, Lane GJ, Nomoto K, Nagata S, Yamashiro Y. | プロバイオティクス研究(ヤクルト)講座 | Intestinal microbiota in pediatric surgical cases administered <i>Bifidobacterium breve</i> : a randomized controlled trial. | Journal of Pediatric Gastroenterology and Nutrition, 2016; 63(1): 46-50. |
| 879 | Fujitani Y., Fujimoto S., Takahashi K., Satoh H., Hirose T., Hiyoshi T., Ai M., Okada Y., Goshō M., Mita T., Watada H. | 先進糖尿病治療学講座 | Effects of linagliptin monotherapy compared with voglibose on postprandial blood glucose responses in Japanese patients with type 2 diabetes: Linagliptin Study of Effects on Postprandial blood glucose (L-STEP). | Diabetes Res Clin Pract 2016; 121: 146-156 |
| 880 | Ikeda S., Tamura Y., Kakehi S., Sanada H., Kawamori R., Watada H. | 先進糖尿病治療学講座 | Exercise-induced increase in IL-6 level enhances GLUT4 expression and insulin sensitivity in mouse skeletal muscle. | Biochem Biophys Res Commun, 2016; 473(4): 947-52 |

| | | | | |
|-----|---|------------|--|---|
| 881 | Imamura M., Takahashi A., Yamauchi T., Hara K., Yasuda K., Grarup N., Zhao W., Wang X., Huerta-Chagoya A., Hu C., Moon S., Long J., Kwak S. H., Rasheed A., Saxena R., Ma R. C., Okada Y., Iwata M., Hosoe J., Shojima N., Iwasaki M., Fujita H., Suzuki K., Danesh J., Jorgensen T., Jorgensen M. E., Witte D. R., Brandslund I., Christensen C., Hansen T., Mercader J. M., Flannick J., Moreno-Macias H., Burtt N. P., Zhang R., Kim Y. J., Zheng W., Singh J. R., Tam C. H., Hirose H., Maegawa H., Ito C., Kaku K., Watada H., Tanaka Y., Tobe K., Kawamori R., Kubo M., Cho Y. S., Chan J. C., Sanghera D., Frossard P., Park K. S., Shu X. O., Kim B. J., Florez J. C., Tusie-Luna T., Jia W., Tai E. S., Pedersen O., Saleheen D. | 先進糖尿病治療学講座 | Genome-wide association studies in the Japanese population identify seven novel loci for type 2 diabetes. | Nat Commun, 2016; 7: 10531 |
| 882 | Takehi S., Tamura Y., Takeno K., Sakurai Y., Kawaguchi M., Watanabe T., Funayama T., Sato F., Ikeda S., Kanazawa A., Fujitani Y., Kawamori R., Watada H. | 先進糖尿病治療学講座 | Increased intramyocellular lipid/impaired insulin sensitivity is associated with altered lipid metabolic genes in muscle of high responders to a high-fat diet. | Am J Physiol Endocrinol Metab, 2016; 310(1): E32-40 |
| 883 | Kubo F., Miyatsuka T., Sasaki S., Takahara M., Yamamoto Y., Shimo N., Watada H., Kaneto H., Gannon M., Matsuoka T. A., Shimomura I. | 先進糖尿病治療学講座 | Sustained expression of GLP-1 receptor differentially modulates β -cell functions in diabetic and nondiabetic mice. | Biochem Biophys Res Commun, 2016; 471(1): 68-74 |
| 884 | Matsuba R., Imamura M., Tanaka Y., Iwata M., Hirose H., Kaku K., Maegawa H., Watada H., Tobe K., Kashiwagi A., Kawamori R., Maeda S. | 先進糖尿病治療学講座 | Replication Study in a Japanese Population of Six Susceptibility Loci for Type 2 Diabetes Originally Identified by a Transethnic Meta-Analysis of Genome-Wide Association Studies. | PLoS One, 2016; 11(4): e0154093 |
| 885 | Mita T., Katakami N., Shimomura I., Watada H. | 先進糖尿病治療学講座 | Response to Comment on Mita et al. Sitagliptin Attenuates the Progression of Carotid Intima-Media Thickening in Insulin-Treated Patients With Type 2 Diabetes: The Sitagliptin Preventive Study of Intima-Media Thickness Evaluation (SPIKE): A Randomized Controlled Trial. Diabetes Care 2016;39:455-464 | Diabetes Care, 2016; 39(7): e104-5 |

| | | | | |
|-----|---|------------|--|---|
| 886 | Mita T., Katakami N., Shiraiwa T., Yoshii H., Onuma T., Kuribayashi N., Osonoi T., Kaneto H., Kosugi K., Umayahara Y., Yamamoto T., Matsumoto K., Yokoyama H., Tsugawa M., Goshō M., Shimomura I., Watada H., Collaborators on the Sitagliptin Preventive Study of Intima-Media Thickness Evaluation T. | 先進糖尿病治療学講座 | Sitagliptin Attenuates the Progression of Carotid Intima-Media Thickening in Insulin-Treated Patients With Type 2 Diabetes: The Sitagliptin Preventive Study of Intima-Media Thickness Evaluation (SPIKE): A Randomized Controlled Trial | Diabetes Care, 2016; 39(3): 455-64 |
| 887 | Mita T., Katakami N., Yoshii H., Onuma T., Kaneto H., Osonoi T., Shiraiwa T., Kosugi K., Umayahara Y., Yamamoto T., Yokoyama H., Kuribayashi N., Jinnouchi H., Goshō M., Shimomura I., Watada H., Collaborators on the Study of Preventive Effects of Alogliptin on Diabetic Atherosclerosis T. | 先進糖尿病治療学講座 | Alogliptin, a Dipeptidyl Peptidase 4 Inhibitor, Prevents the Progression of Carotid Atherosclerosis in Patients With Type 2 Diabetes: The Study of Preventive Effects of Alogliptin on Diabetic Atherosclerosis (SPEAD-A). | Diabetes Care, 2016; 39(1): 139-48 |
| 888 | Suzuki L., Hirayama S., Fukui M., Sasaki M., Hiroi S., Ayaori M., Terai S., Tozuka M., Watada H., Miida T. | 先進糖尿病治療学講座 | Lipoprotein-X in cholestatic patients causes xanthomas and promotes foam cell formation in human macrophages. | Journal of Clinical Lipidology, 2016; 11(1): 110-118 |
| 889 | Takeno K., Tamura Y., Kawaguchi M., Kakehi S., Watanabe T., Funayama T., Furukawa Y., Kaga H., Yamamoto R., Kim M., Nishitani-Yokoyama M., Shimada K., Daida H., Aoki S., Taka H., Fujimura T., Sawada S., Giacca A., Kanazawa A., Fujitani Y., Kawamori R., Watada H. | 先進糖尿病治療学講座 | Relation between insulin sensitivity and metabolic abnormalities in Japanese men with BMI of 23-25 kg/m ² . | J Clin Endocrinol Metab, 2016; 101(10): 3676-3684 |
| 890 | Uchida T., Himuro M., Komiya K., Goto H., Takeno K., Honda A., Sato J., Kawano Y., Suzuki R., Watada H. | 先進糖尿病治療学講座 | Prevalence of fine-needle aspiration biopsy-related complications in Japanese patients and an unfamiliar hyperechoic lesion. | Journal of Ultrasound in Medicine, 2016; 35(3): 599-604 |
| 891 | Uchida T., Himuro M., Komiya K., Goto H., Takeno K., Honda A., Sato J., Kawano Y., Suzuki R., Watada H. | 先進糖尿病治療学講座 | Evanescence Hyperechoic Changes After Fine-Needle Aspiration Biopsy of the Thyroid in a Series With a Low Overall Prevalence of Complications | Journal of Ultrasound in Medicine, 2016; 35(3): 599-604 |

| | | | | |
|-----|--|------------|---|---|
| 892 | Uchida T., Nishimoto K., Fukumura Y., Asahina M., Goto H., Kawano Y., Shimizu F., Tsujimura A., Seki T., Mukai K., Kabe Y., Suematsu M., Gomez-Sanchez C. E., Yao T., Horie S., Watada H. | 先進糖尿病治療学講座 | Disorganized Steroidogenesis in Adrenocortical Carcinoma, a Case Study | Endocr Pathol, 2016; 28(1): 27-35 |
| 893 | Uchida T., Suzuki R., Kasai T., Onose H., Komiya K., Goto H., Takeno K., Ishii S., Sato J., Honda A., Kawano Y., Himuro M., Yamada E., Yamada T., Watada H. | 先進糖尿病治療学講座 | Cutoff value of thyroid uptake of (99m)Tc-pertechnetate to discriminate between Graves' disease and painless thyroiditis: a single center retrospective study. | Endocr J, 2016; 63(2): 143-149 |
| 894 | Yamaguchi H., Arakawa S., Kanaseki T., Miyatsuka T., Fujitani Y., Watada H., Tsujimoto Y., Shimizu S. | 先進糖尿病治療学講座 | Golgi membrane-associated degradation pathway in yeast and mammals. | EMBO J, 2016; 35(18): 1991-2007 |
| 895 | Osonoi Y., Mita T., Osonoi T., Saito M., Tamasawa A., Nakayama S., Someya Y., Ishida H., Kanazawa A., Goshō M., Fujitani Y., Watada H. | 先進糖尿病治療学講座 | Relationship between dietary patterns and risk factors for cardiovascular disease in patients with type 2 diabetes mellitus: a cross-sectional study. | Nutr J, 2016; 15:15 |
| 896 | Sato J., Kanazawa A., Ikeda F., Shigihara N., Kawaguchi M., Komiya K., Uchida T., Oghihara T., Mita T., Shimizu T., Fujitani Y., Watada H. | 先進糖尿病治療学講座 | Effect of treatment guidance using a retrospective continuous glucose monitoring system on glycaemic control in outpatients with type 2 diabetes mellitus: A randomized controlled trial. | J Int Med Res, 2016; 44(1): 109-121 |
| 897 | Schnell O., Weng J., Sheu W. H., Watada H., Kalra S., Soegondo S., Yamamoto N., Rathod R., Zhang C., Grzeszczak W. | 先進糖尿病治療学講座 | Acarbose reduces body weight irrespective of glycemic control in patients with diabetes: results of a worldwide, non-interventional, observational study data pool | J Diabetes Complications, 2016; 30(4): 628-37 |
| 898 | Tanaka A., Inoue T., Kitakaze M., Oyama J., Sata M., Taguchi I., Shimizu W., Watada H., Tomiyama H., Ako J., Sakata Y., Anzai T., Uematsu M., Suzuki M., Eguchi K., Yamashina A., Saito Y., Sato Y., Ueda S., Murohara T., Node K. | 先進糖尿病治療学講座 | Rationale and design of a randomized trial to test the safety and non-inferiority of canagliflozin in patients with diabetes with chronic heart failure: the CANDLE trial | Cardiovasc Diabetol, 2016; 15(1): 57 |

| | | | | |
|-----|--|----------------|--|---|
| 899 | Ueyama M., Nishida N., Korenaga M., Korenaga K., Kumagai E., Yanai H., Adachi H., Katsuyama H., Moriyama S., Hamasaki H., Sako A., Sugiyama M., Aoki Y., Imamura M., Murata K., Masaki N., Kawaguchi T., Torimura T., Hyogo H., Aikata H., Ito K., Sumida Y., Kanazawa A., Watada H., Okamoto K., Honda K., Kon K., Kanto T., Mizokami M., | 先進糖尿病治療学講座 | The impact of PNPLA3 and JAZF1 on hepatocellular carcinoma in non-viral hepatitis patients with type 2 diabetes mellitus | J Gastroenterol. 2016; 51(4): 370-379 |
| 900 | Nishioka K, Hayashi T, Suzuki M, Li Y, Nakayama S, Matsushima T, Usui T, Sshibata N, Motoi Y, Tanaka R, Nishioka K, Hattori N. | 認知症診断・予防・治療学講座 | Fibromyalgia syndrome and cognitive dysfunction in elderly: a case series. | International J of Rhermatic Disease 2016 Jan;19(1):21-9 |
| 901 | Elahi M, Motoi Y, Matsumoto S, Hasan Z, Ishiguro K, Hattori N. | 認知症診断・予防・治療学講座 | Short-term treadmill exercise increased tau insolubility and neuroinflammation in tauopathy model mice. | Neurosci. Lett. 610(2016)207-212 |
| 902 | Elahi M, Hasan Z, Motoi Y, Matsumoto S, Ishiguro K, Hattori N. | 認知症診断・予防・治療学講座 | Region-specific vulnerability to oxidative stress, Neuroinflammation, and Tau hyperphosphorylation in experimental diabetes Mellitis mice. | J Alz Dis. 2016 Feb 25;51(4):1209-1224 |
| 903 | Takeshita Y, Shibata N, Kasanuki K, Nagata T, Shinagawa S, Kobayashi N, Ohnuma T, Suzuki A, Kawai E, Takayama T, Nishioka K, Motoi Y, Hattori N, Nakayama K, Yamada H, Arai H. | 認知症診断・予防・治療学講座 | Genetic association between RAGE polymorphisms and Alzheimer's disease and Lewy body dementias in a Japanese cohort: a case-control study. | Int J Geriatr Psychiatry 2016 DOI:10.1002/gps.4600 |
| 904 | Suzuki A, Shibata N, Kasanuki K, Nagata T, Shinagawa S, Kobayashi N, Ohnuma T, Takeshita Y, Kawai E, Takayama T, Nishioka K, Motoi Y, Hattori N, Nakayama K, Yamada H, Arai H. | 認知症診断・予防・治療学講座 | Genetic association between presenilin 2 polymorphisms and Alzheimer's disease and dementia of Lewy body type in a Japanese population | Dementia and Geriatric Cognitive Disorders Extra 2016 Mar 16;6(1):90-7. doi: 10.1159/000444080. |

| | | | | |
|-----|--|----------------|--|--------------------------------|
| 905 | Ohno M, Kimura M, Miyazaki H, Okawa K, Onuki R, Nemoto C, Tabata E, Wakita S, Kashimura A, Sakaguchi M, Sugahara Y, Nukina N, Bauer PO, Oyama F | 神経変性疾患病態治療探索講座 | Acidic mammalian chitinase is a proteases-resistant glycosidase in mouse digestive system. | Sci Rep. 2016; 6:37756. |
| 906 | Kino Y, Washizu C, Kurosawa M, Yamada M, Doi H, Takumi T, Adachi H, Katsuno M, Sobue G, Hicks GG, Hattori N, Shimogori T, Nukina N | 神経変性疾患病態治療探索講座 | FUS/TLS acts as an aggregation-dependent modifier of polyglutamine disease model mice | Sci Rep. 2016; 6:35236 |
| 907 | Yamanaka T, Tosaki A, Miyazaki H, Kurosawa M, Koike M, Uchiyama Y, Maity SN, Misawa H, Takahashi R, Shimogori T, Hattori N, Nukina N | 神経変性疾患病態治療探索講座 | Differential roles of NF- κ B transcription factor in ER chaperone expression and neuronal maintenance in the CNS. | Sci Rep. 2016; 6:34575. |
| 908 | Misawa H, Inomata D, Kikuchi M, Maruyama S, Moriwaki Y, Okuda T, Nukina N, Yamanaka T | 神経変性疾患病態治療探索講座 | Reappraisal of VACHT-Cre: Preference in slow motor neurons innervating type I or IIa muscle fibers. | Genesis. 2016; 54(11):568-572. |
| 909 | Shimizu H, Miyazaki H, Ohsawa N, Shoji S, Ishizuka-Katsura Y, Tosaki A, Oyama F, Terada T, Sakamoto K, Shirouzu M, Sekine S, Nukina N, Yokoyama S | 神経変性疾患病態治療探索講座 | Structure-based site-directed photo-crosslinking analyses of multimeric cell-adhesive interactions of voltage-gated sodium channel β subunits. | Sci Rep. 2016; 6:26618. |
| 910 | Preyer M, Rau F, Kokunai Y, Linke T, Sellier C, Nakamori M, Kino Y, Arandel L, Jollet A, Thibault C, Philipps M, Vicaire S, Jost B, Udd B, Day JW, Duboc D, Wahbi K, Matsumura T, Fujimura H, Mochizuki H, Deryckere F, Kimura T, Nukina N, Ishiura S, Lacroix V, Campan-Fournier A, Navratil V, Chautard E, Auboeuf D, Horie M, Imoto K, Lee KY, Swanson MS, Lopez de Munain A, Inada S, Itoh H, Nakazawa K, Ashihara T, Wang E, Zimmer T, Furling D, Takahashi MP, Chedot-Berguerand N | 神経変性疾患病態治療探索講座 | Splicing misregulation of SCN5A contributes to cardiac-conduction delay and heart arrhythmia in myotonic dystrophy. | Nat Commun. 2016; 7:11067. |

| | | | | |
|-----|--|----------------|---|--|
| 911 | Yamanaka T, Tosaki A, Kurosawa M, Shimogori T, Hattori N, Nukina N | 神経変性疾患病態治療探索講座 | Genome-wide analyses in neuronal cells reveal that upstream transcription factors regulate lysosomal gene expression. | FEBS J. 2016; 283(6):1077-1087. |
| 912 | Yamada D, Saiki S, Furuya N, Ishikawa K, Imamichi Y, Kambe T, Fujimura T, Ueno T, Koike M, Sumiyoshi K, Hattori N | 神経変性疾患病態治療探索講座 | Ethambutol neutralizes lysosomes and causes lysosomal zinc accumulation. | Biochem Biophys Res Commun. 2016; 471(1): 109-116. |
| 913 | Kurosawa M, Matsumoto G, Sumikura H, Hatsuta H, Murayama S, Sakurai T, Shimogori T, Hattori N, Nukina N | 神経変性疾患病態治療探索講座 | Serine 403-phosphorylated p62/SQSTM1 immunoreactivity in inclusions of neurodegenerative diseases | Neurosci Res. 2016;103:64-70. |
| 914 | Nomura S, Iwata S, Hatano R, Komiya E, Dang NH, Iwao N, Ohnuma K, Morimoto C | 免疫病・がん先端治療学講座 | Inhibition of VEGF-dependent angiogenesis by the anti-CD82 monoclonal antibody 4F9 through regulation of lipid raft microdomains | Biochem Biophys Res Commun.2016;20:111-7 |
| 915 | Hayashi M, Madokoro H, Yamada K, Nishida H, Morimoto C, Sakamoto M, Yamada T | 免疫病・がん先端治療学講座 | A humanized anti-CD26 monoclonal antibody inhibits cell growth of malignant mesothelioma via retarded G2/M cell cycle transition | Cancer Cell Int.,2016;30::16-35 |
| 916 | Omata Y, Nakamura S, Koyama T, Yasui T, Hirose J, Izawa N, Matsumoto T, Imai Y, Seo S, Kurokawa M, Tsutsumi S, Kadono Y, Morimoto C, Aburatani H, Miyamoto T, Tanaka S | 免疫病・がん先端治療学講座 | Identification of Nedd9 as a TGF- β -Smad2/3 Target Gene Involved in RANKL-induced Osteoclastogenesis by Comprehensive Analysis | PLoS One,2016,11:e0157992 |
| 917 | Mizutani N, Abe M, Matsuoka S, Kajino K, Wakiya M, Ohtsuji N, Hatano R, Morimoto C, Hino O | 免疫病・がん先端治療学講座 | Establishment of anti-mesothelioma monoclonal antibodies | BMC Res Notes,2016,9:324 |

| | | | | |
|-----|--|---------------|--|--|
| 918 | Ikeda T, Fragiadaki M, Shiwen Xu, Ponticos M, Khan K, Denton C, Garcia P, Bou-Gharios G, Yamakawa A, Morimoto C, Abraham D | 免疫病・がん先端治療学講座 | Transforming growth factor- β -induced CUX1 isoforms are associated with fibrosis in systemic sclerosis lung fibroblasts | Biochemistry and Biophysics Reports 7. 2016; 246-252 |
| 919 | Ogita M*, Miyauchi K, Kasai T, Tsuboi S, Wada H, Naito R, Konishi H, Dohi T, Tamura H, Okazaki S, Yanagisawa N, Shimada K, Suwa S, Jiang M, Bujo H, Daida H. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Prognostic impact of circulating soluble LR11 on long-term clinical outcomes in patients with coronary artery disease. | Atherosclerosis. 2016; 244: 216-221. |
| 920 | Naito R, Miyauchi K*, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Temporal trends in the Clinical Outcomes after Percutaneous Coronary Intervention from 1984 to 2010 - Report from the Juntendo PCI Registry- | Circ J. 2016; 80: 93-100. |
| 921 | Konishi H, Miyauchi K*, Tsuboi S, Naito R, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Plasma lipoprotein(a) predicts major cardiovascular events in patients with chronic kidney disease who undergo percutaneous coronary intervention. | Int J Cardiol. 2016; 205: 50-53. |
| 922 | Yamakoshi S*, Kasai T, Tomita Y, Takaya H, Kasagi, S, Kawabata M, Narui K, Setoguchi Y. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Comparison of clinical features and polysomnographic findings between men and women with sleep apnea. | J Thorac Dis. 2016; 8: 145-151. |
| 923 | Tamura H, Miyauchi K*, Dohi T, Tsuboi S, Ogita M, Kasai T, Okai I, Katoh Y, Miyazaki T, Naito R, Konishi H, Yokoyama K, Okazaki S, Isoda K, Kurata T, Daida H. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Comparison of Clinical and Angiographic Outcomes After Bare Metal Stents and Drug-Eluting Stents Following Rotational Atherectomy. | Int Heart J. 2016; 57: 150-157. |
| 924 | Konishi H, Miyauchi K*, Kasai T, Tsuboi S, Ogita M, Naito R, Nishizaki Y, Okai I, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Long-term effect of β -blocker in ST-segment elevation myocardial infarction in patients with preserved left ventricular systolic function: a propensity analysis. | Heart Vessels. 2016; 31: 441-448. |

| | | | | |
|-----|--|-------------|--|--|
| 925 | Naito R, Miyauchi K*, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kajimoto K, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Yamamoto T, Amano A, Daida H. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Comparing mortality between coronary artery bypass grafting and percutaneous coronary intervention with drug-eluting stents in elderly with diabetes and multivessel coronary disease. | Heart Vessels. 2016; 31: 1424-1429. |
| 926 | Konishi H, Miyauchi K*, Naito R, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Impact of stent length on clinical outcomes of first-generation and new-generation drug-eluting stents. | Cardiovasc Interv Ther. 2016; 31: 114-121. |
| 927 | Naito R, Miyauchi K*, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Appropriate level of low density lipoprotein cholesterol for secondary prevention of coronary artery disease. | J Atheroscler Thromb. 2016; 23: 413-421. |
| 928 | Uchida T*, Suzuki R, Kasai T, Onose H, Komiya K, Goto H, Takeno K, Ishii S, Sato J, Honda A, Kawano Y, Himuro M, Yamada E, Yamada T, Watada H. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Cutoff value of thyroid uptake of 99mTc-pertechnetate to discriminate between Graves' disease and painless thyroiditis: a single center retrospective study. | Endocr J. 2016; 63: 143-149. |
| 929 | Naito R, Miyauchi K*, Shitara J, Endo H, Wada H, Doi S, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Temporal trends in clinical outcomes following percutaneous coronary intervention in patients with renal insufficiency. | J Atheroscler Thromb. 2016; 23: 1080-1088. |
| 930 | Nakano S*, Takahashi M, Kimura F, Senoo D, Saeki T, Ueda S, Tanno J, Senbonmatsu T, Kasai T, Nishimura S. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Cardiac magnetic resonance imaging-based myocardial strain study for evaluation of cardiotoxicity in breast cancer patients treated with trastuzumab: a pilot study to evaluate the feasibility of the method. | Cardiol J. 2016; 23: 270-280. |
| 931 | Mazaki T*, Kasai T, Yokoi H, Kuramitsu S, Yamaji K, Morinaga T, Masuda H, Shirai S, Ando K. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Impact of sleep-disordered breathing on long-term outcomes in patients with acute coronary syndrome who have undergone primary percutaneous coronary intervention. | J Am Heart Assoc. 2016; 5: e003270. |

| | | | | |
|-----|---|-------------|---|--|
| 932 | Onda T, Inoue K*, Suwa S, Nishizaki Y, Kasai T, Kimura Y, Fukuda K, Okai I, Fujiwara Y, Matsuoka J, Sumiyoshi M, Daida H. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Reevaluation of cardiac risk scores and multiple biomarkers for the prediction of first major cardiovascular events and death in the drug-eluting stent era. | Int J Cardiol. 2016; 219: 180-185. |
| 933 | Koikawa N, Shimada S, Suda S, Murata A, Kasai T*. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Sex differences in subjective sleep quality, sleepiness, and health-related quality of life among collegiate soccer players. | Sleep Biol Rhythms. 2016; 14: 377-386. |
| 934 | Ogita M, Miyauchi K*, Onishi A, Tsuboi S, Wada H, Konishi H, Naito R, Dohi T, Kasai T, Kojima Y, Schwartz R, Daida H. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Accelerated coronary atherosclerotic model in a novel low density lipoprotein receptor knock-out swine. | PLoS One. 2016; 11: e0163055. |
| 935 | Tanno J*, Gatate Y, Kasai T, Nakano S, Senbonmatsu T, Sato O, Ichioka S, Kuro-o M, Nishimura S. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | A novel index using ankle hemodynamic parameters to assess the severity of peripheral arterial disease: A pilot study. | PLoS One. 2016; 11: e0164756. |
| 936 | Naito R, Miyauchi K*, Shitara J, Endo H, Wada H, Doi S, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Combined Effect of Body mass index and Renal Function on Long-term Clinical Outcomes in the Elderly following Percutaneous Coronary Intervention. | J Am Geriatr Soc. 2016; 64: e39-41. |
| 937 | Konishi H, Miyauchi K*, Naito R, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Isoda K, Daida H. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Adequate time in therapeutic INR range using triple antithrombotic therapy is not associated with long-term cardiovascular events and major bleeding complications after drug-eluting stent implantation. | J Cardiol. 2016; 68: 517-522 |
| 938 | Konishi H, Miyauchi K*, Shitara J, Endo H, Wada H, Doi S, Naito R, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Kasai T, Okazaki S, Isoda K, Suwa S, Daida H. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Impact of lipoprotein(a) on long-term outcomes in patients with diabetes mellitus undergoing percutaneous coronary intervention. | Am J Cardiol. 2016; 118: 1781-1785 |

| | | | | |
|-----|--|-----------------|---|---|
| 939 | Wada H, Dohi T, Miyauchi K*, Shitara J, Endo H, Doi S, Naito R, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Kasai T, Hassan A, Okazaki S, Isoda K, Shimada K, Suwa S, Daida H. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Preprocedural high-sensitivity C-reactive protein predicts long-term outcomes in patients undergoing percutaneous coronary intervention. | Circ J. 2016; 81: 90-95. |
| 940 | Kattel S, Kasai T*, Matsumoto H, Yatsu S, Murata A, Kato T, Suda S, Hiki M, Takagi A, Daida H. | 心血管睡眠呼吸医学講座 | Association between elevated blood glucose level on admission and long-term mortality in patients with acute decompensated heart failure. | J Cardiol. 2016; 69: 619-624 |
| 941 | Moro, E; Schupbach, M; Wachter, T; Allert, N; Eleopra, R; Honey, CR; Rueda, M; Schiess, MC; Shimo, Y; Valkovic, P; Whone, A; Stoevelaar, H | 運動障害疾患病態研究・治療講座 | Referring Parkinson's disease patients for deep brain stimulation: a RAND/UCLA appropriateness study | J. Neurol., 2016; 263: 112-119 |
| 942 | Iwamuro, H; Ikeda, S; Taniguchi, M | 運動障害疾患病態研究・治療講座 | A rare case of diploic venous anomaly: asymptomatic venous sac expanding in the diploe | SpringerPlus, 2016; 5: 1926 |
| 943 | Tanoue S, Oishi H, Teranishi K, Nonaka S, Yamamoto M | 脳神経血管内治療額講座 | Mechanical thrombectomy for acute intracranial internal carotid artery occlusion: comparison with middle cerebral artery occlusion | Journal of Neuroendovascular Therapy 2016; 10(5): 231-235 |
| 944 | Oishi H, Teranishi K, Nonaka S, Yamamoto M, Arai H | 脳神経血管内治療額講座 | Symptomatic very delayed parent artery occlusion awfter flow diversion stent embolization | Neurol Med Chir (Tokyo) 2016; 56(6): 350-353 |
| 945 | Ono K, Oishi H, Tanoue S, Hasegawa H, Yoshida K, Yamamoto M, Arai H | 脳神経血管内治療額講座 | Direct carotid-cavernous fistulas occurring neurointerventional procedures | Interventional Neuroradiology 2016; 22(1): 91-96 |

| | | | | |
|-----|--|---------------------|---|---|
| 946 | Mitome-Mishima Y, Oishi H, Yamamoto M, Yatomi K, Nonaka S, Miyamoto N, Urabe T, Arai H | 脳神経血管内治療額講座 | Differences in tissue proliferation and maturation between Matrix2 and bare platinum coil embolization in experimental swine aneurysms | Journal of Neuroradiology 2016; 43(1): 43-50 |
| 947 | Matsuzaki K, Suzuki H, Kobayashi T, Shimizu Y, Tomino Y. | 慢性腎臓病(CKD)集学的治療研究講座 | Analysis of predictive factors for deterioration of renal function in chronic kidney disease. | J Nephrol Ther 2016, 6:2 |
| 948 | Kinoshita M, Higashihara E, Kawano H, Higashiyama R, Koga D, Fukui T, Gondo N, Oka T, Kawahara K, Rigo K, Hague T, Katsuragi K, Sudo K, Takeshi M, Horie S, Nutahara K. | 多発性嚢胞腎先進治療学講座 | Technical Evaluation: Identification of Pathogenic Mutations in PKD1 and PKD2 in Patients with Autosomal Dominant Polycystic Kidney Disease by Next-Generation Sequencing and Use of a Comprehensive New Classification System. | PLoS One. 2016;11(11):e0166288 |
| 949 | Ieda T, Muto S, Shimizu F, Taguri M, Yanada S, Kitamura K, Terai K, Saito K, Ogishima T, Nagata M, Ide H, Okegawa T, Wakumoto Y, Sakamoto Y, Tsujimura A, Yamaguchi R, Nutahara K, Horie S. | 多発性嚢胞腎先進治療学講座 | Development and Validation of a Novel Recurrence Risk Stratification for Initial Non-muscle Invasive Bladder Cancer in Asia. | EBioMedicine. 2016;12:98-104 |
| 950 | Akaza H, Hirao Y, Kim GS, Oya M, Ozono S, Ye D, Cooperberg M, Hinotsu S, Lee JY, Zhu G, Namiki M, Horie S, Chung BH, Chen CH, Fai NC, Hakim L, Chiong E, Letran J, Umbas R, Suzuki K, Nishimura K, Ong TA, Lojanapiwat B, Wu TL, Kim WJ, Murphy D, Ogawa O, Carroll P, Naito S, Tsukamoto T. | 多発性嚢胞腎先進治療学講座 | Asia prostate cancer study (A-CaP Study) launch symposium. | Prostate Int. 2016;4(3):88-96 |
| 951 | Kojima T, Mizukami K, Tomita N, Arai H, Ohroi T, Eto M, Takeya Y, Isaka Y, Rakugi H, Sudo N, Arai H, Aoki H, Horie S, Ishii S, Iwasaki K, Takayama S, Suzuki Y, Matsui T, Mizokami F, Furuta K, Toba K, Akishita M; Working Group on Guidelines for Medical Treatment and its Safety in the Elderly. | 多発性嚢胞腎先進治療学講座 | Screening Tool for Older Persons' Appropriate Prescriptions for Japanese: Report of the Japan Geriatrics Society Working Group on "Guidelines for medical treatment and its safety in the elderly". | Geriatr Gerontol Int. 2016;16(9):983-1001 |

| | | | | |
|-----|--|---------------|--|---|
| 952 | Kunogi H, Wakumoto Y, Yamaguchi N, Horie S, Sasai K | 多発性嚢胞腎先進治療学講座 | Focal partial salvage low-dose-rate brachytherapy for local recurrent prostate cancer after permanent prostate brachytherapy with a review of the literature. | J Contemp Brachytherapy. 2016;8(3):165-72 |
| 953 | Abdelhamed A, Hisasue S, Nada EA, Kassem AM, Abdel-Kareem M, Horie S. | 多発性嚢胞腎先進治療学講座 | Relation Between Erectile Dysfunction and Silent Myocardial Ischemia in Diabetic Patients: A Multidetector Computed Tomographic Coronary Angiographic Study. | Sex Med. 2016;4(3):e127-34 |
| 954 | Horiuchi A, Muto S, Horie S. | 多発性嚢胞腎先進治療学講座 | Holmium laser enucleation of the prostate followed by high-intensity focused ultrasound treatment for patients with huge prostate adenoma and localized prostate cancer: 5-Year follow-up. | Prostate Int. 2016;4(2):49-53. |
| 955 | Kamiyama H, Sakamoto K, China T, Aoki J, Niwa K, Ishiyama S, Takahashi M, Kojima Y, Goto M, Tomiki Y, Horie S. | 多発性嚢胞腎先進治療学講座 | Combined laparoscopic abdominoperineal resection and robotic-assisted prostatectomy for synchronous double cancer of the rectum and the prostate. | Asian J Endosc Surg. 2016;9(2):142-5 |
| 956 | Horie S, Mochizuki T, Muto S, Hanaoka K, Fukushima Y, Narita I, Nutahara K, Tsuchiya K, Tsuruya K, Kamura K, Nishio S, Suwabe T, Ubara Y, Ishimura E, Nakanishi K, Furukawa K, Kimura K, Matsuo S. | 多発性嚢胞腎先進治療学講座 | Evidence-based clinical practice guidelines for polycystic kidney disease 2014. | Clin Exp Nephrol. 2016;20(4):493-509 |
| 957 | Kurita N, Horie S, Yamazaki S, Otani K, Sekiguchi M, Onishi Y, Takegami M, Ono R, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S. | 多発性嚢胞腎先進治療学講座 | Low Testosterone Levels and Reduced Kidney Function in Japanese Adult Men: The Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study. | J Am Med Dir Assoc. 2016;17(4):371.e1-6 |
| 958 | Nagata M, Muto S, Horie S. | 多発性嚢胞腎先進治療学講座 | Molecular Biomarkers in Bladder Cancer: Novel Potential Indicators of Prognosis and Treatment Outcomes. | Dis Markers. 2016;2016:8205836. |

| | | | | |
|-----|---|---------------|---|----------------------------------|
| 959 | Hisasue S, China T, Horiuchi A, Kimura M, Saito K, Isotani S, Ide H, Muto S, Yamaguchi R, Horie S. | 多発性嚢胞腎先進治療学講座 | Impact of aging and comorbidity on the efficacy of low-intensity shock wave therapy for erectile dysfunction. | Int J Urol. 2016;23(1):80-4. |
| 960 | KAWAHARA NORIE , HOTTA ZEN-U , KANAYAMA MAYUKO , NAGATA MASAYOSHI , AKAZA HIDEYUKI , HORIE SHIGEO | 多発性嚢胞腎先進治療学講座 | Principle Component Analysis of Health-Related Quality of Life Measures for Prostate Cancer | 順天堂醫事雑誌 62(6), 472-478, 2016 |
| 961 | TSUJIMURA AKIRA , SHIMOYAMA HIROFUMI , NOZAKI TAIJI , AOKI YUSUKE , TAKAHATA SOHEI , YANADA SHIGETO , MIZUNO TAIKI , SHIRAI MASATO , NAGAO KEIJI , HORIE SHIGEO | 多発性嚢胞腎先進治療学講座 | Experience of 3 Cases of Living Renal Transplantation in Juntendo University Urayasu Hospital | 順天堂醫事雑誌 62(1), 47-50, 2016 |
| 962 | 7. Ohno R, Uozaki H, Kikuchi Y, Kumagai A, Aso T, Watanabe M, Watabe S, Muto S, Yamaguchi R. | 多発性嚢胞腎先進治療学講座 | Both cancerous miR-21 and stromal miR-21 in urothelial carcinoma are related to tumour progression | Histopathology. 2016;69(6):993-9 |

| | | | | |
|-----|---|---------------------------------------|--|---|
| 963 | <p>Klionsky DJ, Abdelmohsen K, Abe A, Abedin MJ, Abeliovich H, Acevedo Arozena A, Adachi H, Adams CM, Adams PD, Adeli K, Adhihetty PJ, Adler SG, Agam G, Agarwal R, Aghi MK, Agnello M, Agostinis P, Aguilar PV, Aguirre-Ghiso J, Airoidi EM, Ait-Si-Ali S, Akematsu T, Akporiaye ET, Al-Rubeai M, Albaiceta GM, Albanese C, Albani D, Albert ML, Aldudo J, Algül H, Alirezaei M, Alloza I, Almasan A, Almonte-Beceril M, Alnemri ES, Alonso C, Altan-Bonnet N, Altieri DC, Alvarez S, Alvarez-Erviti L, Alves S, Amadoro G, Amano A, Amantini C, Ambrosio S, Amelio I, Amer AO, Amessou M, Amon A, An Z, Anania FA, Andersen SU, Andley UP, Andreadi CK, Andrieu-Abadie N, Anel A, Ann DK, Anoopkumar-Dukie S, Antonioni M, Aoki H, Apostolova N, Aquila S, Aquilano K, Araki K, Arama E, Aranda A, Araya J, Arcaro A, Arias E, Arimoto H, Ariosa AR</p> | <p>パーキンソン病病態 解明研究講座</p> | <p>Guidelines for the use and interpretation of assays for monitoring autophagy (3rd edition)</p> | <p>Autophagy, 2016; 2(1): 1-222</p> |
| 964 | <p>Iyer J, Wang Q, Le T, Pizzo L, Grönke S, Ambegaokar S, Imai Y, Srivastava A, Lu B, Mardon G, Artero R, Jackson GR, Isaacs AM, Partridge L, Kumar JP, Girirajan S.</p> | <p>パーキンソン病病態 解明研究講座</p> | <p>Quantitative assessment of eye phenotypes for functional genetic studies using <i>Drosophila melanogaster</i>.</p> | <p>G3, 2016; 6(5):1427-1437</p> |
| 965 | <p>Tomizawa Y, Nakamura R, Hoshino Y, Sasaki F, Nakajima S, Kawajiri S, Noda K, Takanashi M, Fujita N, Yokoyama K, Hattori N, Takahashi T, Okuma Y.</p> | <p>多発性硬化症および 神経難病治療・研究 講座</p> | <p>Tumefactive demyelinating brain lesions with multiple closed-ring enhancement in the course of neuromyelitis optica</p> | <p>J Neurol Sci. 2016 Feb 15;361:49-51.</p> |
| 966 | <p>Cossu D, Yokoyama K, Sechi L A, Otsubo S, Tomizawa Y, Momotani E, Hattori N.</p> | <p>多発性硬化症および 神経難病治療・研究 講座</p> | <p>Humoral response against host-mimetic homologous epitopes of Mycobacterium avium subsp paratuberculosis in Japanese multiple sclerosis patients</p> | <p>SCIENTIFIC REPORTS, 2016; 6:29227</p> |

| | | | | |
|-----|--|----------------------|---|---|
| 967 | Takehige H, Ueno Y, Sasaki F, Namera A, Matsukawa T, Yokoyama K, Hattori N | 多発性硬化症および神経難病治療・研究講座 | Acute hippocampal and chronic diffuse white matter involvement in severe methanol intoxication | NEUROLOGY, 2016; 87(22):2382-2383 |
| 968 | Shiraishi A, Mochizuki S., Miyakoshi A., Kojoh K. and Okada Y. | 運動器・腫瘍性疾患病態学講座 | Development of human antibody to ADAMTS4 (aggrecanase-1) and ADAMTS5 (aggrecanase-2). | Biochem Biophys Res Commun 469:62-69, 2016. |
| 969 | Nanjo S., Ebi H., Arai S., Takeuchi S., Yamada T., Mochizuki S., Okada Y., Nakada M. and Yano S. | 運動器・腫瘍性疾患病態学講座 | High efficacy of third generation EGFR inhibitor AZD9291 in a leptomeningeal carcinomatosis model with EGFR-mutant lung cancer cells. | Oncotarget 7:3847-3856, 2016. |
| 970 | Chiba T., Soeno Y., Shirako Y., Sudo H., Yagishita H., Taya Y., Kawashiri S., Okada Y. and Imai K. | 運動器・腫瘍性疾患病態学講座 | MALT1 inhibition of oral carcinoma cell invasion and ERK/MAPK activation. | J Dent Res 95:446-452, 2016. |
| 971 | Ota M., Mochizuki S., Shimoda M., Abe H., Miyamae Y., Ishii K., Kimura H. and Okada Y. | 運動器・腫瘍性疾患病態学講座 | ADAM23 is down-regulated in side population and suppresses lung metastasis of lung carcinoma cells. | Cancer Sci 107:433-443, 2016. |
| 972 | Shimoda M., Horiuchi K., Sasaki A., Tsukamoto T., Okabayashi K., Hasegawa H., Kitagawa Y. and Okada Y. | 運動器・腫瘍性疾患病態学講座 | Epithelial cell-derived a disintegrin and metalloproteinase-17 confers resistance to colonic inflammation through EGFR activation. | EBioMedicine 5:114-124, 2016. |
| 973 | Hashimoto S., Mikami S., Sugino H., Yoshikawa A., Hashimoto A., Onodera Y., Furukawa S., Handa H., Oikawa T., Okada Y., Oya M. and Sabe H. | 運動器・腫瘍性疾患病態学講座 | Lysophosphatidic acid activates Arf6 to promote the mesenchymal malignancy of renal cancer. | Nature Commun 7:10656, 2016. |

| | | | | |
|-----|--|----------------|---|---|
| 974 | Tanaka N., Kosaka T., Miyazaki Y., Mikami S., Niwa N., Otsuka Y., Minamishima Y. A., Mizuno R., Kikuchi E., Miyajima A., Sabe H., Okada Y., Suematsu M., Oya M. and Uhlén P. | 運動器・腫瘍性疾患病態学講座 | Acquired platinum resistance involves epithelial to mesenchymal transition through ubiquitin ligase FBXO32 dysregulation. | JCI Insight 1(18):e83654, 2016. |
| 975 | Miyamae Y., Mochizuki S., Shimoda M., Ohara K., Abe H., Yamashita S., Kazuno S., Ohtsuka T., Ochiai H., Kitagawa Y. and Okada Y. | 運動器・腫瘍性疾患病態学講座 | ADAM28 is expressed by epithelial cells in human normal tissues and protects from C1q-induced cell death. | FEBS J 283:1574-1594, 2016. |
| 976 | Funao H., Nagai S., Sasaki A., Hoshikawa T., Tsuji T., Okada Y., Koyasu S., Toyama Y., Nakamura M., Aizawa M., Matsumoto M. and Ishii K. | 運動器・腫瘍性疾患病態学講座 | A novel hydroxyapatite film coated with ionic silver via inositol hexaphosphate chelation prevents implant-associated infection. | Sci Rep 6:23238, 2016. |
| 977 | Shiono Y., Ishii K., Nagai S., Kakinuma H., Sasaki A., Tsuji T., Okada Y., Koyasu S., Nakamura M., Toyama Y., Aizawa M. and Matsumoto M. | 運動器・腫瘍性疾患病態学講座 | Delayed <i>Propionibacterium acnes</i> surgical site infections occur only in the presence of an implant. | Sci Rep 6:32758, 2016. |
| 978 | Rudnicka C., Mochizuki S., Okada Y., McLaughlin C., Leedman P. J., Stuart L., Epis M., Hoyne G., Boulos S., Johnson L., Schlaich M. and Matthews V. | 運動器・腫瘍性疾患病態学講座 | Overexpression and knock-down studies highlight that a disintegrin and metalloproteinase 28 controls proliferation and migration in human prostate cancer. | Medicine 95:40 (e5085), 2016. |
| 979 | Sada K., Harigai M., Amano K., Atsumi T., Fujimoto S., Yuzawa Y., Takasaki Y., Banno S., Sugihara T., Kobayashi M., Usui J., Ymagata H., Homma S., Dobashi H., Tsuboi N., Ishizu A., Sugiyama H., Okada Y., Arimura Y., Matuo S. and | 運動器・腫瘍性疾患病態学講座 | Comparison of severity classification in Japanese patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis in a nationwide, prospective, inception cohort study. | Mod Rheumatol 26:730-737, 2016. |
| 980 | Kubo F., Miyatsuka T., Sasaki S., Takahara M., Yamamoto Y., Shimo N., Watada H., Kaneto H., Gannon M., Matsuoka T. A., Shimomura I. | 糖尿病治療標の探索医学講座 | Sustained expression of GLP-1 receptor differentially modulates β -cell functions in diabetic and nondiabetic mice. | Biochem Biophys Res Commun, 2016; 471(1): 68-74 |

| | | | | |
|-----|--|-------------------|--|--|
| 981 | Yamaguchi H., Arakawa S., Kanaseki T., Miyatsuka T., Fujitani Y., Watada H., Tsujimoto Y., Shimizu S. | 糖尿病治療標の探索 医学講座 | Golgi membrane-associated degradation pathway in yeast and mammals. | EMBO J, 2016; 35(18): 1991-2007 |
| 982 | Fujitani Y., Fujimoto S., Takahashi K., Satoh H., Hirose T., Hiyoshi T., Ai M., Okada Y., Goshō M., Mita T., Watada H. | 糖尿病治療標の探索 医学講座 | Effects of linagliptin monotherapy compared with voglibose on postprandial blood glucose responses in Japanese patients with type 2 diabetes: Linagliptin Study of Effects on Postprandial blood glucose (L-STEP). | Diabetes Res Clin Pract 2016; 121: 146-156 |
| 983 | Mita T., Katakami N., Shimomura I., Watada H. | 糖尿病治療標の探索 医学講座 | Response to Comment on Mita et al. Sitagliptin Attenuates the Progression of Carotid Intima-Media Thickening in Insulin-Treated Patients With Type 2 Diabetes: The Sitagliptin Preventive Study of Intima-Media Thickness Evaluation (SPIKE): A Randomized Controlled Trial. Diabetes Care 2016;39:455-464 | Diabetes Care, 2016; 39(7): e104-5 |
| 984 | Mita T., Katakami N., Shiraiwa T., Yoshii H., Onuma T., Kuribayashi N., Osonoi T., Kaneto H., Kosugi K., Umayahara Y., Yamamoto T., Matsumoto K., Yokoyama H., Tsugawa M., Goshō M., Shimomura I., Watada H., Collaborators on the Sitagliptin Preventive Study of Intima-Media Thickness Evaluation T | 糖尿病治療標の探索 医学講座 | Sitagliptin Attenuates the Progression of Carotid Intima-Media Thickening in Insulin-Treated Patients With Type 2 Diabetes: The Sitagliptin Preventive Study of Intima-Media Thickness Evaluation (SPIKE): A Randomized Controlled Trial | Diabetes Care, 2016; 39(3): 455-64 |
| 985 | Mita T., Katakami N., Yoshii H., Onuma T., Kaneto H., Osonoi T., Shiraiwa T., Kosugi K., Umayahara Y., Yamamoto T., Yokoyama H., Kuribayashi N., Jinnouchi H., Goshō M., Shimomura I., Watada H., Collaborators on the Study of Preventive Effects of Alogliptin on | 糖尿病治療標の探索 医学講座 | Alogliptin, a Dipeptidyl Peptidase 4 Inhibitor, Prevents the Progression of Carotid Atherosclerosis in Patients With Type 2 Diabetes: The Study of Preventive Effects of Alogliptin on Diabetic Atherosclerosis (SPEAD-A). | Diabetes Care, 2016; 39(1): 139-48 |
| 986 | Osonoi Y., Mita T., Osonoi T., Saito M., Tamasawa A., Nakayama S., Someya Y., Ishida H., Kanazawa A., Goshō M., Fujitani Y., Watada H. | 糖尿病治療標の探索 医学講座 | Relationship between dietary patterns and risk factors for cardiovascular disease in patients with type 2 diabetes mellitus: a cross-sectional study. | Nutr J, 2016; 15:15 |

| | | | | |
|-----|--|-------------------|---|---|
| 987 | Sato J., Kanazawa A., Ikeda F., Shigihara N., Kawaguchi M., Komiya K., Uchida T., Ogihara T., Mita T., Shimizu T., Fujitani Y., Watada H. | 糖尿病治療標の探索 医学講座 | Effect of treatment guidance using a retrospective continuous glucose monitoring system on glycaemic control in outpatients with type 2 diabetes mellitus: A randomized controlled trial. | J Int Med Res, 2016; 44(1): 109-121 |
| 988 | Takehi S., Tamura Y., Takeno K., Sakurai Y., Kawaguchi M., Watanabe T., Funayama T., Sato F., Ikeda S., Kanazawa A., Fujitani Y., Kawamori R., Watada H. | 糖尿病治療標の探索 医学講座 | Increased intramyocellular lipid/impaired insulin sensitivity is associated with altered lipid metabolic genes in muscle of high responders to a high-fat diet. | Am J Physiol Endocrinol Metab, 2016; 310(1): E32-40 |
| 989 | Takeho K., Tamura Y., Kawaguchi M., Takehi S., Watanabe T., Funayama T., Furukawa Y., Kaga H., Yamamoto R., Kim M., Nishitani-Yokoyama M., Shimada K., Daida H., Aoki S., Taka H., Fujimura T., Sawada S., Giacca A., Kanazawa A., Fujitani Y., Kawamori R., Watada H. | 糖尿病治療標の探索 医学講座 | Relation between insulin sensitivity and metabolic abnormalities in Japanese men with BMI of 23-25 kg/m ² . | J Clin Endocrinol Metab, 2016; 101(10): 3676-3684 |
| 990 | Azuma M, Suzuki S, Sawa M, Yoshizawa T, Hu A, Yamaguchi T, Kobayashi H | 漢方医学先端臨床センター | Search of biomarker in the oral rehabilitation | Health, 2016; 8: 83-92 |
| 991 | Oguro S, Imamura H, Yoshimoto J, Ishizaki Y, Kawasaki S. | 肝・胆・膵外科学 | Liver metastases from gastric cancer represent systemic disease in comparison with those from colorectal cancer. | J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2016 Jun;23(6):324-32. |
| 992 | Ichida, Hirofumi; Imamura, Hiroshi; Yoshimoto, Jiro; Sugo, Hiroyuki; Ishizaki, Yoichi; Kawasaki, Seiji | 肝・胆・膵外科学 | Randomized Controlled Trial for Evaluation of the Routine Use of Nasogastric Tube Decompression After Elective Liver Surgery | J Gastrointest Surg (2016) 20:1324-1330 |
| 993 | Hirofumi Ichida, Takeaki Ishizawa, Akio Saiura | 肝・胆・膵外科学 | Use of intercostal trocars for laparoscopic resection of subphrenic hepatic tumors. | Surg Endosc. 2017 Mar;31(3): 1280-1286. doi: 10.1007/s00464-016-5107-3. Epub 2016 Jul 21. |

| | | | | |
|-----|---|----------|---|--|
| 994 | Umeshita, Koji; Inomata, Yukihiro; Furukawa, Hiroyuki; Kasahara, Mureo; Kawasaki, Seiji; Kobayashi, Eiji; Kokudo, Norihiro; Sakisaka, Shotaro; Shimada, Mitsuo; Tanaka, Eiji; Uemoto, Shinji | 肝・胆・膵外科学 | Liver transplantation in Japan: Registry by the Japanese Liver Transplantation Society | HEPATOLOGY RESEARCH 巻: 46 号: 12 ページ: 1171-1186 発行: NOV 2016 |
| 995 | Mamat, Osman; Fukumura, Yuki; Saito, Tsuyoshi; Takahashi, Michiko; Mitomi, Hiroyuki; Sai, Jin Kan; Kawasaki, Seiji; Yao, Takashi | 肝・胆・膵外科学 | Fundic gland differentiation of oncocytic/pancreatobiliary subtypes of pancreatic intraductal papillary mucinous neoplasm | HISTOPATHOLOGY 巻: 69 号: 4 ページ: 570-581 発行: OCT 2016 |
| 996 | Hasegawa, Kiyoshi; Saiura, Akio; Takayama, Tadatashi; Miyagawa, Shinichi; Yamamoto, Junji; Ijichi, Masayoshi; Teruya, Masanori; Yoshimi, Fuyo; Kawasaki, Seiji; Koyama, Hiroto; Oba, Masaru; Takahashi, Michiro; Mizunuma, Nobuyuki; Matsuyama, Yutaka; Watanabe, Toshiaki; Makuuchi, Masatoshi; Kokudo, Norihiro | 肝・胆・膵外科学 | Adjuvant Oral Uracil-Tegafur with Leucovorin for Colorectal Cancer Liver Metastases: A Randomized Controlled Trial | PLOS ONE 巻: 11 号: 9 記事番号: e0162400 発行: SEP 2 2016 |
| 997 | Kanazawa, Ryo; Sai, Jinkan; Fukumura, Yuki; Miura, Hiroko; Watanabe, Sumio; Shiina, Shuichiro; Kawasaki, Seiji; Kato, Shunsuke | 肝・胆・膵外科学 | A Case of Pancreatoblastoma in Which EUS-FNA Aided the Diagnosis | PANCREAS 巻: 45 号: 6 ページ: 926-926 発行: JUL 2016 |

- 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

| 番号 | 発表者氏名 | 発表者の所属 | 題名 | 雑誌名 |
|----|----------------------------|-------------|--|----------------------------|
| 1 | 田村直人 | 膠原病・リウマチ内科学 | 免疫疾患Update 脊椎関節炎 強直性脊椎炎の診断と治療. | クリニシアン 63:216-222, 2016 |
| 2 | 今高之, 松下雅和, 山路健, 田村直人, 高崎芳成 | 膠原病・リウマチ内科学 | 全身性強皮症の病態・診断および治療に関する最近の知見 全身性強皮症における消化管病変. | リウマチ科 55:280-285, 2016 |
| 3 | 多田久里守, 田村直人 | 膠原病・リウマチ内科学 | (第6章) 膠原病・リウマチ・アレルギー 脊椎関節炎. 線維筋痛症と誤診された強直性脊椎炎, 臨床雑誌 内科 症例から学ぶ 内科疾患の診断・治療ピットフォール. | 南江堂, 東京, 923-925, 2016 |

| | | | | |
|----|--|-------------|--|---|
| 4 | 田村直人,多田久里守 | 膠原病・リウマチ内科学 | (第6章)膠原病・リウマチ・アレルギー 脊椎関節炎. 関節症状が前景にみられた乾癬性関節炎. 臨床雑誌 内科 症例から学ぶ 内科疾患の診断・治療ピットフォール. | 南江堂, 東京, 926-927, 2016 |
| 5 | 田村直人 | 膠原病・リウマチ内科学 | 高齢関節リウマチ患者に対する減薬法は? 寛解中の対応はどうか(Q&A). | 日本医事新報 4806:68-69, 2016 |
| 6 | 草生真規雄,田村直人,山路 健 | 膠原病・リウマチ内科学 | 膠原病に対するアフェレシス:update. | 腎と透析 81:420-424, 2016 |
| 7 | 田村直人,林 絵利,多田久里守 | 膠原病・リウマチ内科学 | Axial SpAの骨病変の進行とその病態. 体軸性脊椎関節炎(axial SpA)に関する新たな知見 | リウマチ科 56:342-348, 2016 |
| 8 | 多田久里守,田村直人 | 膠原病・リウマチ内科学 | 強直性脊椎炎のマネージメント 新たな指定難病として. | 体軸性脊椎関節炎(axial SpA)に対する新たな知見 56:375-379, 2016 |
| 9 | 山路 健 | 膠原病・リウマチ内科学 | アフェレシス療法UPDATE 内科領域における基礎から最近の進歩まで. | 日本皮膚科学会雑誌 126:1292, 2016 |
| 10 | 高崎芳成 | 膠原病・リウマチ内科学 | 関節リウマチの検査・診断. | 医学と薬学 74: 11-18, 2016 |
| 11 | 高崎芳成 | 膠原病・リウマチ内科学 | 全身性エリテマトーデス. | Clinical Study 37: 41-48, 2016 |
| 12 | 松下雅和, 松平蘭, 山路健, 田村直人, 高崎芳成 | 膠原病・リウマチ内科学 | RAの治療と自己抗体. | 炎症と免疫 24: 51-55, 2016 |
| 13 | 高崎芳成 | 膠原病・リウマチ内科学 | SLEに伴う血管炎. | Clinical Neuroscience 34: 572-574, 2016 |
| 14 | 小林 茂人, 木田 一成 | 膠原病・リウマチ内科学 | 疾患からみた細胞表面機能分子(第10回) 強直性脊椎炎におけるIL-23受容体 付着部に存在する細胞は何か? | 分子リウマチ治療 2016 9016巻4号 195-200 |
| 15 | 小林 茂人, 木田 一成 | 膠原病・リウマチ内科学 | 【体軸性脊椎関節炎(axial SpA)に関する新たな知見】 Axial SpAの早期診断 non-radiographic axial SpA(nr-axSpA)とリウマチ科 (0915-227X)56巻4号 Page349- | リウマチ科 2016 56巻4号 Page349-357 |
| 16 | 小林 茂人, 木田 一成 | 膠原病・リウマチ内科学 | 【脊椎関節炎の病態と治療】 強直性脊椎炎に対する生物学的製剤治療 わが国の治療成績を中心に | 炎症と免疫 2016 24巻5号 Page413-416 |
| 17 | 白田 尚弘, 原田 保明, 岸部 幹, 立山 香織, 森田 由香, 坂口 博史, 長谷川 賢作, 國本 泰臣, 松井 隆道, 岡田 昌浩, 渡邊 毅, 稲垣 彰, 村上 信五, 高橋 晴雄, 東野 哲也, 小林 茂人, 飯野 ゆき子, ANCA関連血管炎性中耳炎全国調査ワーキンググループ | 膠原病・リウマチ内科学 | ANCA関連血管炎性中耳炎全国調査ワーキンググループ 報告 ANCA関連血管炎性中耳炎(Otitis media with ANCA-associated vasculitis:OMAAV)診断基準2015とその解説 | Otology Japan (0917-2025)26巻1号 Page37-39(2016.02) |
| 18 | 白石映里子, 飯田秀雄, 本間由希子, 石井智子, 桑江義介, 吉池高志 | 皮膚科学・アレルギー学 | テルピナフィン塩酸塩による急性汎発性発疹性膿疱症の1例 | 皮膚臨床, 2016; 58(2): 247-251 |
| 19 | 伊勢友加里, 須賀康, 根本治, 高森建二, 人見清隆, 山西清文 | 皮膚科学・アレルギー学 | TGM1 遺伝子変異が同定されたARCI(葉状魚鱗癬)の兄弟例 | 第30回角化症研究会記録集, 2016:32-36 |
| 20 | 内海大介, 上里博, 高橋建造, 須賀康, 天野博雄 | 皮膚科学・アレルギー学 | ネザートン症候群の診断に有用な偏光顕微鏡とダーモスコープでの観察結果 | 第30回角化症研究会記録集, 2016:53-57 |
| 21 | Kwesi Teye, 沼田早苗, Rafal P. Krol, 須賀康, 橋本隆 | 皮膚科学・アレルギー学 | CDSN 遺伝子の欠失は, 日本人のpeeling skin disease で頻度が高い: 3例の新規患者における同定 | 第30回角化症研究会記録集, 2016:60-64 |
| 22 | 野口篤, 木村有太子, 高森建二, 須賀康, 池田志孝 | 皮膚科学・アレルギー学 | 顆粒球吸着療法(GMA)による治療を試みた関節症性乾癬の1例 | 第30回角化症研究会記録集, 2016:112-116 |
| 23 | 玉島恵美, 竹内かおり, 木村有太子, 須賀康 | 皮膚科学・アレルギー学 | 炭酸ガスレーザー治療が奏効した外陰部の炎症性線状疣状表皮母斑の女児例 | 臨床皮膚科, 2016; 70(2): 157-160 |

| | | | | |
|----|---|-------------|---|--|
| 24 | 明石顕、植木理恵、扇谷咲子、平井周 | 皮膚科学・アレルギー学 | 肛門周囲にPaget現象を呈し直腸癌が見つかった1例 | 臨床皮膚科、2016;70(1):73-76 |
| 25 | 明石顕、植木理恵、山下史記 | 皮膚科学・アレルギー学 | 下腿浮腫と結節性紅斑を初発としたサルコイドーシスの1例 | 皮膚臨床、2016;58(4):632-633 |
| 26 | 三宅早苗、大磯直毅、川田暁、比留間政太郎 | 皮膚科学・アレルギー学 | <i>Microsporum canis</i> による小児の体部白癬の1例 | 小児皮膚科学会雑誌、2016;35(1):47-49 |
| 27 | 永田絢子、比留間翠、神谷由紀、深井達夫、比留間政太郎、大野香奈、池 | 皮膚科学・アレルギー学 | パキスタン人女児とその同居親族に生じた <i>Trichophyton violaceum</i> による頭部白癬 | 皮膚科の臨床、2016;58(5):670-674 |
| 28 | 白石映智子、長谷川敏男、平澤祐輔、池田志幸 | 皮膚科学・アレルギー学 | 炭酸ガスレーザーにて繰り返し治療した劣性栄養障害型表皮水疱症における指趾癒合 —3例の治療経験— | 皮膚科の臨床、2016;58(5):689-692 |
| 29 | 池田志幸、秋山真志、黒沢美智子 | 皮膚科学・アレルギー学 | 先天性魚鱗癬の重症度とQOL調査:表皮融解生魚鱗癬に対する中間解析 | 厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業) 稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究 平成27年度 総括・分担研究報告書 p43-52 |
| 30 | 池田志幸、秋山真志、黒沢美智子 | 皮膚科学・アレルギー学 | 先天性魚鱗癬の皮膚重症度と患者QOLの評価を含めた全国疫学調査 | 厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業) 稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究 平成27年度 総括・分担研究報告書 p53-55 |
| 31 | 黒沢美智子、池田志幸、照井正、青山裕美、岩月啓氏 | 皮膚科学・アレルギー学 | 臨床調査個人票データベースを用いた膿疱性乾癬診療ガイドライン複数項目の実態把握と合併症発症リスク分析計画 | 厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業) 稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究 平成27年度 総括・分担研究報告書 p79-86 |
| 32 | 石井智子、阿部澄乃、志村英恵、水野泰子、新妻隆広 | 皮膚科学・アレルギー学 | プロプラノロール内服療法が奏功した乳児血管腫の1例 | 日本小児皮膚科学会雑誌、2016;35(2):101-105 |
| 33 | 永田絢子、平澤祐輔、長谷川敏男、飯田秀雄、本間由希子、笹野博子、工藤裕佳子、白石映里子、塚本裕子、池田志幸 | 皮膚科学・アレルギー学 | チオ硫酸ナトリウム外用により改善した皮膚石灰沈症による下腿潰瘍 | 皮膚病診療、2016;38(7):683-686 |
| 34 | 伊勢友加里、根木治、高森建二、須賀康 | 皮膚科学・アレルギー学 | <i>TGM1</i> 遺伝子に複合ヘテロ接合体変異を同定した葉状魚鱗癬の兄弟例 | 皮膚病診療、2016;38(8):781-784 |
| 35 | 神谷由紀、貞政裕子、永田絢子、比留間政太郎、吉田隆洋 | 皮膚科学・アレルギー学 | ナローバンドUVB療法が奏功した後天性反応性穿孔性膠原線維症 | 皮膚病診療、2016;38(9):907-910 |
| 36 | 西岡いずみ、平澤祐輔、吉原渚、扇谷咲子、池田志幸、古賀浩嗣、橋本隆 | 皮膚科学・アレルギー学 | 線状IgA/IgG水疱症 | 皮膚病診療、2016;38(10):1023-1026 |
| 37 | 栗原麻菜、木村有太子、今泰子、木下綾子、高森建二、比留間政太郎比留 | 皮膚科学・アレルギー学 | 乳児に生じた <i>Microsporum canis</i> によるケルスス禿瘡 | 西日本皮膚科、2016、78(4):339-340 |
| 38 | 稲毛明子、吉池高志 | 皮膚科学・アレルギー学 | 梅毒血清反応陰性かつ性交渉の否定により当初診断が困難であった硬性下疳の1例 | 皮膚臨床、2016、58(11):1763-1765 |
| 39 | 中原とも子、小川 尊資、平澤 祐輔、古賀 浩嗣、石井 文人、橋本 隆、池田 志幸 | 皮膚科学・アレルギー学 | 抗ラミニンγ1抗体を含む種々の自己抗体が検出された自己免疫性表皮下水疱症の1例 | 臨床皮膚科、2016,70(13):1039-1044 |

| | | | | |
|----|--|-------------|---|--|
| 40 | 清水 智子, 深井 達夫, 塚本 裕子, 越智 啓乃, 荒川 敦, 日野 眞子, 池田 志孝 | 皮膚科学・アレルギー学 | 左腋窩に生じたアポクリン腺癌の1例 | Skin Cancer 2016, 30(3): 189-192 |
| 41 | 稲毛 明子, 竹内 かおり, 根木 治, 木村 有太子, 鈴木 民夫, 須賀 康 | 皮膚科学・アレルギー学 | 光治療(Intense Pulsed Light)により顔面皮疹の改善がみられた遺伝性対側性色素異常症の3症例 | Aesthetic Dermatology 2016, 26(3): 332-339 |
| 42 | 横山 華英, 根木 治, 竹内 かおり, 木村 有太子, 清水 梓, 小室 裕造, 高森 建 | 皮膚科学・アレルギー学 | 美容医療用注入物による顔面異物肉芽腫とヒトアジュバント病の合併例 | Aesthetic Dermatology :2016;26(1): 65-70 |
| 43 | 永田 絢子, 根木 治, 秋山 俊洋, 吉池 高志 | 皮膚科学・アレルギー学 | 免疫不全患者に生じた多発性の真皮内伝染性軟属腫 | 皮膚科の臨床 2016, 58(11): 1639-1642 |
| 44 | 伊勢 友加里, 秋山 俊洋, 吉池 高志, 徳留 康子 | 皮膚科学・アレルギー学 | Hyperkeratosis of Nipple and Areolaの1例 | 皮膚科の臨床 2016, 58(5) : 715-718 |
| 45 | 高路 修, 山口 俊和, 厚敷 啓司, 植木 理恵, 大久保 ゆかり, 西本 勝太郎, 橋本 秀樹, 山本 匡, 矢口 均, 浅井 俊弥, 北見 周, 道永 麻里, 医療制度検討委員会 | 皮膚科学・アレルギー学 | 平成26年度医療制度検討委員会会長諮問答申「皮膚科診療所における医薬分業の状況と対応」 | 日本臨床皮膚科医学会雑誌 2016, 33(5): 691-704 |
| 46 | 明石 顕, 植木 理恵, 山下 史記, 梁 広石 | 皮膚科学・アレルギー学 | 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の1例 | 臨床皮膚科 2016,70(6) :379-382 |
| 47 | 明石 顕, 植木 理恵, 石川 大 | 皮膚科学・アレルギー学 | 潰瘍性大腸炎患者に生じた急性汎発性発疹性膿疱症の1例 | 皮膚科の臨床 2016, 58(3) : 367-370 |
| 48 | 大嶋 弘子 | 総合診療科学 | 骨盤痛、月経異常 | 日本病院総合診療医学会誌 2016:10 (1)47-49 |
| 49 | 助也 寸志, 伊古田 明美, 伊藤 浩一, 松本 久, 沖本 久志, 清水 信明, 辻村 文宏, 福田 洋, 舟越 光彦, 宮城 調司, 三浦 次郎, 富永 さやか, 大澤 亮, 全日本民医連暮らし・仕事と糖尿病調査班 (MIN-IREN T2DMU40 Study Group) | 総合診療科学 | 40歳以下2型糖尿病の多施設調査—登録時臨床像とライフスタイル・社会経済的状態の全国調査との比較— | 糖尿病, 2016;59(2):95-104 |
| 50 | 高橋 美妃, 饗庭 三代治, 櫻井 貴子, 坂本 直治, 梁 広石, 津田 裕士, 塩路 直 | 総合診療科学 | 身体疾患を合併する認知症高齢者に関する臨床的検討 | 日本老年医学会雑誌, 2016; 53(1) : 45-53 |
| 51 | 臼井 千恵, 八田 耕太郎, 土井 隆 | 精神・行動科学 | パーキンソン病に対するECT | 総合病院精神医学 28(2)121-124 2016 |
| 52 | 久保嶋 哲郎, 澤村 智子, 谷口 あい, 宮田 真美子, 古田 あずさ, 田島 裕子, 江渡 江, 田中 裕, 宮川 晃一, 新井 平伊 | 精神・行動科学 | 東日本大震災は自殺企図に影響を及ぼしたか? 順天堂大学浦安病院に搬送された8年間の自殺企図者の動向 | 精神神経学雑誌 (0033-2658)2016特別号 PageS515(2016.06) |
| 53 | 野本 宏, 伊藤 小佳子, 松原 洋一郎, 一宮 洋介, 新井 平伊 | 精神・行動科学 | レビー小体型認知症に合併した過活動型せん妄に対して aripiprazole が奏効したと考えられた1例 | 精神科治療学 31(10), 1357-1361, 2016 |
| 54 | 野本 宏, 新井 平伊, | 精神・行動科学 | 認知症患者の焦燥感・不安状態に対する薬物療法 | 臨床精神薬理 19; 1301-1310, 2016 |
| 55 | 臼井 千恵 | 精神・行動科学 | 慢性疼痛と線維筋痛症に対する電気痙攣療法(ECT)の効果 | 精神科治療学 31 (12)1607-1610, 2016 |
| 56 | 金崎 浩之, 内藤 俊夫, 小林 弘幸 | 病院管理学 | 院内感染に関する医療訴訟の解析 | 日本病院総合診療医学会雑誌, 2016; 10: 16-20 |
| 57 | 梶谷 篤, 岩井 完, 内藤 俊夫, 小林 弘幸 | 病院管理学 | 内視鏡的逆行性膵胆管造影に関する裁判例の解析 | 日本病院総合診療医学会雑誌, 2016; 10: 21-28 |
| 58 | 中谷 智, 河野 博之, 村上 晶 | 眼科学 | 角膜内皮障害眼に対して施行した白内障手術症例の検討. | 日眼会誌, 2016; 120(7): 481-486 |

| | | | | |
|----|---|----------|---|--|
| 59 | 根岸貴志 | 眼科学 | 麻痺性斜視 診断と治療の進歩 麻痺性斜視の手術治療. | 眼臨紀, 2016; 9(1): 38-40 |
| 60 | 鈴木貴英 | 眼科学 | 細胞性急性リンパ性白血病治療中に発症したPosterior reversible encephalopathy syndromeの一例 | Journal of the Eye, 2016; 33(6): 909-914 |
| 61 | 坂西良仁、大内亜由美、伊藤玲、海老原伸行 | 眼科学 | 網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫に対するラニビズマブ硝子体内注射の6か月間治療成績 | 日眼会誌, 2016; 120(1): 28-34 |
| 62 | 岡野美樹子, 李亜美, 海老原伸行 | 眼科学 | 結核菌特異的INF- γ 遊離試験が診断に有用であった脈絡膜結核腫の1症例. | 眼科, 2016; 58(3): 313-318 |
| 63 | 坪田智子, 海老原伸行 | 眼科学 | 臨床報告 劇症型の猫ひっかき病の1例. | 臨眼, 2016; 70(7): 1059-106 |
| 64 | 新井玲, 海老原伸行, 富田茂樹 | 眼科学 | 眼瞼下垂により発見された結膜アミロイドーシスの2症例. | 日眼会誌, 2016; 120(11): 797-801 |
| 65 | 市川浩平、小林宏明、舟木俊成、鈴木康夫、村上晶 | 眼科学 | 潰瘍性大腸炎に対してadalimumab投与中に視神経炎を発症した1例. | 神経眼科, 2016; 33(3): 254-258 |
| 66 | 吉田司、保莉吉秀、林康子、伊澤奈々、濱田千江子、野原奈緒、長岡正範 | 神経学 | バランス練習アシスト(トヨタ)の使用経験～透析患者への利用～、 | 運動障害 26巻2号: 103-109, 2016 |
| 67 | 新井 晶, 堤佐斗志, 関口和哉, 野中宣秀, 鈴木隆元, 石井尚登, 安本幸 | 脳神経外科学講座 | Nail-gunによる経眼窩的穿通性脳外傷の1例 | Neurosurg Emerg 21: 72—76, 2016 |
| 68 | 有本裕彦, 和田孝次郎, 高原 喬, 大川英徳, 小野健一郎, 松熊 晋, 佐 | 脳神経外科学講座 | 超音波凝固装置(Harmonic Scalpel)を用いた浅側頭動脈剥離操作による安全性の組織学的検討 | Neurosonology 29 (1): 4—7, 2016 |
| 69 | 石井尚登, 丹下祐一, 後藤広昌, 新井 一 | 脳神経外科学講座 | 先端巨大症に対する薬物療法の減量・中止の判断基準についての検討 | 日本内分泌学会雑誌 92 (Suppl): 69—71, 2016 |
| 70 | 伊藤昌徳 | 脳神経外科学講座 | JASEE Now and Future 日本医学英語試験2級の実施状況「スピーキング能力」と「やりとり能力」の向上に向けて. | J Med Eng Educ 15: 93—97, 2016 |
| 71 | 井中康史, 大谷直樹, 西田 翔, 藤井和也, 上野英明, 戸村 哲, 富山新太, 豊岡輝繁, 和田孝次郎, 森健太郎 | 脳神経外科学講座 | 血腫型重症くも膜下出血に対する外減圧術を併用した当院における治療成績 | Neurosurg Emerg 21: 8—13, 2016 |
| 72 | 小野健一郎, 有本裕彦, 大川英徳, 森永裕介, 城谷寿樹 | 脳神経外科学講座 | Branch atheromatous diseaseに対する経静脈的血栓溶解療法の効果 | 神経内科, 85: 662—665, 2016 |
| 73 | 小野健一郎, 有本裕彦, 大川英徳, 高原 喬, 田之上俊介, 清水 昭 | 脳神経外科学講座 | 軽症虚血性脳卒中に対する経静脈的血栓溶解療法の適応 | 脳卒中, 38: 400—406, 2016 |
| 74 | 斎藤力三, 川村海渡, 鈴木一幹, 角田 朗, 丸木親 | 脳神経外科学講座 | 新規経口抗凝固薬(NOAC)内服下に当院入院となった脳梗塞患者の検討 | 埼玉県医学会雑誌 51: 187—192, 2016 |
| 75 | 戸村 哲 | 脳神経外科学講座 | 低髄液圧症候群に合併した慢性硬膜下血腫の治療方針 | 脳神経外科速報 2016年3月号, メディカ出版, 250—255, |
| 76 | 藤井隆司, 大谷直樹, 大塚陽平, 松本 崇, 田之上俊介, 上野英明, 戸村哲, 富山新太, 豊岡輝繁, 和田孝次郎, 森健太郎 | 脳神経外科学講座 | 視機能障害で発症した結核腫の1手術例 | 脳神経外科 44 (8): 679—684, 2016 |
| 77 | 藤井隆司, 東山正明, 松永 毅, 永吉広和, 木矢克造 | 脳神経外科学講座 | 自衛隊呉病院における脳動脈瘤保有率 | 防衛衛生 63 (5・6): 123—129, 2016 |
| 78 | 藤井隆司, 東山正明 | 脳神経外科学講座 | 自衛隊呉病院における脳動脈瘤と危険因子のアンケート調査 | 防衛衛生 63 (9・10): 217—223, 2016 |
| 79 | 山本拓史, 中尾保秋, 渡邊瑞也, 木村孝興, 菅康郎, 杉山夏来 | 脳神経外科学講座 | Borden type III硬膜動静脈瘻に対する外科的治療 | 脳卒中の外科 44: 367—374, 2016 |

| | | | | |
|----|---|----------|--|--|
| 80 | 吉田賢作 | 脳神経外科学講座 | 島しょ地域における血栓溶解療法例の検討 | 島しょ医療研究会会誌 8:3—7, 2016 |
| 81 | 渡邊瑞也, 北村高之, 藤田修英, 鈴木皓晴, 杉山夏来, 清水勇三郎, 徳川城治, 中尾保秋, 山本拓史 | 脳神経外科学講座 | 狩猟用散弾銃による穿通性頭部外傷の一例 | 神経外傷 39: 37—40, 2016 |
| 82 | 永原章仁, 嶋田裕慈, 浅岡大介, 佐々木仁, 北條麻理子, 渡辺純夫. | 消化器内科学 | Helicobacter pylori除菌法の保険適用における留意点. | Helicobacter Research, 2016; 20, 1: 30—34 |
| 83 | 田中 一平, 大久保 裕直, 中寺 英介, 深田 浩大, 井草 祐樹, 宮崎 招久, 國分茂博 | 消化器内科学 | 目視下穿刺硬化療法が奏功した肛門静脈瘤の1例. | 日本門脈圧亢進症学会雑誌 (1344—8447) 22巻4号 Page280—284(2016.11) |
| 84 | 宮脇太一、柳下薫寛 | 呼吸器内科学 | EGFR-TKIおよびALK阻害剤耐性後の治療薬開発の現状 | 呼吸器内科, 科学評論社, 2016 (3); 235—241 |
| 85 | 西野宏一、熊坂利夫、瀬山邦明 | 呼吸器内科学 | リンパ脈管筋腫症 | 結節性硬化症の診断と治療最前線, 樋野興夫 編, |
| 86 | 朝尾哲彦 | 呼吸器内科学 | VI. 薬物療法の副作用対策 A 骨髄抑制, B 悪心・嘔吐. | 肺癌診療ハンドブック, 大江裕一郎・渡辺俊一・伊藤芳紀・出雲雄大 編, 医学書院, 東京, 2016 (ISBN978-4-260-02506-5) |
| 87 | 朝尾哲彦 | 呼吸器内科学 | 肺がん・悪性胸膜中皮腫 | がん診療レファレンスマニュアル, 国立がん研究センター内科レジデント 編, 医学書院, 東京, 2016 (ISBN978-4-260-02779-3) |
| 88 | 南條友央太 | 呼吸器内科学 | 6 ウイルス Q111. インフルエンザウイルス, Q112. 麻疹ウイルス, Q113. ムンプスウイルス, Q114. 風疹ウイルス | 新微生物学 (Qシリーズ) 第1版. 館田一博 編著者, (株)日本医事新報社, 2016; 114—117 |
| 89 | 鈴木一廣, 関谷充晃, 藤井充弘, 桑鶴良平, 高橋和久. | 呼吸器内科学 | 結核(2)肺外結核. | 酒井文和 編集, 克誠堂出版(株), 2016.71—77 |
| 90 | 高橋 和久 | 呼吸器内科学 | 肺癌診療ガイドライン2016年版作成委員(高橋和久). | EBMの手法による肺癌診療ガイドライン2016年版—悪性胸膜中皮腫・胸腺腫瘍含む—. 日本肺癌学会 編, 金原出版(株), 2016. |
| 91 | 齊藤大祐, 杉本大介, 河野結衣, 佐藤文彦 | 呼吸器内科学 | インスリン強化療法中の2型糖尿病患者における夜間低血糖を起しにくい血糖降下薬追加投与によるインスリン注射回数減少の有用性の検討 | Diabetes Frontier, 2016; 27(3) |
| 92 | 齊藤大祐, 杉本大介, 河野結衣, 佐藤文彦 | 代謝内分泌内科学 | インスリン強化療法中の2型糖尿病患者における夜間低血糖を起しにくい血糖降下薬追加投与によるインスリン注射回数減少の有用性の検討 | Diabetes Frontier, 2016; 27(3) |
| 93 | 村越真紀, 苑田祐二, 丸山俊太郎, 鈴木仁, 鈴木祐介, 堀越哲, 合田朋仁 | 腎臓内科学 | 高血圧患者におけるテルミサルタンが炎症・腎機能マーカーに与える影響 | 血圧, 2016; 23: 56—60 |
| 94 | 吉田司, 保莉吉秀, 林康子, 伊澤奈々, 濱田千江子, 野原奈緒, 長岡正範. | 腎臓内科学 | バランス練習アシスト(トヨタ)の使用経験 透析患者への利用 | 運動障害, 2016; 26(2): 103—109 |
| 95 | 田島 恭子, 竹田 純, 島貫洋太, 佐野 靖子, 平井 千裕, 牧野 真太郎, 板倉 敦夫, 竹田 省 | 産婦人科学 | 妊娠中期に摘出術を行ったプロゲステロンレセプター陽性髄膜腫の1例 | 東京産科婦人科学会誌 2016; 65: 747—51 |

| | | | | |
|-----|--|-------|--|-------------------------------------|
| 96 | 池本 裕子, 黒田 恵司, 竹田 省 | 産婦人科学 | 大学関連病院を含む専攻医指導施設における不妊治療の実態調査Field Survey of Infertility Treatment of the General and University-affiliated Hospitals in Kanto | 関東連合産科婦人科学会誌. 2016; 53: 443-7. |
| 97 | 李 香蘭, 尾崎 理恵, 熊切 順, 北出 真理, 黒田 恵司, 地主 誠, 氏平 由紀, 池本 裕子, 高橋 雅也, 齋藤 実穂, 竹田 省 | 産婦人科学 | 術前診断が術後病理診断と乖離した卵巣腫瘍合併妊娠の1例 | 東京産科婦人科学会会誌. 2016;65: 515-9 |
| 98 | 熊谷 麻子, 竹田 純, 平井 千裕, 島貫 洋太, 牧野 真太郎, 板倉 敦夫, 竹田 省 | 産婦人科学 | 鑑別が困難であった先天性サイトメガロウイルス感染症の1例 | 東京産科婦人科学会会誌 2016;65: 399-403 |
| 99 | 菊地 盤 | 産婦人科学 | 婦人科腹腔鏡手術の適応と限界を考える】腹腔鏡下子宮筋腫核出術(LM) 術式は手術機器とともにある(解説/特集) | 産婦人科の実際 2016;2: 169-173 |
| 100 | 菊地 盤 | 産婦人科学 | 【内視鏡外科手術の現状と問題点】産婦人科内視鏡外科手術(解説/特集) | Pharma Medica 2016;34:33-37 |
| 101 | 菊地 盤, 香川 則子, 野島 美知夫, 吉田 幸洋 | 産婦人科学 | 【生殖医療UP-TO-DATE】未受精卵子凍結(解説/特集) | HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY |
| 102 | 菊地 盤 | 産婦人科学 | 【子宮筋腫の最前線】子宮筋腫合併不妊の取り扱い(解説/特集) | 産科と婦人科 2016;83:1289-1293 |
| 103 | 平沼 賢悟, 杉森 弥生, 安東 瞳, 酒寄 詩織, 北川 友香梨, 山口 舞子, 三輪 綾子, 村瀬 佳子, 楠木 総司, 松岡 正造, 荻島 大貴 | 産婦人科学 | 充実性部分を伴わない卵巣癌の3例. | 東京産科婦人科学会会誌 2016;65: 724-730 |
| 104 | 安東 瞳, 松岡 正造, 酒寄 詩織, 北川 友香梨, 三輪 綾子, 山口 舞子, 松田 祐子, 村瀬 佳子, 楠木 総司, 杉森 弥生, 荻島 大貴 | 産婦人科学 | 妊娠中に喘息発作をきたし一時的に胎児発育不全を認めた1例 | 東京産科婦人科学会会誌 2016;65: 95-601 |
| 105 | 酒寄 詩織, 杉森 弥生, 安東 瞳, 北川 友香梨, 山口 舞子, 三輪 綾子, 松田 祐子, 村瀬 佳子, 楠木 総司, 松岡 正造, 荻島 大貴 | 産婦人科学 | 胃癌合併子宮頸癌に対し施行したCDDP/TS-1併用療法が子宮頸部病変を縮小させた1例 | 東京産科婦人科学会会誌 2016;65: 444-448 |
| 106 | 小林 徹, 松岡 正造, 武内 詩織, 長澤 さや, 市山 卓彦, 山口 舞子, 松田 祐子, 村瀬 佳子, 杉森 弥生, 荻島 大貴 | 産婦人科学 | 自然周期で子宮付属器茎捻転を発症した子宮筋腫合併多嚢胞性卵巣症候群の1例 | 東京産科婦人科学会会誌 2016;65: 212-216 |
| 107 | 松本 俊治, 小倉 加奈子, 坂口 亜寿美, 荻島 大貴 | 産婦人科学 | 内膜ポリープの表面に発生したendometrioid carcinomaとserous endometrial intraepithelial carcinoma(SEIC)の混在癌の一例 | 日本婦人科病理学会誌 2016;7: 9-11 |
| 108 | 松岡 正造, 牧原 夏子, 生橋 義之, 蛭名 康彦, 白川 得朗, 山崎 友維, 鈴木 知志, 角 泰雄, 掛地 吉弘, 山田 秀人 | 産婦人科学 | 婦人科・外科共同アニマルラボレーニングの試み | 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌.2016; 31(2): 464-469 |
| 109 | 日本女性医学学会編 | 産婦人科学 | 性感染症 | 女性医学ガイドブック 思春期・性成熟期編 2016年度版 |
| 110 | 岩尾 憲明, 梶原 道, 室井 一男 | 血液内科学 | 1 単位赤血球液に係わる考察 アンケート調査を踏まえて | 日本輸血細胞治療学会誌, 2016;62(6):745 |
| 111 | 竹下 明裕, 古牧 宏啓, 浅井 隆善, 梶原 道子, 岩尾 憲明, 室井 一男 | 血液内科学 | 高校生の献血意識に関する調査 | 日本輸血細胞治療学会誌, 2016;62(6):711 |
| 112 | 児玉 建, 熊川 みどり, 岩尾 憲明, 今村 潤, 佐川 公矯 | 血液内科学 | 輸血医学を自己学習するためのe-learningシステムの構築 | 日本輸血細胞治療学会誌, 2016;62(4):572 |
| 113 | 藤井 康彦, 田中 朝志, 小高 千加子, 加藤 栄史, 米村 雄士, 藤島 直仁, 佐々木 さき子, 奈良崎 正俊, 大澤 俊也, 田崎 哲典, 吉場 中朗, 岩尾 憲明 他 | 血液内科学 | 診療科別輸血製剤副作用発生率の調査 | 日本輸血細胞治療学会誌, 2016;62(3):451 |

| | | | | |
|-----|---|-----------------|---|-----------------------------------|
| 114 | 栗根登, 八幡悠里子, 佐々木純, 比企誠, 筒井深雪, 浜埜康晴, 伊藤誠悟, 宮崎哲朗, 土肥智貴, 圓山雅己, 後藤明彦, 小松則夫 | 血液内科学 | 重篤な心機能障害を伴う未治療ALアミロイドーシスに対するbortezomibの有用性 | 臨床血液, 2016;57(8):987-93 |
| 115 | 小松則夫, 瀧香織, 小瀬良克也, 千葉薫子 | 血液内科学 | 血液フロンティア 本態性血小板血症患者を対象とした症状に関するアンケート調査 | 医薬ジャーナル社・2016;26(7):76-84 |
| 116 | 大山昇一 | 小児思春期発達・病態学 | 新時代の小児医療のあり方 | 佐賀県小児科医学会報, 2016; 35:19-25. |
| 117 | 森下むつみ, 大山昇一, 山口里恵, 井福真友美, 馬嶋恒博, 上田琴葉, 鈴木 | 小児思春期発達・病態学 | 結核の疑いで当院を受診した小児53例の検討 | 埼玉県小児科医学会報, 2016; 20:52-5. |
| 118 | 大友義之 | 小児思春期発達・病態学 | 夜尿症患者におけるADHDの併存とその治療 | 練馬医学会誌, 2016; 22:46-50. |
| 119 | 望月貴博, 福島幸裕, 岩間正文, 上杉達也, 大友義之 | 小児思春期発達・病態学 | 夜尿アラーム療法のトイレ誘導による治療効果 使用後アンケート調査より | 夜尿症研究, 2016; 21:35-40. |
| 120 | 船山理恵, 小椋千沙, 清水香織, 国崎玲子, 藤原武男, 越智真奈美, 高橋美恵子, 松岡朋子, 清水泰岳, 新井勝大 | 小児思春期発達・病態学 | 小児クローン病患者における栄養療法および食事療法のQOLとの関連性について | 日本静脈経腸栄養学会雑誌, 2016; 31:718-24. |
| 121 | 田中恭子 | 小児思春期発達・病態学 | “愛着”の科学～ライフサイクルの視点から～ | 日本母乳哺育学会雑誌, 2016; 10:50-7. |
| 122 | 萩原真一郎, 中山佳子, 矢野智則, 角田文彦, 十河剛, 井上幹大, 龍城真衣子, 青松友槻, 工藤孝広, 渡辺憲治, 岩間達 | 小児思春期発達・病態学 | 小児小腸バルーン内視鏡の現況 | 日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌, 2016; 30:1-7. |
| 123 | 東海林宏道, 清水俊明 | 小児思春期発達・病態学 | 早産出生とメタボリックシンドローム | 日本母乳哺育学会雑誌, 2016; 10:58-63. |
| 124 | 西崎直人, 平野大志 | 小児思春期発達・病態学 | 小児の昼間尿失禁に対するオキシブチニン塩酸塩経皮吸収型製剤の有効性の検討 | 夜尿症研究, 2016; 21:23-8. |
| 125 | 馬場洋介, 大塚宜一, 清水俊明 | 小児思春期発達・病態学 | 抗原特異的IgA抗体は小児アレルギー患児の粘膜免疫応答において重要な因子である | 日本小児アレルギー学会雑誌, 2016; 30:237-8. |
| 126 | 櫻谷浩志, 小澤香菜子, 山田哲史, 櫻井俊輔, 藤永周一郎 | 小児思春期発達・病態学 | 当院におけるエンドキシン吸着療法施行症例の年代による救命率の検討 | 日本小児腎不全学会雑誌, 2016; 36:140-3. |
| 127 | 坂口慶太 | 小児思春期発達・病態学 | 母乳と児の免疫について | 日本母乳哺育学会雑誌, 2016; 10:64-70. |
| 128 | 原太一, 藤永周一郎, 山田哲史, 漆原康子, 大友義之, 清水俊明 | 小児思春期発達・病態学 | 小児期発症特発性ネフローゼ症候群の成人移行症例の検討 | 日本小児腎臓病学会雑誌, 2016; 29:22-6. |
| 129 | 漆原康子, 原太一, 山田哲史, 藤永周一郎 | 小児思春期発達・病態学 | ステロイド依存性微小変化型ネフローゼ症候群に対するシクロスポリン1日1回投与方法による初回治療の有効性と安全性 | 日本小児腎臓病学会雑誌, 2016; 29: 67-72. |
| 130 | 灘大志, 佐藤厚夫, 津久井理絵, 城裕之 | 小児思春期発達・病態学 | 川崎病における免疫グロブリン療法後のリバウンド熱に対する管理指針の提案 | 小児感染免疫, 2016; 28:139-43. |
| 131 | 榎本達也, 杉田萌, 勝田陽介, 保利直助, 洪景都, 斎藤理恵, 長谷川理恵 | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | 慢性痛患者の特性は抗うつ薬デュロキセチンの治療効果を予測できるか? | 麻酔, 2016; 65(10): 1005-1008 |
| 132 | 石川理恵, 井関雅子, 古賀理恵, 山口敬介, 稲田英一 | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | 急性期から疼痛専門医による治療を受けた帯状疱疹痛患者の神経障害性疼痛にみられる要素の検討 | PAIN RESEARCH, 2016; 3:156-165. |
| 133 | 佐藤大三 | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | 呼吸管理における最近のモニタリング | 人工呼吸, 2016; 37: 1649-56 |
| 134 | 岡田尚子, 小川 寿代, 吉場 史朗, 寺内 純一, 伊藤 明, 高橋 孝喜, 稲 | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | 産科危機的出血と母体搬送例の輸血療法について: 神奈川県アンケート調査報告第1報 | 日本輸血細胞治療学会誌, 2016; 62(3): 462-469 |

| | | | | |
|-----|--|-----------------|---|---|
| 135 | 岡田尚子, 小川 寿代, 吉場 史朗, 寺内 純一, 伊藤 明, 高橋 孝喜, 稲 | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | 産科出血における緊急度による輸血部門対応: 神奈川県アンケート調査報告第2報 | 日本輸血細胞治療学会誌, 2016; 62(3): 470-475 |
| 136 | 高橋良佳, 光畑裕正, 神山洋一郎 | 麻酔科学・ペインクリニック講座 | 冷えを伴う腰下肢痛患者における当帰四逆加呉茱萸生姜湯の有用性の検討 | 日本東洋医学雑誌, 2016; 67: 390-393 |
| 137 | 嵩原一裕, 浦尾正彦, 宮野省三, 町田理夫, 北島俊顕, 児島邦明 | 上部消化管外科学 | 成人腸回転異常症に対する術式の検討 | 日本外科系連合学会誌, 2016; 41(1):15-21 |
| 138 | 伊藤謙, 須郷広之, 秋本瑛吾, 関根悠貴, 春山優理恵, 河合雅也, 宮野省三, 渡野邊郁雄, 町田理夫, 北島俊顕, 李慶文, 児島邦明, 小倉加奈子 | 上部消化管外科学 | 虫垂真性憩室炎の2例 | 日本腹部救急医学会雑誌, 2016; 36(7):1201-1204 |
| 139 | 石橋 雄次, 末松 友樹, 斎藤 洋之, 大森 敬太, 若林和彦, 伊藤 豊 | 消化器・低侵襲外科学 | 私の工夫 肥満患者の開腹虫垂切除術における皮下の展開法の工夫 | 臨床外科 71巻2号: 246-247(2016.02) |
| 140 | 真崎 純一, 末松 友樹, 平塚 美由起, 須田 寛士, 高橋 深幸, 大森 敬太, 石橋 雄次, 若林 和彦, 伊藤 豊 | 消化器・低侵襲外科学 | 肝硬変による食道胃静脈瘤に対してHassab手術を施行した2例 | 消化器シンポジウム誌 30巻1号: 13-19(2016.02) |
| 141 | 石橋 雄次, 高橋 深幸, 末松 友樹, 大森 敬太, 若林和彦, 伊藤 豊 | 消化器・低侵襲外科学 | 腹腔鏡下に修復した心不全症状合併多臓器陥入食道裂孔ヘルニアの1例 | 日本臨床外科学会雑誌 77巻5号: 1069-1072(2016.05) |
| 142 | 齋藤 洋之, 石橋 雄次, 末松 友樹, 高橋 深幸, 若林和彦, 伊藤 豊 | 消化器・低侵襲外科学 | 腹腔鏡下手術をしたS状結腸腹膜垂による絞扼性イレウスの1例 | 日本臨床外科学会雑誌 77巻5号: 1069-1072(2016.05) |
| 143 | 吉川 征一郎, 福永 正氣, 福永 哲, 永仮 邦彦, 平崎憲範, 東 大輔 | 消化器・低侵襲外科学 | 「医原性大腸穿孔」に対する腹腔鏡手術 | 手術 70巻6号: 745-752(2016.05) |
| 144 | 山内 卓, 福永 哲, 民上 真也, 榎本 武治, 松下 恒久, 神田 聡, 大坪 毅人 | 消化器・低侵襲外科学 | 残胃癌に対する腹腔鏡下残胃全摘術施行4例の検討 | 日本内視鏡外科学会雑誌 21巻5号: 617-622(2016.09) |
| 145 | 石橋 雄次, 齋藤 洋之, 大森 敬太, 若林 和彦, 伊藤 豊, 平野 和彦 | 消化器・低侵襲外科学 | Hartmann手術後に発症した特発性大腸穿孔の1例 | 外科 78巻10号: 1119-1122(2016.10) |
| 146 | 谷 亮太郎, 阪田 章聖, 木村 秀, 沖津 宏, 石倉 久嗣, 川中 妙子, 湯浅 康弘, 後藤 正和, 浜田 陽子, 富林 敦司, 藏本 俊輔, 池内真由美, 増田 有理, 枝川 広志, 森 理, 松尾 祐太 | 消化器・低侵襲外科学 | 脾静脈の走行異常を伴う早期胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術の経験 | 赤十字病院医学雑誌 21巻1号: 93-96(2016.03) |
| 147 | 9) 松本 大資, 石倉 久嗣, 木村 秀, 松尾 祐太, 枝川 広志, 谷 亮太郎, 森 理, 増田 有理, 藏本 俊輔, 高嶋 美佳 | 消化器・低侵襲外科学 | 胸腺非定型的カルチノイドの1切除例 | 四国医学雑誌 (0037-3699)72巻1-2号: 37-42(2016.04) |
| 148 | 猪狩史江, 小坂 泰二郎, 三浦 弘善, 齊藤 光江, 荒川 敦 | 乳腺・内分泌外科学 | 急激な転帰を辿った基質産生癌成分を含む乳癌の1例(原著論文/症例報告) | 乳癌の臨床 (0911-2251)31巻1号 Page51-58(2016.03) |
| 149 | 大野 美由紀(順天堂大学医学部附属順天堂医院乳腺科), 尾形 梢, 田辺 真彦, 岡崎 みさと, 白石 昭彦, 荒川 敦, 佐久間 浩, 飯島 耕太郎, 齊藤 光江 | 乳腺・内分泌外科学 | 組織型を極める「粗大石灰化」粗大石灰化を伴うmucocele-like tumorと乳腺粘液癌の3例(原著論文/症例報告) | 乳腺甲状腺超音波医学 (2187-2880)5巻3号 Page27-30(2016.07) |
| 150 | 守尾篤, 中原和樹, 二川 俊郎, 鈴木健司 | 呼吸器外科学 | 腫瘍減量手術後化学療法とチロシンキナーゼ阻害薬投与により長期生存しているEGFR変異陽性進行肺腺癌 | 胸部外科 (0021-5252)69巻13号 Page1051- |
| 151 | 川越いづみ, 河内山幸, 林田和, 佐藤大三, 鈴木健司, 稲田 栄一 | 呼吸器外科学 | 右上葉気管支分岐異常を有する患者における右用二腔チューブの使用経験 | 麻酔 (0021-4892)65巻6号 Page594- |

| | | | | |
|-----|---|-------------|---|---|
| 152 | 鎌崎恵里子、関谷充晃、児玉裕三、鈴木健司、植草利公、高橋 和久 | 呼吸器外科学 | Finger-in-glove signを呈した孤立性気管支乳頭腫の1例 | 日本呼吸器学会誌 (2186-5876)5巻3号 Page116- |
| 153 | 阪野孝充、松永健志、今清水恒太、高持一矢、王志明、鈴木健司 | 呼吸器外科学 | 左肺全摘後の横隔膜挙上に伴う食道の通過障害を認めた一例 | 日本呼吸器外科学会雑誌 (0919-0945)30巻1号 |
| 154 | 中村弘樹、古賀寛之、宮野剛、土井崇、岡和田学、山高篤行 | 小児外科学 | 当院における13トリソミー・18トリソミー症例の外科治療と予後に関する検討—倫理的観点をふまえて— | 日小外会誌, 2016年12月; 第52巻(7) pp.1285-1289 |
| 155 | 髙原一裕、浦尾正彦、宮野省三、町田理夫、北島俊彰、児島邦明 | 小児外科学 | 成人腸回転異常状症に対する術式の検討 | 日本外科系連合会誌41(1)P15-21、2016 |
| 156 | 大島純平、藤田和利、岸本健太郎、大須賀慶悟、鈴木 修、惣田哲次、中井康友、木内 寛、高尾徹也、宮川康、辻村 晃、野々村祝夫 | 泌尿器外科学 | 前立腺癌小線源療法後に持続勃起症を来した1例 | 泌尿紀要、62: 605-607, 2016 |
| 157 | 高澤直子、藤崎章子、本郷祥子、堀江重郎、嘉村康邦 | 泌尿器外科学 | TVT手術で術後テープ縫縮が必要であった症例のcine MRIでの検討 | 日本女性骨盤底医学会誌、2016年、第13巻1号、55-59 |
| 158 | 安藤純、増田安土、飯塚和秀、落合友則、高久智生、大澤俊也、嶋田英子、渡辺嘉久、小松則夫、大坂顯通 | 輸血・幹細胞制御学 | 血小板輸血によるアナフィラキシーを契機に診断された先天性ハプトグロビン欠損症 | 臨床血液57:2507-2511, 2016. |
| 159 | 吉田司、保莉吉秀、林康子、伊澤奈々、濱田千江子、野原奈緒、長岡正範 | リハビリテーション医学 | バランス練習アシスト(トヨタ)の使用経験~透析患者への利用~ | 運動障害, 2016, 26(2): 103-109 |
| 160 | 原聡、伊藤伸、春山琢男、伊藤麻美、鈴木隆元、芳川洋、池田勝久 | 耳鼻咽喉科学講座 | 急性鼻副鼻腔炎に合併した硬膜下膿瘍例. | 耳鼻咽喉科臨床 109, 487-492,2016 |
| 161 | 安齋崇、池田勝久 | 耳鼻咽喉科学講座 | 両側同時性顔面神経麻痺をきたしたZoster Sine Herpete 症例. | Facial Nerve Research 35, 138-140,2016 |
| 162 | 青木浩平、工藤俊哉、丸山祐一郎、前澤克彦、西嶋智子、金子和夫 | 整形外科・運動器医学 | 足舟状骨体部粉碎骨折に対し一時架橋プレートにて治療した1例 | 骨折, 2016; 38(3): 752-55 |
| 163 | 浅沼雄太、楠瀬浩一、武光真志 | 整形外科・運動器医学 | 橈骨遠位端骨折に背側骨移植は必要か—修復後背側骨欠損部におけるCT像の検討— | 日本手外科学会雑誌, 2016; 32(6): 1064-66 |
| 164 | 伊坂聡子、染谷明正、野沢雅彦、井上直樹、杉原富人、長岡 功、金子和夫 | 整形外科・運動器医学 | ラット変形性膝関節症モデルに対するコラーゲンペプチド摂取の効果 | Functional Food Research, 2016; 12: 17-25 |
| 165 | 伊坂陽、梶原一、武藤治、佐藤博伸、井下田有芳 | 整形外科・運動器医学 | 環指MP関節掌側脱臼の1例 | 関東整形災害外科学会誌, 2016; 47: 179-84 |
| 166 | 伊坂陽、梶原一、佐藤博伸、井下田有芳、井上毅 | 整形外科・運動器医学 | 足関節外果骨折に対してナチュラルコンタクトプレート(NCプレート)を使用した術後成績 | 骨折, 2016; 38: 474-78 |
| 167 | 伊坂陽、梶原一、佐藤博伸、井下田有芳、一青勝雄 | 整形外科・運動器医学 | 大腿骨ステム周囲骨折に対するネスプロンテープとケーブルプレートシステム(GTR)の使用経験 | 骨折, 2016; 38: 1038-10 |
| 168 | 乾哲也、山中誠 | 整形外科・運動器医学 | 不安定型大腿骨転子部骨折に対するワイヤリングの有効性の検討 | Hip Joint, 2016; 42: 1074-77 |
| 169 | 岩瀬弘明、藤原三郎、千野孔三、小林望、尾崎友、松尾智次、鈴木雅生 | 整形外科・運動器医学 | 観血的骨接合を要した高齢者寛骨臼骨折の検討 若年者例との比較から | 骨折, 2016; 38(1): 87-89 |
| 170 | 大沢亜紀、金澤博明、吉田圭一、糸魚川善昭、丸山祐一郎、金子和夫 | 整形外科・運動器医学 | 人工膝関節置換術における関節周囲多剤の薬剤による比較 | JOSKAS, 2016; 41(2): 348-49 |
| 171 | 大林治、前田浩行、最上敦彦、小林敦郎、岩瀬秀明、金子和夫 | 整形外科・運動器医学 | TKA術前と術後1年での重心動揺計による% COP移動可能距離の検討 | 臨床バイオメカニクス, 2016; 37: 295-300 |
| 172 | 木下真由子 | 整形外科・運動器医学 | 骨粗鬆症治療の至適条件の検討 | 日本骨粗鬆症学会雑誌, 2016; 2(2): 170-71 |

| | | | | |
|-----|---|----------------------|--|--|
| 173 | 黒川大介, 守屋秀一, 永元英明, 村木孝行, 高橋博之, 田中稔 | 整形外科・運動器医学 | 成長期野球選手において遠投練習が上腕骨内側上顆の形態異常や肩痛痛に与える影響 | 日本整形外科学会雑誌, 2016; 36(2), 174-77 |
| 174 | 坂本優子, 前田公一, 桑原宏朋, 櫻本浩司, 亀田壮, 森川大智, 山田大樹, 西尾啓史, 福里晋, 野沢雅彦 | 整形外科・運動器医学 | THA術後の入院期間に関連する術後早期のJHEQ因子の検討 | Hip Joint, 2016; 42(1): 134-137 |
| 175 | 鈴木雅生, 藤原三郎, 千野孔三, 岩瀬弘明, 金子和夫 | 整形外科・運動器医学 | 膝関節軽度屈曲位で関節外アプローチを用いた脛骨骨幹部骨折に対する髓内釘固定術の治療経験 | 骨折, 2016; 38(3): 740-43 |
| 176 | 高野弘充, 米澤郁穂, 東藤貢, 佐藤達哉, 金子和夫 | 整形外科・運動器医学 | 腰椎における経皮的椎体形成術の生体力学的評価 | 臨床バイオメカニクス, 2016; 37: 159-66 |
| 177 | 武田純, 最上敦彦, 和田知樹, 大林治, 金子和夫 | 整形外科・運動器医学 | SCORPIO NEO を用いた鎖骨遠位端骨折の治療経験 | 骨折, 2016; 38: 596-600 |
| 178 | 千野孔三, 藤原三郎, 佐久間陸友, 岩瀬弘明, 高山義裕, 松尾智次, 祖父江省吾, 鈴木雅生, 木下大輔, 後藤賢司 | 整形外科・運動器医学 | 中下位頸椎脱臼骨折の治療経験 | 山梨医学, 2016; 43: 73-75 |
| 179 | 林孝儒, 大野隆一, 久保田光昭, 酒井健介, 菅原悠, 佐藤泰介, 向笠文博, 金子和夫 | 整形外科・運動器医学 | 変形性膝関節症における歩行機能評価と患者立脚型評価, 画像評価の相関 | 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌, 2016; 41: 186-187 |
| 180 | 原章, 工藤俊哉, 山本康弘, 楠瀬浩一, 金子和夫 | 整形外科・運動器医学 | 骨性マレット指の保存治療 | 日手会誌, 2016; 32(6): 1-4 |
| 181 | 原章, 工藤俊哉, 山本康弘, 富田善雅, 楠瀬浩一, 金子和夫 | 整形外科・運動器医学 | 非結核性抗酸菌感染による手の化膿性腱鞘炎に対する治療戦略 | 日手会誌, 2016; 32(4): 404-07 |
| 182 | 前澤克彦, 湯浅崇仁, 酒井健介, 佐藤博伸, 野沢雅彦, 金子和夫 | 整形外科・運動器医学 | 人工股関節全置換術術後の“メンタル”と股関節周囲筋力 | Hip Joint, 2016; 42(1): 121-23 |
| 183 | 前澤克彦, 湯浅崇仁, 酒井健介, 丸山祐一郎, 金子和夫, 野沢雅彦 | 整形外科・運動器医学 | ロコモ25からみた人工股関節全置換術の効果 | 日本人工関節学会誌, 2016; 46: 575-76 |
| 184 | 諸橋達, 最上敦彦, 神田章男, 大林治, 金子和夫 | 整形外科・運動器医学 | ショートステムOptimysの1術中骨折および術後沈み込み症例から考える固定様式と応用集中部位も検討 | Hip Joint, 2016; 42: 734-38 |
| 185 | 湯浅崇仁, 前澤克彦, 馬場智規, 松本幹生, 本間康弘, 野沢雅彦, 金子和 | 整形外科・運動器医学 | 大腿骨骨切り術後に行ったセメントレス人工股関節全置換術の治療成績 | 日本人工関節学会誌, 2016; 45: 779-80 |
| 186 | 湯浅崇仁, 前澤克彦, 金子和夫, 野沢雅彦 | 整形外科・運動器医学 | 寛骨臼回転骨切り術後15年以上の長期臨床成績 | Hip Joint, 2016; 42: 221-23 |
| 187 | 清水 梓, 門真起子, 松村 崇, 田村 浩, 土井信一郎, 諏訪 哲, 杉村 幸 | 形成・再建外科学 | 重症下肢虚血 (CLI) 患者におけるフットケアチーム診療の経験 | 日本下肢救済済病学会誌 8: 47-52, 2016 |
| 188 | 大下高志, 飛田護邦, 田島聖士, 水野博司 | 形成・再建外科学 | 予防的幹細胞投与によるステロイド性骨粗鬆症の次世代治療 | Osteoporosis Japan PLUS 1: 45-47, 2016 |
| 189 | 千田大貴, 吉澤秀和, 水野博司, 林 礼人 | 形成・再建外科学 | 顔面神経麻痺後遺症に対するA型ボツリヌス毒素製剤の長期投与例について | Facial N Res 36: 120-123, 2016 |
| 190 | 岡田慎悟, 桑鶴良平 | 放射線診断学 | 腎・上部尿路疾患のCT・MRI 感染症 | 臨床画像, 2016;32(11):1228-1239, メジカル |
| 191 | 加藤仁美, 井上達郎, 桑鶴良平 | 放射線診断学 | 感染症 | Multi-Organ Disease, 2016; 61: 1465-1468 |
| 192 | 臼井桂介, 原直哉, 磯邊哲, 井上達也, 黒河千恵, 杉本聡, 笹井啓資, 清水 暉, 谷本信仁, 林学, 金澤亮, 三浦寛子, 佐藤公紀, 石井重登, 伊藤智康, 畑中健, 齊藤紘昭, 崔仁煥, 渡辺純夫, 椎名秀一郎 | 放射線治療学(放射線腫瘍学・医学物理学) | 赤外線モニタの信号波形が四次元コンビームCTの標的画像へ与える影響 | 日放技学誌 2016; 72(6): 469-479. |
| 193 | 清水 暉, 谷本信仁, 林学, 金澤亮, 三浦寛子, 佐藤公紀, 石井重登, 伊藤智康, 畑中健, 齊藤紘昭, 崔仁煥, 渡辺純夫, 椎名秀一郎 | 消化器画像診断・治療学 | 可変型電極を用いた肝癌に対するラジオ波焼灼術の経験 | 肝臓 2016;57:135-7. |

| | | | | |
|-----|---|-------------|--|--|
| 194 | 富嶋享、崔仁煥、斉藤紘昭、伊藤智康、石井重登、金澤亮、三浦寛子、福村由紀、川崎誠治、椎名秀一郎、渡辺純夫 | 消化器画像診断・治療学 | Covered metallic stentを挿入後3年6カ月の長期開存を認めた乳頭部癌の1例 | 胆道 2016;30:274-80. |
| 195 | 三浦寛子、崔仁煥、斉藤紘昭、伊藤智康、石井重登、金澤亮、富嶋享、渡辺純夫、原貴恵子、福村由紀、椎名秀一郎 | 消化器画像診断・治療学 | 胆管非拡張型の膵・胆管合流異常に合併した胆管癌の1例 | 胆道,2016;30(5):889-894 |
| 196 | 石井重登、崔仁煥、松村祐志、須山正文、福村由紀、金澤亮、三浦寛子、佐藤公紀、林学、清水遼、富嶋享、伊藤智康、斉藤紘昭、渡辺純夫、椎名秀一郎 | 消化器画像診断・治療学 | 化学放射線療法により10年以上の長期生存が得られた切除不能局所進行膵癌の1例。 | 膵臓,2016;31(6):841-848. |
| 197 | 椎名秀一郎、佐藤公紀、清水遼、林学、谷木信仁、近藤祐嗣、浅岡良成、建石良介、小池和彦 | 消化器画像診断・治療学 | 【大腸癌肝転移-最新の治療ストラテジー】治療の実際 ラジオ波焼灼術(RFA) | 臨床外科 2016;71:433-7. |
| 198 | 影山俊一郎 山口茂夫 三浦佳代 加藤俊介 | 臨床腫瘍学 臨床腫瘍学 | 腎癌およびその他の癌に対する免疫チェックポイント | 癌と化学療法,2016;43(6):672-677 |
| 199 | 野崎由美、加藤俊介 | 臨床腫瘍学 臨床腫瘍学 | 骨関連事象 | 腫瘍内科, 2016;18(4):371-376 |
| 200 | 三浦佳代、加藤俊介 | 臨床腫瘍学 臨床腫瘍学 | 健診・検診・人間ドック読み方・進め方ガイドブック 今さら聞けない解釈の基本と対処 第3章 検体検査 9)腫瘍マーカー | 内科:2016;118:572-577 |
| 201 | 林田咲、松下祐樹、坂本由紀、鳴瀬智史、六反田賢、柳本惣市、大場誠 | 歯科口腔外科学研究室 | Medication-Related Osteonecrosis of the jaw (MRONJ)に対する手術方法の検討 | 日本口腔外科学会雑誌,2016; 62:441-47 |
| 202 | 田之上俊介、大石英則 | 脳神経血管内治療学講座 | 大型未破裂脳底動脈先端部動脈瘤に対する血管内治療 | 脳卒中の外科 2016;44(4): 286-271 |
| 203 | 富嶋享(順天堂大学 医学部消化器内科)、崔仁煥、斉藤紘昭、伊藤智康、石井重登、金澤亮、三浦寛子、福村由紀、川崎誠治、椎名秀一郎、渡辺純夫 | 肝・胆・膵外科学 | Covered metallic stentを挿入後3年6カ月の長期開存を認めた乳頭部癌の1例 | 胆道(0914-0077)30巻2号 Page274-280 (2016.05) |

- 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

| | |
|--|------|
| ① 倫理審査委員会の設置状況 | 有 無 |
| ② 倫理審査委員会の手順書の整備状況 | 有 無 |
| ・ 手順書の主な内容 1. 病院倫理委員会で審査を行う人を対象とする医学系研究の範囲 2. 病院倫理委員会承認までの手順 3. 申請書類について 4. 人を対象とする医学系研究実施時の手順 5. 人を対象とする医学系研究終了(中止)時の手順 6. 人を対象とする医学系研究にあたっての一般的注意事項 | |
| ③ 倫理審査委員会の開催状況 | 年11回 |

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

| | |
|---------------------------------------|------|
| ① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況 | 有 無 |
| ② 利益相反の管理に関する規定の整備状況 | 有 無 |
| ・ 規定の主な内容 | |
| ③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況 | 年11回 |

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

| | |
|------------------------------------|-----|
| ① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況 | 年2回 |
| ・ 研修の主な内容 「臨床研究に関する倫理指針」の改正について | |

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

| |
|--|
| 個人のキャリア形式に合わせ、様々な進路（下記参照）がある。 ①学位 ②学位、専門医 ③学位、専門医、指導医 ④学位、専門医、指導医、留学・その他 |
|--|

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

| | |
|-------------|------|
| 上記研修を受けた医師数 | 141人 |
|-------------|------|

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

| 研修統括者氏名 | 診療科 | 役職等 | 臨床経験年数 | 特記事項 |
|---------|----------------|-------|--------|------|
| 村井 謙治 | 総合診療科 | 助手 | 10年 | |
| 大村 寛敏 | 循環器内科 | 准教授 | 27年 | |
| 加藤 順子 | 消化器内科 | 准教授 | 21年 | |
| 十合 晋作 | 呼吸器内科 | 准教授 | 22年 | |
| 堀越 哲 | 腎・高血圧内科 | 前任准教授 | 38年 | |
| 野澤 和久 | 膠原病・リウマチ内科 | 准教授 | 25年 | |
| 筒井 深雪 | 血液内科 | 助教 | 14年 | |
| 佐藤 博亮 | 糖尿病・内分泌内科 | 前任准教授 | 25年 | |
| 中野 祥行 | メンタルクリニック | 准教授 | 15年 | |
| 波田野 琢 | 脳神経内科 | 准教授 | 18年 | |
| 稀代 雅彦 | 小児科・思春期科 | 准教授 | 26年 | |
| 梶山 美明 | 食道・胃外科 | 教授 | 33年 | |
| 丹羽 浩一郎 | 大腸・肛門外科 | 助教 | 13年 | |
| 今村 宏 | 肝・胆・膵外科 | 准教授 | 32年 | |
| 石橋 雄次 | 消化器・低侵襲外科 | 助教 | 15年 | |
| 堀本 義哉 | 乳腺科 | 准教授 | 17年 | |
| 梶本 完 | 心臓血管外科 | 准教授 | 16年 | |
| 王 志明 | 呼吸器外科 | 准教授 | 25年 | |
| 山高 篤行 | 小児外科・小児泌尿生殖器外科 | 教授 | 32年 | |
| 下地 一彰 | 脳神経外科 | 准教授 | 21年 | |
| 前澤 克彦 | 整形外科・スポーツ診療科 | 准教授 | 28年 | |
| 水野 博司 | 形成外科 | 教授 | 27年 | |
| 池田 志孝 | 皮膚科 | 教授 | 33年 | |
| 和久本 芳彰 | 泌尿器科 | 准教授 | 31年 | |
| 中谷 智 | 眼科 | 准教授 | 25年 | |
| 伊藤 伸 | 耳鼻咽喉・頭頸科 | 准教授 | 17年 | |
| 白石 昭彦 | 放射線科 | 准教授 | 26年 | |
| 黒田 恵司 | 産科・婦人科 | 准教授 | 16年 | |
| 石川 晴士 | 麻酔科・ペインクリニック | 教授 | 26年 | |

| | | | | |
|--------|---------|-----|-----|--|
| 平山 哲 | 臨床検査医学科 | 准教授 | 24年 | |
| 相原 恒一郎 | 救急科 | 准教授 | 26年 | |

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

| | |
|---------|------------------|
| 計画・現状の別 | 1. 計画 ② 現状 |
| 管理責任者氏名 | 天野 篤 |
| 管理担当者氏名 | 各部署責任者（大江、岩崎、米澤） |

| | | 保管場所 | 管理方法 | |
|---------------------------------|--|--|------------------------------|--|
| 診療に関する諸記録 | 規則第二十二條の三第二項に掲げる事項 | 病院日誌 | 管理課 | |
| | | 各科診療日誌 | 各部署 | |
| | | 処方せん | 薬剤部 | |
| | | 手術記録 | 診療録管理室（平成21年5月以降は電子カルテシステム内） | |
| | | 看護記録 | | |
| | | 検査所見記録 | | |
| | | エックス線写真 | | |
| | | 紹介状 | | |
| 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書 | 2009年1月までは、マイクロフィルムで保管 2009年2月以降は電子カルテで保管。 ※但し、同意書、承諾書などの紙原本は、「5年保存」に従い2012年1月以降のみ外部倉庫で保管。 院外への持ち出しは禁止。但し、裁判等で病院に対して提示が求められる場合に限り、院長が承認の上、許可する。 | | | |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 規則第二十二條の三第三項に掲げる事項 | 従業者数を明らかにする帳簿 | 人事課 | |
| | | 高度の医療の提供の実績 | 管理課 | |
| | | 高度の医療技術の開発及び評価の実績 | 研究推進戦略支援センター、管理課 | |
| | | 高度の医療の研修の実績 | 医事課 | |
| | | 閲覧実績 | 管理課 | |
| | | 紹介患者に対する医療提供の実績 | 地域医療連携室 医事課 | |
| | | 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿 | 医事課 薬剤部 | |
| | 規則第一條の十一第一項に掲げる事項 | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 医療安全管理室 | 付則に基づき、年1回以上医療安全管理委員会の議題として取り上げ、改正を検討 |
| | | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 医療安全管理室 | リスクマネジメント委員会、医療安全管理委員会、危機管理・職業倫理委員会、医療機器安全管理委員会 |
| | | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 医療安全管理室 | 全職員に年2回以上のセーフティーレクチャーの受講、e-learningの受講を義務としている |
| | | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | 医療安全管理室 | 昨年度に多く報告されたインシデント事例をリスクマネジメント委員会にて検証 重大事例は医療安全管理委員会にて検討 年1回FMEA分析を行い改善策を検討 |
| | | | | |

| | | 保管場所 | 管理方法 |
|------------------|---|---|--|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 規則第一条の十一 | 院内感染対策のための指針の策定状況 | 感染対策室 |
| | 規則第二条の十一 | 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 感染対策室 |
| | 規則第三条の十一 | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 感染対策室 |
| | 規則第四条の十一 | 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況 | 感染対策室 |
| | 規則第五条の十一 | 医薬品安全管理責任者の配置状況 | 薬剤部課長 佐藤邦義 |
| | 規則第六条の十一 | 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 薬剤部 |
| | 規則第七条の十一 | 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 | 薬剤部 |
| | 規則第八条の十一 | 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 薬剤部 |
| | 規則第九条の十一 | 医療機器安全管理責任者の配置状況 | 臨床工学室長 稲田英一 |
| | 規則第十条の十一 | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | 臨床工学室 |
| 規則第十一条の十一 | 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 | 臨床工学室 | |
| 規則第十二条の十一 | 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 臨床工学室 | |
| | | | 院内感染対策ガイドラインマニュアル、ポケットセーフティーマニュアル、学内HP、医療情報端末IE |
| | | | 順天堂規約集規第平12-6 |
| | | | 年次ごとに実施 |
| | | | 感染対策委員会にて報告、検討 血液培養ラウンド、感染症ポケットマニュアル発行、ICTラウンド、手指衛生遵守率の測定 |
| | | | |
| | | | 年次ごとに実施 |
| | | | 手順書改定時は医療安全管理委員会にて承認後、各部署へ配布 業務の実施状況は医薬品安全管理責任者に報告、一覧表を一元管理 |
| | | | 学会・企業・行政・院内各部署からの情報を薬剤部において収集・解析・一元管理し、必要な情報を発信 |
| | | | |
| | | | 年次ごとに実施 |
| | | | 年次ごとに計画、実施記録を機器ごとに分類し保管 |
| | | | 製造販売業者、厚生労働省、PMDA、JCQHC等から情報を収集分析し、通知文で周知 |

| | | 保管場所 | 管理方法 | |
|--|-------------------------------|---|--|----------------------------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項 | 医療安全管理責任者の配置状況 | 医療安全管理室 | 医療安全管理指針に記載 |
| | | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | 院内感染対策ガイドラインマニュアル、ポケットセーフティーマニュアル、の指針に記載 | マニュアルを各部署に配布 |
| | | 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 | 薬剤部 | |
| | | 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況 | 医療安全管理室 | コメディックス掲載 |
| | | 診療録等の管理に関する責任者の選任状況 | 診療録管理室 | |
| | | 医療安全管理部門の設置状況 | 医療安全管理室 | 医療安全管理指針に記載 |
| | | 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況 | 医療倫理委員会 | |
| | | 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況 | 医療倫理委員会 医薬品安全管理委員会 | |
| | | 監査委員会の設置状況 | | |
| | | 入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況 | 医療安全管理室 | 医療安全管理指針に医療安全管理室の役割を明記 |
| | | 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況 | 医療安全管理室 感染対策室 | 一般社団法人日本私立医科大学協会と相互ラウンドを実施 |
| | | 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | サービス課 | |
| | | 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況 | 人事課 健康管理室 | |
| 職員研修の実施状況 | 医療安全管理室 | 講習会及びe-learningにて実施 | | |
| 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況 | 医療安全管理室 | 定期的に研修を受講し、受講証を提出 | | |

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

| | | |
|---|--------------|------|
| 計画・現状の別 | 1. 計画 | ② 現状 |
| 閲覧責任者氏名 | 各所属長、院長 天野篤 | |
| 閲覧担当者氏名 | 診療録管理室長、管理課長 | |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 診療録管理室内の閲覧室 | |
| 閲覧の手続の概要 診療録は「順天堂大学医学部附属の医療機関における診療情報提供に関する指針」「順天堂大学医学部附属順天堂医院における診療録管理規定」に基づき対応 | | |

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

| | | |
|-----------|--------|------|
| 前年度の総閲覧件数 | 延 | 2件 |
| 閲覧者別 | 医師 | 延 件 |
| | 歯科医師 | 延 件 |
| | 国 | 延 1件 |
| | 地方公共団体 | 延 1件 |

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|------|
| ① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 有・無 |
| <p>・ 指針の主な内容：</p> <p>1. 総則 2. 組織体制 3. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 4. 安全管理のための職員研修の実施 5. 医療事故発生時の対応方法 6. 患者相談窓口の設置 7. 安全な医療を提供するための院内規則・手順 8. 医療従事者と患者およびその家族間との情報共有 他</p> | |
| ② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況 | |
| <p>・ 設置の有無 (有・無)</p> <p>・ 開催状況：年12回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>1. 医療安全管理指針の策定・見直し・改正に関する事項 2. 医療安全管理マニュアルの策定・見直し・改正に関する事項 3. 医療安全管理指針の職員への周知および医療安全管理に関する職員研修の企画・立案に関する事項 4. 医療事故等発生に係る対応および再発防止策の検討立案に関する事項 5. 医療事故防止対策の実施および職員への周知に関する事項 6. 全死亡事例およびレベル3b以上事例報告に関する事項 7. 医療安全に関する院長からの諮問事項 8. その他医療安全の推進のために必要な事項</p> | |
| ③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 年20回 |
| <p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1. 全職員受講義務のe-learningにて「医療安全の推進」を受講 2. 講義形式の研修として「医療安全について」「接遇マナーのすすめ」「個人情報漏洩対策について」「医療事故調査制度について」「転倒対策について」「輸血療法の考え方」「静脈穿刺による神経損傷について」「院内における個人情報の取扱いについて」「医薬品安全について」「医療機器安全管理について」「研究倫理について」「生体モニタの取扱いについて」等</p> | |
| ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況 | |
| <p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>1. 事例についてRCAなどの手法を用いた分析 2. FMEA分析を行い、改善策を検討している (年1回)</p> | |

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

| | |
|--|------|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況 | 有 無 |
| <p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療関連感染対策に関する基本的な考え方2. 感染対策委員会の組織に関する基本事項3. 専任の医療関連感染対策を行うものあるいは院内感染管理者の配置4. 医療関連感染対策のための職員に対する研修に関する基本指針5. 感染症の発生状況の報告に関する基本指針6. 医療関連感染発生時の対応に関する基本方針7. 患者等に対する当院の医療関連感染対策指針の閲覧に関する基本指針8. その他医療関連感染対策の推進のために必要な基本方針 | |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 年12回 |
| <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内で発生した感染症の分布とその対応について、ガイドライン・マニュアルに従い感染対策室からの現場指導を受けながら有効性の確認や検証を実施2. MRSA院内伝播数に応じ感染対策の実施と徹底を主体的に促すシステムを運営、感染対策の実施状況の報告やアウトブレイク発生対応の報告3. 針刺し切創について、院内の届出の集計結果をもとに改善策を検討4. 滅菌室から滅菌機・洗浄機の稼働状況の報告、トラブル発生状況と原因・対策の報告を受け、必要時改善策の検討を実施5. ICTラウンドの実施状況の報告および改善策の検討6. 医療関連感染サーベイランスの報告および改善策の検討7. 感染対策小委員会 | |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 年17回 |
| <p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 「当院の感染制御の考え方」「手指衛生と標準予防策」「感染経路別予防策」「針刺し切創・粘膜曝露防止策」2. 感染対策講習会（年2回）、就任時オリエンテーションにて感染対策の基本動作3. 旅行者感染症やインフルエンザ・感染性胃腸炎など季節性や時事の話題性のある疾患について適宜取り上げ注意喚起4. コメディカルや委託業者に対し、各々の職種の業務内容に合わせた基本的な感染対策（手指衛生と環境整備） | |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況 | |
| <p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 選択的MRSA保菌者のスクリーニング検査実施2. 現場主導型のMRSA感染対策活動（レベルゼロシステム）3. 手指衛生遵守率向上に向けた取組4. MDROサーベイランスとアウトブレイク対応5. 医療関連感染サーベイランス（BSI・SSI・VAP・UTI）と改善の取組6. 抗菌薬委員会と連携した抗菌薬処方の適正化活動7. ICTラウンドで衛生的な環境の維持とガイドラインマニュアルに沿った感染対策の実施状況の確認8. リンクメンバー全体会でのリンクスタッフ教育およびリンクスタッフによる現場の教育・指導 | |

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|-----|
| ① 医薬品安全管理責任者の配置状況 | 有・無 |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 年6回 |
| ・ 研修の主な内容： 1. 注射薬の特性と安全管理 2. 抗がん剤の取扱い 3. 麻酔の取扱い 4. 血漿分画製剤の取扱い | |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 | |
| ・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： 1. 患者への医薬品の使用の確認 2. 調剤業務 3. 医薬品情報の業務 4. 輸血、血液管理の確認 5. 製剤業務 6. 検査試薬の使用 7. 医薬品の採用、購入管理業務 8. 病棟業務 9. 手順書チェック表を用い、部署ごとに月1回前月の医薬品の安全使用を確認 等 | |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | |
| ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 未承認医薬品等評価小委員会での倫理的・科学的妥当性および適切な使用方法について審査 2. 未承認医薬品等評価小委員会から医薬品安全管理委員会への未承認医薬品等の採用の適否使用条件等について検討結果の報告 3. 医薬品情報の院内通知および学内メールにより情報を発信するとともに必要に応じ、医療情報端末に掲示し、院内へ周知 4. 副作用情報を収集し、副作用(有害事象)報告マニュアルに従い記録し、所属長・医薬品安全管理責任者に報告、厚労省への報告の必要性の検討および報告、院内の医療スタッフに対し学内メール、印刷物等により情報伝達し、情報の共有をはかる 5. 業務手順書の定期的な見直し(年1回以上) | |

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|------|
| ① 医療機器安全管理責任者の配置状況 | 有・無 |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | 年50回 |
| ・ 研修の主な内容： 1. 人工心肺装置 2. 閉鎖式保育器 3. 補助循環装置 4. 高エネルギー放射線装置 5. 人工呼吸器 6. 輸液ポンプ 7. 血液浄化装置 8. シリンジポンプ 9. 除細動器 | |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 | |
| ・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 1. 人工心肺装置 2. 閉鎖式保育器 3. 補助循環装置 4. 高エネルギー放射線装置 5. 人工呼吸器 6. 輸液ポンプ 7. 血液浄化装置 8. シリンジポンプ 9. 除細動器 10. 全身麻酔器 | |
| ④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | |
| ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 製造販売業者、厚生労働省、PMDA、JCQHC等からの情報を書面で院内各部署に発信 2. 医療機器の安全使用についてセーフティーレクチャーにて研修会を開催 | |

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

| | |
|---|----------|
| ① 医療安全管理責任者の配置状況 | 有・無 |
| <p>・責任者の資格（医師・歯科医師） 医師</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理委員会、医薬品安全管理委員会の委員として各種委員会へ出席し、審議内容の確認を行う。医療機器安全管理委員会については医療安全管理委員会において委員会報告を確認する。</p> | |
| ② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | 有（ 4名）・無 |
| <p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>緊急安全性情報、安全性速報、医薬品・医療機器等安全性情報の収集・管理し、院内通知および学内メールにより情報を発信。必要に応じて医療情報端末に掲示し、院内へ周知。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>「順天堂大学医学部附属順天堂医院未承認の医薬品等による医療の提供に関する規程」の策定</p> <p>未承認医薬品等評価小委員会の設置</p> <p>・担当者の指名の有無 <input checked="" type="radio"/> 有・無</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> | |
| ④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況 | 有・無 |
| <p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 <input checked="" type="radio"/> 有・無</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>IC を得る手順、説明事項、文書による IC の必要な検査治療、新規 IC 用紙作成からの使用までの流れ、IC 成立要件、IC のチェック項目 等</p> | |

| | |
|--|-----|
| ⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況 | 有・無 |
| <p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>電子カルテの医師記載点検および訂正依頼、サマリー受領、がん登録、診療録管理システムへの患者情報登録、診療録管理システム各種マスター管理、DPC 関連業務、診療録の原本管理、システムスキャナへの取り込み、診療録貸出・返却・閲覧、解剖報告書整理医療情報システムスキャナ取込み、疾病及び医療行為の ICD コーディング</p> | |
| ⑥ 医療安全管理部門の設置状況 | 有・無 |
| <p>・所属職員：専従（2）名、専任（1）名、兼任（5）名</p> <p>うち医師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（2）名</p> <p>うち薬剤師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（3）名</p> <p>うち看護師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> ①医療の安全を確保するための改善方策に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・「インシデントレポート」による情報の収集・分析 ・医療事故予防策、再発防止策の立案、実施、評価および見直し ・安全な医療提供のためのガイドラインやマニュアルの策定に関すること ・患者からの苦情・要望等の分析および医療安全管理への活用 ②医療安全管理のための職員への企画・運営および院内広報等の企画・実施 ③医療事故発生時の対応に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・診療録・看護記録等への記載状況についての確認・指導 ・患者への診療や説明等の対応状況についての確認・指導 ④医療安全管理委員会の円滑な運営に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理委員会に対する議題の提案 ・医療安全管理委員会の資料作成、議事録作成等の庶務 ⑤医療安全管理に関する院内の連絡調整 ⑥院内の死亡事例報告収集・分析 ⑦医療安全に資する診療内容のモニタリング ⑧職員の医療安全への認識の調査・確認 ⑨その他医療安全管理に関する業務 <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> <p>※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p> | |

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：各診療科にて高難度新規医療技術を実施したい場合に、医療倫理委員会に審議申請をし、医療の提供について適否を審議する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：各診療科にて未承認新規医薬品を使用したい場合に、委員会に審議申請をし、医療の提供について適否を審議する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 監査委員会の設置状況

有・無

- ・監査委員会の開催状況：年 2回
- ・活動の主な内容：管理者の下で医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者等の業務が適切に実施されているか等についての確認を行う。必要に応じて、是正措置を講じるよう意見を述べる。
- ・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）
- ・委員名簿の公表の有無（有・無）
- ・委員の選定理由の公表の有無（有・無）
- ・公表の方法：順天堂大学医学部附属順天堂医院ホームページへの掲載

| 監査委員会の委員名簿及び選定理由（注） | | | | | |
|---------------------|------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|
| 氏名 | 所属 | 委員長 (○を付す) | 選定理由 | 利害関係 | 委員の要件 該当状況 |
| 尾崎 治夫 | 東京都医師会会長 | ○ | 現医師会長として厳正 な監査が実施できる | 有・ 無 | 医療に係る安全管理 に関する識見を有す る者 |
| 浅田 真弓 | (公社)日本精神科病 院協会指定弁護士 | | 病院管理学修士修了者 であり医療に詳しい弁 護士として選定 | 有・ 無 | 法律に関する識見を 有する者 |
| 村山 徹 | アクセント代表 取締役社長 | | 診療情報 WG の委員を 経験している | 有・ 無 | 医療を受ける者その 他の医療従事者以外 の者 |

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 218 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 86 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
全死亡事例および報告レベル 3 b 以上事例報告に関する検討

①死亡事例

医療安全管理室の討議にて報告全死亡事例について、①明らかな病死②検討を必要とする事例③疑義のある事例に分類し、①については一覧表で概略を報告。②については各診療科及び関連部署で開催したMMカンファレンス議事、解剖結果を提出いただき、医療安全管理室室員の実施したカルテレビューとあわせ、検討している。③については報告のあった時点で院長報告、必要に応じ緊急会議を開催し検討を行う。

②報告レベル 3 b 以上事例

医療安全管理委員会にて事例検討を実施。

⑪ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（）（病院名：昭和大学病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（）（病院名：昭和大学病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況

平成 29 年 2 月 6 日に実施、インシデントレポートの提出に関して学生の実習前医療安全講習の中でも教育していくことが重要であると助言いただいた。

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

患者相談窓口「患者さん相談コーナー」で対応

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（・無）
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（・無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（・無）

⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

医療安全研修会 e-learning 及び講演会を年 13 回開催

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

院長、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者は、それぞれ自己の業務遂行に必要な研修を最低 1 回/年受講し、受講証書コピーを医療安全管理委員会に提出する。受講証コピーは医療安全管理室にて 5 年間保管する。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

(様式第 8)

順大発本第 29-417 号
平成 29 年 10 月 4 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人 順天堂
理事長 小川 秀興 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

院長・医療安全管理責任者・医薬品安全管理責任者・医療機器安全管理責任者は、それぞれ自己の業務遂行のために必要な研修を最低 1 回／年受講し、受講証書コピーを「医療安全管理委員会」に提出する。受講証コピーは医療安全管理室にて 5 年間保管する。
今年度は東京都医師会主催の研修を受講予定。

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（2）名、専任（1）名、兼任（5）名
うち医師：専従（ ）名、専任（1）名、兼任（2）名
うち薬剤師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（3）名
うち看護師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

看護師については配置済み

医師については、現在 3 名で対応、うち 1 名が就業時間の約 6 割を医療安全部門の業務に従事している。今後は医療安全管理を行う医師の育成に力を注ぎ、平成 30 年 3 月までに 5 割以上を医療安全部門の業務に従事する医師を 1 人新たに配置する。

薬剤師については、平成 30 年 4 月には専任薬剤師を配置する予定。